

令和 6-7 年度
船橋市自然環境調査
報告書

令和 8 年 3 月

船橋市

目次

1. 自然環境調査の概要.....	1
1.1 調査の目的.....	1
1.2 調査内容.....	1
2. 自然環境調査結果概要.....	21
2.1 専門調査結果.....	21
2.2 市民調査結果.....	41
2.3 船橋市の指標種の分布状況.....	44
2.4 その他の調査結果.....	46
2.5 船橋市全域及び各調査地域の概況.....	48
3. 船橋市で確認された生物リスト.....	93
3.1 植物.....	94
3.2 哺乳類.....	111
3.3 鳥類.....	112
3.4 両生類.....	115
3.5 爬虫類.....	116
3.6 昆虫類.....	117
3.7 魚類.....	131
3.8 底生動物.....	134
4. 資料編.....	140
4.1 第5次レッドリストの公表及び基準変更について.....	140
4.2 用語集.....	143
4.3 前回調査の調査地域位置図.....	152

1. 自然環境調査の概要

1.1 調査の目的

今回の調査は、平成 28 年度末に策定した「生物多様性ふなばし戦略」の対象期間が令和 8 年度末までであることから、市内における環境調査を実施し、市の貴重な自然や希少な保護すべき動植物、外来種等に関する自然環境の状況を把握するとともに、船橋市の現状と課題を基礎資料としてとりまとめ、第 2 次生物多様性ふなばし戦略（以下「第 2 次戦略」という。）に反映することを目的として実施したものである。

また、今回の調査結果に基づき、過年度に実施した「船橋市内環境調査報告書」（船橋市、平成 14 年 3 月）（以下、「前々回調査」という。）並びに「平成 25・26 年度船橋市自然環境調査報告書」（船橋市、平成 27 年 3 月）（以下、「前回調査」という。）と比較し、市内の動植物相の変遷や生物多様性の保全についてとりまとめるものとする。

1.2 調査内容

今回の調査は、前回調査を基本として実施した。調査計画の策定に当たっては、今回調査では調査地域の一部変更や市民調査の導入を行っている。

調査地域の変更、市民調査の導入を踏まえた調査内容について以下に記載する。

1.2.1 調査地域の変更

調査範囲の設定は前回調査の範囲を基本としたが、前回調査以降の土地利用の変化等を踏まえた妥当性の確認を行うとともに、生物多様性の保全・活用に向けた施策の実効性確保や事業の実施による効果の把握等も考慮して、以下の視点での検討を行った。

- ・前回の調査範囲に造成が行われるなど土地利用の改変が行われている地域については、現状に応じて調査範囲の見直しを検討した。

- ・既に生物多様性に関する取組が実施されている地域や今後の改善が見込まれる地域（多自然川づくりの実施が予定されている河川区域等）がある場合には見直しを検討した。

- ・船橋市緑の基本計画【改訂第2版】における水と緑のネットワークの景観軸の観点から、一部調査地域の追加を検討した。

- ・自然環境調査の実施に当たって、前回調査地域以外における調査実施対象として適していると考えられる地域について市民団体に聴取し、調査範囲の見直し及び追加を検討した。

- 調査地域の変更※旧調査地域の場所については図 4-1 参照

- 楠が山町周辺 (St. 7-2)

神崎川流域 (St. 7) は自然的景観の多様度が低いため、遊休農地の活用に取り組んでいる楠が山町周辺に変更。

- 駒込川流域 (St. 9-2)

駒込川流域 (St. 9-2) では多自然川づくりが計画されているため、その事前調査として実施。旧調査地域である坪井川流域 (St. 9) については坪井特定土地区画整理事業により下水道としての管理に移行し、調査すべき自然環境が消失したため調査対象から除外。

- 調査地域の追加

- 大穴北周辺・木戸川流域 (St. 4)

調査地域に多自然川づくりを行った木戸川（水域）を含める。

- 鈴身川流域 (St. 8)

市民団体の活動を考慮して調査地域を拡大する。

- 船橋馬込霊園奥の馬込谷地・北谷津川 (St. 10)

北谷津川では整備計画があり、その事前調査として調査地域を拡大する。

- 西船4丁目緑地・印内春日神社 (St. 17)

生態系ネットワークの観点から調査地域に追加する。

- 藤原3丁目・4丁目周辺 (St. A)

市民団体より調査実施の要望を受け、まずは生物相等の実態把握のため、専門補足調査地域として追加する。

1.2.2 市民調査の導入

前回までの自然環境調査は専門調査(専門の調査員が各調査地域の調査を実施する形式)として実施してきたが、生物多様性ふなばし戦略(改定版)では、リーディングプロジェクトとして市民や市民団体、研究機関などと連携した自然環境調査を実施することを位置付けており、今回調査の一部は市民調査として実施する計画とした。市民調査の導入に当たっての課題と対応策を図 1-1 に示す。

- 市民調査導入の目的
 - 市民の自然環境保全意識の醸成
 - 戦略に位置付ける施策や今後のモニタリング調査の担い手の育成

- 市民調査導入に当たっての課題と対応策
 - 市民の参加には調査の精度、参加のしやすさ(参加者の増加)、参加に伴う労力の軽減の3つの課題が存在
 - 対応策としては図 1-1 に記載したものを検討
 - ◇ ①精度向上のための対応策
 - ・ 市民団体・大学等との連携による、精度の担保
 - ・ AI 図鑑による同定精度の向上
 - ・ 指標種調査の導入(初級者、中～上級者向けの種)

 - ◇ ②参加者増加のための対応策(①と③も含む)
 - ・ 広報等による募集
 - ・ 市民調査地域の選定(アクセス性、安全性)
 - ・ スマートフォンアプリ導入によるゲーム性を持たせる

 - ◇ ③参加に伴う労力の軽減のための対応策(②も含む)
 - ・ スマートフォンアプリによる投稿

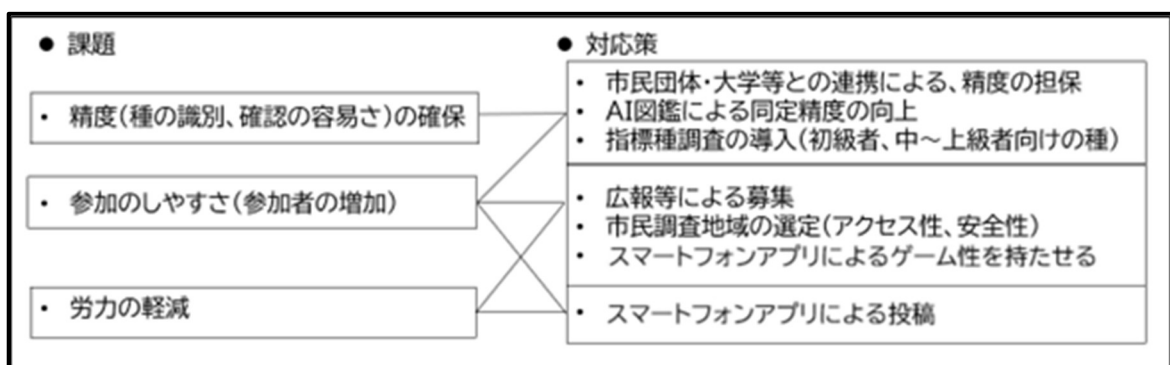


図 1-1 市民調査導入に当たっての課題と対応策

1.2.3 専門調査地域と市民調査地域の選定方針

各調査地域について、専門調査・市民調査のいずれの方法で実施するかについては、以下の方針での検討を行った。

今回調査における調査地域概要を表 1-1 に、調査地域位置図を図 1-2 にそれぞれ示す。

- 専門調査地域
 - 前回調査の結果を踏まえ、多様な環境を有し相対的に自然度が高く、生態系ネットワークの拠点となる地域を優先的に選定し、前回調査との比較により環境の変化状況を把握する
 - 既に生物多様性に関する取組が実施されている地域や今後の改善が見込まれる地域（多自然川づくりの実施が予定されている河川区域等）は、専門調査により、その効果の検証や計画に反映させる

- 市民調査地域
 - 市民の安全性やアクセス性を優先し、安全な歩道、駐車場、広場、東屋等が整備されている公園や緑地等を選定する
 - ◇ 生態系ネットワークの拠点をつなぐ地域であり、指標種により環境の変化状況を把握する
 - ◇ ほとんどが公園や神社、指定樹林となっているため、開発等のリスクが少なく、環境の変化が生じにくい地域であることから、今後の調査地域として継続性が担保される
 - ◇ 三番瀬については、鳥類の指標種調査及び環境 DNA による魚類調査を行う

表 1-1 調査地域概要

地点	調査の種類	地域名	区分	主な環境
St. 1	市民調査	船橋大神宮周辺	社寺林	市街地に囲まれた社寺林
St. 2	市民調査	田喜野井周辺	田喜野井公園、 田喜野井緑地	古い住宅地で一部指定樹林を含む
St. 3	専門調査	高根川流域	高根川、台地、 農地	水田及び休耕田
St. 4	専門調査	大穴北周辺・木戸川 流域	台地、農地、斜 面林、木戸川	斜面林、台地上の樹林、湿 地
St. 5	市民調査(水)	県民の森周辺	平地林、農地	大神保地域の平地
St. 6	専門調査	古作町周辺	市街地緑地、残 置森林	中山競馬場と行田団地に挟 まれた住宅地他
St. 7-2	専門調査	楠が山町周辺	河川沿い、農地	谷津田を主体とした再生湿 地、放棄水田、樹林
St. 8	専門調査	鈴身川流域	河川沿い、 農地、谷津田	市最北部に位置する水田及 び休耕田
St. 9-2	専門調査	駒込川流域	河川沿い	駒込川、谷津田を中心とし た湿地、水田、斜面林
St. 10	専門調査	船橋馬込霊園奥の馬込 谷地・北谷津川	谷地、金杉川源 流部	金杉川源流部、台地に囲ま れた谷地
St. 11	市民調査	丸山の森緑地	緑地、残置森林	住宅地に囲まれた緑地
St. 12	市民調査	藤原市民の森緑地	緑地、残置森林	市民による管理が行われて いる
St. 13	市民調査(水)	長津川調節池・長津 川緑地	調節池、緑地	長津川中流部の調節池、台 地に挟まれた谷地
St. 14-1	専門調査	海老川流域	河川沿い、農地	農耕地に囲まれた谷地、市 街地近くに残された水田と 畑地
St. 14-2	専門調査	海老川流域(下流)	水辺、市街地、 港湾、河口	市街地から河口までを流れ る水辺
St. 15	専門調査	二重川流域(上流)	河川沿い、農地	水辺とその周囲の畑地、雑 種地等
St. 16	専門調査	二重川流域(下流)		
St. 17	市民調査	西船4丁目緑地・印内 春日神社	緑地、社寺林	河川改修された水辺と畑地 等
St. 18	市民調査(水)	三番瀬	干潟	船橋海浜公園浅瀬場の干潟 及び浅海域
St. A	専門補足調査	藤原3丁目・4丁目周 辺	緑地、残置森林	人手の加わっていない樹林

注 1：以下の地点については、前回調査から調査地域の変更が行われたため、変更後の調査地域 St. 名及び名称で記載している。

7. 旧：St. 7 神崎川流域 新：St. 7-2 楠が山町周辺

9. 旧：St. 9 坪井川流域 新：St. 9-2 駒込川流域

注 2：(水)は環境 DNA 調査地域を示す。

注 3：St. 14-2 は鳥類調査のみを実施した。

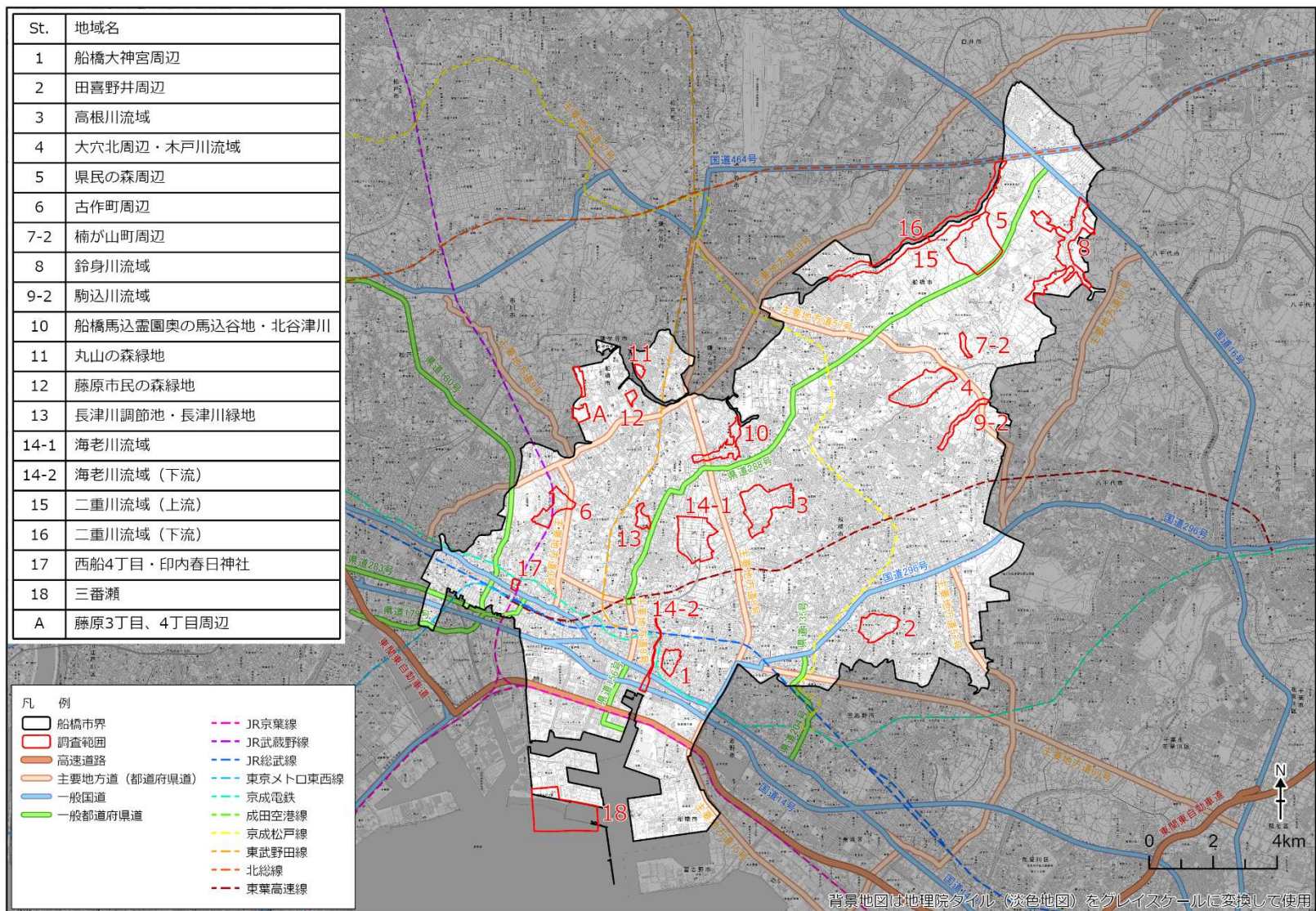


図 1-2 調査地域位置図

1.2.4 調査項目及び時期

1) 専門調査における調査項目及び調査時期(頻度)

専門調査における調査項目及び調査時期(頻度)は表 1-2 に示すとおりである。

表 1-2 専門調査項目及び時期

項目	調査時期(頻度)		調査地域
	令和6年度	令和7年度	
植物 (水生植物含む)	—	春・夏・秋	植生分布図 : 船橋市全域 植生図 : 全18地域 植物相調査 : 専門調査10地域
鳥類	冬	春・初夏・秋	専門調査10地域
両生類・爬虫類	—	春・初夏・秋	専門調査10地域
昆虫類	—	春・夏・秋	専門調査10地域
哺乳類	冬	春・初夏・秋	専門調査10地域
魚類	—	春・夏・秋	専門調査10地域のうち St. 3、St. 4、St. 7-2～ St. 10、St. 14～St. 16 (計9地域)
底生動物	冬	初夏・秋	専門調査10地域のうち St. 3、St. 4、St. 7-2～ St. 10、St. 14～St. 16 (計9地域)
環境要素	冬	随時	全18地域
専門補足調査	—	夏	専門補足調査1地域

2) 市民調査における調査項目及び調査時期(頻度)

市民調査における調査項目及び調査時期(頻度)は表 1-3 に示すとおりである。市民調査としては Biome を主とした指標種データの集積、並びに環境 DNA 調査を実施した。なお、本調査では一般市民を対象として、Biome の使用方法や環境 DNA の採水を行う現地調査イベントを各季節で実施している。

表 1-3 市民調査項目及び時期

項目	調査時期(頻度)		調査地域
	令和6年度	令和7年度	
指標種及びその他の種 (Biome調査及び紙報告)	冬	春・夏・秋	船橋市全域及び 市民調査8地域
魚類 (環境DNA調査)	—	春・夏	市民調査8地域のうち St. 5、St. 13、St. 18

3) 調査実施日、調査実施期間

調査実施日、調査実施期間は表 1-4～表 1-7 に示すとおりである。

表 1-4 冬季調査項目及び調査実施日

区分	項目		実施日
専門調査	哺乳類	フィールドサイン調査	令和7年1月15日～17日
		トラップ調査	令和7年1月28日～1月31日
	鳥類	定点調査	令和7年2月4日～6日
		ラインセンサス調査	
		任意確認調査	
	底生動物	任意採集法	令和7年1月29日～1月31日
環境要素		随時実施	
市民調査	指標種調査	Biome 調査及び紙報告	令和7年1月11日～2月11日
	指標種調査等	現地調査イベント	令和7年1月18日

表 1-5 春季調査項目及び調査実施日

区分	項目		実施日
専門調査	植物	植物相調査	令和7年4月15日～18日
	哺乳類	フィールドサイン調査	令和7年4月9日～11日
		トラップ調査	令和7年4月15日～18日
	鳥類	定点調査	令和7年4月16日～18日
		ラインセンサス調査	
		任意確認調査	
	両生類・爬虫類	任意確認調査	令和7年4月9日～11日
	昆虫類	任意採集法	令和7年4月16日～18日
		ベイトトラップ法	令和7年4月15日～18日
	魚類	任意採集法	令和7年4月23日～25日
環境要素		随時実施	
市民調査	指標種調査	Biome 調査及び任意確認調査(紙報告)	令和7年3月20日～5月20日
		現地調査イベント	令和7年4月8日 [*] 、12日、19日
	環境DNA調査		令和7年4月8日、12日、19日

※…ふなばしエコカレッジ修了生向けに実施した現地調査イベント

表 1-6 夏季調査項目及び調査実施日

区分	項目		実施日
専門調査	植物	植物相調査	令和7年7月22日～25日
		植生図作成	令和7年8月25日～29日
	哺乳類	フィールドサイン調査	令和7年6月17日～19日
		赤外線センサーカメラ (自動撮影カメラ)	
	鳥類	定点調査	令和7年6月11日～13日
		ラインセンサス調査	
		任意確認調査	
		ICレコーダー調査	
	両生類・爬虫類	任意確認調査	令和7年6月17日～19日
	昆虫類	任意採集法	令和7年7月16日～18日
		ベイトトラップ法	令和7年7月22日～25日
		ホタル調査(夜間)	令和7年6月30日
	魚類	任意採集法	令和7年7月29日～31日
底生動物	任意採集法	令和7年6月5日、6日、10日	
環境要素		随時実施	
市民調査	指標種調査	Biome調査及び任意確認調査(紙報告)	令和7年6月17日～8月17日
		現地調査イベント	令和7年6月30日※、7月23日
	環境DNA調査		令和7年7月23日

表 1-7 秋季調査項目及び調査実施日

区分	項目		実施日
専門調査	植物	植物相調査	令和7年10月14日～17日
	哺乳類	フィールドサイン調査	令和7年10月15日～17日
		トラップ調査	令和7年10月27日～30日
	鳥類	定点調査	令和7年10月29日～31日
		ラインセンサス調査	
		任意確認調査	
	両生類・爬虫類	任意確認調査	令和7年10月15日～17日
	昆虫類	任意採集法	令和7年10月7日～9日
		ベイトトラップ法	令和7年10月27日～30日
	魚類	任意採集法	令和7年10月1日～3日
底生動物	任意採集法	令和7年10月1日～3日	
環境要素		随時実施	
市民調査	指標種調査	Biome調査及び任意確認調査(紙報告)	令和7年9月20日～10月20日
		現地調査イベント	令和7年9月27日、10月3日※

※…ふなばしエコカレッジ修了生向けに実施した現地調査イベント

1.2.5 調査方法

1) 重要種、外来種の選定基準

重要種等の選定基準は表 1-8 に示すとおりである。重要種及び外来種は、確認位置や確認状況（個体数や痕跡の種類等）を記録するものとした。

表 1-8 重要種等の選定基準

種の区分	選定基準
重要種	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）に基づき指定された天然記念物 ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成3年法律第75号）に基づき指定されている種 ・「環境省レッドリスト2020」（環境省、2020年3月） ・「第5次レッドリスト（植物・菌類）」（環境省、2025年） ・千葉県レッドリスト 動物編（2019年改訂版） ・千葉県レッドデータブック 植物・菌類編（2023年改訂版）
外来種*	<ul style="list-style-type: none"> ・特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律（令和4年7月1日法律第42号） ・環境省、平成27年3月26日、我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」の公表について ・日本の外来種全種リスト 国立研究開発法人国立環境研究所、日本の外来種全種リスト - 侵入生物データベース

※植物、昆虫類、魚類について、明治時代以降に国内に侵入したと考えられる種、もしくは明らかに人為的に持ち込まれたと考えられる種は上記に掲載した資料以外にも外来種として取り扱っている。そのほか、植物については、植栽、逸出種（人為的に植えられたり、あるいは本来その地域に生息していない植物が栽培下から逃れて定着したもの）と考えられる種も外来種として取り扱っている。

2) 指標種の選定

指標種については、市内の環境変化を継続的に把握することを目的に実施している生きものモニタリングの対象の15種のみでは、環境変化の把握や評価に用いるには不足していると考えられたため、対象種の追加を行った。なお、指標種は専門調査及び市民調査で共通のものとし、特定の環境との結びつきが強く、環境変化に対して反応しやすく、生育・生息の有無で評価につながる種を選定した。指標種の選定基準を表 1-9 に示す。

また、いきものモニタリングにて選定されている指標種を表 1-10 に、今回調査における指標種を表 1-11 にそれぞれ示す。指標種は全季節合わせて40種とした。なお、表 1-11 に記載の指標種の見られる季節については、必ずしも表の季節以外で確認されないということはない。

また、一部の種については個体保護の観点等から市民団体に限定して調査対象とした。

表 1-9 指標種の区分

区分	概要
生態的指標種	同様の生息場所や環境条件要求性を持つ種群を代表する種。
危急種	希少種や絶滅の危険の高い種。生育・生息のため最も良好な環境条件を要求する種を保全することで、多くの普通の種の生育・生息条件が確保される。
象徴種	その美しさや魅力によって世間に特定の生育・生息場所の保護をアピールすることに役立つ種。
アンブレラ種	生育地面積要求性の大きい種。その種の生存を保証することでおのずから多数の種の生存が確保される。生態系ピラミッドの最高位に位置する消費者がこれに当たる。
キーストーン種	群集における生物間相互作用と多様性の要をなしている種。そのような種を失うと、生物群集や生態系が異なるものに変質しまうと考えられる。

※なお、上記に加えて、以下の基準での選定も実施した。

- 生態系ネットワーク種：自然のつながりを示す種
- 外来種：外来生物法における特定外来生物で生態系に大きな影響を及ぼす種
- 温暖化指標種：地球温暖化やヒートアイランド現象に伴い急速に分布域を拡大している種、今後、拡大が予想される種
- その他、見つけやすく、識別が容易、撮影・捕獲が容易な観点から選定。今後のモニタリング調査にも適している。
- 前回調査で今回の市民調査地域のみで確認されている重要種からも指標種を選定

表 1-10 いきものモニタリングにて選定されている指標種

季節	種名		
春	カントウタンポポ	ツバメ	ニホンアカガエル
夏	ヤマユリ	コゲラ	セミ類 (ぬけがら含む)
秋	ススキ	モズ	アキアカネ
冬	ホトケノザ	ミヤコドリ	オオカマキリの卵
(外来種)	オオキンケイギク	アカミミガメ	アライグマ

※上記の種については、生物多様性ふなばし戦略改訂版 p75 より引用。

表 1-11 今回調査で指定した指標種

No.	分類	指標種	従来	新規	指標環境					危険種	象徴種	アンブレラ種	生態系ネットワーク	外来種	温暖化	身近な種	見られる季節				
					二次林	草地	道端・畑	谷津田	河川								海岸	春	夏	秋	冬
1	植物	ヤマユリ	●		●											●					
2		ススキ	●			●										●					
3		カントウタンポポ	●				●									●					
4		ホトケノザ	●				●									●					
5		オオキンケイギク	●				●							●		●					
6		キンラン※1		●	●					●	●										
7		エビネ※1		●	●					●											
8		ナガエツルノゲイトウ		●					●					●							
9		シヤジクモ類※2		●					●												
10		イチヨウウキゴケ※2		●					●												
11	哺乳類	アライグマ	●						●					●							
12		カヤネズミ（球巢）		●		●			●												
13	鳥類	コゲラ	●		●								●								
14		ツバメ	●				●									●					
15		モズ	●					●													
16		ミヤコドリ	●						●	●											
17		コサギ		●				●		●											
18		ヒバリ		●			●			●											
19		サシバ		●				●		●											
20		シジュウカラ		●	●								●								
21		カワセミ		●				●		●											
22		ダイゼン		●					●												
23	爬虫類	アカミミガメ	●						●					●							
24		ニホンカナヘビ		●			●			●											
25		ヒガシニホントカゲ		●			●														
26	両生類	ニホンアカガエル	●					●		●											
27		トウキョウダルマガエル		●				●		●											
28	昆虫類	アキアカネ	●					●													
29		オオカマキリの卵	●			●										●					
30		セミ類の抜け殻	●		●											●					
31		オニヤンマ		●				●													
32		クマゼミ		●			●							●							
33		チョウトンポ		●				●		●											
34		ノコギリクワガタ		●	●											●					
35		ヤマトタマムシ		●	●						●										
36		ヘイケボタル		●				●		●											
37		ナガサキアゲハ		●			●							●							
38		アカボシゴマダラ		●	●								●								
39		ツマグロヒョウモン		●			●							●							
40	底生動物	タニシ類(マルタニシ・ヒメタニシ)		●				●		●											
種数			15	25	9	3	10	14	3	2	17	5	1	2	5	3	13	27	31	19	11

※1 個体保護の観点から市民団体や大学等のみの調査対象とする。 ※2 雑管束植物ではないが、便宜的に植物に分類。

注) 見られる季節は主な出現期であり、これ以外にも見られることがある。

3) 専門調査手法

(1) 植物

ア. 植生の分布図及び植生図の作成

植生の分布図は前回調査において作成した植生の分布図(樹林地、果樹園、草地、畑地、水田、水面部)を基本として、船橋市又は他機関が整備している航空写真や植生図などの既存の地理情報を活用して、1/25,000 程度の精度の図を作成した。

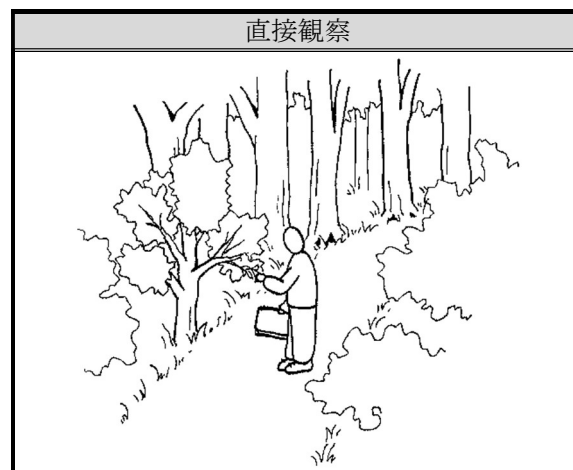
植生図は環境省が公開している自然環境保全基礎調査・植生調査等の地理情報や空中写真を用いて予察を行い、現地踏査により植生の内容を確認した。植生の区分は、ケヤキ・シラカシ群落、クヌギ・コナラ群集など、上記の環境省植生調査に基づくものとした。

イ. 植物相調査

高等植物を対象に直接観察による調査を行い、確認された種を記録した。現地での同定が困難なもの等は採集標本を作製した後、室内で同定を行った。

調査対象は①調査地域内の維管束植物(明らかな植栽種は除く)、②調査地域及び調査地域から目視可能な周辺の植物相とした。重要種等が確認された場合は、その位置及び生育状況を記録した。

また、調査地域の水域に生育(抽水植物、浮葉植物、沈水植物)する高等植物を目視により確認した。




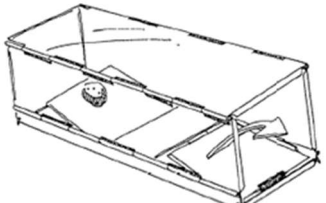
(2) 哺乳類

哺乳類を対象に下表に示す調査を行い、確認された種や痕跡を記録した。重要種等が確認された場合は、その位置及び確認状況を記録した。

トラップの位置は、前回調査を参考に調査地域の哺乳類相を適切に把握できる地点で実施した。

事前に、鳥獣捕獲許可を受け、トラップには、調査目的や連絡先等を示した掲示板（ハガキサイズ程度）を掲げた。

その他、赤外線センサーカメラにより、実個体の目撃が困難な哺乳類を撮影した。

フィールドサイン調査	トラップ調査	赤外線センサーカメラ調査
<p>調査地域を踏査し、生きている個体、死体、フィールドサイン（足跡、糞、食痕など）の確認によって、種を識別し、種名及び確認方法・状況等を記録した。</p> 	<p>ネズミ類など小型の哺乳類を確認する目的で、シャーマントラップを設置し、捕獲により確認した。捕獲した哺乳類については、種名、個体数、確認環境等を記録した後、放逐した。設置数は1地域当たり5～10個とした。設置期間は1晩とした。</p> 	<p>けもの道や水場など哺乳類が利用しそうな場所に赤外線センサーカメラを設置し、カメラの前を通過した哺乳類を撮影した。設置期間は1晩以上とした。</p>

(3) 鳥類

調査地域に生息する鳥類を対象に、下表に示す調査を行い、確認された種を記録した。重要種等が確認された場合は、その位置及び確認状況を記録した。

定点やラインセンサスの位置は、前回調査を参考に調査地域の鳥類相を適切に把握できる地点で実施した。

なお、海老川流域（鳥類）のラインセンサス調査は、海老川の中流域と下流域を分けてルートを設定した。

定点調査	ラインセンサス調査	ICレコーダー調査
<p>あらかじめ定めた定点において約30分間、双眼鏡（8～10倍程度）あるいは望遠鏡を用いた目視、及び鳴き声の確認により種を識別し、種名及び個体数を記録した。調査範囲は調査地域内で定点から視野が確保できる範囲とした。</p>	<p>あらかじめ定めた調査ルートを時速2km程度で歩行しながら、双眼鏡（8～10倍程度）を用いた目視、及び鳴き声の確認により種を識別し、種名及び個体数を記録した。調査範囲は片側25m程度とした。</p> 	<p>主に樹林性で人目に付きにくい種を対象にした。調査開始時に設置、調査終了時に回収し、後日、録音された鳴き声の解析により種を同定した。</p>

(4) 両生類・爬虫類

両生類及び爬虫類を対象に、直接観察調査を行い、確認された種や痕跡を記録した。重要種等が確認された場合は、その位置及び確認状況を記録した。



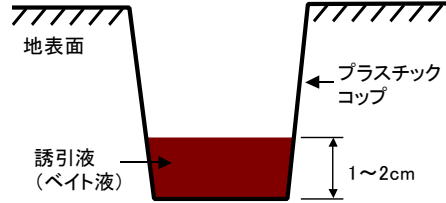
なお、調査については哺乳類のフィールドサイン調査と同時に実施した。

直接観察調査
調査地域を踏査し、生きている個体、死体、抜け殻、鳴声等の確認によって、種を識別し、種名及び確認方法・状況等を記録した。

(5) 昆虫類

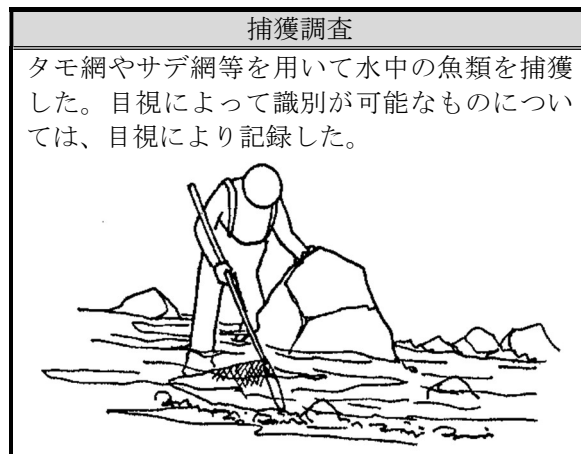
昆虫類を対象に下表に示す調査を行い、確認された種を記録した。重要種等が確認された場合は、その位置及び確認状況を記録した。

ベイトトラップの位置は、前回調査を参考に調査地域の昆虫類相を適切に把握できる地点で実施した。

任意採集法	ベイトトラップ法
<p>調査地域を踏査し、発見した昆虫を捕虫網や手で直接採集した。また、捕虫網により樹木や草の葉をすくうスウィーピング法や、枝葉を叩いて落下する昆虫を採集するビーティング法も併用した。チョウやトンボ、甲虫の一部等目視によって識別が可能なものについては、目視により記録した。</p> <div style="text-align: center;">  <p>【スウィーピング法】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【ビーティング法】</p> </div>	<p>餌を入れた容器（紙コップ、缶、瓶など）を、容器の縁が地表と同じ高さになるように埋め、餌を求めて集まる甲虫やアリなどの地上を歩き回る昆虫を落下させて採集した。餌は腐肉や砂糖水等を用いた。</p> <p>設置数は1地域当たり2箇所（1箇所当たりトラップ10個）を基本として、調査地域の面積や環境に応じて調整した。また、1地域1検体として分析した。</p> <div style="text-align: center;">  <p>地表面</p> <p>プラスチックコップ</p> <p>誘引液（ベイト液）</p> <p>1~2cm</p> </div>

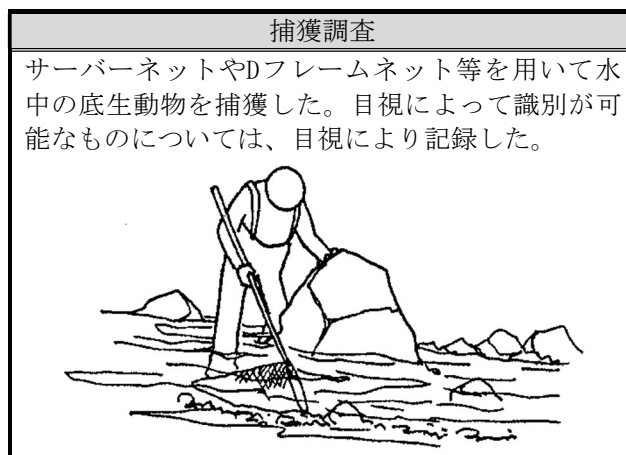
(6) 魚類

魚類を対象に下表に示す捕獲調査を行い、確認された種を記録した。重要種等が確認された場合は、その位置及び確認状況を記録した。



(7) 底生動物

底生動物（水生昆虫類、貝類、甲殻類、環形動物）を対象に下表に示す捕獲調査を行い、確認された種を記録した。重要種等が確認された場合は、その位置及び確認状況を記録した。



(8) 環境要素

各調査地域の環境要素の調査は、湧水の状況や周囲の状況、湧水に依存する生物の有無について記録した。湧水に依存する生物が見られた場合には水温、電気伝導度、pH等についても記録を行った。なお、本調査は生物相の調査時に合わせて実施した。環境要素調査における調査地域位置図を図 1-3 に示す。

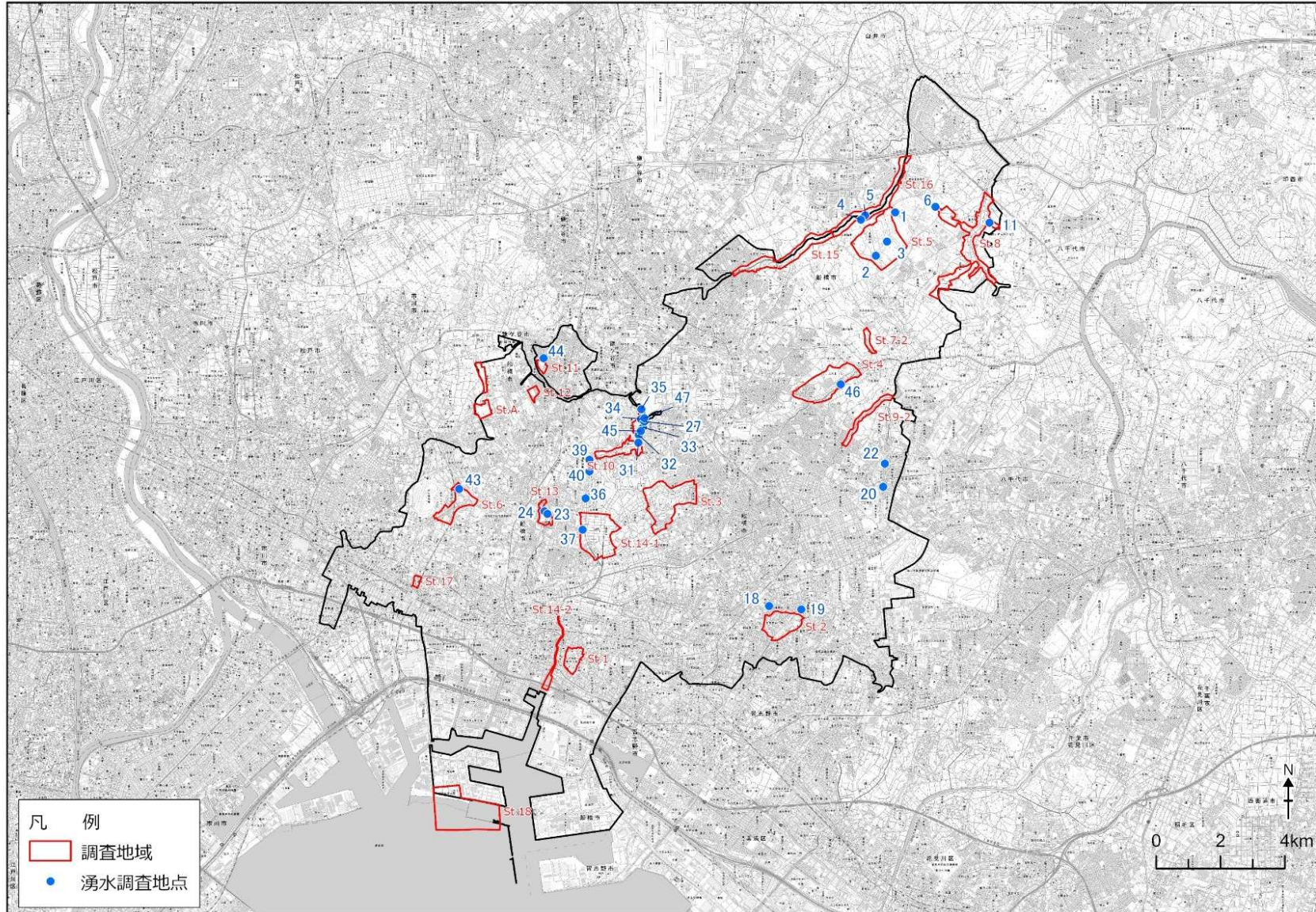


图 1-3 調査地域位置图

(9) 専門補足調査

市民団体より調査実施の要望を受けた地域について、生物相等の実態把握のため、専門補足調査を行った。専門補足調査地域である藤原 3 丁目・4 丁目周辺 (St. A) において、夏季に調査地域内を 2 名程度で踏査し、植生や土地利用状況を記録するとともに、基本的に目視により確認した動植物を記録した。重要種等を確認した際は確認位置や生息・生育状況を記録した。

4) 市民調査手法

(1) 指標種調査

指標種調査については、データの集積方法として Biome アプリ¹を用いたデータ集積と従来より行っている紙やメールによる報告を併用した。多くのデータを集積できるよう、10年に一度の自然環境調査として、キャンペーン的に期間を設定し、広報や市のHP等で大々的に宣伝を行った。



図 1-4 船橋市クエスト画面の例(令和6年度冬季調査)

(2) 環境 DNA 調査

水域に生息する生き物の調査については、調査を行う市民の安全性への配慮及び今後の負担の少ない継続的な調査を目的として、魚類の環境 DNA 調査を採用した。環境 DNA 調査は、市民調査地域のうち St. 5、St. 13、St. 18 の 3 地域を対象として春季と夏季に実施した。環境 DNA 調査を実施した現地調査イベント時に、Biome アプリの使い方などの調査方法のレクチャーと併せて、市民と共同での採水及びサンプリングをはじめとした環境 DNA に関するレクチャーを行った。

¹ Biome アプリとは、スマートフォンのカメラで生物を撮影することで AI による自動種判別が行われ、種同定を行うことができるアプリである。スマートフォンの GPS 機能に紐づいた撮影位置情報の集積が可能であることから、不特定多数のユーザから生物データを位置情報とともに取得できる。株式会社「バイオーム」が提供するアプリケーションである。

2. 自然環境調査結果概要

2.1 専門調査結果

2.1.1 植物

1) 植生の分布図の作成

植生の分布図の作成結果を図 2-1 に示す。

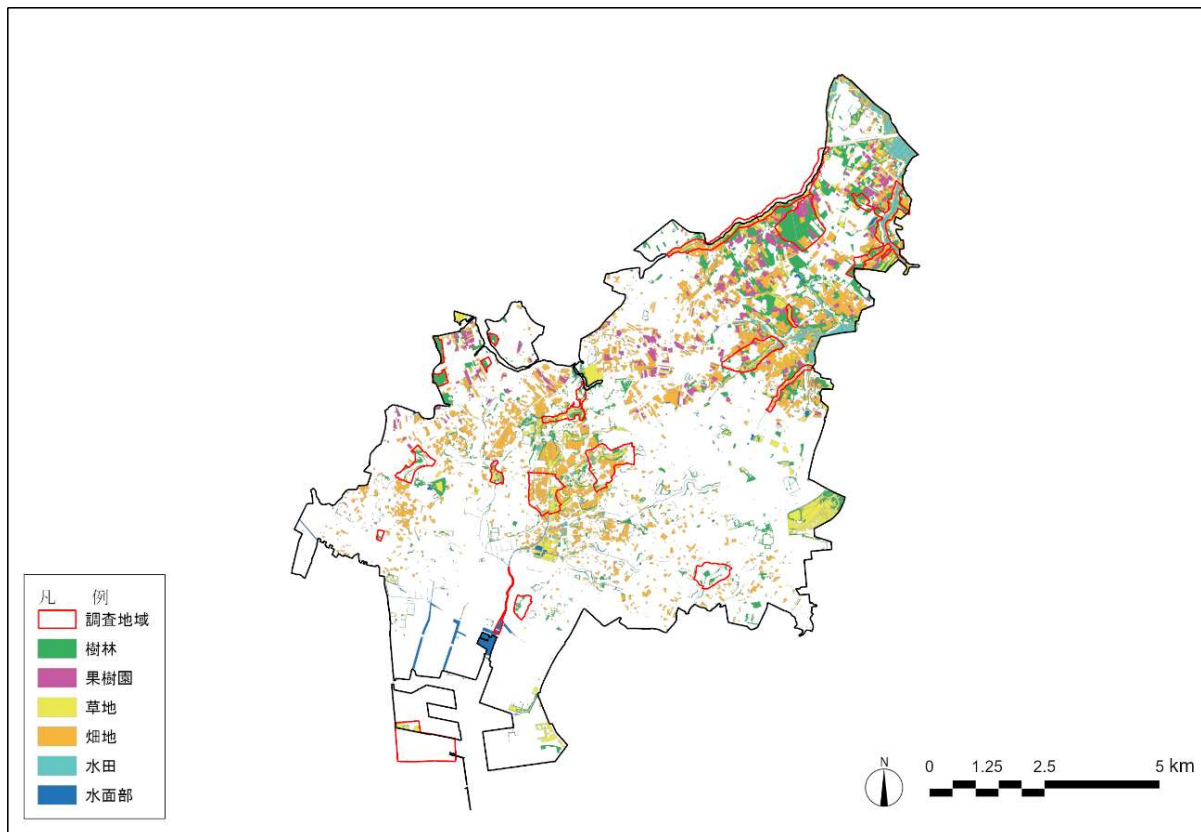


図 2-1 植生の分布図

2) 植生図の作成

植生図の作成結果については、後述する 2.5 船橋市全域及び各調査地域の概況に各調査地域の植生図を示す。

3) 植物相調査

調査の結果、計 141 科 835 種の植物が確認された。そのうち 13 科 18 種の重要種、6 科 8 種の指標種、98 科 297 種の外来種が確認されている。

専門調査地域で確認された種のうち、今回の調査では過年度調査で確認されなかった重要種のトキホコリ、ヌマダイコン、タカアザミなどが新たに確認された。一方で、前々回、前回調査で確認されていた重要種のうちササバギンラン、カタクリ、イトアオスゲなどが確認されていない。

外来種に着目すると、特定外来生物に指定されているオオフサモ、アレチウリ、ナガエツルノゲイトウ、オオカワヂシャ、オオキンケイギクが確認されたが、今回は専門調査地域における確認地域の増加傾向は見られなかった。

今回調査で確認された重要種、指標種は表 2-1 に示すとおりである。

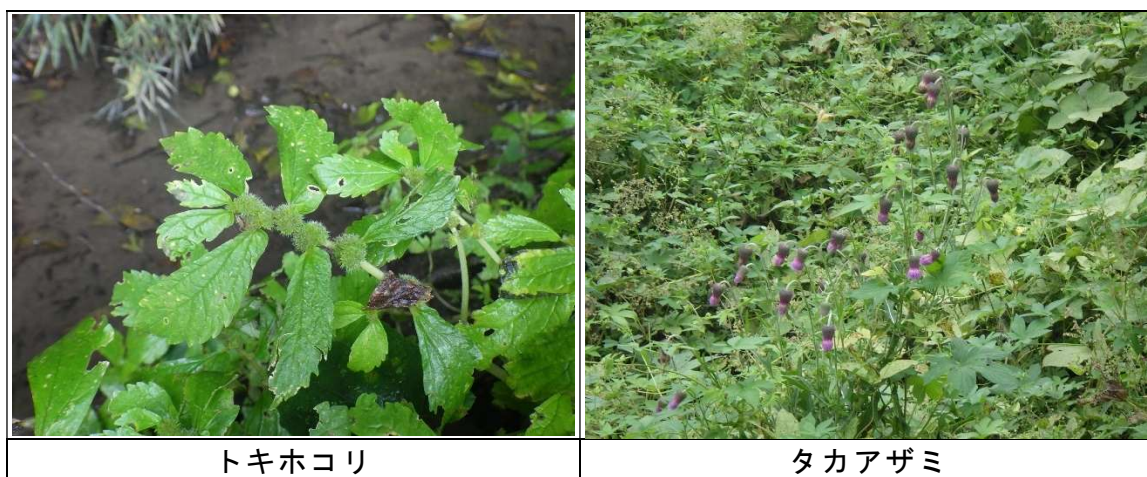


表 2-1 植物専門調査結果(重要種、指標種)

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				非公開
						①	②	③	④	
1	ミズニラ	ミズニラ	●					NT	B	●
2	クスノキ	ニッケイ	●		●			(NT)		
3	センリョウ	センリョウ	●		●				(D)	●
4	サトイモ	ムサシアブミ	●		●				(A)	●
5	ヒルムシロ	ヤナギモ	●						D	
6	ユリ	ヤマユリ		●						
7		タイワンホトトギス	●		●			(VU)		
8		アマナ	●						D	●
9	ラン	シラン	●		●			(NT)	(D)	●
10		エビネ	●	●				NT	D	●
11		キンラン	●	●				NT	D	●
12		マヤラン	●					VU	C	●
13	ガマ	ミクリ	●					NT	D	●
14	カヤツリグサ	ヤブスゲ	●						C	●
15	イネ	ススキ		●						
16	カツラ	カツラ	●		●				(B)	●
17	スグリ	ヤブサンザシ	●						B	●
18	イラクサ	シマナガバヤブマオ	●						B	●
19		トキホコリ	●					NT	B	●
20	クルミ	オニグルミ	●						D	
21	カバノキ	アカシデ	●						D	
22	アカバナ	ムクゲアカバナ	●						B	●
23		ウスゲチョウジタデ	●					NT		
24	ヒユ	ナガエツルノゲイトウ		●	●					
25	オオバコ	カワヂシャ	●					NT		
26	シソ	コムラサキ	●		●				(C)	
27		ホトケノザ		●						
28	キク	ヌマダイコン	●						D	
29		タカアザミ	●						D	
30		オオキンケイギク		●	●					
31		カントウタンポポ		●						
計	20科	31種	25種	8種	9種	0種	0種	8種	16種	15種

注1. 種名、科の配列は、山ノ内崇志・首藤光太郎・大澤剛士・米倉浩司・加藤 将・志賀 隆 (2019)「維管束植物和名チェックリストver. 1.10」に主に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。なお、植栽・逸出種と思われる種については、選定基準記号に () をつけて重要種としてカウントしない。

- ① 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)
特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)
国内: 国内希少野生動植物種 国内(特一): 特定第一種国内希少野生動植物種
国内(特二): 特定第二種国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種
- ③ 「第5次レッドリスト(植物・菌類)の公表について(お知らせ)」(2025年、環境省)
EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、
NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群
()カテゴリー: 植栽・逸出種と判断されたため、重要種としては扱わないこととした
- ④ 「千葉県レッドデータブック 植物・菌類編2023年版」(2025年、千葉県環境生活部自然保護課)
X: 消息不明・絶滅生物、A: 最重要保護生物、B: 重要保護生物、C: 要保護生物、D: 一般保護生物
()カテゴリー: 植栽・逸出種と判断されたため、重要種としては扱わないこととした。

注3. 非公開種については、確認された調査地域に関する情報については非公開とする。

2.1.2 哺乳類

調査の結果、計5目9科12種の哺乳類が確認された。そのうち2目2科2種の重要種、2目2科2種の指標種、3目4科4種の外来種が確認されている。

専門調査地域で確認された種のうち、今回の調査で新たに確認された重要種はなかった。一方で、前々回調査で確認されていた重要種であるニホンリスが確認されていない。

確認された外来種のうち特定外来生物に指定されている種は2種確認され、アライグマ、キョンが確認された。アライグマ、キョンはともに今回調査が初確認である。アライグマは複数の地域で広範囲に確認されており、分布の拡大傾向が示唆された。またキョンは今回調査が船橋市内での初確認事例となった。

今回調査で確認された重要種、指標種は表 2-2 に示すとおりである。



表 2-2 哺乳類専門調査結果(重要種、指標種)

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	モグラ	トガリネズミ	ジネズミ	●						D	
2	ネコ	アライグマ	アライグマ		●	●					
3	ネズミ	ネズミ	カヤネズミ	●	●					D	
計	3目	3科	3種	2種	2種	4種	0種	0種	0種	2種	0種

注1. 種名、科の配列等は、主に「種の多様性調査(専門家調査)対象種一覧」(1997年、環境省)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内: 国内希少野生動植物種 国内(特一): 特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二): 特定第二種国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 I 類、CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編 2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X: 消息不明・絶滅生物、A: 最重要保護生物、B: 重要保護生物、C: 要保護生物、D: 一般保護生物

注3. 非公開種については、確認された調査地域に関する情報については非公開とする。

2.1.3 鳥類

調査の結果、計 15 目 33 科 66 種の鳥類が確認された。そのうち 9 目 15 科 21 種の重要種、5 目 8 科 8 種の指標種が確認されている。なお、今回調査の基準に該当する外来種は確認されなかった。

専門調査地域で確認された種のうち、今回の調査では過年度調査で確認されなかった重要種のコウノチ、ハイタカ、サシバ、フクロウが新たに確認された。一方で、前々回、前回調査で確認されていた重要種のうちスズガモ、ホオジロガモなどのカモ類や、ハヤブサ、オオジュリンなどが今回調査では確認されなかった。

今回調査で確認された重要種は表 2-3 に示すとおりである。

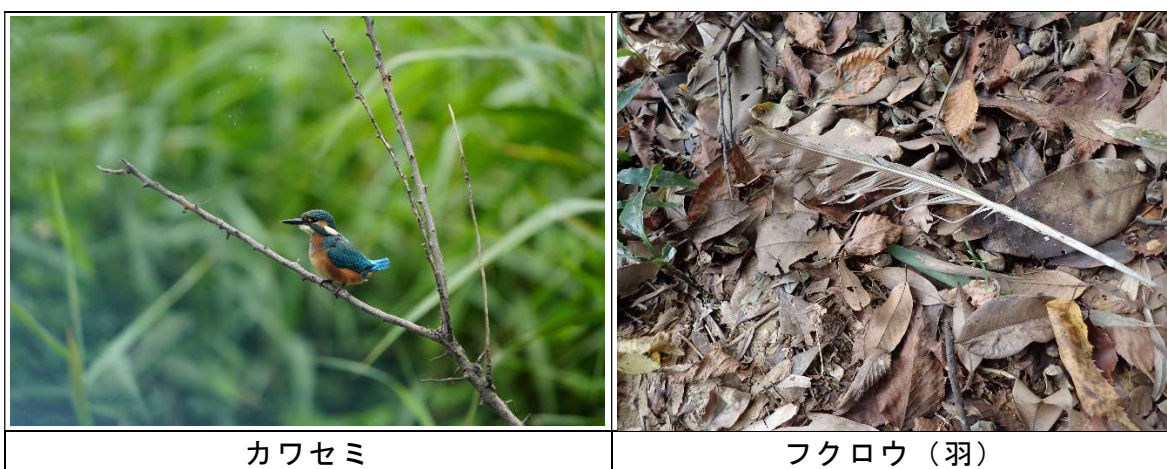


表 2-3 鳥類専門調査結果(重要種、指標種)

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
						①	②	③	④	
1	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	●					C	
2	ツル	クイナ	オオバン	●					C	
3			ヒクイナ	●				NT	A	●
4	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	●					C	
5	チドリ	チドリ	コチドリ	●					B	
6	ペリカン	サギ	ダイサギ	●					D	
7			コサギ	●	●					B
8	タカ	タカ	ツミ	●					D	
9			ハイタカ	●				NT	B	
10			オオタカ	●				NT	C	
11			サシバ	●	●			VU	A	●
12			ノスリ	●						C
13	フクロウ	フクロウ	フクロウ	●					B	●
14	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	●	●				C	
15	キツツキ	キツツキ	コゲラ		●					
16	スズメ	モズ	モズ		●					
17		カラス	カケス	●					D	
18		シジュウカラ	シジュウカラ		●					
19		ヒバリ	ヒバリ	●	●				D	
20		ツバメ	ツバメ		●					
21		ヨシキリ	オオヨシキリ	●					D	
22		セッカ	セッカ	●					D	
23		ヒタキ	キビタキ	●					A	
24		セキレイ	キセキレイ	●					B	
25	ホオジロ	ホオジロ	●					C		
計	10目	19科	25種	21種	8種	0種	0種	4種	21種	3種

注1. 種名、科の配列等は、主に「日本鳥類目録 改訂第8版」(2024年、日本鳥学会)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、

NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 非公開種については、確認された調査地域に関する情報については非公開とする。

2.1.4 両生類

調査の結果、計 1 目 5 科 7 種の両生類が確認された。そのうち 1 目 3 科 4 種の重要種、1 目 1 科 2 種の指標種、1 目 2 科 2 種の外来種が確認されている。

専門調査地域で確認された重要種のうち、前々回調査及び前回調査から引き続き確認されていたトウキョウダルマガエルやシュレーゲルアオガエルの確認地点が減少していた。

確認された外来種のうち特定外来生物に指定されている種としてウシガエルが確認された。また外来種のヌマガエルが今回調査で初確認された。ヌマガエルが確認された地域を中心にトウキョウダルマガエルやシュレーゲルアオガエルの確認が減少していることから、これらの種との競合が懸念される。

今回調査で確認された重要種、指標種は表 2-4 に示すとおりである。



表 2-4 両生類専門調査結果(重要種、指標種)

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
						①	②	③	④	
1	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	●					C	
2		アカガエル	ニホンアカガエル	●	●				A	
3			トウキョウダルマガエル	●	●			NT	B	
4		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	●					D	
計	1目	3科	4種	4種	2種	0種	0種	1種	4種	0種

注1. 種名、科の配列等は、主に「日本産爬虫両生類標準和名リスト」(2025年10月16日、日本爬虫両棲類学会)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内: 国内希少野生動植物種 国内(特一): 特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二): 特定第二種国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 I 類、CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編 2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X: 消息不明・絶滅生物、A: 最重要保護生物、B: 重要保護生物、C: 要保護生物、D: 一般保護生物

注3. 非公開種については、確認された調査地域に関する情報については非公開とする。

2.1.5 爬虫類

調査の結果、計 2 目 7 科 11 種の爬虫類が確認された。そのうち 2 目 5 科 9 種の重要種、2 目 3 科 3 種の指標種、1 目 1 科 1 種の外来種が確認されている。確認された外来種は条件付特定外来生物に指定されているアカミミガメである。

専門調査地域で確認された重要種のうち、今回調査で新たに確認された種はおらず、前々回調査または前回調査で確認されていた重要種であるニホンイシガメやニホンマムシが確認されていない。また、全体的にへび類の確認地域が減少している傾向が確認されている。

今回調査で確認された重要種、指標種は表 2-5 に示すとおりである。



ヒガシニホントカゲ



アオダイショウ

表 2-5 爬虫類専門調査結果(重要種、指標種)

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準		非公開
							①	②	③	④	①	②	
1	カメ	ヌマガメ	アカミミガメ		●	●					条特外	外総緊	
2		スッポン	ニホンスッポン	●					DD	情報不足			
3	有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ	●						D			
4		トカゲ	ヒガシニホントカゲ	●	●						B		
5		カナヘビ	ニホンカナヘビ	●	●						D		
6		ナミヘビ	ジムグリ	●							B		
7			アオダイショウ	●							D		
8			シマヘビ	●							C		
9			ヒバカリ	●							D		
10			ヤマカガシ	●							D		
計	2目	6科	10種	9種	3種	1種	0種	0種	1種	9種	1種	1種	0種

注1. 種名、科の配列等は、主に「日本産爬虫両生類標準和名リスト」(2025年10月16日、日本爬虫両棲類学会)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、

NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 非公開種については、確認された調査地域に関する情報については非公開とする。

2.1.6 昆虫類

調査の結果、計 16 目 194 科 886 種の昆虫類が確認された。そのうち 6 目 22 科 27 種の重要種、5 目 9 科 16 種の指標種、8 目 28 科 33 種の外来種が確認されている。

専門調査地域で確認された種のうち、今回の調査では過年度調査で確認されなかった重要種のオツネトンボ、オオイトトンボなどのトンボ類やアズキヘリカメムシ、シロヘリツチカメムシなどが新たに確認された。一方で、前々回調査や前回調査で確認されていたウマノオバチ、オオサカアオゴミムシなどが今回は確認されなかった。

また、温暖化指標種に指定したクマゼミが今回初確認となったほか、ツマグロヒョウモン及びナガサキアゲハの市域における分布拡大傾向が示唆された。

外来種に着目すると、特定外来生物であるアカボシゴマダラが前回調査から引き続き確認され、分布拡大傾向が示唆されたほか、国立研究開発法人国立環境研究所の侵入生物データベースに記載のあるキマダラカメムシやラミーカミキリも確認されている。

今回調査で確認された重要種、指標種は表 2-6 に示すとおりである。

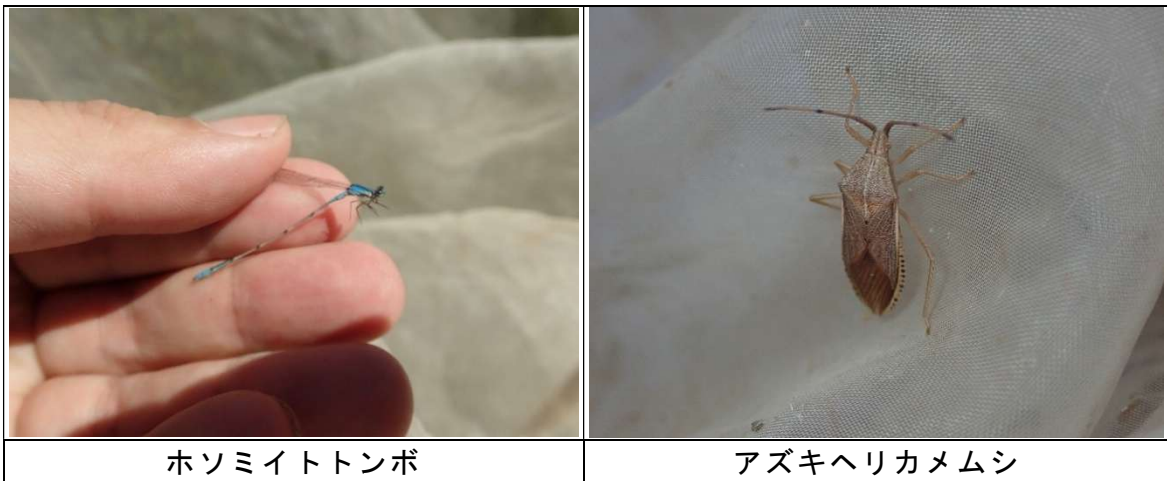


表 2-6 昆虫類専門調査結果(重要種、指標種)

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				非公開	
							①	②	③	④		
1	トンボ	イトトンボ	ホソミイトトンボ	●						B		
2			オオイトトンボ	●						A	●	
3		アオイトトンボ	オツネイトトンボ	●						A	●	
4		サナエトンボ	オナガサナエ	●						B	●	
5			ウチワヤンマ	●						D		
6		ヤンマ	カトリヤンマ	●						B	●	
7			ヤブヤンマ	●						D		
8		オニヤンマ	オニヤンマ		●							
9		トンボ		チョウトンボ	●	●					D	
10				コノシメトンボ	●						D	
11				アキアカネ		●						
12	カマキリ			オオカマキリ		●						
13	カメムシ	セミ	クマゼミ		●							
14			アブラゼミ		●							
15			ツクツクボウシ		●							
16			ミンミンゼミ		●							
17			ニイニイゼミ		●							
18			ヒグラシ		●							
19			キジラミ	エノキカイガラキジラミ	●					NT		
20		ナガカメムシ	ヒメジュウジナガカメムシ	●						D		
21		ヘリカメムシ	アズキヘリカメムシ	●						C		
22		ツチカメムシ	シロヘリツチカメムシ	●					NT			
23	ツノカメムシ	オオツノカメムシ	●						D			
24	コウチュウ	ハンミョウ	コハンミョウ	●						C		
25			オサムシ	ヒメマイマイカブリ	●					D		
26		シデムシ	タナカツヤハネゴミムシ	●					DD	C		
27			ベッコウヒラタシデムシ	●						D		
28			クワガタムシ	ノコギリクワガタ		●						
29		タマムシ	ヤマトタマムシ		●							
30		ホタル	ヘイケボタル	●	●					C		
31		ハムシ	スゲハムシ	●						C		
32		ハチ	コンボウハバチ	ホシアシブトハバチ	●					DD		
33	スズメバチ		モンズメバチ	●					DD			
34	シリアゲムシ	シリアゲムシ	ヤマトシリアゲ	●					D			
35	チョウ	セセリチョウ	オオチャバネセセリ	●						B		
36			ミヤマチャバネセセリ	●						C		
37		アゲハチョウ	ナガサキアゲハ		●							
38		タテハチョウ	ツマグロヒョウモン		●							
39			ゴマダラチョウ	●						C		
40			アカボシゴマダラ名義タイプ亜種		●	●						
41		ヤガ	コシロシタバ	●						NT		
計	7目	27科	41種	27種	16種	1種	0種	0種	6種	22種	4種	

注1. 種名、科の配列等は、主に日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-無脊椎動物編Ⅱ(1995、環境庁)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、

NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 非公開種については、確認された調査地域に関する情報については非公開とする。

※1. 「オオカマキリの卵」が指標種に該当しているため、オオカマキリの記録は指標種として扱った。

※2. 「セミ類の抜け殻」が指標種に該当しているため、セミ科の記録はすべて指標種として扱った。

2.1.7 魚類

調査の結果、計 6 目 10 科 27 種の魚類が確認された。そのうち 4 目 5 科 8 種の重要種、4 目 6 科 10 種の外来種が確認されている。

専門調査地域で確認された種のうち、今回の調査では過年度調査で確認されなかった重要種のビリンゴ、ヤリタナゴが新たに確認された。一方で、前々回調査や前回調査で確認されていたホトケドジョウ、ニゴイ、ナマズなどが今回は確認されなかった。

外来種に着目すると、特定外来生物であるオオクチバスは今回調査で初確認されている。また、特定外来生物のカダヤシ、ブルーギルが前回調査から引き続き確認され、カダヤシは分布拡大傾向が示唆された。

今回調査で確認された重要種は表 2-7 に示すとおりである。



表 2-7 魚類専門調査結果(重要種)

No.	目名	科名	種名	重要種	重要種選定基準				非公開
					①	②	③	④	
1	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	●			EN	C	
2	コイ目	コイ科	ギンブナ	●				D	●
3			ヤリタナゴ	●			NT	B	●
4			モツゴ	●				D	
5		ドジョウ科	ドジョウ類 ^{※1}	●			(NT/DD)		
6	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	●			VU	B	●
7	スズキ目	ハゼ科	ヌマチチブ	●				D	
8			ビリンゴ	●				D	
計	4目	5科	8種	8種	0種	0種	4種	7種	3種

注1. 種名、科の配列等は、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和6年度生物リスト)」(2024年、国土交通省)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、

NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 非公開種については、確認された調査地域に関する情報については非公開とする。

※1. 出典においてドジョウとキタドジョウを区別していない記録は「ドジョウ類」とした。なお、③の選定基準において「ドジョウ」はNT、「キタドジョウ」はDDに該当する。

2.1.8 底生動物

調査の結果、計 6 門 9 綱 25 目 74 科 151 種の底生動物が確認された。そのうち 2 門 4 綱 6 目 13 科 18 種の重要種、2 門 2 綱 2 目 3 科 4 種の指標種、2 門 3 綱 4 目 4 科 4 種の外来種が確認されている。

専門調査地域で確認された種のうち、今回の調査では過年度調査で確認されなかった重要種のオナガサナエ、コマルケシゲンゴロウなどが新たに確認された。なお、前回調査から引き続きマルガタゲンゴロウが確認されており、同種は特定第二種国内希少野生動植物種に指定されている希少種である。一方で、前々回調査や前回調査で確認されていたオオミズスマシ、モノアラガイが今回は確認されなかった。

外来種に着目すると、条件付特定外来生物であるアメリカザリガニが前回調査から引き続き確認され、底生動物調査を実施した全ての調査地域で確認されている。

今回調査で確認された重要種、指標種は表 2-8 に示すとおりである。



表 2-8 底生動物専門調査結果(重要種、指標種)

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	重要種	指標種	重要種選定基準					非公開						
								①	②	③	④								
1	軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	●	●				VU	D							
2					ヒメタニシ		●												
3		二枚貝綱	イシガイ目	イシガイ科	タテボシガイ	●						D							
4	節足動物門	軟甲綱	エビ目		ヌマエビ科	●						A	●						
5					テナガエビ科	●					D								
6					スジエビ	●					D								
7					サワガニ科	●					C				●				
8					モクズガニ科	●					D								
9					昆虫綱	トンボ目(蜻蛉目)		ヤンマ科	●						D				
10								クロスジギンヤンマ	●								D		
11								カトリヤンマ	●					B				●	
12								サナエトンボ科	●					NT				B	●
13								オナガサナエ	●					B					●
14								ホンサナエ	●					B					●
15								オニヤンマ科	●										
16								オニヤンマ	●			●							
17								トンボ科	●									B	
18								アキアカネ	●			●							
19	カメムシ目(半翅目)	コオイムシ科	コオイムシ	●						NT									
20	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	マルガタゲンゴロウ	●				国内(特二)		VU	B	●							
21			コマルケシゲンゴロウ	●						NT	B	●							
22			コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	●						VU	B	●						
23	ガムシ科	コガムシ	●							DD	D	●							
計	2門	4綱	6目	14科	21種	18種	4種	0種	1種	7種	17種	10種							

注1. 種名、科の配列等は、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和6年度生物リスト)」(2024年、国土交通省)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③「環境省レッドリスト20の公表について」(20年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、

NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編29年改訂版」(29年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 非公開種については、確認された調査地域に関する情報については非公開とする。

2.1.9 環境要素

各調査地域の環境要素調査の湧水調査結果を表 2-9 に示す。今回の調査では、新たに No. 45、No. 46、No. 47 の地点で湧水が確認された。一方で、No. 44 など宅地開発などの理由により湧水が消失した地点も存在した。

表 2-9 湧水調査結果一覧

調査 番号	調査 地域	調査地点	湧水の状況											周囲の状況		備考		
			湧水の有無			湧水量 ^{注1)}	色	濁り	匂い	PH	EC (m)	水温(°C)	水の出方	湧水の形状			流出先	立地
			H12	H25	R7									自然	人工			
1	St.5	白幡川右支川(梨畑奥)	有り	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	白幡川	—	私有地のため侵入不可
2	St.5	白幡川(県民の森の泉)	有り	有り	有り	2	無	無	無	6.7	0.09	15.3	流出、滲み出し(湿地)	流水	—	白幡川	樹林地	
3	St.5	白幡川中流(第3キャンプ場下)	有り	有り	有り	2	無	無	無	7.3	0.219	18.6	滲み出し(湿地)	湿地	—	白幡川	樹林地	
4	St.16	福良の泉(白幡神社裏)	有り	有り	有り	4	無	無	無	7.1	0.23	16.1	滲み出し(湿地)	湿地	—	二重川	寺社境内・樹林地	
5	St.16	福良の泉(二重川合流点)	有り	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二重川	—	私有地のため侵入不可
6	St.8	高才川源流(船橋の尾瀬)	有り	有り	有り	2	無	無	無	6.9	0.27	15.6	滲み出し(湿地)	湿地	—	高才川	樹林地	
11	St.8	オスカー牧場下	有り	有り	有り	1	無	無	無	6.9	0.30	16.3	滲み出し(崖・斜面)	流水	—	鈴身川	樹林地	
18	St.2	田喜野井5丁目湿地(二宮中下)	無し	無し	有り	3	茶	有	有	測定不可	測定不可	測定不可	滲み出し(崖・斜面)	—	コンクリ	二宮川	空地	水量少なくPH、EC、水温測定不可
19	St.2	おはなが池(田喜野井6丁目)	不明	不明	有り	8	茶	有	無	8.3	0.39	26.4	不明	—	池・コンクリ	田喜野井川	住宅地	
20	St.9	坪井川(日大理工学部下)	不明	無し	有り	2	無	無	無	7.5	0.24	23	流出	—	水路	坪井川	住宅地	
22	St.9	坪井川中流域	有り	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	坪井川	—	私有地のため侵入不可
23	St.13	長津川調整池内の泉	有り	有り	有り	2	無	無	無	7.7	0.30	16.6	噴出	—	水路(土・岩・コンクリ)	長津川調整池	公園・遊水池等	
24	St.13	長津川調整池内の泉脇	有り	有り	有り	2	無	無	有	7.4	0.318	18.1	流出	—	水路(土)	長津川調整池	公園・遊水池等	
27	St.10	金杉川(体育館下)	有り	有り	有り	1	無	無	無	6.8	0.29	17.1	滲み出し(湿地)	湿地	—	金杉川	湿地・霊園	
31	St.10	北谷津川①金杉市民の森下	有り	無し	無し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	北谷津川	—	
32	St.10	金杉川②汚水処理施設対岸	有り	有り	有り	2	無	無	無	6.6	0.27	16.5	不明	—	水路(土・板)	金杉川	農地・湿地	
33	St.10	金杉川③馬込第3調整池前の湿地	無し	無し	無し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	金杉川	—	湧水なし
34	St.10	金杉川右支川④馬込第2調整池下の湿地	無し	無し	無し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	金杉川右支川	—	湧水なし
35	St.10	金杉川右支川⑤中流	有り	有り	無し	—	—	—	—	—	—	—	滲み出し(湿地)	湿地	—	金杉川右支川	湿地・霊園	湧水なし
36	St.14-1	夏見緑地①医療センター駐車場脇	有り	無し	有り	—	無	無	無	6.9	0.325	14.3	—	—	—	北谷津川	—	既存湧水地点に船橋市立リハビリテーション病院が立地している
37	St.14-1	夏見緑地②スポーツ広場脇	有り	有り	無し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	北谷津川	—	
39	St.14-1	夏見の泉	有り	有り	無し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	北谷津川	—	
40	St.14-1	運動公園下(テニスコート下)	有り	有り	無し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	北谷津川	—	
43	St.6	上山公園	—	有り	無し	—	—	—	—	—	—	—	噴出	湿地	—	葛飾川	公園・遊水池等	湧水なし
44	St.11付近	(株)つるおか新聞船橋馬込沢西部店の裏	—	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	滲み出し(崖・斜面)	湿地	—	大柏川	樹林	宅地開発により地点消失
45	St.10	R7年度新規地点	—	—	有り	1	無	無	無	6.8	0.30	16.6	噴出	湿地	—	北谷津川	湿地・霊園	
46	St.4	R7年度新規地点	—	—	有り	1	無	無	無	7.0	0.32	16.5	噴出	流水	—	木戸川	河川内	
47	St.10	R7年度新規地点	—	—	有り	2	無	無	無	7.3	0.25	15.4	噴出	湿地	—	北谷津川	湿地・霊園	

注1 湧水量は以下の8段階に分け、番号を記入した

1: 流れがあって手ですくえる。(手からすぐあふれる) 2: 流れがあって手ですくえる。 3: 流れがあるが手ですくえない。 4: 流れがなく手ですくえない。 5: 水の形跡のみ・枯渇 6: 伝承のみ 7: 不明 8: その他

2.1.10 専門補足調査

夏季に実施した専門補足調査の結果、植物 82 科 242 種、哺乳類 2 目 2 科 2 種、鳥類 6 目 12 科 12 種、爬虫類 1 目 1 科 1 種、昆虫類 11 目 67 科 142 種が確認された。

重要種はオオタカ、ホトトギス、ニホンヤモリ、ゴマダラチョウ等 11 種が確認された。

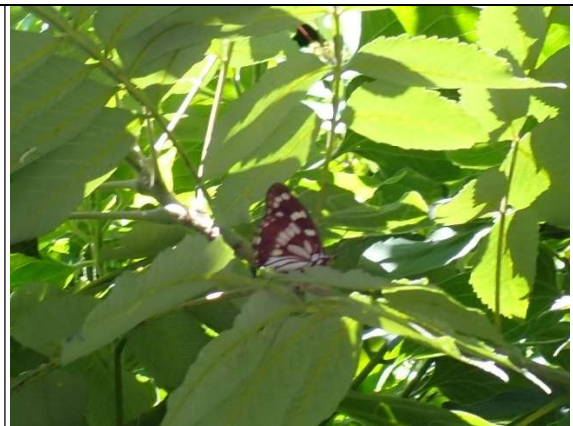
指標種はススキ、コゲラ、シジュウカラ、オオカマキリ、アブラゼミ、ヤマトタムシ、アカボシゴマダラ等 14 種が確認された。

外来種は植物を中心に合計 76 種が確認されており、アメリカオニアザミ、ムネアカハラビロカマキリや、特定外来生物のアカボシゴマダラが確認された。在来種のゴマダラチョウとの競合の可能性が懸念される。

St. A は落葉広葉樹の二次林や針葉樹からなる樹林を主体とする調査地域であるが、周辺に住宅地や耕作地が存在する環境を反映し、オオタカ、コゲラといった樹林性の種に加え、草地環境を利用するコノシメトンボやモンスズメバチといった種も確認された。St. A は住宅地の中の孤立した樹林でありながら、猛禽類やその餌となる鳥類や小動物が生息していることから、周辺環境との広域の生態系ネットワークが構築されている環境であることが推察される。



チョウゲンボウ



ゴマダラチョウ

2.2 市民調査結果

2.2.1 指標種調査結果

指標種調査については、いきものコレクションアプリ「Biome」による調査及び紙の調査報告(以下紙報告という。)を受け付けることで市民調査地域、ひいては船橋市全域における指標種データを集積した。

Biome アプリと紙報告を合わせて 36 種の指標種が市民調査地域内で確認された。

また、市民調査地域内ではセミ類(アブラゼミ、ニイニイゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミ)が最も多くの市民調査地域(8 地域)で確認されており、St. 13 が最も多くの種(19 種)が確認されている。

Biome アプリによる投稿及び紙報告を統合した指標種の市民調査地域別確認結果を表 2-10 及び表 2-11 に示す。

表 2-10 船橋市全域における指標種の確認結果

分類群	指標種	市民調査地域内	市民調査地域外
植物	ヤマユリ	○	○
	ススキ	○	○
	カントウタンポポ	○	○
	ホトケノザ	○	○
	オオキンケイギク	○	○
	キンラン	○	○
	エビネ	○	○
	ナガエツルノゲイトウ	○	○
	シャジクモ類	—	—
	イチョウウキゴケ	—	—
哺乳類	アライグマ	—	○
	カヤネズミ	—	—
鳥類	コゲラ	○	○
	ツバメ	○	○
	モズ	○	○
	ミヤコドリ	○	○
	コサギ	○	○
	ヒバリ	○	○
	サシバ	○	○
	シジュウカラ	○	○
	カワセミ	○	○
	ダイゼン	○	○

分類群	指標種	市民調査地域内	市民調査地域外
爬虫類	アカミミガメ	○	○
	ニホンカナヘビ	○	○
	ヒガシニホントカゲ	○	○
両生類	ニホンアカガエル	—	○
	トウキョウダルマガエル	○	○
昆虫類	アキアカネ	○	○
	オオカマキリ	○	○
	セミ類	○	○
	オニヤンマ	○	○
	クマゼミ	○	○
	チョウトンボ	○	—
	ノコギリクワガタ	○	○
	ヤマトタマムシ	○	○
	ヘイケボタル	○	○
	ナガサキアゲハ	○	—
	アカボシゴマダラ	○	○
	ツマグロヒョウモン	○	○
	底生動物	タニシ類(マルタニシ、ヒメタニシ)	—
計		34 種	34 種

※○は確認された指標種

表 2-11 船橋市全域における生物データの投稿件数

データの種類	投稿されたエリア	種数				件数				合計 件数
		冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	
指標種(33種)	市民調査地域内	11	14	14	18	98	161	101	33	1,017
	市民調査地域外	11	22	23	18	82	148	321	73	
指標種以外 (2,032種)	市民調査地域内	194	535	239	182	504	1,499	510	353	9,027
	市民調査地域外	249	823	888	632	493	2,105	2,288	1,275	

2.2.2 環境 DNA 調査結果

St.5, St.13、St.18 に春季、夏季に実施した環境 DNA 調査結果を以下に示す。

3 調査地域 2 季節の調査では、合計で 12 目 22 科 42 種の魚類が確認された。うち重要種は 3 目 3 科 5 種、外来種は 3 目 4 科 6 種であり、特定外来生物としてはカダヤシが確認されている。地域別の比較では干潟、浅海域に該当する St.18 三番瀬の確認種数が最も多く、海域及び汽水域の種で構成されている。また、内陸側の St.5 県民の森では種数が最も少ない結果となった。

環境 DNA 調査結果概要を表 2-12 に示す。

表 2-12 環境 DNA 調査結果概要

調査地域	St.5 県民の森周辺 4種	St.13 長津川調節池・ 長津川緑地 20種	St.18 三番瀬 39種
確認種など	コイ科の1種、ドジョウ(中国大陸系統)など	オイカワ、ニホンウナギ、 <u>カダヤシ</u> 、スズキ、スミウキゴリなど	ビリンゴ、イシガレイ、クロダイ、ニホンウナギ、コノシロなど

※太字は重要種、下線は特定外来生物

2.3 船橋市の指標種の分布状況

船橋市全域における指標種の分布状況及び過年度調査との比較結果を表 2-13 に示す。

2.3.1 指標種確認結果

専門調査地域及び市民調査地域内で 38 種の指標種が確認された。

指標種のうち重要種はイチョウウキゴケ、シャジクモの 2 種を除く 16 種が確認された。重要種の中でもキンラン、ヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビといった住宅地や公園緑地でも確認されるような種は比較的多くの調査地域で確認されているが、ヘイケボタルやトウキョウダルマガエル、カヤネズミ、サシバといった谷津環境や河川沿い湿地の指標となる重要種は比較的自然環境が豊かな調査地域のみでの確認であった。

外来種は指標種として選定した 5 種全種(ナガエツルノゲイトウ、オオキンケイギク、アカミミガメ、アカボシゴマダラ、アライグマ)が確認された。中でもアカミミガメ、アカボシゴマダラ、アライグマについては調査地域の過半数で確認されており、船橋市全域に分布が広がっていることが示唆される。また、ナガエツルノゲイトウ、オオキンケイギクについても複数地域で確認されている。

2.3.2 船橋市内の指標種の経年変化

船橋市全域における指標種の確認状況は、前々回調査時が 31 種、前回調査時は 33 種、今回調査時が 38 種であった。種数は前々回調査、前回調査、今回調査にかけて増加傾向にあるが、主な増加要因としては指標種として選定した外来種(アライグマやナガエツルノゲイトウ等)や温暖化指標種(クマゼミ、ツマグロヒョウモン、ナガサキアゲハ)の分布拡大が挙げられる。

なお、クマゼミ、サシバ、アライグマは今回調査が初確認の種となる。クマゼミは上述の通り温暖化の指標種に位置づけられており、船橋市内で分布域を拡大している可能性がある。船橋市内の生態系が温暖化の影響を受けている可能性があるため、今後の動向を注視するべきであると考えられる。

サシバは谷津田の指標種に位置づけられており、谷津環境に生息する爬虫類や両生類を餌として確保するために谷津田に飛来することが知られている。同種についても引き続き今後の動向を注視するべきであると考えられる。

アライグマは特定外来生物であり、カエル類を始めとした在来種を捕食することから、生態系に大きな影響を与える可能性が高い。アライグマは全調査地域のうちおよそ半数の地域で足跡等の痕跡が見つかっていることから、船橋市にて全域的に分布を拡大していることが伺える。船橋市における生態系の脅威として、今後の動向も引き続き注視するべきである。

表 2-13 専門調査及び市民調査で確認された指標種の過年度調査結果との比較結果

No.	分類群	種名	重要種	外来種	調査地域内			船橋市全域			確認状況
					前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	
1	植物	ヤマユリ			○	○	○	○	○	○	○
2	植物	エビネ	●		○	○	○	○	○	○	○
3	植物	キンラン	●		○	○	○	○	○	○	○
4	植物	ススキ			○	○	○	○	○	○	○
5	植物	ナガエツルノゲイトウ		●		○	○		○	○	○
6	植物	ホトケノザ			○	○	○	○	○	○	○
7	植物	オオキンケイギク		●		○	○		○	○	○
8	植物	カントウタンポポ				○	○		○	○	○
9	植物	シヤジクモ	●		○			○			△
10	植物	イチョウウキゴケ	●		○			○			△
11	哺乳類	カヤネズミ	●		○	○	○	○	○	○	○
12	哺乳類	アライグマ		●			○			○	◎
13	鳥類	コサギ	●		○	○	○	○	○	○	○
14	鳥類	ダイゼン	●		○		○	○		○	○
15	鳥類	ミヤコドリ	●		○		○	○		○	○
16	鳥類	サシバ	●				○			○	◎
17	鳥類	カワセミ	●		○	○	○	○	○	○	○
18	鳥類	コゲラ			○	○	○	○	○	○	○
19	鳥類	モズ			○	○	○	○	○	○	○
20	鳥類	シジュウカラ			○	○	○	○	○	○	○
21	鳥類	ヒバリ	●		○	○	○	○	○	○	○
22	鳥類	ツバメ			○	○	○	○	○	○	○
23	爬虫類	アカミミガメ(ミシシippiaアカミミガメ)		●	○	○	○	○	○	○	○
24	爬虫類	ヒガシニホントカゲ	●		○	○	○	○	○	○	○
25	爬虫類	ニホンカナヘビ	●		○	○	○	○	○	○	○
26	両生類	ニホンアカガエル	●		○	○	○	○	○	○	○
27	両生類	トウキョウダルマガエル	●		○	○	○	○	○	○	○
28	昆虫類	オニヤンマ			○	○	○	○	○	○	○
29	昆虫類	チョウトンボ	●		○	○	○	○	○	○	○
30	昆虫類	アキアカネ			○	○	○	○	○	○	○
31	昆虫類	オオカマキリ			○	○	○	○	○	○	○
32	昆虫類	クマゼミ					○			○	◎
33	昆虫類	セミ類(アブラゼミ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ヒグラシ)			○	○	○	○	○	○	○
34	昆虫類	ツマグロヒョウモン				○	○		○	○	○
35	昆虫類	アカボシゴマダラ		●		○	○		○	○	○
36	昆虫類	ナガサキアゲハ				○	○		○	○	○
37	昆虫類	ノコギリクワガタ			○	○	○	○	○	○	○
38	昆虫類	ヤマトタムシ			○	○	○	○	○	○	○
39	昆虫類	ヘイケボタル	●		○	○	○	○	○	○	○
40	底生動物	タニシ類(マルタニシ、ヒメタニシ)	●		○	○	○	○	○	○	○
計		40種	18種	5種	31種	33種	38種	31種	33種	38種	40種

注1) 前々回調査及び前回調査時に確認されていない種：◎、前々回調査及び前回調査時から継続して確認されている種：○。前々回調査及び前回調査時と比較して今回確認されていない種：△として記載
 注2) タニシ類はマルタニシのみ重要種である。

2.4 その他の調査結果

市域における生物の取りまとめに当たり、船橋大神宮および三番瀬の調査結果を追加で取りまとめている。以下にそれらの調査結果を示す。

2.4.1 船橋大神宮の調査結果

東邦大学理学部生命圏環境科学科の学生が令和5～6年度に実施した「船橋大神宮生態調査プロジェクト」の調査結果について、再整理を行い、自然環境調査結果に追加した。調査結果概要を表2-14に示す。

当該プロジェクトは、東邦大学理学部生命圏環境科学科に設置されている社会課題を解決するために主体的に取り組む学生を支援する生命圏・フューチャー・センターのプロジェクト活動の一つである。1,900年以上の歴史を持つ意富比神社（船橋大神宮）における動植物調査を行うことで船橋大神宮に生息する動植物の種組成を明らかにし、船橋大神宮を国が認定を行う自然共生サイト²への登録を目的として実施された。なお、意富比神社（船橋大神宮）は令和7年9月に、船橋市で初めて自然共生サイトとして認定された。

表 2-14 船橋大神宮調査結果概要

調査地域	船橋大神宮周辺(St. 1)
確認種など	植物：86科233種(うち重要種5種)：コバノヒノキシダ、ヤマユリなど 鳥類：3目13科15種(うち重要種0種)：コゲラ、モズなど 爬虫類：1目2科2種(うち重要種2種)：ニホンヤモリ、ニホンカナヘビ 昆虫類：8目38科51種(うち重要種1種)：ホソミイトトンボ、オオカマキリなど

※太字は重要種

2.4.2 三番瀬の調査結果

1) 三番瀬の調査結果

今回実施した自然環境調査結果(Biome 及び紙報告による市民調査、魚類環境 DNA 調査)並びに千葉県実施の三番瀬自然環境調査結果(以下、千葉県委託調査)、そのほか三番瀬環境学習館の調査結果(以下、環境学習館調査)から、ふなばし三番瀬海浜公園とその周辺の生物相について整理を行った。自然環境調査以外で採用した文献を表2-15に示す。調査結果概要を表2-16に示す。

三番瀬は、他調査地域と比較して海域特有の種が数多く確認されている。植物ではハマナスやシャリンバイといった海浜植生が確認されており、鳥類ではハマシギやダイゼンといった干潟に生息するシギ、チドリ類等が確認されている。三番瀬は市内でも干潟、海域の生態系を考慮するうえで重要な地域となっている。中でも今回調査で

² 令和5年度から環境省が開始した「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として、認定する制度。

は市民より国の天然記念物に指定されているコウノトリの飛来が報告されており、コウノトリをはじめとした貴重な鳥類も飛来していることが確認された。

一方で、特定外来生物の侵入も確認されている。鳥類ではガビチョウ、クモ類ではセアカゴケグモが三番瀬で新たに確認されており、これら特定外来生物の動向は引き続き注視する必要がある。また、20年以上続く傾向であるが、閉鎖性の海域である東京湾に位置する三番瀬では、青潮が年に数回発生している。青潮の発生については直接的な漁業被害は報告されていないものの、千葉県委託調査では青潮によって引き起こされる水塊の貧酸素化によって稚貝のへい死が確認されるなど、生態系に間接的な影響を与えていることが確認されている。

表 2-15 三番瀬調査文献名、調査名、年度等

調査種別	分類	資料名	調査年度
千葉県委託調査	鳥類	平成 14 年度 千葉県委託調査 鳥類補完調査	H13 ～14
		平成 25 年度 三番瀬鳥類個体数経年調査	H25
		令和 6 年度 三番瀬鳥類個体数経年調査	R6
	魚類	平成 14 年度 三番瀬海生生物現況調査 (魚類着底状況)	H14
		平成 19 年度 三番瀬海生生物現況調査 (魚類着底状況)	H19
		海生生物現況調査(稚魚生息状況調査)業務委託	H27
	底生動物	平成 14 年度 三番瀬海生生物現況調査 (底生生物及び海域環境)	H14
		平成 18 年度 三番瀬海生生物現況調査 (底生生物及び海域環境)	H18
		海生生物現況調査(底生生物及び海域環境)調査業務委託	H26
環境学習館調査	鳥類	2024 年三番瀬鳥類モニタリング結果	R6
		2025 年三番瀬鳥類モニタリング結果	R7
	魚類 底生動物	2024 年三番瀬で確認された水生生物一覧	R6
		2025 年三番瀬で確認された水生生物一覧	R7
		三番瀬干潟調査 R6 「校外学習で見つけた生き物」	R6
		三番瀬干潟調査 R7 「校外学習で見つけた生き物」	R7

表 2-16 三番瀬調査結果概要

調査地域	三番瀬(St. 18)
確認種など	植物：23科29種(うち重要種2種)：ハマナス、オニグルミなど 鳥類：13目37科118種(うち重要種53種)：カンムリカイツブリ、コウノトリ、ミヤコドリ、ダイゼン、 <u>ガビチョウ</u> など 爬虫類：2目3科3種(うち重要種1種)：ニホンカナヘビ、 <u>アカミミガメ</u> など 昆虫類：7目19科21種(うち重要種2種)：ハマベゾウムシ、ヒョウタンゴ Mumシ、 <u>アカボンゴマダラ</u> など 魚類：13目35科72種(うち重要種7種)：モツゴ、ニホンウナギなど 底生動物：9門18綱45目113科177種(うち重要種20種)：アカテガニ、オオノガイ、 <u>カワグチツボ</u> など その他分類群：コアマモ、 <u>セアカゴケグモ</u> など

※太字は重要種、下線は特定外来生物または条件付特定外来生物

2) 三番瀬の環境の変化について

鳥類の個体数については、今回の確認個体数は前回調査の約半数にとどまった。確認個体数減少の要因については引用文献内でも直接的な言及はないが、千葉県委託調査では世界的な生息環境の悪化が三番瀬の鳥類の個体数にも影響を与えている可能性がある」と指摘されている。

魚類については、全国的な海水温の上昇によるイシガレイの稚魚個体数の減少などの影響が確認されている。また、魚類の生息環境を提供するアオサやオゴノリといった海草藻類も減少しており、ニクハゼやマゴチといった魚類の三番瀬での稚魚の確認個体数が減少している。海草藻類の減少については、三番瀬近傍で確認されている窒素、リンといった栄養塩の減少傾向が影響している可能性がある。

底生動物については、2011年3月の東日本大震災によって底質が変化している現象が確認されており、これによりアサリの着底環境となるシルト・粘土分(粒子が小さいため、津波等で沖合に流されやすい)が津波により流出した可能性がある」とされている。また、地盤沈下により波高が高くなったことも、底生動物の着底環境に影響を与えている可能性が示唆されている。環境学習館調査では、干潟に生息するアカテガニやクロベンケイガニといった重要種のほか、環境省及び愛媛県や福岡県のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されているゴマフダマ等の希少な重要種も確認されている。一方でホンビノスガイをはじめとした侵略的な外来種も前々回、前回調査と同様確認されている。

2.5 船橋市全域及び各調査地域の概況

船橋市全域における土地利用や今回調査の確認種数といった船橋市全域の概況及び専門調査地域及び市民調査地域の地域ごとの概況を以下に示す。

2.5.1 土地利用の変化

植生の分布図を用いて、前回調査(平成26年度)から今回調査(令和6年度)までの船橋市全域の土地利用の変化を整理した。船橋市全域の面積の変化を図2-2、図2-3、表2-17にそれぞれ示す。また、植生の分布図を図2-4に示す。

船橋市では、樹林、果樹園、畑、水田の面積が前回調査時と比較して減少し、草地の面積が増加している傾向が見られた。特に水田については前回調査時と比較して約350,000㎡(26.5%)の減少が見られた。

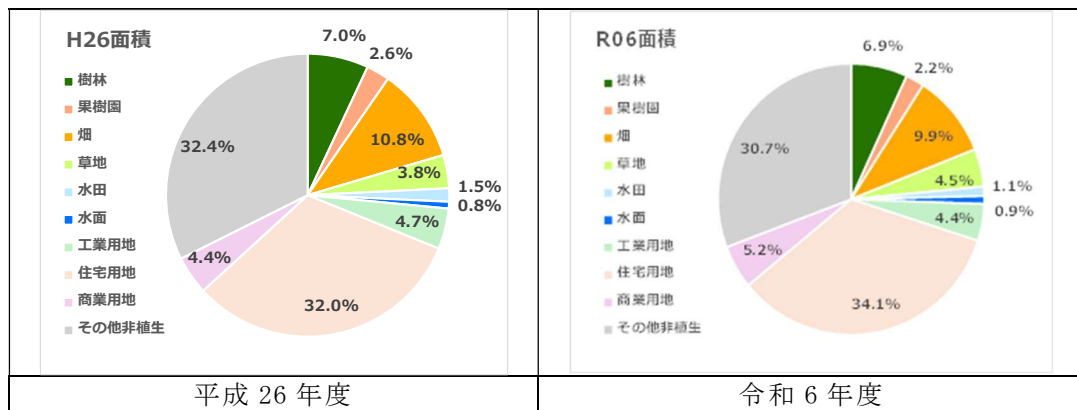


図 2-2 市域における土地利用の変化

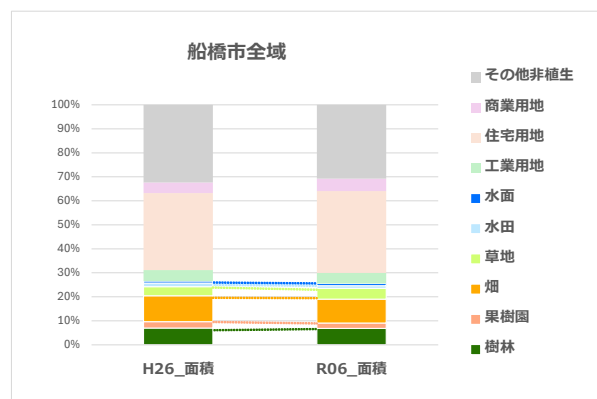
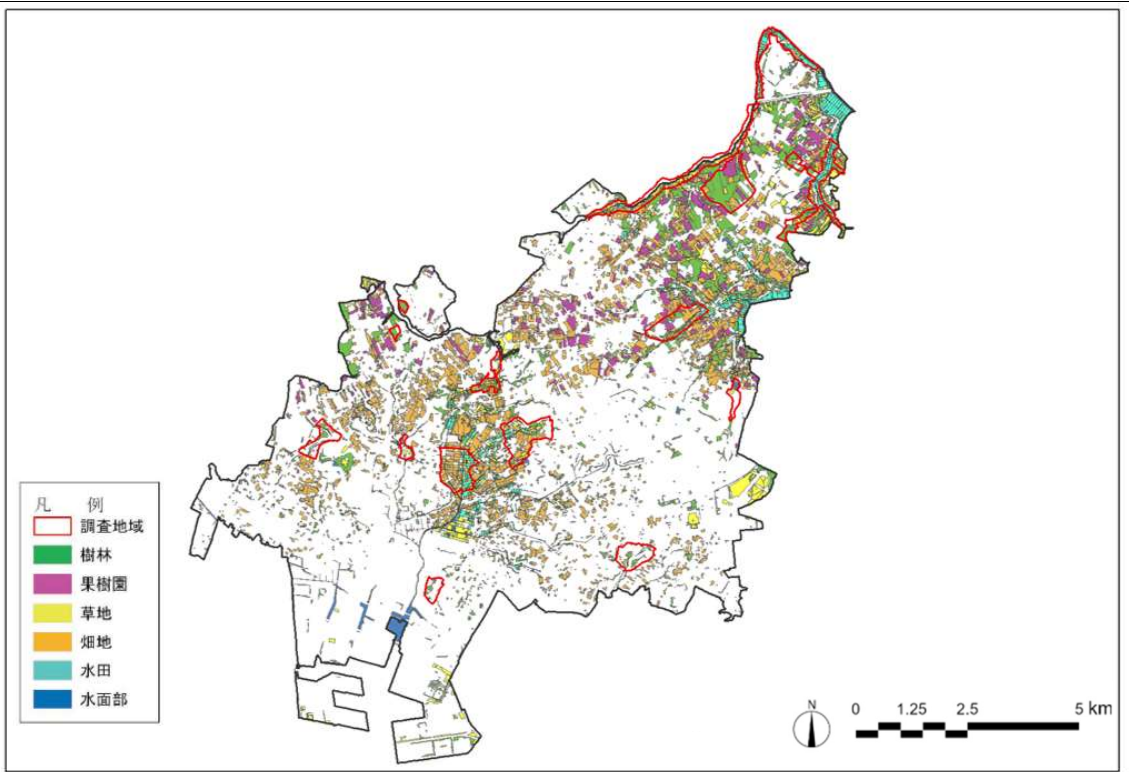


図 2-3 市域における土地利用の変化(棒グラフ)

表 2-17 市域における土地利用の変化(面積)

分類	H26面積(m ²)	R06面積(m ²)	増減
樹林	5,968,828	5,878,167	↘減少
果樹園	2,271,826	1,916,037	↘減少
畑	9,266,572	8,506,731	↘減少
草地	3,264,811	3,861,142	↗増加
水田	1,303,669	959,469	↘減少
緑地合計	22,075,705	21,121,546	↘減少
水面	664,970	801,256	↗増加
他(非植生)	63,009,904	63,827,777	↗増加
工業用地	3,989,059	3,765,429	↘減少
住宅用地	27,468,152	29,243,708	↗増加
商業用地	3,779,580	4,467,162	↗増加
その他非植生	27,773,113	26,351,478	↘減少
合計	85,750,579	85,750,579	—

平成
26
年度



令和
6
年度

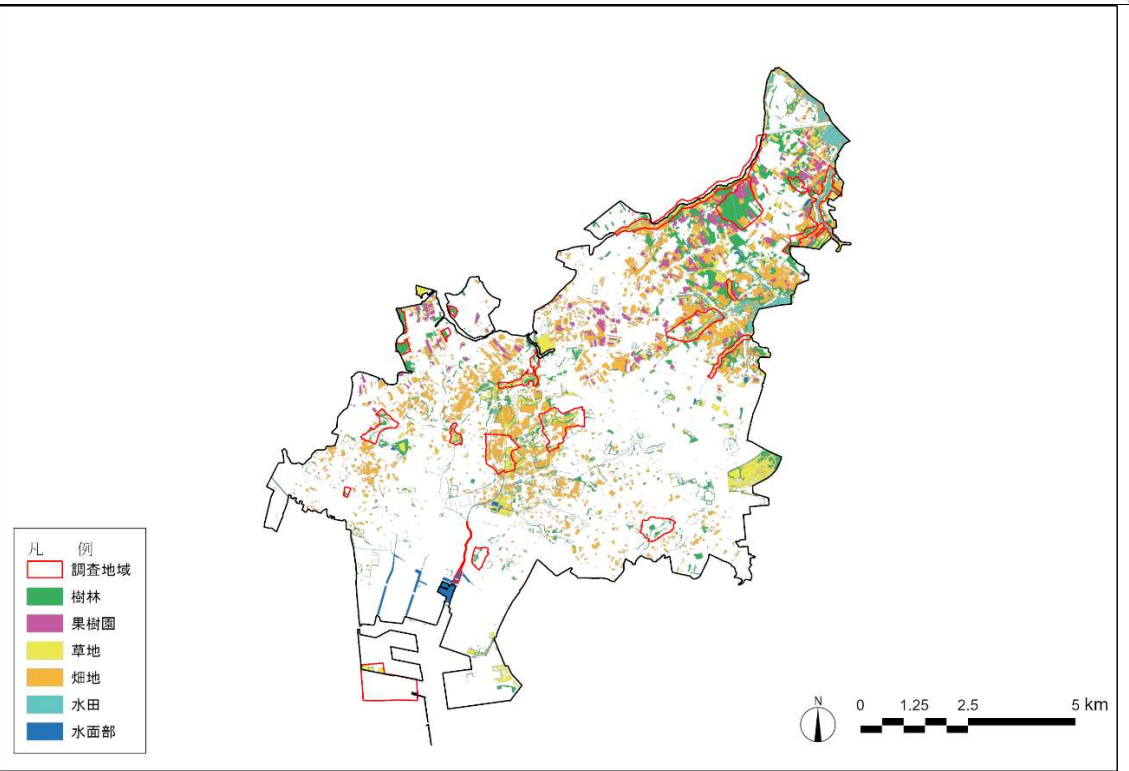


図 2-4 植生の分布図

2.5.2 確認種数の変化

調査地域数が異なるため(前回調査は16地域、今回調査は専門調査地域10地域を集計)、確認種数全体の単純な比較は難しいが、今回調査における確認種数のほうが多い結果となった。

外来種に関しては、各調査地域において、前回調査で確認されなかった種が多く確認されており、外来種数の増加及び分布の拡大が確認されている。

表 2-18 確認種数の変化

項目	前々回(参考)	前回(16 調査地域)	今回	
			専門調査結果 専門調査地域 10 地域	※参考 船橋市全域の調査結果 専門調査地域 10 地域 市民調査地域 8 地域および市全域 船橋大神宮の調査結果 三番瀬の調査結果
植物	146 科 989 種	144 科 882 種 (外 : 291 種)	141 科 835 種 (外 : 297 種)	160 科 1097 種 (外 : 479 種)
哺乳類	5 目 7 科 8 種	5 目 8 科 11 種 (外 : 2 種)	5 目 9 科 12 種 (外 : 4 種)	5 目 9 科 12 種 (外 : 4 種)
鳥類	13 目 32 科 68 種	14 目 33 科 81 種 (外 : 0 種)	15 目 33 科 66 種 (外 : 0 種)	17 目 42 科 144 種 (外 : 1 種)
両生類	1 目 4 科 6 種	1 目 4 科 6 種 (外 : 1 種)	1 目 5 科 7 種 (外 : 2 種)	1 目 5 科 7 種 (外 : 2 種)
爬虫類	2 目 7 科 11 種	2 目 8 科 13 種 (外 : 1 種)	2 目 7 科 11 種 (外 : 1 種)	2 目 7 科 11 種 (外 : 1 種)
昆虫類	13 目 144 科 658 種	15 目 175 科 851 種 (外 : 1 種)	16 目 194 科 886 種 (外 : 33 種)	16 目 203 科 933 種 (外 : 33 種)
魚類	3 目 5 科 7 種	8 目 13 科 28 種 (外 : 10 種)	6 目 10 科 27 種 (外 : 10 種)	17 目 41 科 98 種 (外 : 16 種)
底生動物	10 目 18 科 21 種	25 目 68 科 145 種 (外 : 3 種)	25 目 74 科 151 種 (外 : 4 種)	25 目 75 科 153 種 (外 : 4 種) (三番瀬)46 目 114 科 177 種 (外 : 11 種)

注 1 : 前回調査及び今回調査における () 内の数は外来種の確認数

2.5.3 専門調査地域の概況

各専門調査地域の概要と植生の変化を表 2-19～表 2-30 に示す。

表 2-19(1) 調査地域概要 (St. 3)

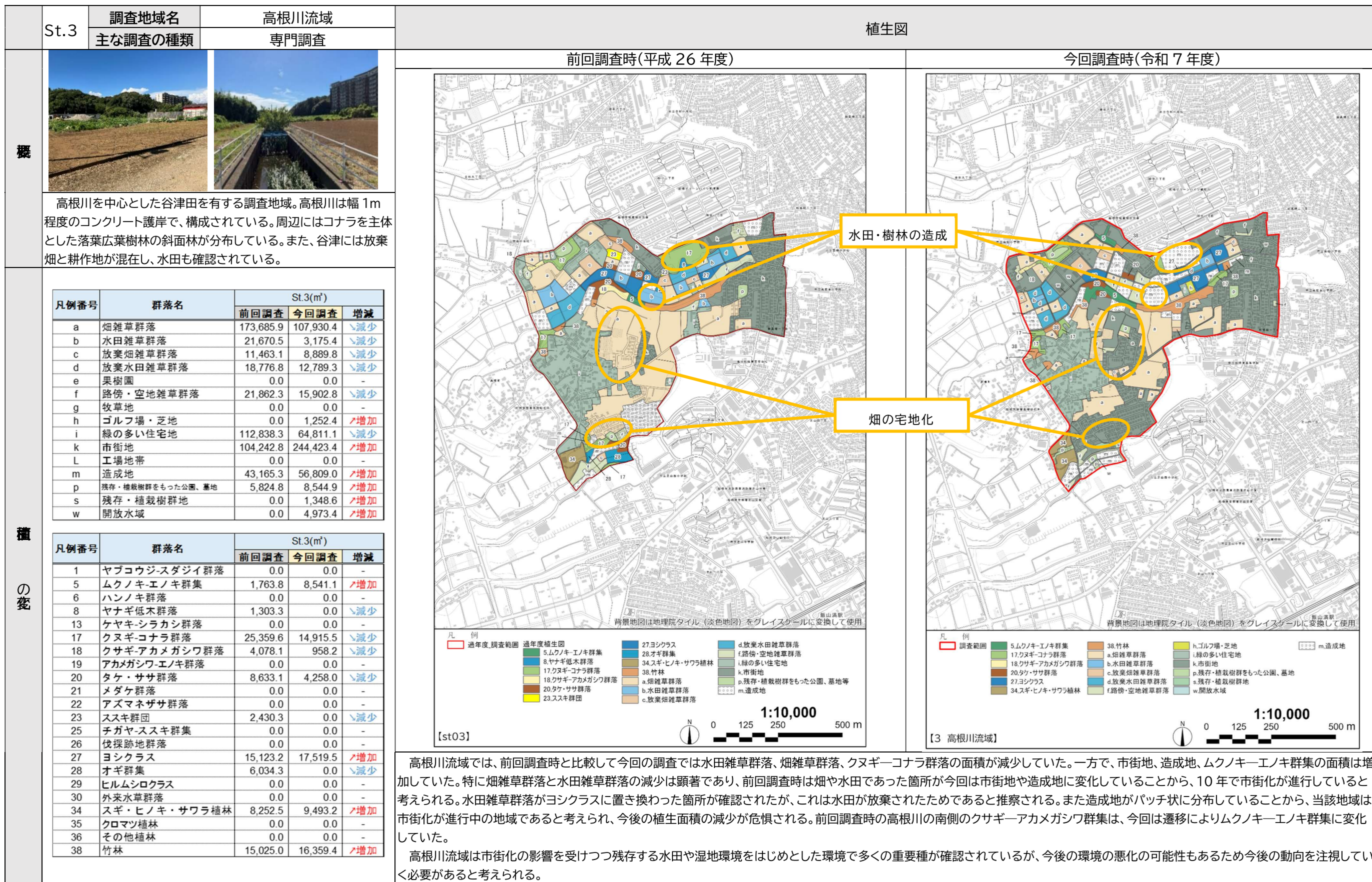


表 2-19(2) 調査地域概要 (St. 3)

番号	St.3	調査地域名				高根川流域				生き物写真、前回調査との比較等	
		主な調査の種類				専門調査					
種	種	【植物】 513種	【哺乳類】 4種	【鳥類】 29種	【両生類】 2種	専門調査による生き物個体写真					
		【爬虫類】 6種	【昆虫類】 256種	【魚類】 3種	【底生動物】 51種						
	種	【植物】 5種 ウスゲチヨウジタデ、 オオバギボウシなど	【哺乳類】 0種	【鳥類】 6種 ホトトギス、コサギ、ツ ミ、オオタカ、ノスリ、ホ オジロ	【両生類】 0種						
		【爬虫類】 5種 ニホンヤモリ、ヒガシニ ホントカゲ、アオダイシ ヨウ、シマヘビ、ニホン カナヘビ	【昆虫類】 4種 ヒメジウジナガカメム シ、ゴマダラチヨウ、ア ズキヘリカメムシ、リス アカネ	指標種 0種	指標種 4種 マルタニシ、モクズガニ、ク ロスジギンヤンマなど						
	種	【春】 8種 ホトケノザ、アライグ マ、コゲラ、モズ、シジ ユウカラ、ツバメ、ヒガ シニホントカゲ、オオカ マキリ	【夏】 18種 アライグマ、モズ、シジュ ウカラ、ツバメ、アカミミガ メ、オニヤンマ、オオカマキ リ、アブラゼミ、ツクツクボ ウシ、ニイニゼミ、ミンミ ンゼミ、ヒグラシ、ヤマトタ マムシ、アカボシゴマダラ、 マルタニシ、アキアカネ、ニ ホンカナヘビなど	【秋】 7種 ススキ、コゲラ、モズ、 シジュウカラ、オニヤン マ、アキアカネ、アブラ ゼミ	【冬】 1種 コサギ	アオダイシヨウ		スミウキゴリ			
		種	226種	ヒメヒオウギズイセン、キシヨウブ、ノハカカラクサ、オランダガラシ、オオブタクサ、アメリカ オニアザミ、メリケンガヤツリ、ハクビシン、ドジョウ(中国大陸系統)、ムネアカオオクロテン トウなど	【特定外来生物】	オオフサモ、アレチウリ、アライグマ、ウシガエル、アカミミガ メ、アカボシゴマダラ、カダヤシ、アメリカザリガニ			キジ		
凡例		赤字…今回調査で初確認された種				前回調査と比較して確認されなかった種					
察	<p><重要種> 本調査地域では湿地環境に生息する重要種からヒメジウジナガカメムシのような草地进行を指標環境とする重要種が確認されており、多様な環境が存在する調査地域であるほか、猛禽類のノスリの飛来も確認されている。</p> <p><指標種> 湿地環境に生息するマルタニシやコサギ、オニヤンマ、樹林、公園等に生息するヤマトタマムシやシジュウカラ等、宅地化が進みつつも自然的土地利用が見られる箇所では多くの指標種が確認されている。また、非植生土地利用の箇所でもアオダイシヨウ、ニホンカナヘビ等の宅地化周辺にも生息する種が確認されている。</p> <p><外来種> アライグマ、アカボシゴマダラといった船橋市全域で確認数が増加している外来種が確認されている。高根川水路沿いではカダヤシやアメリカザリガニ等の水生生物やアライグマといった中型哺乳類が多数確認されており、外来生物の侵入経路となっている可能性が示唆された</p>					重要種	アカシデ、コカイタネツケバナ、カワヂシャ、コチドリ、ダイサギ、ハヤブサ、ヒバリ、キアシネクイハムシ、ミヤマチャバネセセリなど				
	指標種	ヤマユリ、ヒバリ、ツマグロヒョウモン、ナガサキアゲハ、ヒメタニシなど									
	特定外来生物	なし									
	特記事項	環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など なし									

表 2-20(1) 調査地域概要 (St. 4)


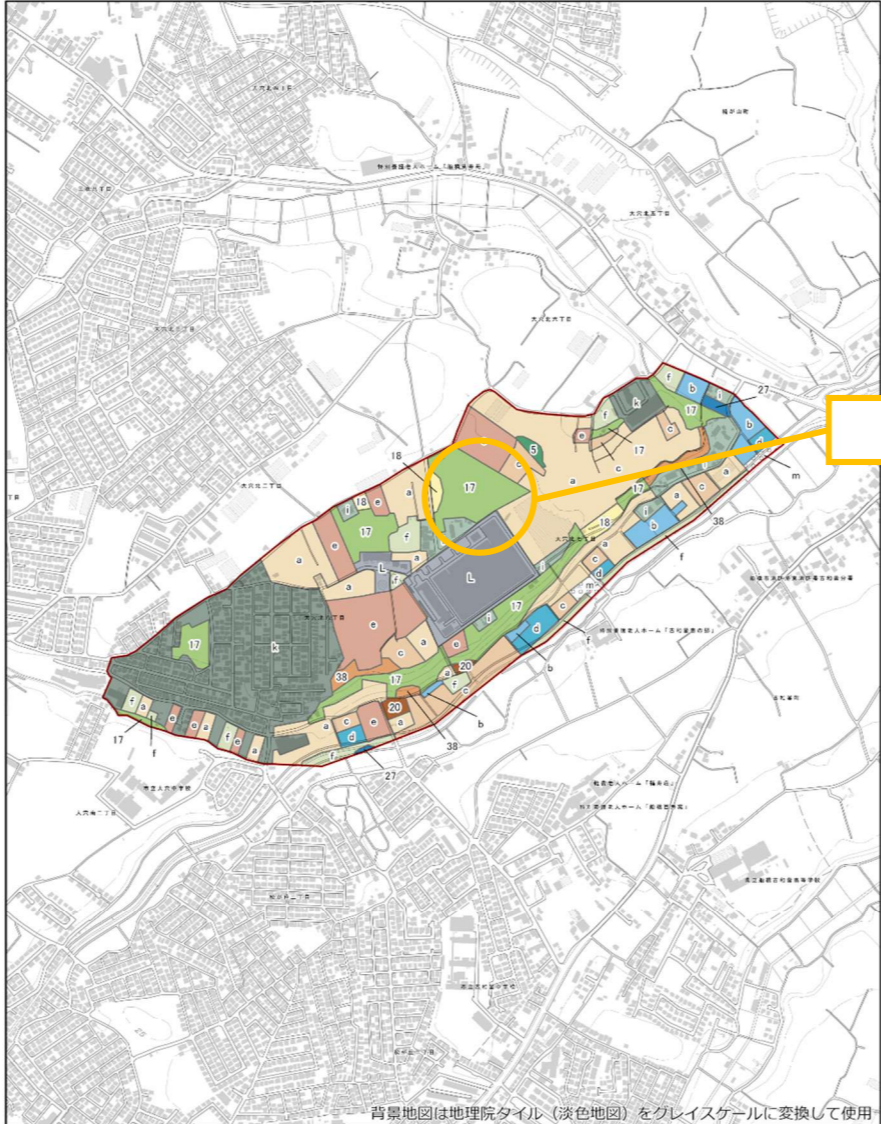
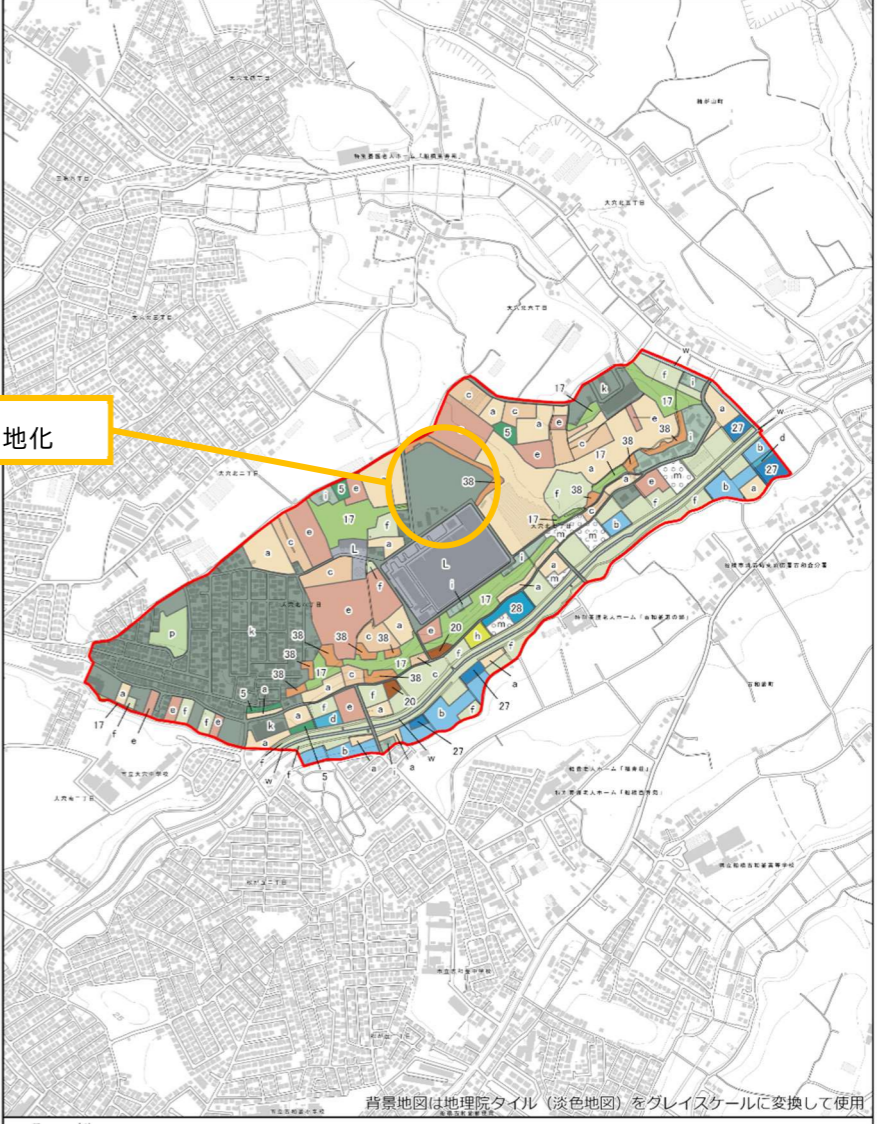
番号	St.4	調査地域名	大穴北周辺・木戸川流域	植生図																																																																																																																			
		主な調査の種類	専門調査																																																																																																																				
概				<p>前回調査時(平成 26 年度)</p> 	<p>今回調査時(令和 7 年度)</p> 																																																																																																																		
		<p>木戸川沿いの谷津を有する調査地域。調査地域の南部には落葉広葉樹を主体とした斜面林、木戸川、耕作地があり、段丘の上には住宅地や給水場が存在する。木戸川は幅 2m 程度で、両岸には主に放棄耕作地が分布する。今回は多自然型川づくりを行った木戸川下流区間を調査範囲に追加する。</p>																																																																																																																					
種 の 変	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.4(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>117,627.5</td><td>79,437.3</td><td>減少</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>12,865.2</td><td>17,440.2</td><td>増加</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>26,600.9</td><td>24,853.1</td><td>減少</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>7,525.5</td><td>1,730.0</td><td>減少</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>42,466.1</td><td>47,490.2</td><td>増加</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>21,053.4</td><td>75,733.6</td><td>増加</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td><td>1,503.3</td><td>増加</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>19,121.5</td><td>11,517.6</td><td>減少</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>98,985.5</td><td>137,087.7</td><td>増加</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>37,557.0</td><td>32,782.4</td><td>減少</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>3,254.0</td><td>8,773.7</td><td>増加</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>0.0</td><td>4,738.2</td><td>増加</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>0.0</td><td>7,144.2</td><td>増加</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.4(m ²)			前回調査	今回調査	増減	a	畑雑草群落	117,627.5	79,437.3	減少	b	水田雑草群落	12,865.2	17,440.2	増加	c	放棄畑雑草群落	26,600.9	24,853.1	減少	d	放棄水田雑草群落	7,525.5	1,730.0	減少	e	果樹園	42,466.1	47,490.2	増加	f	路傍・空地雑草群落	21,053.4	75,733.6	増加	g	牧草地	0.0	0.0	-	h	ゴルフ場・芝地	0.0	1,503.3	増加	i	緑の多い住宅地	19,121.5	11,517.6	減少	k	市街地	98,985.5	137,087.7	増加	L	工場地帯	37,557.0	32,782.4	減少	m	造成地	3,254.0	8,773.7	増加	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	0.0	4,738.2	増加	s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-	w	開放水域	0.0	7,144.2	増加	<p>樹林の宅地化</p>																																	
	凡例番号	群落名			St.4(m ²)																																																																																																																		
前回調査			今回調査	増減																																																																																																																			
a	畑雑草群落	117,627.5	79,437.3	減少																																																																																																																			
b	水田雑草群落	12,865.2	17,440.2	増加																																																																																																																			
c	放棄畑雑草群落	26,600.9	24,853.1	減少																																																																																																																			
d	放棄水田雑草群落	7,525.5	1,730.0	減少																																																																																																																			
e	果樹園	42,466.1	47,490.2	増加																																																																																																																			
f	路傍・空地雑草群落	21,053.4	75,733.6	増加																																																																																																																			
g	牧草地	0.0	0.0	-																																																																																																																			
h	ゴルフ場・芝地	0.0	1,503.3	増加																																																																																																																			
i	緑の多い住宅地	19,121.5	11,517.6	減少																																																																																																																			
k	市街地	98,985.5	137,087.7	増加																																																																																																																			
L	工場地帯	37,557.0	32,782.4	減少																																																																																																																			
m	造成地	3,254.0	8,773.7	増加																																																																																																																			
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	0.0	4,738.2	増加																																																																																																																			
s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-																																																																																																																			
w	開放水域	0.0	7,144.2	増加																																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.4(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジスダジイ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ・エノキ群集</td><td>1,261.7</td><td>3,754.0</td><td>増加</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ・シラカシ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>17</td><td>クヌギ・コナラ群落</td><td>57,337.1</td><td>34,216.2</td><td>減少</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ・アカメガシワ群落</td><td>4,716.3</td><td>0.0</td><td>減少</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ・エノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>2,411.4</td><td>1,571.1</td><td>減少</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>23</td><td>スキキ団</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ・スキキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>1,419.0</td><td>5,313.9</td><td>増加</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>0.0</td><td>3,089.6</td><td>増加</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>6,531.8</td><td>10,967.4</td><td>増加</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.4(m ²)			前回調査	今回調査	増減	1	ヤブコウジスダジイ群落	0.0	0.0	-	5	ムクノキ・エノキ群集	1,261.7	3,754.0	増加	6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-	8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-	13	ケヤキ・シラカシ群落	0.0	0.0	-	17	クヌギ・コナラ群落	57,337.1	34,216.2	減少	18	クサギ・アカメガシワ群落	4,716.3	0.0	減少	19	アカメガシワ・エノキ群落	0.0	0.0	-	20	タケ・ササ群落	2,411.4	1,571.1	減少	21	メダケ群落	0.0	0.0	-	22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-	23	スキキ団	0.0	0.0	-	25	チガヤ・スキキ群集	0.0	0.0	-	26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-	27	ヨシクラス	1,419.0	5,313.9	増加	28	オギ群集	0.0	3,089.6	増加	29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-	30	外来水草群落	0.0	0.0	-	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	0.0	-	35	クロマツ植林	0.0	0.0	-	36	その他植林	0.0	0.0	-	38	竹林	6,531.8	10,967.4	増加
凡例番号	群落名			St.4(m ²)																																																																																																																			
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																			
1	ヤブコウジスダジイ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																			
5	ムクノキ・エノキ群集	1,261.7	3,754.0	増加																																																																																																																			
6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																			
8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-																																																																																																																			
13	ケヤキ・シラカシ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																			
17	クヌギ・コナラ群落	57,337.1	34,216.2	減少																																																																																																																			
18	クサギ・アカメガシワ群落	4,716.3	0.0	減少																																																																																																																			
19	アカメガシワ・エノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																			
20	タケ・ササ群落	2,411.4	1,571.1	減少																																																																																																																			
21	メダケ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																			
22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																			
23	スキキ団	0.0	0.0	-																																																																																																																			
25	チガヤ・スキキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																			
26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-																																																																																																																			
27	ヨシクラス	1,419.0	5,313.9	増加																																																																																																																			
28	オギ群集	0.0	3,089.6	増加																																																																																																																			
29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																			
30	外来水草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																			
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																			
35	クロマツ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																			
36	その他植林	0.0	0.0	-																																																																																																																			
38	竹林	6,531.8	10,967.4	増加																																																																																																																			
<p>大穴北周辺・木戸川流域は、今回は木戸川の右岸側が調査地域に追加されている。前回と比較すると、今回の調査では畑雑草群落、クヌギ・コナラ群落等の減少、一方で市街地、造成地、路傍・空地雑草群落等の増加が確認された。調査地域内で比較的大きなまとまりのクヌギ・コナラ群落が今回は市街地に変化しており、宅地化の傾向が見て取れる。また、造成地がパッチ状に分布していることから、市街化の進行が推察される。調査地域の北東部に集中していた畑雑草群落が、今回は放棄畑雑草群落等に变化していたことから、放棄耕作地が拡大している状況も確認された。本調査地域は木戸川及び木戸川周辺の多様な自然植生が見られた箇所でも多くの重要種が確認されていることから、宅地化、市街化の影響を含め今後の動向を注視していく必要があると考えられる。また、木戸川流域は多自然川づくりが平成 15 年度～平成 28 年度に実施されており、多くの重要種が確認されている。</p>																																																																																																																							

表 2-20(2) 調査地域概要 (St. 4)

番号	St.4	調査地域名				大穴北周辺・木戸川流域				生き物写真、前回調査との比較等	
		主な調査の種類		専門調査							
種	種	【植物】 462種	【哺乳類】 6種	【鳥類】 33種	【両生類】 4種	専門調査による生き物個体写真					
		【爬虫類】 8種	【昆虫類】 255種	【魚類】 12種	【底生動物】 50種						
	種	【植物】 3種 ウスゲチョウジタデなど	【哺乳類】 1種 カヤネズミ	【鳥類】 7種 ホトトギス、コチドリ、コサギ、カワセミ、ヒバリ、オオヨシキリ、ホオジロ	【両生類】 2種 アズマヒキガエル、トウキョウダルマガエル						
		【爬虫類】 6種 ニホンスッポン、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、ヒバカリ	【昆虫類】 3種 ヒメジュウジナガカメムシ、ヒメマイマイカブリ、ゴマダラチョウ	【魚類】 4種 モツゴ、ヌマチチブなど	【底生動物】 4種 テナガエビ、スジエビ、クロスジギンヤンマなど	コウキヤガラ		アメリカザリガニ			
	種	【春】 8種 ホトケノザ、アライグマ、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、アカミミガメ、ニホンカナヘビ、オオカマキリ	【夏】 12種 ヒバリ、ツバメ、トウキョウダルマガエル、ヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビ、オニヤンマ、ミンミンゼミ、ニイニゼミ、ノコギリクワガタ、ヤマトタマムシ、アカボシゴマダラ、アキアカネ	【秋】 9種 ススキ、アライグマ、コゲラ、モズ、アキアカネ、シジュウカラ、アカミミガメ、オオカマキリ、アブラゼミ	【冬】 7種 カヤネズミ、コサギ、カワセミ、コゲラ、モズ、ホトケノザ、オオカマキリ	ゴマダラチョウ		ヒガシニホンアマガエル			
種	196種	オオカナダモ、コカナダモ、ヒメヒオウギズイセン、ハナニラ、ノハカタカラクサ、メリケンガヤツリ、ネズミホソムギ、オオキバナカタバミ、コマツヨイグサ、オランダガラシ、ヒメツルソバ、ナガバギシギシ、エゾノギシギシ、ツルニチニチソウ、オオブタクサ、アメリカセンダングサ、ヒメジョオン、アメリカオニアザミ、セイトカアワダチソウ、セイヨウタンポポ、ハクビシン、コイ、ドジョウ(中国大陸系統)、コモチカワツボ、タイワンシジミ、フロリダマミズヨコエビ、ヌマガエル、セイヨウミツバチなど		【特定外来生物】 アレチウリ、オオカワヂシャ、アライグマ、アカボシゴマダラ、カダヤシ、アメリカザリガニ、アカミミガメ							
凡例	赤字…今回調査で初確認された種		前回調査と比較して確認されなかった種								
察	＜重要種＞ 本調査地域では河川、湿地、草地等の多様な環境を反映し、湿地に生息する種や草地に生息する種などが確認されており、希少な種を含む生態系が維持されていると推察される。		重要種		オオニワホコリ、ジネズミ、シュレーゲルアオガエル、ハラビロトンボ、ギンイチモンジセセリなど						
	＜指標種＞ 四季を通じて多様な分類群の指標種が確認された。湿地環境に生息するコサギ、オニヤンマ、樹林、公園等に生息するヤマトタマムシやシジュウカラ等の指標種が確認されている。果樹園や畑地では草地環境に生息するヒバリが確認されている。		指標種		ヤマユリ、カントウタンポポ、ナガサキアゲハなど						
	＜外来種＞ 河川環境を反映しアレチウリ、オオカワヂシャといった河川から湿地に生息する種、アライグマ、アカボシゴマダラといった船橋市全域で確認数が増加している外来種が確認されており、在来種との競合が懸念される。		特定外来生物		なし						
			特記事項		環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など ・木戸川流域では平成28年まで河川改修事業(多自然川づくり)が行われていた。 ・魚類、底生動物の調査は今回が初実施。						

表 2-21(1) 調査地域概要 (St. 6)


番号	St.6	調査地域名	古作町周辺	植生図																																																																																																																																																																																																								
		主な調査の種類	専門調査																																																																																																																																																																																																									
概		 <p>住宅地の中にある斜面林を中心とした調査地域。谷津地形ではあるが現在は住宅地が多く、両岸に落葉広葉樹林を主体とした斜面林が残る。調査地域北部には林床の管理が行き届いている上山公園がある。一部に畑地も存在する。</p>		前回調査時(平成 26 年度)	今回調査時(令和 7 年度)																																																																																																																																																																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.6(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>14,350.6</td><td>14,346.3</td><td>減少</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>0.0</td><td>368.4</td><td>増加</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>2,152.4</td><td>889.6</td><td>減少</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>1,406.9</td><td>0.0</td><td>減少</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td><td>705.4</td><td>増加</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>169,522.0</td><td>168,716.1</td><td>減少</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>0.0</td><td>1,739.7</td><td>増加</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>1,837.1</td><td>16,293.9</td><td>増加</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.6(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジスダジイ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ-エノキ群集</td><td>2,492.8</td><td>1,649.1</td><td>減少</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ-シラカシ群落</td><td>2,650.5</td><td>2,239.2</td><td>減少</td></tr> <tr><td>17</td><td>クヌギ-コナラ群落</td><td>41,114.0</td><td>28,640.3</td><td>減少</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ-アカメガシワ群落</td><td>0.0</td><td>1,062.7</td><td>増加</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ-エノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>897.4</td><td>0.0</td><td>減少</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ-ススキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td><td>293.2</td><td>増加</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>2,625.7</td><td>2,405.6</td><td>減少</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>1,186.4</td><td>0.0</td><td>減少</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>0.0</td><td>937.2</td><td>増加</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.6(m ²)			前回調査	今回調査	増減	a	畑雑草群落	14,350.6	14,346.3	減少	b	水田雑草群落	0.0	0.0	-	c	放棄畑雑草群落	0.0	0.0	-	d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-	e	果樹園	0.0	368.4	増加	f	路傍・空地雑草群落	2,152.4	889.6	減少	g	牧草地	1,406.9	0.0	減少	h	ゴルフ場・芝地	0.0	705.4	増加	i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-	k	市街地	169,522.0	168,716.1	減少	L	工場地帯	0.0	0.0	-	m	造成地	0.0	1,739.7	増加	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	1,837.1	16,293.9	増加	s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-	w	開放水域	0.0	0.0	-	凡例番号	群落名	St.6(m ²)			前回調査	今回調査	増減	1	ヤブコウジスダジイ群落	0.0	0.0	-	5	ムクノキ-エノキ群集	2,492.8	1,649.1	減少	6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-	8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-	13	ケヤキ-シラカシ群落	2,650.5	2,239.2	減少	17	クヌギ-コナラ群落	41,114.0	28,640.3	減少	18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	1,062.7	増加	19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-	20	タケ・ササ群落	897.4	0.0	減少	21	メダケ群落	0.0	0.0	-	22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-	23	ススキ群団	0.0	0.0	-	25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-	26	伐採跡地群落	0.0	293.2	増加	27	ヨシクラス	0.0	0.0	-	28	オギ群集	0.0	0.0	-	29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-	30	外来水草群落	0.0	0.0	-	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	2,625.7	2,405.6	減少	35	クロマツ植林	1,186.4	0.0	減少	36	その他植林	0.0	0.0	-	38	竹林	0.0	937.2	増加
凡例番号	群落名	St.6(m ²)																																																																																																																																																																																																										
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																																																																																																								
a	畑雑草群落	14,350.6	14,346.3	減少																																																																																																																																																																																																								
b	水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
c	放棄畑雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
e	果樹園	0.0	368.4	増加																																																																																																																																																																																																								
f	路傍・空地雑草群落	2,152.4	889.6	減少																																																																																																																																																																																																								
g	牧草地	1,406.9	0.0	減少																																																																																																																																																																																																								
h	ゴルフ場・芝地	0.0	705.4	増加																																																																																																																																																																																																								
i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
k	市街地	169,522.0	168,716.1	減少																																																																																																																																																																																																								
L	工場地帯	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
m	造成地	0.0	1,739.7	増加																																																																																																																																																																																																								
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	1,837.1	16,293.9	増加																																																																																																																																																																																																								
s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
w	開放水域	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
凡例番号	群落名	St.6(m ²)																																																																																																																																																																																																										
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																																																																																																								
1	ヤブコウジスダジイ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
5	ムクノキ-エノキ群集	2,492.8	1,649.1	減少																																																																																																																																																																																																								
6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
13	ケヤキ-シラカシ群落	2,650.5	2,239.2	減少																																																																																																																																																																																																								
17	クヌギ-コナラ群落	41,114.0	28,640.3	減少																																																																																																																																																																																																								
18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	1,062.7	増加																																																																																																																																																																																																								
19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
20	タケ・ササ群落	897.4	0.0	減少																																																																																																																																																																																																								
21	メダケ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
23	ススキ群団	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
26	伐採跡地群落	0.0	293.2	増加																																																																																																																																																																																																								
27	ヨシクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
28	オギ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
30	外来水草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	2,625.7	2,405.6	減少																																																																																																																																																																																																								
35	クロマツ植林	1,186.4	0.0	減少																																																																																																																																																																																																								
36	その他植林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																								
38	竹林	0.0	937.2	増加																																																																																																																																																																																																								
種	の	<p>古作町周辺では、前回と比較し今回の調査では竹林の面積の増加、クヌギ-コナラ群落の面積の減少等が確認された。クヌギ-コナラ群落の面積が減少していたことについては、一部が宅地化したことによる影響もあるが、残存・植栽樹群地に置き換わっていることが主要な要因であり、これは判読精度の向上によるものであると考えられる。多少の増減はあるが、植生に大きな変化は認められない。本調査地域は市街地の中に残存する上山公園周辺をはじめとした緑地環境で多くの種が確認されているため、これらの環境について今後の動向を注視していく必要があると考えられる。</p>																																																																																																																																																																																																										

表 2-21 (2) 調査地域概要 (St. 6)





番号	St.6	調査地域名				古作町周辺				生き物写真、前回調査との比較等		
		主な調査の種類		専門調査								
種	種	【植物】	384種	【哺乳類】	3種	【鳥類】	19種	【両生類】	0種	専門調査による生き物個体写真		
		【爬虫類】	2種	【昆虫類】	214種	【魚類】	0種	【底生動物】	0種			
		【植物】	3種	【哺乳類】	0種	【鳥類】	0種	【両生類】	0種			
		非公開種 3種を確認。										
		【爬虫類】	2種	【昆虫類】	2種	【魚類】	0種	【底生動物】	0種			
	ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ		オオツノカメムシ、アズキハリカメムシ									
種	種	【春】	6種	【夏】	14種	【秋】	7種	【冬】	2種	ススキ	ニホンヤモリ	
		ホトケノザ、シジウカラ、ツバメ、ニホンカナヘビ、ヒガシニホントカゲ、オオカマキリなど		ススキ、コゲラ、モズ、シジウカラ、ツバメ、ヒガシニホントカゲ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニゼミ、ヒグラシ、ノコギリクワガタ、アカボシゴマダラ、ニホンカナヘビ、ヤマユリ		ススキ、コゲラ、モズ、シジウカラ、オオカマキリ、アブラゼミ、ミンミンゼミ		コゲラ、シジウカラ				
	種	163種	ヒメヒオウギズイセン、ハナニラ、ノハカタカラクサ、メリケンカルカヤ、カモガヤ、シマスズメノヒエ、オニウシノケグサ、セイパンモロコシ、ヒメツルソバ、オオブタクサ、アメリカセンダングサ、アメリカオニアザミ、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ、ウチワゼニクサ、ハクビシン、クリイロデオキスイなど									
	【特定外来生物】	アカボシゴマダラ								シオカラトンボ	アブラゼミ	
凡例	赤字…今回調査で初確認された種										前回調査と比較して確認されなかった種	
観察	<p><重要種></p> <p>市街地の中の調査地域という環境を反映し、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲといった種が確認された。また、わずかに残された樹林では樹林性の種が確認されていることから、住宅地の中であっても樹林性の種の生育環境が保たれていることが推察される。</p> <p><指標種></p> <p>樹林、公園等に生息するコゲラ、シジウカラ、セミ類、ニホンカナヘビ等の指標種が確認されていることから、生物にとって都市の中の重要な生息拠点となっていることが推察される。</p> <p><外来種></p> <p>住宅地に囲まれた樹林や公園という環境を反映し、ノハカタカラクサ、メリケンカルカヤ、カモガヤ、シマスズメノヒエ、オニウシノケグサといった路傍雑草や、ハクビシンやアカボシゴマダラといった住宅地に適応した外来種が確認されている。</p>		重要種	コバノヒノキシダ、アカシデ、ダイサギ、ツミ、ヒバリ、ゴマダラチョウなど								
			指標種	ヒバリ、アキアカネ、ナガサキアゲハなど								
			特定外来生物	なし								
			特記事項	環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など なし								

表 2-22(1) 調査地域概要 (St. 7-2)


番号	St.7-2	調査地域名	楠が山町周辺		植生図																																																																																																																				
		主な調査の種類	専門調査																																																																																																																						
概			<p>谷津田を主体とした調査地域。遊休農地を活用して、湿地を再生した箇所や市民団体による活動場所を含む範囲。前回調査地点である St.7 の神崎川は開発が進んだため、調査地域を St.7-2 楠が山周辺に変更。</p>																																																																																																																						
	種 の 変	<table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例番号</th> <th>群落名</th> <th>St.7-2(m²) 今回調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>754.2</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>2,165.1</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>2,946.4</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>0.0</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例番号</th> <th>群落名</th> <th>St.7-2(m²) 今回調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジスダジイ群落</td><td>3,223.5</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ-エノキ群集</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>4,978.4</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ-シラカシ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>17</td><td>クヌギ-コナラ群落</td><td>10,365.9</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ-アカメガシワ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ-エノキ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>1,899.1</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ-ススキ群集</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>7,846.5</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>1,657.8</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>11,274.7</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.7-2(m ²) 今回調査	a	畑雑草群落	754.2	b	水田雑草群落	0.0	c	放棄畑雑草群落	0.0	d	放棄水田雑草群落	0.0	e	果樹園	0.0	f	路傍・空地雑草群落	2,165.1	g	牧草地	0.0	h	ゴルフ場・芝地	0.0	i	緑の多い住宅地	0.0	k	市街地	2,946.4	L	工場地帯	0.0	m	造成地	0.0	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	0.0	s	残存・植栽樹群地	0.0	w	開放水域	0.0	凡例番号	群落名	St.7-2(m ²) 今回調査	1	ヤブコウジスダジイ群落	3,223.5	5	ムクノキ-エノキ群集	0.0	6	ハンノキ群落	4,978.4	8	ヤナギ低木群落	0.0	13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0	17	クヌギ-コナラ群落	10,365.9	18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	20	タケ・ササ群落	0.0	21	メダケ群落	1,899.1	22	アズマネザサ群落	0.0	23	ススキ群団	0.0	25	チガヤ-ススキ群集	0.0	26	伐採跡地群落	0.0	27	ヨシクラス	7,846.5	28	オギ群集	0.0	29	ヒルムシロクラス	0.0	30	外来水草群落	0.0	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	1,657.8	35	クロマツ植林	0.0	36	その他植林	0.0	38	竹林	11,274.7	<p>前回調査時(平成 26 年度)</p> <p>前回植生図作成なし</p>
凡例番号		群落名	St.7-2(m ²) 今回調査																																																																																																																						
a	畑雑草群落	754.2																																																																																																																							
b	水田雑草群落	0.0																																																																																																																							
c	放棄畑雑草群落	0.0																																																																																																																							
d	放棄水田雑草群落	0.0																																																																																																																							
e	果樹園	0.0																																																																																																																							
f	路傍・空地雑草群落	2,165.1																																																																																																																							
g	牧草地	0.0																																																																																																																							
h	ゴルフ場・芝地	0.0																																																																																																																							
i	緑の多い住宅地	0.0																																																																																																																							
k	市街地	2,946.4																																																																																																																							
L	工場地帯	0.0																																																																																																																							
m	造成地	0.0																																																																																																																							
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	0.0																																																																																																																							
s	残存・植栽樹群地	0.0																																																																																																																							
w	開放水域	0.0																																																																																																																							
凡例番号	群落名	St.7-2(m ²) 今回調査																																																																																																																							
1	ヤブコウジスダジイ群落	3,223.5																																																																																																																							
5	ムクノキ-エノキ群集	0.0																																																																																																																							
6	ハンノキ群落	4,978.4																																																																																																																							
8	ヤナギ低木群落	0.0																																																																																																																							
13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0																																																																																																																							
17	クヌギ-コナラ群落	10,365.9																																																																																																																							
18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0																																																																																																																							
19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0																																																																																																																							
20	タケ・ササ群落	0.0																																																																																																																							
21	メダケ群落	1,899.1																																																																																																																							
22	アズマネザサ群落	0.0																																																																																																																							
23	ススキ群団	0.0																																																																																																																							
25	チガヤ-ススキ群集	0.0																																																																																																																							
26	伐採跡地群落	0.0																																																																																																																							
27	ヨシクラス	7,846.5																																																																																																																							
28	オギ群集	0.0																																																																																																																							
29	ヒルムシロクラス	0.0																																																																																																																							
30	外来水草群落	0.0																																																																																																																							
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	1,657.8																																																																																																																							
35	クロマツ植林	0.0																																																																																																																							
36	その他植林	0.0																																																																																																																							
38	竹林	11,274.7																																																																																																																							
<p>楠が山町周辺は、今回から調査地域となった地域である。中央部分の谷底にはヨシクラスとハンノキ群落が分布しており、両側の斜面には竹林、クヌギ-コナラ群落、ヤブコウジスダジイ群落が分布していることから、水辺から樹林までのエコトーンが形成されている。谷底は乾燥化が進むと遷移により植生が変化するため、継続的な管理・調査が望まれる。楠が山町周辺は谷底にヨシクラスとハンノキ群落といった湿地環境が維持されており、該当箇所でも多くの重要種が確認されていることから、今後の動向を注視していく必要があると考えられる。本調査地域はヘイケボタルが確認されている谷底部の休耕田の湿地環境において地球研 Eco-DRR プロジェクトの遊休農地活用の取組が使用されている。市街化の進む船橋市内においても貴重な自然環境となっており、今後の動向に注視していく必要がある。</p>																																																																																																																									

表 2-22(2) 調査地域概要 (St. 7-2)

番号	調査地域名		楠が山町周辺				生き物写真、前回調査との比較等	
	St.7-2	主な調査の種類	専門調査					
観	種 確	【植物】 280種	【哺乳類】 6種	【鳥類】 25種	【両生類】 2種	専門調査による生き物個体写真		
		【爬虫類】 3種	【昆虫類】 209種	【魚類】 1種	【底生動物】 30種			
	種	【植物】 2種 ヌマダイコンなど	【哺乳類】 0種	【鳥類】 8種 ホトトギス、カケス、キビ タキ、キセキレイ、ホオジ ロなど	【両生類】 0種	 		
		【爬虫類】 3種 ニホンヤモリ、ヒガシニ ホントカゲ、アオダイシ ヨウ	【昆虫類】 5種 チョウトンボ、スゲハム シ、オオチャバネセセリ、 ゴマダラチョウ、ハイケ ボタル	【魚類】 0種	【底生動物】 1種 スジエビ			
	種	【春】 5種 ヒガシニホントカゲ、コ ゲラ、シジュウカラ、オ オカマキリなど	【夏】 13種 アライグマ、コゲラ、シジ ユウカラ、ツバメ、オニヤ ンマ、チョウトンボ、ニイ ニゼミ、ヤマトタマム シ、ナガサキアゲハ、アカ ボシゴマダラ、ハイケボ タルなど	【秋】 5種 アライグマ、シジュウカ ラ、アキアカネ、アカボシ ウカラ、オオカマキリ	【冬】 4種 アライグマ、コゲラ、シジ ユウカラ、オオカマキリ	 		
【特定外来生物】		アライグマ、アカボシゴマダラ、アメリカザリガニ						
種	64種	キシノウブ、ハリエンジュ、オランダガラシ、ナガバギシギシ、オオブタクサ、アメリカセンダングサ、ヒメジョオン、セイトカアワダチソウ、ハクビシン、ヌマガエル、キイロシヨウジョウバエなど				アスナロ		
種						ヌマガエル		
種						トウヨシノボリ類		
種						キシタバ		
察	<p><重要種> 谷津を主体とした調査地域であるため重要種も谷津部を中心に確認されており、環境を反映してヌマダイコン、チョウトンボ、ハイケボタル、スジエビ等の水生生物が確認された。また、ホトトギス、キビタキ、キセキレイ等の鳥類が多数確認されたことから、本調査地域の谷津環境が鳥類のオアシスとして利用されていることが推察される。谷津に隣接する斜面林では樹林性の種が確認されており、良好な樹林環境が保たれていることが推察される。</p> <p><指標種> コゲラなど樹林性の種、オニヤンマ、チョウトンボ、アキアカネ、ハイケボタルといった湿地性の種が確認された。</p> <p><外来種> 谷津を主体とした調査地域という環境を反映し、谷津を中心にキシノウブ、オランダガラシ、アメリカザリガニといった外来種が確認されている。また、アライグマやアカボシゴマダラといった住宅地に適応した外来種も確認されている。</p>					前回調査との比較		
	の 観	前回調査は実施していない					環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など	
観						<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の活用に関する取り組み(地球研 Eco-DRR プロジェクト)が行われていた。(谷津環境の保全活動) ・活動市民団体有り。 		

表 2-23(1) 調査地域概要 (St. 8)

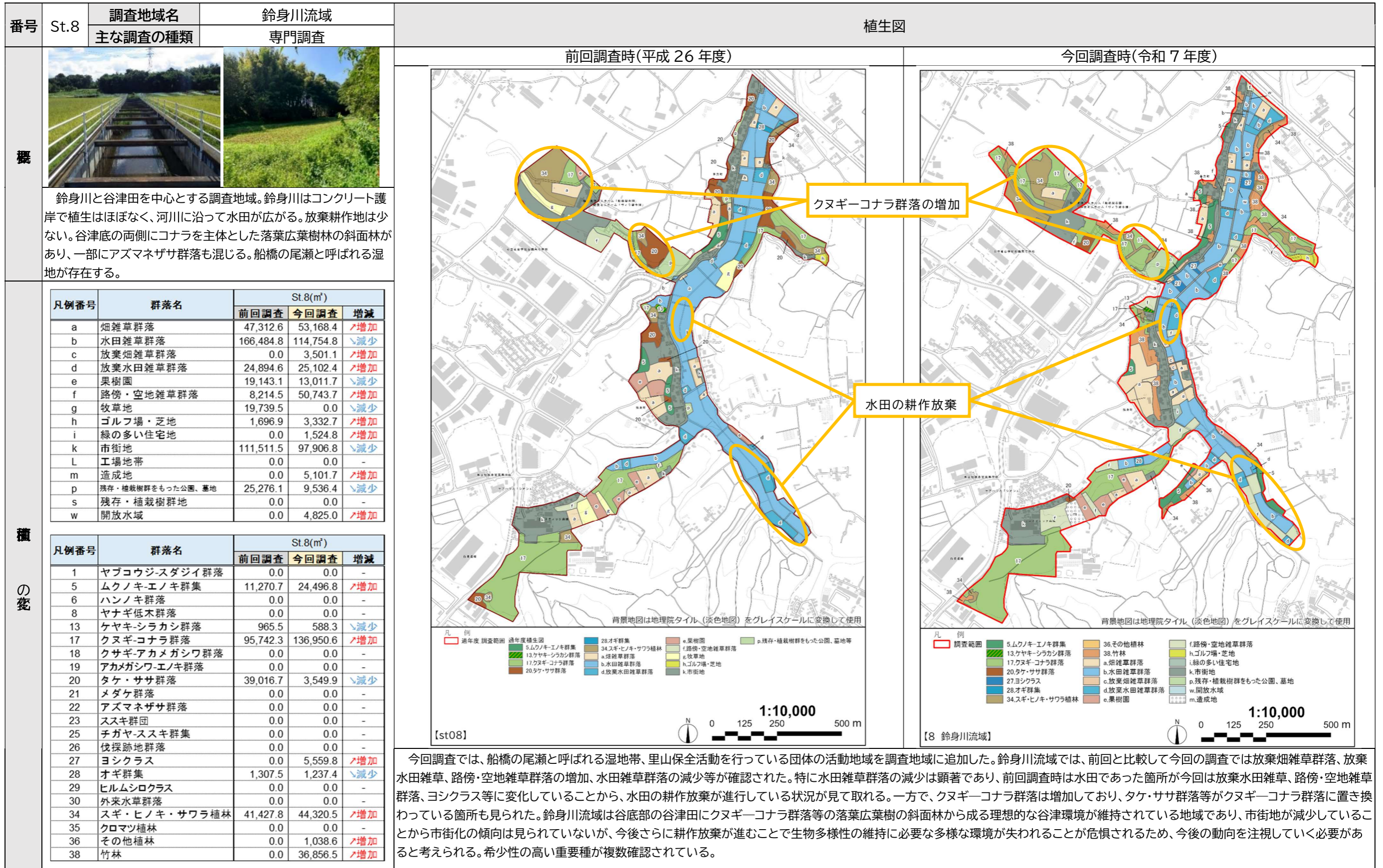


表 2-23(2) 調査地域概要 (St. 8)

番号	St.8	調査地域名		鈴身川流域				生き物写真、前回調査との比較等	
		主な調査の種類		専門調査					
種	類 確	【植物】 617種	【哺乳類】 9種	【鳥類】 41種	【両生類】 7種				
		【爬虫類】 6種	【昆虫類】 332種	【魚類】 7種	【底生動物】 73種				
	種	【植物】 11種 アカシデ、カワチシャ、ウスゲチョウジタデ、タカアザミなど	【哺乳類】 1種 カヤネズミ	【鳥類】 13種 ダイサギ、コサギ、ツミ、ハイタカ、ノスリ、カワセミ、カケス、ヒバリ、オオヨシキリ、キセキレイ、ホオジロなど	【両生類】 4種 トウキョウダルマガエル、ニホンアカガエル、アズマヒキガエル、シユレーゲルアオガエル				
		【爬虫類】 4種 ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、ヒバカリ、ヤマカガシ	【昆虫類】 4種 ゴマダラチョウ、ハイケボタルなど	【魚類】 2種 モツゴなど	【底生動物】 12種 マルタニシ、タテボシガイ、スジエビ、ハラビロトンボ、コオイムシ、テナガエビなど				
	種	【春】 15種 ホトケノザ、アライグマ、コサギ、カワセミ、コゲラ、モズ、シジュウカラ、ツバメ、ニホンアカガエル、アカミミガメ、ヒガシニホントカゲ、オオカマキリ、ヤマトタマシなど	【夏】 25種 ヤマユリ、ススキ、ナガエツルノゲイトウ、アライグマ、カワセミ、コゲラ、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、トウキョウダルマガエル、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ、ヤマトタマシ、ナガサキアゲハ、ツマグロヒヨウモン、アカボシゴマダラ、マルタニシ、ヒメタニシ、アキアカネ、ハイケボタル、ヒグラシなど	【秋】 15種 アキアカネ、ヒグラシ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、ツマグロヒヨウモン、アカボシゴマダラ、トウキョウダルマガエル、カヤネズミ、カワセミ、モズ、シジュウカラ、ヒメタニシ、オニヤンマ、ススキ、アライグマ	【冬】 8種 アライグマ、カヤネズミ、コゲラ、モズ、シジュウカラ、ヒメタニシ、ホトケノザ、オオカマキリ	アカシデ		オオヨシキリ	
	種	221種	キショウブ、オランダガラシ、ナガバギシギシ、オオブタクサ、アメリカセンダングサ、ヒメジョオン、セイタカアワダチソウ、ハクビシン、ヌマガエル、タケノホソクロバなど		【特定外来生物】 キョン、オオフサモ、ナガエツルノゲイトウ、アライグマ、ウシガエル、アカミミガメ、アカボシゴマダラ、アメリカザリガニ、アレチウリ				
凡例	赤字…今回調査で初確認された種						前回調査と比較して確認されなかった種		
察	<p><重要種> 本調査地域は、鈴身川とその周辺の谷津田及び斜面林を含む谷津環境を主体とした多様な環境が存在することから、多くの重要種が確認された。鈴身川の水路ではカワチシャ、モツゴ、スジエビといった水生生物が、水田周辺ではウスゲチョウジタデ、トウキョウダルマガエルといった湿地性の種が、樹林ではツミ、ノスリやハイタカ等の生態系上位種である猛禽類の飛来も確認されていることから、本調査地域では良好な生態系が保たれていることが推察される。</p> <p><指標種> 調査地域の環境を反映し、四季を通じて幅広い分類群の指標種が確認された。ニホンアカガエル、トウキョウダルマガエルといった希少生物が確認された一方で、アライグマ、アカミミガメといった外来種も確認されていることから、生物多様性の高い地域である一方、緊急的に外来種による影響を排除していく必要があると考えられる。</p> <p><外来種> 船橋の尾瀬付近では今回初出となるキョンが確認された。また特定外来生物ではないが、在来カエル類と競合するヌマガエルも確認されている。</p>		重要種	ジネズミ、ホトトギス、コチドリ、クサシギ、オオタカ、アオダイショウ、ヒメジュウジナガカメムシ、ルリクチブトカメムシ、オオサカアオゴミムシ、ヌマチチブ、マイコアカネなど					
			指標種	オニヤンマ					
			特定外来生物	なし					
			特記事項	環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など ・活動市民団体有り					

表 2-24(1) 調査地域概要 (St. 9-2)


番号	St.9-2	調査地域名	駒込川流域	植生図																																																																																																																					
		主な調査の種類	専門調査	前回調査時(平成 26 年度)	今回調査時(令和 7 年度)																																																																																																																				
概			<p>St.9 の旧坪井川は暗渠となったため、今回は多自然型の河川改修を行う駒込川流域に調査地域を変更した。駒込川と谷津田を中心とした調査地域。駒込川は矢板で囲まれた幅 2m 程の河川で、土が堆積した河床にセキショウ等の植生が見られる。上流部では主に放棄畑が広がり一部で耕作中の畑が見られ、坪井川の合流付近の下流部では水田が広がっている。谷津の両側にはエノキやコナラ等の広葉樹を主体とした斜面林が存在する。産廃業者の事業所などがある。</p>																																																																																																																						
	種 の 変	<table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例番号</th> <th>群落名</th> <th>St.9-2(m²) 今回調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>18,066.2</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>7,142.2</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>6,335.3</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>2,460.8</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>21,489.9</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>2,475.3</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>27,907.7</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>18,459.8</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>0.0</td></tr> </tbody> </table>	凡例番号	群落名	St.9-2(m ²) 今回調査	a	畑雑草群落	18,066.2	b	水田雑草群落	7,142.2	c	放棄畑雑草群落	6,335.3	d	放棄水田雑草群落	0.0	e	果樹園	2,460.8	f	路傍・空地雑草群落	21,489.9	g	牧草地	0.0	h	ゴルフ場・芝地	2,475.3	i	緑の多い住宅地	0.0	k	市街地	27,907.7	L	工場地帯	0.0	m	造成地	18,459.8	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	0.0	s	残存・植栽樹群地	0.0	w	開放水域	0.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例番号</th> <th>群落名</th> <th>St.9-2(m²) 今回調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジ-スタジイ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ-エノキ群集</td><td>4,380.7</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ-シラカシ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>17</td><td>クヌギ-コナラ群落</td><td>2,906.8</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ-アカメガシワ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ-エノキ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>23</td><td>スキ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ-スキ群集</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>10,004.0</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>1,478.7</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>510.6</td></tr> </tbody> </table>	凡例番号	群落名	St.9-2(m ²) 今回調査	1	ヤブコウジ-スタジイ群落	0.0	5	ムクノキ-エノキ群集	4,380.7	6	ハンノキ群落	0.0	8	ヤナギ低木群落	0.0	13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0	17	クヌギ-コナラ群落	2,906.8	18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	20	タケ・ササ群落	0.0	21	メダケ群落	0.0	22	アズマネザサ群落	0.0	23	スキ群落	0.0	25	チガヤ-スキ群集	0.0	26	伐採跡地群落	0.0	27	ヨシクラス	10,004.0	28	オギ群集	1,478.7	29	ヒルムシロクラス	0.0	30	外来水草群落	0.0	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	35	クロマツ植林	0.0	36	その他植林	0.0	38	竹林	510.6	<p>前回植生図作成なし</p>
凡例番号		群落名	St.9-2(m ²) 今回調査																																																																																																																						
a	畑雑草群落	18,066.2																																																																																																																							
b	水田雑草群落	7,142.2																																																																																																																							
c	放棄畑雑草群落	6,335.3																																																																																																																							
d	放棄水田雑草群落	0.0																																																																																																																							
e	果樹園	2,460.8																																																																																																																							
f	路傍・空地雑草群落	21,489.9																																																																																																																							
g	牧草地	0.0																																																																																																																							
h	ゴルフ場・芝地	2,475.3																																																																																																																							
i	緑の多い住宅地	0.0																																																																																																																							
k	市街地	27,907.7																																																																																																																							
L	工場地帯	0.0																																																																																																																							
m	造成地	18,459.8																																																																																																																							
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	0.0																																																																																																																							
s	残存・植栽樹群地	0.0																																																																																																																							
w	開放水域	0.0																																																																																																																							
凡例番号	群落名	St.9-2(m ²) 今回調査																																																																																																																							
1	ヤブコウジ-スタジイ群落	0.0																																																																																																																							
5	ムクノキ-エノキ群集	4,380.7																																																																																																																							
6	ハンノキ群落	0.0																																																																																																																							
8	ヤナギ低木群落	0.0																																																																																																																							
13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0																																																																																																																							
17	クヌギ-コナラ群落	2,906.8																																																																																																																							
18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0																																																																																																																							
19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0																																																																																																																							
20	タケ・ササ群落	0.0																																																																																																																							
21	メダケ群落	0.0																																																																																																																							
22	アズマネザサ群落	0.0																																																																																																																							
23	スキ群落	0.0																																																																																																																							
25	チガヤ-スキ群集	0.0																																																																																																																							
26	伐採跡地群落	0.0																																																																																																																							
27	ヨシクラス	10,004.0																																																																																																																							
28	オギ群集	1,478.7																																																																																																																							
29	ヒルムシロクラス	0.0																																																																																																																							
30	外来水草群落	0.0																																																																																																																							
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0																																																																																																																							
35	クロマツ植林	0.0																																																																																																																							
36	その他植林	0.0																																																																																																																							
38	竹林	510.6																																																																																																																							
<p>駒込川流域は、今回から調査地域となった地域である。調査地域の中央を流れる駒込川とその両側の谷津田からなる地域で、谷津田の外側は調査地域外ではあるが落葉広葉樹主体の斜面林であり谷津の景観を形成している。調査地域の上流部では民家や造成地、畑雑草群落が分布し、調査地域の中央部分では路傍・空地雑草群落やムクノキ-エノキ群集等が分布している。駒込川を横断する県道より下流側には水田が分布している。駒込川流域は多自然川づくりが計画されており、多自然川づくりの計画段階の現在でも多くの重要種が確認されていることから今後の動向を注視していく必要があると考えられる。</p>																																																																																																																									

表 2-24(2) 調査地域概要 (St. 9-2)

番号	St.9-2	調査地域名		駒込川流域				生き物写真、前回調査との比較等		
		主な調査の種類		専門調査						
種	種	【植物】	421種	【哺乳類】	7種	【鳥類】	34種	【両生類】	3種	<p style="text-align: center;">専門調査による生き物個体写真</p> 
		【爬虫類】	4種	【昆虫類】	245種	【魚類】	12種	【底生動物】	48種	
	【植物】	2種	【哺乳類】	0種	【鳥類】	7種	【両生類】	0種		
	カワヂシャなど			ホトトギス、カワセミ、カケス、キビタキ、キセキレイ、ホオジロなど						
	【爬虫類】	3種	【昆虫類】	7種	【魚類】	5種	【底生動物】	4種		
ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、ジムグリ	コハンミョウ、ヒメマイマイカブリ、ホシアシブトハバチ、モンスズメバチ、ゴマダラチョウ、ホソミイトトンボなど	モツゴ、ヌマチチブなど	テナガエビ、スジエビなど							
種	【春】	8種	【夏】	9種	【秋】	7種	【冬】	4種	ハンゲショウ	ホオジロ
ホトケノザ、アカミミガメ、オオカマキリ、コゲラ、シジウカラ、ツバメ、ヒガシニホントカゲなど	ススキ、アライグマ、カワセミ、コゲラ、シジウカラ、オニヤンマ、ニイニイゼミ、アカボシゴマダラ	アキアカネ、アブラゼミ、カワセミ、コゲラ、モズ、シジウカラ、ススキ	アライグマ、モズ、シジウカラ、ホトケノザ							
種	177種	オオカナダモ、セイバンモロコシ、アレチヌスビトハギ、オオブタクサ、アメリカオニアザミ、セイトカアワダチソウ、ハクビシン、ハツカネズミ、コイ、タイリクバラタナゴ、ドジョウ(中国大陸系統)、タイワンシジミ、フロリダマミズヨコエビ、ヌマガエル、イネミズゾウムシなど				スジエビ	イチモンジチョウ			
	【特定外来生物】	オオカワヂシャ、アライグマ、ウシガエル、アカミミガメ、アカボシゴマダラ、カダヤシ、アメリカザリガニ				前回調査との比較				
観察	<p><重要種> 県道より北側(下流側)の駒込川で、矢板とコンクリート水路からなるにもかかわらずカワヂシャ、ヌマチチブ等の種が確認された。その先の桑納川が多自然型護岸であることから、それらの種の出現にはその河川環境が影響していると推察される。放棄耕作地や林縁では、ホオジロ、キセキレイ、カケス等の鳥類が多数確認されていることから、これらの種も駒込川を利用している可能性が示唆された。</p> <p><指標種> コゲラ、モズ、シジウカラといった鳥類や、オニヤンマ、ニホンアカガエル、トウキョウダルマガエルといった希少生物が確認された一方で、アライグマやアカミミガメといった外来種も確認されていることから、生物多様性の高い地域である一方、外来種の動向を注視していく必要があると考えられる。</p> <p><外来種> アメリカザリガニ、カダヤシ、アカボシゴマダラといった船橋市全域で確認数が増加している外来種が確認されており、在来種との競合が懸念される。</p>				の種	前回調査は実施していない。				
	観察					環境	<p>環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など</p> <p>・駒込川で多自然川づくりが計画されているため、今回より新たに調査地域となった。旧調査地域である坪井川流域については坪井特定土地区画整理事業により下水道としての管理に移行し、調査すべき自然環境が消失したため調査対象から除外。</p>			

表 2-25(1) 調査地域概要 (St. 10)


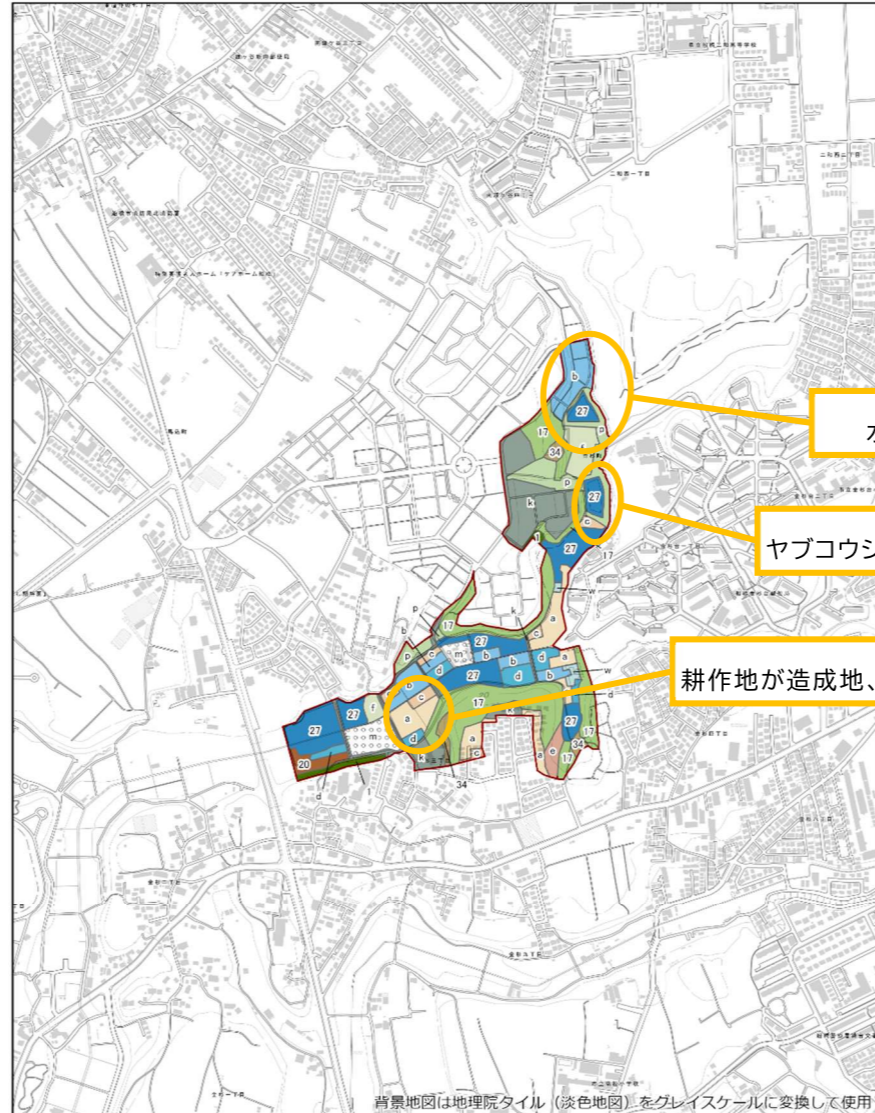
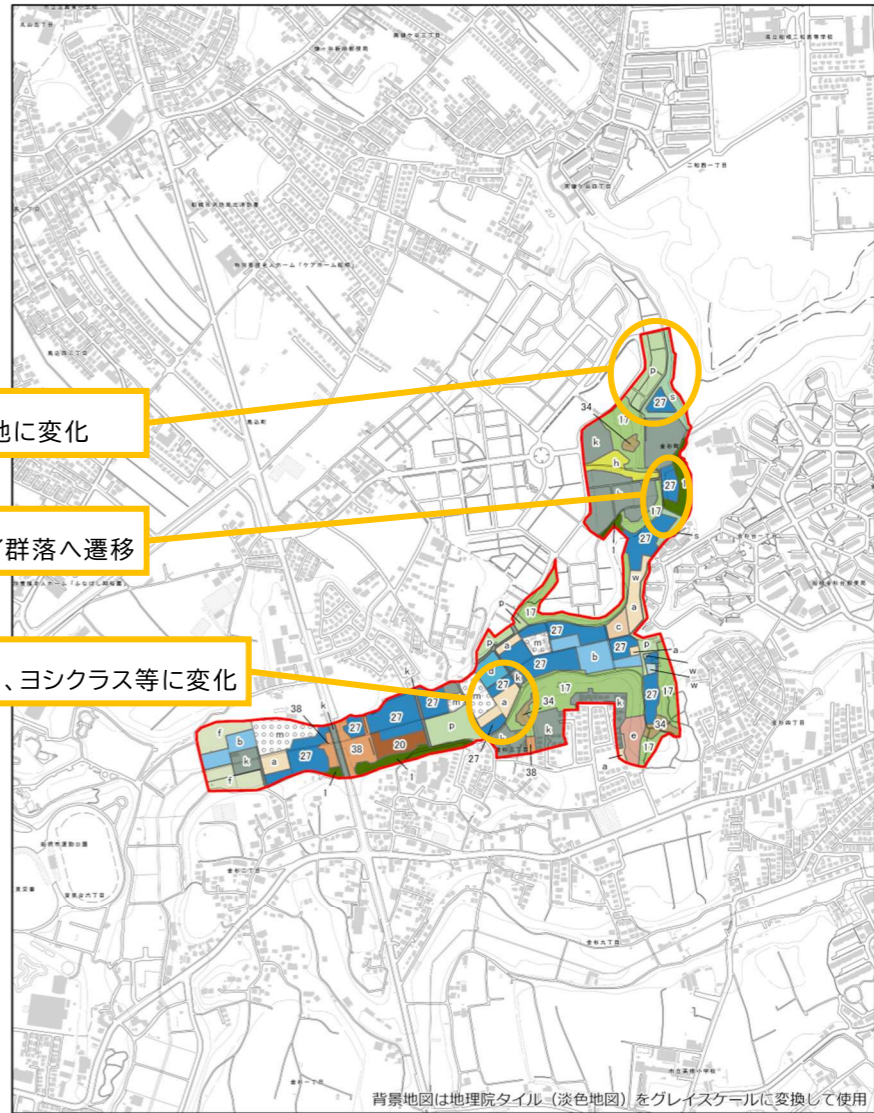
番号	St.10	調査地域名	船橋馬込霊園奥の馬込谷地・北谷津川		植生図																																																																																																																																																																																																								
		主な調査の種類	専門調査																																																																																																																																																																																																										
概	 <p>船橋馬込霊園奥の北谷津川を中心とした谷津と斜面林からなる調査地域。谷津を流れる北谷津川は幅 1.5m ほどのコンクリート護岸で、オオフサモが見られる。放棄耕作地と耕作地が半々程度存在し、耕作地は畑地が大半だが一部で水田も見られる。谷津の両側に樹林幅の狭いクヌギ-コナラ群落帯が帯状に分布している。調査地域外の霊園内には調整池が 2 か所存在する。北谷津川の整備予定区間の上流側の一部を調査範囲に追加した。</p>		<p>前回調査時(平成 26 年度)</p> 		<p>今回調査時(令和 7 年度)</p> 																																																																																																																																																																																																								
	積	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.10(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>16,076.2</td><td>9,788.9</td><td>↓減少</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>15,797.9</td><td>9,695.7</td><td>↓減少</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>4,379.0</td><td>1,698.6</td><td>↓減少</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>7,693.8</td><td>2,665.7</td><td>↓減少</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>2,265.7</td><td>3,240.1</td><td>↑増加</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>6,739.6</td><td>8,608.1</td><td>↑増加</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td><td>3,414.7</td><td>↑増加</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>26,276.7</td><td>40,593.4</td><td>↑増加</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>7,743.7</td><td>12,089.8</td><td>↑増加</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>12,780.8</td><td>17,126.6</td><td>↑増加</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td><td>6,027.5</td><td>↑増加</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>1,155.2</td><td>507.5</td><td>↓減少</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.10(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジ-スダジイ群落</td><td>2,749.6</td><td>9,456.0</td><td>↑増加</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ-エノキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ-シラカシ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>17</td><td>クヌギ-コナラ群落</td><td>40,979.7</td><td>39,555.4</td><td>↓減少</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ-アカメガシワ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ-エノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>2,711.3</td><td>3,423.3</td><td>↑増加</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td></td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td></td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ-ススキ群集</td><td></td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td></td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>31,909.3</td><td>43,980.4</td><td>↑増加</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>30</td><td>外菜水草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>3,451.4</td><td>3,591.9</td><td>↑増加</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td></td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>0.0</td><td>6,506.2</td><td>↑増加</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.10(m ²)			前回調査	今回調査	増減	a	畑雑草群落	16,076.2	9,788.9	↓減少	b	水田雑草群落	15,797.9	9,695.7	↓減少	c	放棄畑雑草群落	4,379.0	1,698.6	↓減少	d	放棄水田雑草群落	7,693.8	2,665.7	↓減少	e	果樹園	2,265.7	3,240.1	↑増加	f	路傍・空地雑草群落	6,739.6	8,608.1	↑増加	g	牧草地	0.0	0.0	-	h	ゴルフ場・芝地	0.0	3,414.7	↑増加	i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-	k	市街地	26,276.7	40,593.4	↑増加	L	工場地帯	0.0	0.0	-	m	造成地	7,743.7	12,089.8	↑増加	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	12,780.8	17,126.6	↑増加	s	残存・植栽樹群地	0.0	6,027.5	↑増加	w	開放水域	1,155.2	507.5	↓減少	凡例番号	群落名	St.10(m ²)			前回調査	今回調査	増減	1	ヤブコウジ-スダジイ群落	2,749.6	9,456.0	↑増加	5	ムクノキ-エノキ群集	0.0	0.0	-	6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-	8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-	13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0	0.0	-	17	クヌギ-コナラ群落	40,979.7	39,555.4	↓減少	18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	0.0	-	19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-	20	タケ・ササ群落	2,711.3	3,423.3	↑増加	21	メダケ群落		0.0	-	22	アズマネザサ群落		0.0	-	23	ススキ群団	0.0	0.0	-	25	チガヤ-ススキ群集		0.0	-	26	伐採跡地群落		0.0	-	27	ヨシクラス	31,909.3	43,980.4	↑増加	28	オギ群集	0.0	0.0	-	29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-	30	外菜水草群落	0.0	0.0	-	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	3,451.4	3,591.9	↑増加	35	クロマツ植林	0.0	0.0	-	36	その他植林		0.0	-	38	竹林	0.0	6,506.2	↑増加	<p>今回調査では、北谷津川の整備予定区間の上流側の一部を調査範囲に追加した。船橋馬込霊園奥の馬込谷地・北谷津川では、前回と比較して今回の調査では畑雑草群落、水田雑草群落、放棄畑雑草群落、放棄水田雑草群落の減少、造成地、路傍・空地雑草群落、ヨシクラスの増加等が確認された。畑雑草群落、水田雑草群落等の減少については、前回調査時は谷底部の畑や水田であった箇所が今回は造成地、放棄水田、ヨシクラス等に変化していることから、耕作放棄が進行している状況が見取れる。また、前回は水田であった箇所が今回は霊園の墓地に変化している箇所も確認された。一方でクヌギ-コナラ群落がヤブコウジ-スダジイ群落に置き換わっている箇所も見られ、一部の樹林では遷移の進行が確認された。当該調査地域は谷底部の谷津田に落葉広葉樹の斜面林から成る理想的な谷津環境が維持されている地域であるが、耕作放棄や市街化の傾向が見られることから、今後の動向を注視していく必要があると考えられる。本調査地域は、理想的な谷津環境が維持されている地域であり、希少性の高い重要種が複数確認されている。</p>
凡例番号	群落名	St.10(m ²)																																																																																																																																																																																																											
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																																																																																																									
a	畑雑草群落	16,076.2	9,788.9	↓減少																																																																																																																																																																																																									
b	水田雑草群落	15,797.9	9,695.7	↓減少																																																																																																																																																																																																									
c	放棄畑雑草群落	4,379.0	1,698.6	↓減少																																																																																																																																																																																																									
d	放棄水田雑草群落	7,693.8	2,665.7	↓減少																																																																																																																																																																																																									
e	果樹園	2,265.7	3,240.1	↑増加																																																																																																																																																																																																									
f	路傍・空地雑草群落	6,739.6	8,608.1	↑増加																																																																																																																																																																																																									
g	牧草地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
h	ゴルフ場・芝地	0.0	3,414.7	↑増加																																																																																																																																																																																																									
i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
k	市街地	26,276.7	40,593.4	↑増加																																																																																																																																																																																																									
L	工場地帯	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
m	造成地	7,743.7	12,089.8	↑増加																																																																																																																																																																																																									
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	12,780.8	17,126.6	↑増加																																																																																																																																																																																																									
s	残存・植栽樹群地	0.0	6,027.5	↑増加																																																																																																																																																																																																									
w	開放水域	1,155.2	507.5	↓減少																																																																																																																																																																																																									
凡例番号	群落名	St.10(m ²)																																																																																																																																																																																																											
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																																																																																																									
1	ヤブコウジ-スダジイ群落	2,749.6	9,456.0	↑増加																																																																																																																																																																																																									
5	ムクノキ-エノキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
17	クヌギ-コナラ群落	40,979.7	39,555.4	↓減少																																																																																																																																																																																																									
18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
20	タケ・ササ群落	2,711.3	3,423.3	↑増加																																																																																																																																																																																																									
21	メダケ群落		0.0	-																																																																																																																																																																																																									
22	アズマネザサ群落		0.0	-																																																																																																																																																																																																									
23	ススキ群団	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
25	チガヤ-ススキ群集		0.0	-																																																																																																																																																																																																									
26	伐採跡地群落		0.0	-																																																																																																																																																																																																									
27	ヨシクラス	31,909.3	43,980.4	↑増加																																																																																																																																																																																																									
28	オギ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
30	外菜水草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	3,451.4	3,591.9	↑増加																																																																																																																																																																																																									
35	クロマツ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																									
36	その他植林		0.0	-																																																																																																																																																																																																									
38	竹林	0.0	6,506.2	↑増加																																																																																																																																																																																																									

表 2-25(2) 調査地域概要 (St. 10)

番号	St.10	調査地域名				船橋馬込霊園奥の馬込谷地・北谷津川				生き物写真、前回調査との比較等	
		主な調査の種類		専門調査						専門調査による生き物個体写真	
種	種	【植物】 514種	【哺乳類】 5種	【鳥類】 31種	【両生類】 3種						
		【爬虫類】 5種	【昆虫類】 306種	【魚類】 4種	【底生動物】 57種						
	種	【植物】 9種 ヤナギモ、カワヂシャ、オニグルミ、 タカアザミ など	【哺乳類】 0種	【鳥類】 6種 コチドリ、 ハイタカ 、オオタカ、カワセミ、ホオジロ、 カケス	【両生類】 0種						
		【爬虫類】 3種 ニホンスッポン、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ	【昆虫類】 7種 ウチワヤンマ、チョウトンボ、 コノシメトンボ 、 ヒメジウジナガカメムシ 、ハイケボタル、 モンズズメバチ 、ゴマダラチョウ	【魚類】 1種 モツゴ	【底生動物】 1種 非公開種を1種確認。						
	種	【春】 10種 ホトケノザ、カントウタンポポ、 アライグマ 、コゲラ、モズ、シジウカラ、ツバメ、アカミミガメ、ヒガシニホントカゲ、ヤマトタマムシ	【夏】 22種 ヤマユリ、ススキ、カワセミ、コゲラ、シジウカラ、ツバメ、オニヤンマ、チョウトンボ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、ニイニゼミ、ノコギリクワガタ、ヤマトタマムシ、ハイケボタル、ナガサキアゲハ、ツマグロヒヨウモン、アカボシゴマダラ、 ヒメタニシ 、アキアカネ、オオカマキリなど	【秋】 8種 コゲラ、モズ、シジウカラ、アキアカネ、ツマグロヒヨウモン、アブラゼミ、ツクツクボウシ、カワセミ	【冬】 6種 ホトケノザ、カントウタンポポ、コゲラ、モズ、シジウカラ、オニヤンマ						
	種	198種	ヒメヒオウギズイセン、キシヨウブ、ホテイアオイ、 ネズミホソムギ 、 セイバンモロコシ 、オランダガラシ、オオブタクサ、 アメリカオニアザミ 、 ハクビシン 、 ドジョウ(中国大陸系統) 、 フロリダマミズヨコエビ 、 ヌマガエル 、 ヨコヅナサシガメ など								
		【特定外来生物】	オオフサモ、 アライグマ 、ウシガエル、アカミミガメ、アカボシゴマダラ、カダヤシ、アメリカザリガニ								
凡例	赤字…今回調査で初確認された種				前回調査と比較して確認されなかった種						
察	<p><重要種> 本調査地域ではウチワヤンマのような湿地環境に生息する重要種からヒメジウジナガカメムシのような草地性の種、そのほか樹林性の種が確認されており、多様な環境が存在する調査地域であるほか、猛禽類のハイタカ、オオタカの飛来も確認されている。</p> <p><指標種> 本調査地域は調査地域の中でも水田雑草群落が多く確認されている地域であり、ハイケボタル、チョウトンボ、ヒメタニシ等、湿地、水田の指標種が確認されている。耕作放棄に伴い放棄水田群落、造成地等が増加しているが、モズ、カワセミ、コゲラ、ツバメ等の多くの鳥類が確認されており、耕作放棄により一時的に増加した草地を利用していると推察された。</p> <p><外来種> 北谷津川を中心にアメリカザリガニやオオフサモといった湿地性の種やアライグマ、アカボシゴマダラといった船橋市全域で確認数が増加している外来種が確認されており、在来の水生生物との競合が懸念される。</p>				重要種	ハシバミ、ヒメナミキ、ダイサギ、オオジュリン、アズマヒキガエル、シュレーゲルアオガエル、ニホンカナヘビ、シマヘビ、コオイムシ、クロスジギンヤンマ、オオサカアオゴミムシ、ウマノオバチ、コムラサキ、コシロシタバなど					
	指標種	ニホンカナヘビなど									
	特定外来生物	なし									
	特記事項	<p>環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など</p> <p>・活動市民団体有り。</p>									

表 2-26(1) 調査地域概要 (St. 14-1)


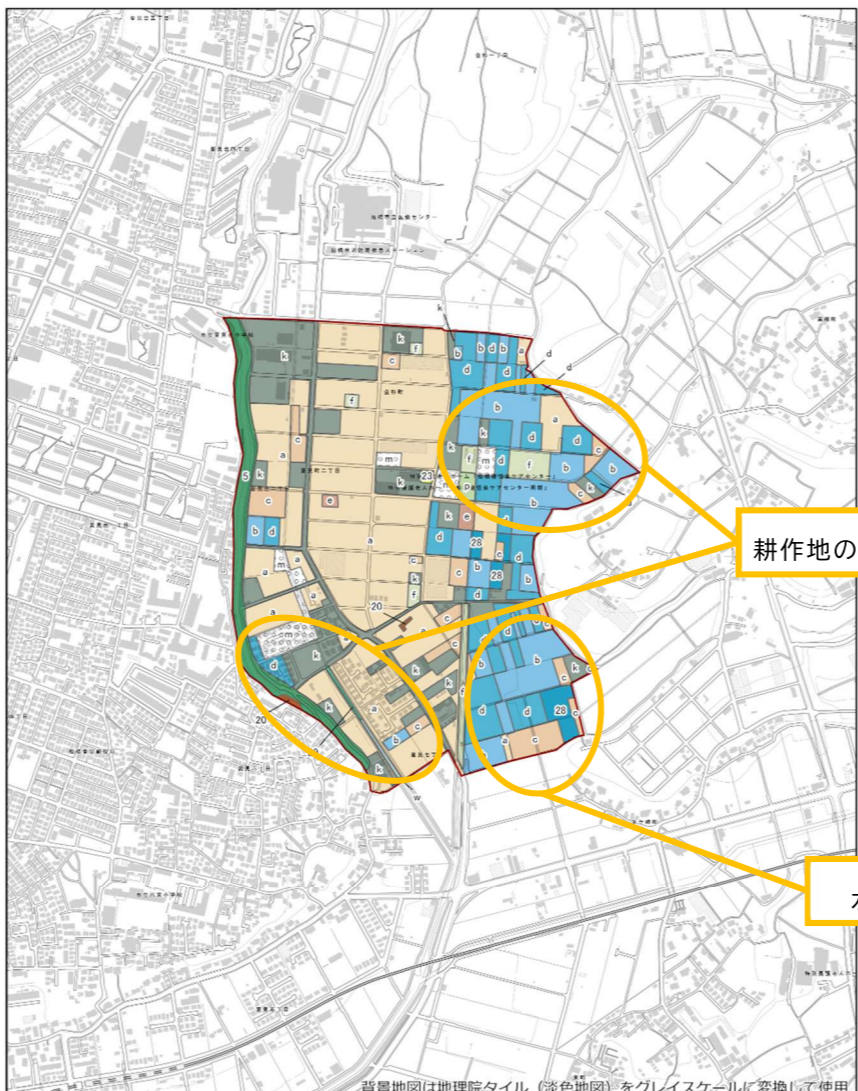
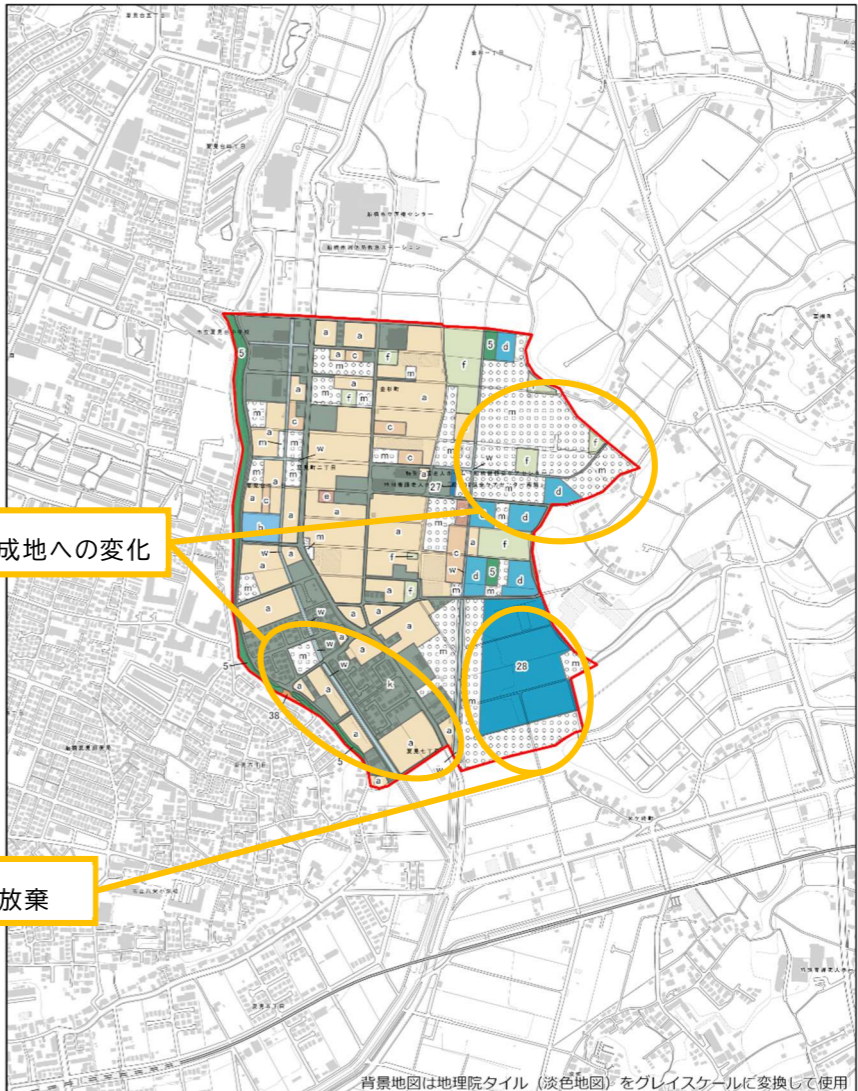
番号	St.14-1	調査地域名	海老川流域	植生図																																																																																																																						
		主な調査の種類	専門調査																																																																																																																							
概																																																																																																																										
	<p>念田川と北谷津川の谷津田を中心とした調査地域。調査地中央の念田川は幅1~2mで両岸は矢板及びコンクリート護岸、調査地域西側の北谷津川は幅1.5~2.5m程度で両岸は矢板。調査地域内の大部分を畑地、及び草地在り、河岸段丘崖にコナラを主体とした斜面林が帯状に見られる。</p>																																																																																																																									
植	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.14-1(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>218,432.0</td><td>158,987.3</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>68,777.7</td><td>4,179.4</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>27,525.2</td><td>9,828.3</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>62,479.1</td><td>17,857.1</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>2,243.6</td><td>1,923.8</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>12,730.3</td><td>24,729.0</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>89,800.6</td><td>118,672.1</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>14,721.1</td><td>128,838.8</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>1,778.8</td><td>0.0</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>957.1</td><td>14,521.9</td><td>△増加</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.14-1(m ²)			前回調査	今回調査	増減	a	畑雑草群落	218,432.0	158,987.3	△減少	b	水田雑草群落	68,777.7	4,179.4	△減少	c	放棄畑雑草群落	27,525.2	9,828.3	△減少	d	放棄水田雑草群落	62,479.1	17,857.1	△減少	e	果樹園	2,243.6	1,923.8	△減少	f	路傍・空地雑草群落	12,730.3	24,729.0	△増加	g	牧草地	0.0	0.0	-	h	ゴルフ場・芝地	0.0	0.0	-	i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-	k	市街地	89,800.6	118,672.1	△増加	L	工場地帯	0.0	0.0	-	m	造成地	14,721.1	128,838.8	△増加	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	1,778.8	0.0	△減少	s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-	w	開放水域	957.1	14,521.9	△増加	<p>前回調査時(平成 26 年度)</p>  <p>耕作地の市街地、造成地への変化</p> <p>水田の耕作放棄</p> <p>背景地図は地理院タイル(淡色地図)をグレイスケールに変換して使用</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査範囲 過年度調査範囲 29.ヒルムシロク拉斯 5.ムクノキ・エノキ群集 a.畑雑草群落 b.水田雑草群落 c.放棄畑雑草群落 d.放棄水田雑草群落 e.果樹園 f.路傍・空地雑草群落 k.市街地 p.残存・植栽樹群をもった公園、墓地等 w.開放水域 m.造成地 <p>1:10,000</p> <p>0 125 250 500 m</p> <p>【st14】</p>																																				
	凡例番号	群落名			St.14-1(m ²)																																																																																																																					
前回調査			今回調査	増減																																																																																																																						
a	畑雑草群落	218,432.0	158,987.3	△減少																																																																																																																						
b	水田雑草群落	68,777.7	4,179.4	△減少																																																																																																																						
c	放棄畑雑草群落	27,525.2	9,828.3	△減少																																																																																																																						
d	放棄水田雑草群落	62,479.1	17,857.1	△減少																																																																																																																						
e	果樹園	2,243.6	1,923.8	△減少																																																																																																																						
f	路傍・空地雑草群落	12,730.3	24,729.0	△増加																																																																																																																						
g	牧草地	0.0	0.0	-																																																																																																																						
h	ゴルフ場・芝地	0.0	0.0	-																																																																																																																						
i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-																																																																																																																						
k	市街地	89,800.6	118,672.1	△増加																																																																																																																						
L	工場地帯	0.0	0.0	-																																																																																																																						
m	造成地	14,721.1	128,838.8	△増加																																																																																																																						
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	1,778.8	0.0	△減少																																																																																																																						
s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-																																																																																																																						
w	開放水域	957.1	14,521.9	△増加																																																																																																																						
の	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.14-1(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジ・スダジイ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ・エノキ群集</td><td>25,531.4</td><td>15,254.4</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ・シラカシ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>17</td><td>クスギ・コナラ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ・アカメガシワ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ・エノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>763.0</td><td>0.0</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>544.4</td><td>0.0</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ・ススキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシク拉斯</td><td>0.0</td><td>508.3</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>8,433.5</td><td>39,927.8</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロク拉斯</td><td>775.5</td><td>0.0</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>0.0</td><td>392.2</td><td>△増加</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.14-1(m ²)			前回調査	今回調査	増減	1	ヤブコウジ・スダジイ群落	0.0	0.0	-	5	ムクノキ・エノキ群集	25,531.4	15,254.4	△減少	6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-	8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-	13	ケヤキ・シラカシ群落	0.0	0.0	-	17	クスギ・コナラ群落	0.0	0.0	-	18	クサギ・アカメガシワ群落	0.0	0.0	-	19	アカメガシワ・エノキ群落	0.0	0.0	-	20	タケ・ササ群落	763.0	0.0	△減少	21	メダケ群落	0.0	0.0	-	22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-	23	ススキ群団	544.4	0.0	△減少	25	チガヤ・ススキ群集	0.0	0.0	-	26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-	27	ヨシク拉斯	0.0	508.3	△増加	28	オギ群集	8,433.5	39,927.8	△増加	29	ヒルムシロク拉斯	775.5	0.0	△減少	30	外来水草群落	0.0	0.0	-	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	0.0	-	35	クロマツ植林	0.0	0.0	-	36	その他植林	0.0	0.0	-	38	竹林	0.0	392.2	△増加	<p>今回調査時(令和 7 年度)</p>  <p>背景地図は地理院タイル(淡色地図)をグレイスケールに変換して使用</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査範囲 5.ムクノキ・エノキ群集 27.ヨシク拉斯 28.オギ群集 38.竹林 a.畑雑草群落 b.水田雑草群落 c.放棄畑雑草群落 d.放棄水田雑草群落 e.果樹園 f.路傍・空地雑草群落 k.市街地 w.開放水域 m.造成地 <p>1:10,000</p> <p>0 125 250 500 m</p> <p>【14-1 海老川流域】</p>	
凡例番号	群落名	St.14-1(m ²)																																																																																																																								
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																						
1	ヤブコウジ・スダジイ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
5	ムクノキ・エノキ群集	25,531.4	15,254.4	△減少																																																																																																																						
6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
13	ケヤキ・シラカシ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
17	クスギ・コナラ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
18	クサギ・アカメガシワ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
19	アカメガシワ・エノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
20	タケ・ササ群落	763.0	0.0	△減少																																																																																																																						
21	メダケ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
23	ススキ群団	544.4	0.0	△減少																																																																																																																						
25	チガヤ・ススキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																						
26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
27	ヨシク拉斯	0.0	508.3	△増加																																																																																																																						
28	オギ群集	8,433.5	39,927.8	△増加																																																																																																																						
29	ヒルムシロク拉斯	775.5	0.0	△減少																																																																																																																						
30	外来水草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																						
35	クロマツ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																						
36	その他植林	0.0	0.0	-																																																																																																																						
38	竹林	0.0	392.2	△増加																																																																																																																						
の	<p>海老川流域では、前回と比較して今回の調査では畑雑草群落、水田雑草群落、放棄畑雑草群落、放棄水田雑草群落の減少等が確認された。一方で、造成地、市街地、オギ群落は顕著に増加していた。北谷津川の西側には帯状の斜面林が見られるが、北谷津川と念田川に挟まれた箇所には広く畑が、念田川の東側には水田が分布している。前回と比較すると、耕作地であった箇所に今回は造成地や市街地が広く分布しており、10年で市街化が進行していると考えられ、今後の植生面積の減少が危惧される。また、前回調査時は水田であった箇所が今回はヨシク拉斯等に変化していることから、耕作放棄が進行している状況も見て取れる。当該調査地域では、重要種であるニホンウナギが確認されていることから、ニホンウナギの貴重な生息環境がこれまで維持されてきたと考えられるが、耕作放棄や市街化に伴う水域環境の悪化が懸念され、今後の動向を注視していく必要があると考えられる。</p>																																																																																																																									

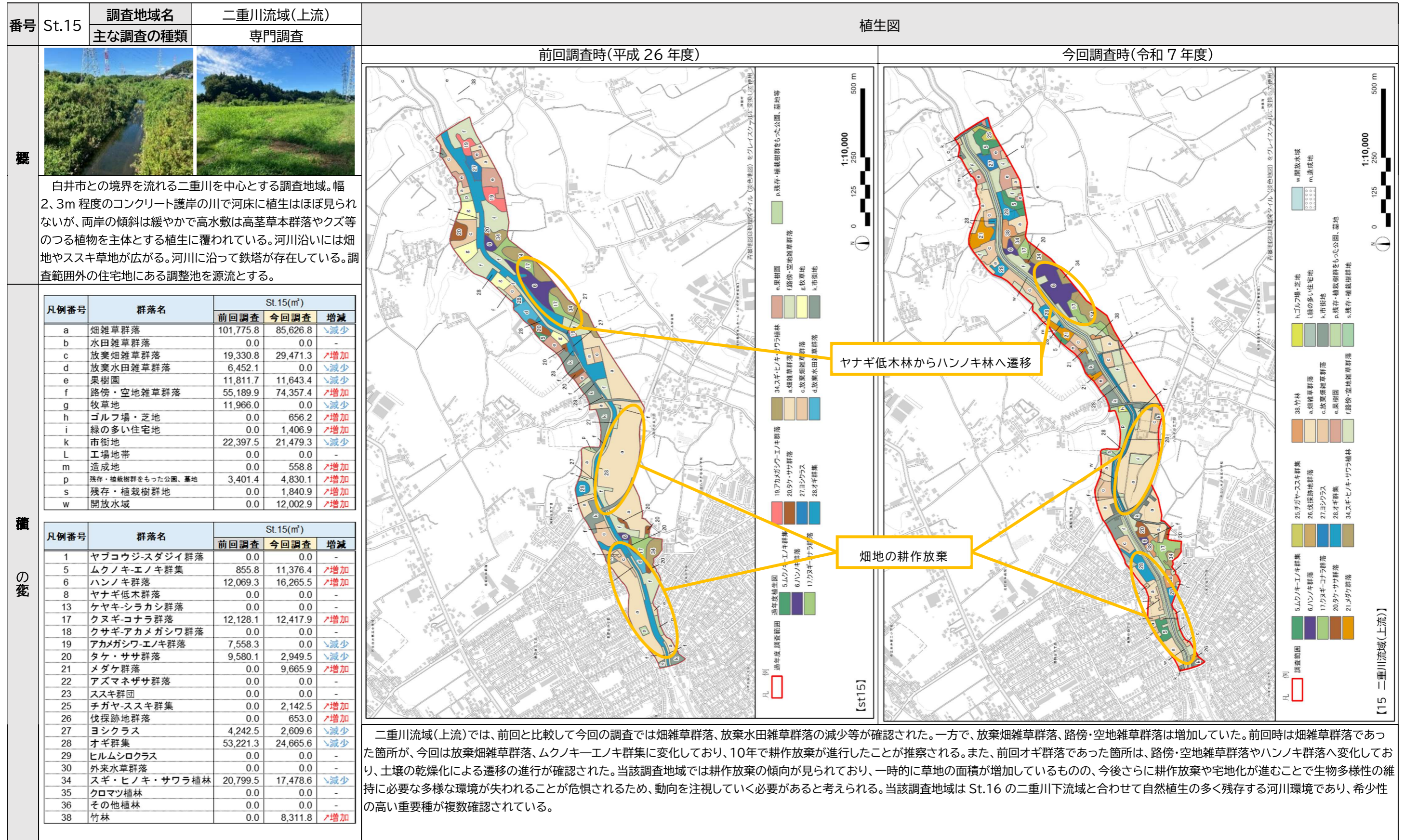
表 2-26(2) 調査地域概要 (St. 14-1)

番号	調査地域名		海老川流域				生き物写真、前回調査との比較等	
	St.14-1	主な調査の種類	専門調査					
種	種	【植物】 317種 【爬虫類】 8種	【哺乳類】 5種 【昆虫類】 238種	【鳥類】 32種 【魚類】 19種	【両生類】 1種 【底生動物】 60種	専門調査による生き物個体写真		
	種	【植物】 1種 カワヂシャ	【哺乳類】 0種	【鳥類】 7種 コチドリ、オオタカ、セツカ、 カワセミ 、ヒバリ、コサギ、 オオバン	【両生類】 0種			
	種	【爬虫類】 6種 ニホンヤモリ 、 ヒガシニホントカゲ 、ニホンカナヘビ、ヒバカリ、ニホンスッポン、アオダイショウ	【昆虫類】 3種 シロヘリツチカメムシ 、ゴマダラチョウ、 ヒメジウジナガカメムシ	【魚類】 4種 ニホンウナギ、モツゴ、 ヌマチチブ 、 ビリンゴ	【底生動物】 6種 テナガエビ、スジエビ、モクズガニ、 クロベンケイガニ 、 ベンケイガニ など			
	種	【春】 9種 ホトケノザ、コゲラ、ヒバリ、シジウカラ、ツバメ、アカミミガメ、 ヒガシニホントカゲ 、ニホンカナヘビ、コサギ	【夏】 14種 ススキ、 オオキンケイギク 、 カワセミ 、コゲラ、シジウカラ、ツバメ、アカミミガメ、ニホンカナヘビ、アカボシゴマダラ、ミンミンゼミ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、ヒバリ、ノコギリクワガタ	【秋】 11種 コサギ、 カワセミ 、コゲラ、モズ、シジウカラ、 ヒメタニシ 、アキアカネ、アブラゼミ、ノコギリクワガタ、アカミミガメ、 ヒガシニホントカゲ	【冬】 3種 コサギ、モズ、シジウカラ	カワヂシャ	ハクセキレイ	
	種	148種	セイバンモロコシ、 オランダガラシ 、オオブタクサ、アメリカオニアザミ、ノハカタカラクサ、オッタチカタバミ、 ハクビシン 、 ハツカネズミ 、コイ、 タイリクバラタナゴ 、フロリダマミズヨコエビ、オオタバコガなど	【特定外来生物】 オオフサモ、アレチウリ、 オオキンケイギク 、アカミミガメ、アカボシゴマダラ、カダヤシ、アメリカザリガニ、ウシガエル				
	凡例	赤字…今回調査で初確認された種						前回調査と比較して確認されなかった種
察	<p><重要種> 本調査地域は河川と耕作地を主体とした環境であり、前回調査時と比較して耕作放棄のため水田や畑の面積が減少しているが、草地に見られるヒメジウジナガカメムシなどの重要種は確認されている。海老川ではニホンウナギ、モツゴ、ヌマチチブといった重要種が確認された。また、鳥類についてはオオタカのような猛禽類の重要種のほか水辺の重要種であるオオバンも確認されており、市街化調整区域に指定された地域の中でも所々で重要種が確認されている。</p> <p><指標種> 調査地域の環境を反映し、草地環境や宅地周辺に生息するニホンカナヘビやツバメなどの指標種が確認されたほか、湿地、水辺に生息するヒメタニシ、アキアカネ等の水生生物も確認されている。</p> <p><外来種> 耕作放棄により造成地が増加したことから、セイバンモロコシ、アメリカオニアザミ等の侵入が確認されている。また水路ではオオフサモ、アメリカザリガニ、アカミミガメといった水生の種が確認されている。</p>				重要種	ヤナギモ、ウスゲチョウジタデ、コカイタネツケバナ、センダングサ、ダイサギ、トウキョウダルマガエル、ニホンイシガメ、ヤマカガシ、ツマグロバウタ、コハンミョウ、マルタニシなど		
					指標種	トウキョウダルマガエル、オオカマキリ、ツマグロヒョウモン、マルタニシなど		
					特定外来生物	オオカワヂシャ		
					特記事項	<p>環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など</p> <p>・市街化調整区域に該当しているが小規模な開発が進んでおり、今後の土地利用の変化に伴う環境変化に留意する必要がある。</p>		

表 2-27 調査地域概要 (St. 14-2)

番号	St.14-2	調査地域名	海老川流域(下流)				生き物写真、前回調査との比較等	
		主な調査の種類	専門調査				専門調査による生き物個体写真等	
観	市街地の中から河口までを流れる海老川下流域の調査地域。河川はコンクリート護岸であり自然植生は見られない。河川沿いは街路樹程度で、まとまった樹林は見られない。河口付近は汽水域となっている。							
	種	【植物】 1種	【哺乳類】 0種	【鳥類】 24種	【両生類】 0種			
		【爬虫類】 1種	【昆虫類】 1種	【魚類】 0種	【底生動物】 0種			
	種	【植物】 0種	【哺乳類】 0種	【鳥類】 2種	【両生類】 0種			
				オオバン、ダイサギ				
		【爬虫類】 0種	【昆虫類】 0種	【魚類】 0種	【底生動物】 0種			
種	【春】 2種	【夏】 1種	【秋】 2種	【冬】 0種				
	ツバメ、オオキンケイギク	ツバメ	シジュウカラ、アカミミガメ、アキアカネ					
	種	2種						
		【特定外来生物】	アカミミガメ、オオキンケイギク					
凡例	赤字…今回調査で初確認された種				前回調査と比較して確認されなかった種前			
察	<p><重要種> 重要種はダイサギが確認されている。ダイサギは水辺に生息する鳥類であり、海老川流域にも採餌等で飛来していることが推察される。前回調査と比較してスズガモやオオセグロカモメといった海鳥の飛来が確認されなかったが、前回から環境の大きな変化はないと考えられることから、理由は不明である。</p> <p><指標種> ツバメ、シジュウカラが確認されている。ツバメ、シジュウカラともに河川沿いの小規模な緑地を利用していることが推察される。</p> <p><外来種> アカミミガメ、オオキンケイギクが河川沿いの環境で確認されている。</p>				重要種	スズガモ、ホオジロガモ、イソシギ、オオセグロカモメ、カワセミ、ハヤブサ		
	指標種	カワセミ						
	特定外来生物							
	特記事項	<p>環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など</p> <p>・専門調査では、鳥類のみ調査対象。今回調査において、市民から鳥類以外についても報告があった。</p>						

表 2-28(1) 調査地域概要 (St. 15)



二重川流域(上流)では、前回と比較して今回の調査では畑雑草群落、放棄水田雑草群落の減少等が確認された。一方で、放棄畑雑草群落、路傍・空地雑草群落は増加していた。前回時は畑雑草群落であった箇所が、今回は放棄畑雑草群落、ムクノキ-エノキ群集に変化しており、10年で耕作放棄が進行したことが推察される。また、前回オギ群落であった箇所は、路傍・空地雑草群落やハンノキ群落へ変化しており、土壌の乾燥化による遷移の進行が確認された。当該調査地域では耕作放棄の傾向が見られており、一時的に草地の面積が増加しているものの、今後さらに耕作放棄や宅地化が進むことで生物多様性の維持に必要な多様な環境が失われることが危惧されるため、動向を注視していく必要があると考えられる。当該調査地域は St.16 の二重川下流域と合わせて自然植生の多く残存する河川環境であり、希少性の高い重要種が複数確認されている。

表 2-28(2) 調査地域概要 (St. 15)




番号	St.15	調査地域名				二重川流域(上流)				生き物写真、前回調査との比較等	
		主な調査の種類		専門調査							
種	種	【植物】	421種	【哺乳類】	8種	【鳥類】	44種	【両生類】	3種	専門調査による生き物個体写真	
		【爬虫類】	6種	【昆虫類】	253種	【魚類】	11種	【底生動物】	44種		
	種	【植物】	2種	【哺乳類】	2種	【鳥類】	13種	【両生類】	2種		
		オニグルミなど		ジネズミ、カヤネズミ		ダイサギ、コサギ、ツミ、ハ イタカ、ノスリ、カワセミ、 カケス、ヒバリ、ホオジロ、 カイツブリ、オオタカなど		アズマヒキガエル、ニホン アカガエル			
		【爬虫類】	4種	【昆虫類】	5種	【魚類】	1種	【底生動物】	4種		
		ニホンスッポン、ニホンヤ モリ、ジムグリ、シマヘビ		エノキカイガラキジラミ、ヒ メジウジンガカメムシ、ゴ マダラチョウ、ヤマトシリア ゲなど		モツゴ		テナガエビ、スジエビなど			
種	種	【春】	14種	【夏】	19種	【秋】	12種	【冬】	5種	ヒバリ	コサギ
		ホトケノザ、カントウタンポ ポ、アライグマ、コサギ、コ ゲラ、モズ、シジウカラ、 ヒバリ、ツバメ、アカミミガ メ、オオカマキリなど		ヤマユリ、ススキ、アライグマ、 コゲラ、シジウカラ、モズ、ア カミミガメ、ノコギリクワガタ、 ヤマトタムシ、ナガサキアゲ ハ、アカボシゴマダラ、アブラ ゼミ、ニイニイゼミ、ミンミンゼ ミ、オオキンケイギク、コサギ、 ツバメ、ツマグロヒヨウモンな ど		アキアカネ、オオカマキリ、 ヤマトタムシ、アブラゼ ミ、アカボシゴマダラ、ニホ ンアカガエル、カワセミ、モ ズ、シジウカラ、コゲラ、 アカミミガメ、コサギ		カヤネズミ、カワセミ、モ ズ、シジウカラ、ホトケノ ザ			
	種	185種	オオカナダモ、ネズミホソムギ、オニウシノケグサ、セイバンモロコシ、ハリエンジュ、オランダガラシ、シャクチリソバ、オオブタクサ、セイタカアワダチソウ、コイ、ドジョウ(中国大陸系統)、カムルチー、タイワンシジミ、フロリダマミズヨコエビ、アメリカミズアブなど								
	【特定外来生物】		アレチウリ、アライグマ、ウシガエル、アカミミガメ、アカボシゴマダラ、カダヤシ、オオクチバス、アメリカザリガニ、オオキンケイギク						ジムグリ	ヒメジウジンガカメムシ	
凡例		赤字…今回調査で初確認された種				前回調査と比較して確認されなかった種					
察	重要種	＜重要種＞ カヤネズミやニホンスッポンのような河川沿いに生息する重要種を中心に、ノスリ、オオタカ等の猛禽類を含む多くの鳥類の飛来が確認されており、自然環境が豊かな地域であることが示唆される。二重川ではモツゴ等の流れのある水域に生息する重要種からニホンアカガエル等の止水を好む重要種が確認されており、河川内だけでも多様な環境が存在することが示唆されている。				カワヂシャ、ホトトギス、バン、ヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、ヒバカリ、コハンミョウ、ヒメマイマイカブリ、ニホンアカガエルなど					
	指標種	＜指標種＞ 河川沿いの草地に生息するカヤネズミやヒバリが確認されており、樹林、谷津田に生息するコサギ等、自然環境の豊かな河川環境沿いで確認される指標種が確認されている。また、河川沿いの放棄耕作跡地でカヤネズミが確認されていることから、耕作放棄によって一時的にカヤネズミの生息に適した草地環境が増加している可能性があると考えられる。				ヒガシニホントカゲ、ニホンアカガエル、ツクツクボウシなど					
	特定外来生物	＜外来種＞ アライグマ、アカボシゴマダラといった船橋市全域で確認数が増加している外来種が確認されている。また、オオクチバスも確認されており、モツゴをはじめとした在来魚類における脅威となっていることが示唆されている。				なし					
	特記事項					環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など 二重川では、平成6年度から平成18年度にかけて上流域において河川改修事業が行われている。現在は千葉県によって一級河川として管理されている。					

表 2-29(1) 調査地域概要 (St. 16)


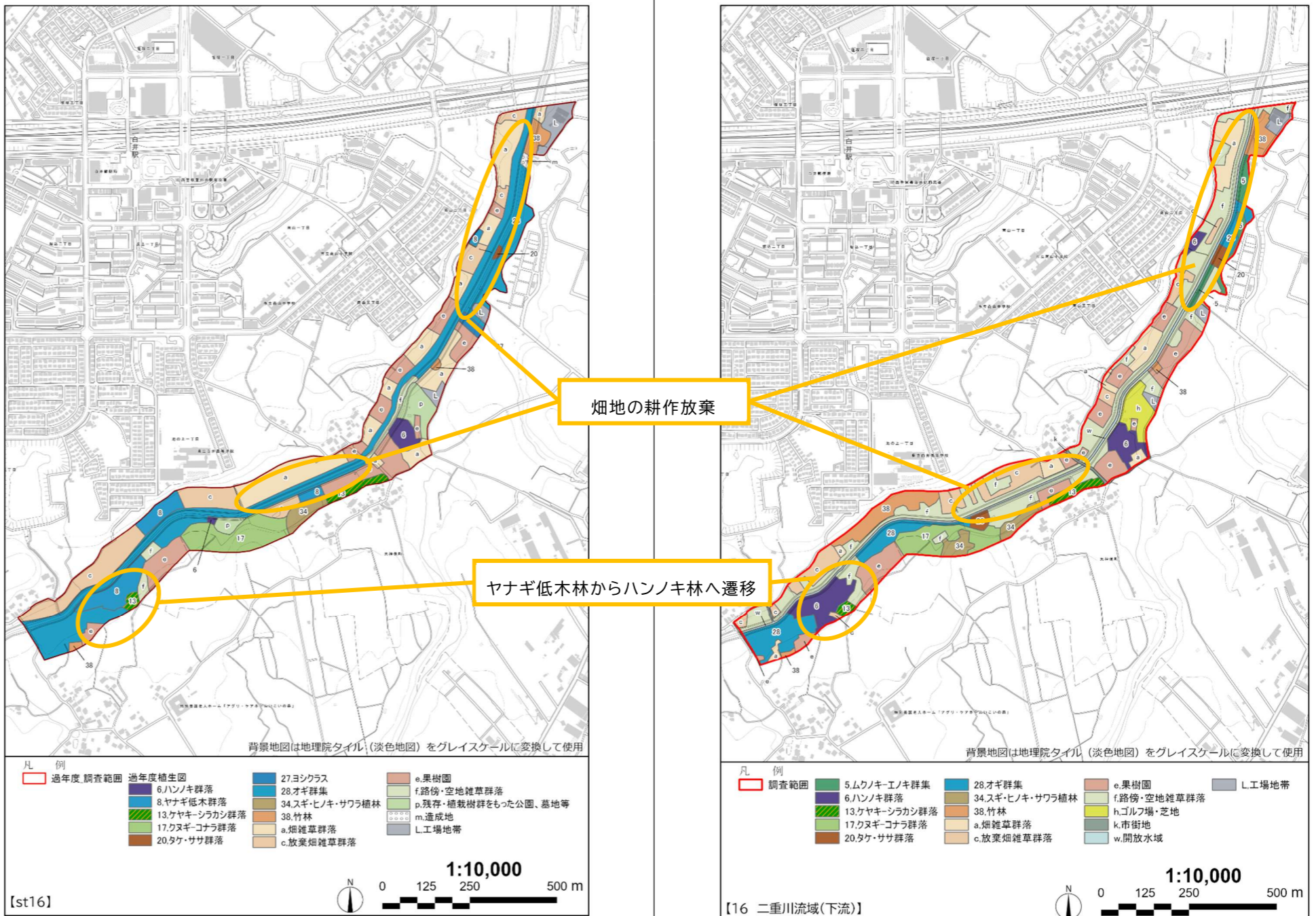
番号	St.16	調査地域名	二重川流域(下流)	植生図																																																																																																																							
		主な調査の種類	専門調査	前回調査時(平成 26 年度)	今回調査時(令和 7 年度)																																																																																																																						
概	 <p>白井市との境界を流れる二重川を中心とする調査地域。幅 2、3m 程度のコンクリート護岸の川で河床に植生はほぼ見られないが、両岸の傾斜は緩やかで高水敷は高茎草本群落やクス等のつる植物を主体とする植生に覆われている。河川沿いには畑地やススキ草場が広がる。河川に沿って鉄塔が存在している。</p>																																																																																																																										
種	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.16(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>62,349.7</td><td>24,787.4</td><td>減少</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>44,243.3</td><td>40,405.7</td><td>減少</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>44,574.2</td><td>44,480.6</td><td>減少</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>7,366.1</td><td>131,653.2</td><td>増加</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td><td>9,456.6</td><td>増加</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>0.0</td><td>1,636.7</td><td>増加</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>11,037.9</td><td>6,152.2</td><td>減少</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>828.3</td><td>0.0</td><td>減少</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>11,903.2</td><td>0.0</td><td>減少</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>0.0</td><td>18,280.5</td><td>増加</td></tr> </tbody> </table>	凡例番号	群落名	St.16(m ²)			前回調査	今回調査	増減	a	畑雑草群落	62,349.7	24,787.4	減少	b	水田雑草群落	0.0	0.0	-	c	放棄畑雑草群落	44,243.3	40,405.7	減少	d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-	e	果樹園	44,574.2	44,480.6	減少	f	路傍・空地雑草群落	7,366.1	131,653.2	増加	g	牧草地	0.0	0.0	-	h	ゴルフ場・芝地	0.0	9,456.6	増加	i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-	k	市街地	0.0	1,636.7	増加	L	工場地帯	11,037.9	6,152.2	減少	m	造成地	828.3	0.0	減少	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	11,903.2	0.0	減少	s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-	w	開放水域	0.0	18,280.5	増加																																							
				凡例番号	群落名	St.16(m ²)																																																																																																																					
前回調査	今回調査	増減																																																																																																																									
a	畑雑草群落	62,349.7	24,787.4	減少																																																																																																																							
b	水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
c	放棄畑雑草群落	44,243.3	40,405.7	減少																																																																																																																							
d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
e	果樹園	44,574.2	44,480.6	減少																																																																																																																							
f	路傍・空地雑草群落	7,366.1	131,653.2	増加																																																																																																																							
g	牧草地	0.0	0.0	-																																																																																																																							
h	ゴルフ場・芝地	0.0	9,456.6	増加																																																																																																																							
i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-																																																																																																																							
k	市街地	0.0	1,636.7	増加																																																																																																																							
L	工場地帯	11,037.9	6,152.2	減少																																																																																																																							
m	造成地	828.3	0.0	減少																																																																																																																							
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	11,903.2	0.0	減少																																																																																																																							
s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-																																																																																																																							
w	開放水域	0.0	18,280.5	増加																																																																																																																							
の	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.16(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジスダジイ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ-エノキ群集</td><td>0.0</td><td>9,248.5</td><td>増加</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>6,037.0</td><td>36,502.5</td><td>増加</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>21,796.6</td><td>0.0</td><td>減少</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ-シラカシ群落</td><td>6,031.2</td><td>7,214.6</td><td>増加</td></tr> <tr><td>17</td><td>クスギ-コナラ群落</td><td>21,968.7</td><td>16,025.2</td><td>減少</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ-アカメガシワ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ-エノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>621.5</td><td>4,117.3</td><td>増加</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ-ススキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>2,321.4</td><td>0.0</td><td>減少</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>94,908.8</td><td>44,627.2</td><td>減少</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>6,060.9</td><td>9,062.1</td><td>増加</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>5,925.0</td><td>21,789.4</td><td>増加</td></tr> </tbody> </table>	凡例番号	群落名	St.16(m ²)			前回調査	今回調査	増減	1	ヤブコウジスダジイ群落	0.0	0.0	-	5	ムクノキ-エノキ群集	0.0	9,248.5	増加	6	ハンノキ群落	6,037.0	36,502.5	増加	8	ヤナギ低木群落	21,796.6	0.0	減少	13	ケヤキ-シラカシ群落	6,031.2	7,214.6	増加	17	クスギ-コナラ群落	21,968.7	16,025.2	減少	18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	0.0	-	19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-	20	タケ・ササ群落	621.5	4,117.3	増加	21	メダケ群落	0.0	0.0	-	22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-	23	ススキ群団	0.0	0.0	-	25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-	26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-	27	ヨシクラス	2,321.4	0.0	減少	28	オギ群集	94,908.8	44,627.2	減少	29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-	30	外来水草群落	0.0	0.0	-	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	6,060.9	9,062.1	増加	35	クロマツ植林	0.0	0.0	-	36	その他植林	0.0	0.0	-	38	竹林	5,925.0	21,789.4	増加				
凡例番号	群落名			St.16(m ²)																																																																																																																							
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																							
1	ヤブコウジスダジイ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
5	ムクノキ-エノキ群集	0.0	9,248.5	増加																																																																																																																							
6	ハンノキ群落	6,037.0	36,502.5	増加																																																																																																																							
8	ヤナギ低木群落	21,796.6	0.0	減少																																																																																																																							
13	ケヤキ-シラカシ群落	6,031.2	7,214.6	増加																																																																																																																							
17	クスギ-コナラ群落	21,968.7	16,025.2	減少																																																																																																																							
18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
20	タケ・ササ群落	621.5	4,117.3	増加																																																																																																																							
21	メダケ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
23	ススキ群団	0.0	0.0	-																																																																																																																							
25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																							
26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
27	ヨシクラス	2,321.4	0.0	減少																																																																																																																							
28	オギ群集	94,908.8	44,627.2	減少																																																																																																																							
29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																							
30	外来水草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	6,060.9	9,062.1	増加																																																																																																																							
35	クロマツ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																							
36	その他植林	0.0	0.0	-																																																																																																																							
38	竹林	5,925.0	21,789.4	増加																																																																																																																							
変	 <p>背景地図は地理院タイル(淡色地図)をグレイスケールに変換して使用</p> <p>1:10,000</p> <p>0 125 250 500 m</p> <p>【st16】</p>																																																																																																																										
		<p>二重川流域(下流)では、前回と比較して今回の調査では畑雑草群落、放棄畑雑草群落の減少等が確認された。一方で、路傍・空地雑草群落は顕著に増加していた。前回時は畑雑草群落や放棄畑雑草群落であった箇所が、今回は路傍・空地雑草群落に変化しており、10年で耕作放棄と遷移が進行したことが推察される。また、前回ヤナギ低木群落であった箇所はハンノキ群落に、オギ群落であった箇所はムクノキ-エノキ群集等に変化しており、土壌の乾燥化による遷移の進行が確認された。当該調査地域でも St.15 二重川流域(上流)と同じく耕作放棄の傾向が見られており、今後さらに耕作放棄や宅地化が進むことで生物多様性の維持に必要な多様な環境が失われることが危惧されるため、動向を注視していく必要があると考えられる。当該調査地域は St.15 の二重川上流域と合わせて自然植生の多く残存する河川環境であり、希少性の高い重要種が複数確認されている。</p>																																																																																																																									

表 2-29(2) 調査地域概要 (St. 16)

番号	St.16	調査地域名				二重川流域(下流)				生き物写真、前回調査との比較等	
		主な調査の種類		専門調査							
■	種	【植物】	426種	【哺乳類】	8種	【鳥類】	37種	【両生類】	1種	専門調査による生き物個体写真	
		【爬虫類】	2種	【昆虫類】	271種	【魚類】	10種	【底生動物】	53種		
		【植物】	2種	【哺乳類】	1種	【鳥類】	8種	【両生類】	1種		
		カワヂシャなど		カヤネズミ		ダイサギ、コサギ、カワセミ、ヒバリ、ホオジロ、キセキレイなど		ニホンアカガエル			
		【爬虫類】	1種	【昆虫類】	6種	【魚類】	1種	【底生動物】	6種		
		ニホンヤモリ		ホソミイトトンボ、タナカツハネゴミムシ、バッコウヒラタシデムシ、ミヤマチャバネセセリ、ゴマダラチョウなど		モツゴ		テナガエビ、スジエビ、カトリヤンマなど			
■	種	【春】	10種	【夏】	12種	【秋】	8種	【冬】	5種	ニホンアカガエル(幼生)	
		ホトケノザ、コサギ、コゲラ、モズ、シジュウカラ、ツバメ、アカミミガメ、オオカマキリ、ニホンアカガエルなど		ススキ、アライグマ、ヒバリ、クマゼミ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、ニホンアカガエル、コゲラ、モズ、シジュウカラ、ツバメなど		アキアカネ、ノコギリクワガタ、アブラゼミ、カワセミ、コゲラ、モズ、シジュウカラ、ススキ		アライグマ、カヤネズミ、カワセミ、モズ、シジュウカラ		オオカナダモ	
		156種		オオカナダモ、コカナダモ、ハナニラ、ノハカタカラクサ、ネズミホソムギ、セイバンモロコシ、ハリエンジュ、オランダガラシ、オオバタクサ、アメリカオニアザミ、セイトカアワダチソウ、ハクビシン、コイ、ドジョウ(中国大陸系統)、台湾シジミ、フロリダマミズヨコエビ、モンシロチョウなど							
		【特定外来生物】	オオカワヂシャ、アレチウリ、アライグマ、アカミミガメ、ブルーギル、オオクチバス、アメリカザリガニ、カダヤシ						アオサギ		
凡例	赤字…今回調査で初確認された種								前回調査と比較して確認されなかった種		
■	察	<p><重要種> カワヂシャをはじめとした水辺環境に生息する重要種を中心に、キセキレイやダイサギといった多くの鳥類の飛来が確認されており、自然環境が豊かな地域であることが示唆される。二重川ではモツゴ等の流れのある水域に生息する重要種からニホンアカガエル、ホソミイトトンボ等の止水を好む重要種が確認されており、河川及び周辺に多様な環境が形成されていることが示唆された。</p> <p><指標種> 河川沿いの草地に生息するカヤネズミやヒバリが確認されており、樹林、谷津田に生息するコサギ等、自然環境の豊かな河川環境沿いで確認される指標種が確認されている。また、St.15 と同じく河川沿いの放棄耕作跡地でカヤネズミが確認されていることから、耕作放棄によって一時的にカヤネズミの生息に適した草地環境が増加している可能性があると考えられる。</p> <p><外来種> アライグマといった船橋市全域で確認数が増加している外来種が確認されている。そのほか、水辺環境を好むため在来カワヂシャと同所的に生育するオオカワヂシャも確認されている。</p>				重要種	オノエヤナギ、オオタカ、ノスリ、イカル、クロジ、アズマヒキガエル、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、シマヘビ、ニホンマムシ、アオヤンマ、ヤブヤンマ、コオイムシなど				
						指標種	ヤマユリ、カントウタンポポ、ニホンカナヘビ、ツクツクボウシ、ツマグロヒョウモン、ヤマトタムシなど				
						特定外来生物	ウシガエル				
						特記事項	環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など 二重川では、平成6年度から平成18年度にかけて上流域において河川改修事業が行われている。現在は千葉県によって一級河川として管理されている。				

表 2-30(1) 調査地域概要 (St. A)


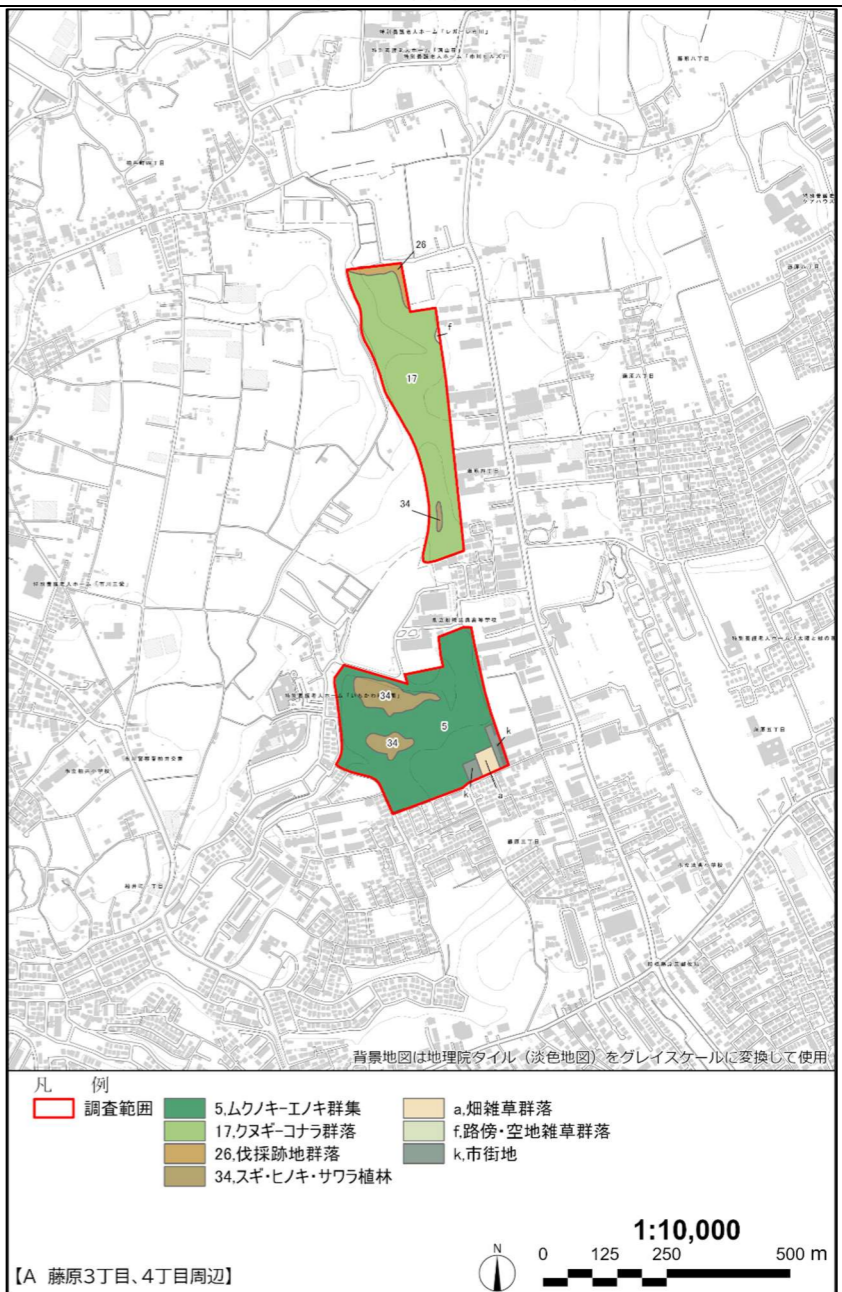
番号	St.A	調査地域名	藤原 3 丁目、4 丁目周辺		植生図																																																																																																																										
		主な調査の種類	専門補足調査																																																																																																																												
観	 <p>生物相の実態把握のため、今回専門補足調査地域として追加した地域。市川市との境界に面しており、北側の藤原 4 丁目の緑地はいちかわ市民キャンプ場に接している。周辺状況は市川市側は耕作地、船橋市側は市街地となっており、市街地の中のまとまった緑地である。藤原 3 丁目の緑地は管理のなされていない放棄森林で、藤原 4 丁目の緑地は管理が行われ林床の植生がまばらな箇所がある状態で、市川市側に小規模な湿地があり保全活動が行われている。調査は 1 季のみで、夏季に実施した。</p>	前回調査時(平成 26 年度)		今回調査時(令和 7 年度)																																																																																																																											
		前回植生図作成なし		 <p style="text-align: right;">背景地図は地理院タイル(淡色地図)をグレースケールに変換して使用</p> <p>凡 例</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査範囲 5.ムクノキ-エノキ群集 17.クヌギ-コナラ群落 26.伐採跡地群落 34.スギ・ヒノキ・サワラ植林 a.畑雑草群落 f.路傍・空地雑草群落 k.市街地 <p style="text-align: right;">1:10,000 0 125 250 500 m</p> <p>【A 藤原3丁目、4丁目周辺】</p>																																																																																																																											
積	の	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>凡例番号</th> <th>群落名</th> <th>StA(m²)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>今回調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>1,887.3</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>225.5</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>2,939.5</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>0.0</td></tr> </tbody> </table>	凡例番号	群落名	StA(m ²)			今回調査	a	畑雑草群落	1,887.3	b	水田雑草群落	0.0	c	放棄畑雑草群落	0.0	d	放棄水田雑草群落	0.0	e	果樹園	0.0	f	路傍・空地雑草群落	225.5	g	牧草地	0.0	h	ゴルフ場・芝地	0.0	i	緑の多い住宅地	0.0	k	市街地	2,939.5	L	工場地帯	0.0	m	造成地	0.0	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	0.0	s	残存・植栽樹群地	0.0	w	開放水域	0.0	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>凡例番号</th> <th>群落名</th> <th>StA(m²)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>今回調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジ-スダジイ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ-エノキ群集</td><td>65,108.4</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ-シラカシ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>17</td><td>クヌギ-コナラ群落</td><td>56,504.0</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ-アカメガシワ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ-エノキ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ-ススキ群集</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>2,380.9</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>10,758.2</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>0.0</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	StA(m ²)			今回調査	1	ヤブコウジ-スダジイ群落	0.0	5	ムクノキ-エノキ群集	65,108.4	6	ハンノキ群落	0.0	8	ヤナギ低木群落	0.0	13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0	17	クヌギ-コナラ群落	56,504.0	18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	20	タケ・ササ群落	0.0	21	メダケ群落	0.0	22	アズマネザサ群落	0.0	23	ススキ群団	0.0	25	チガヤ-ススキ群集	0.0	26	伐採跡地群落	2,380.9	27	ヨシクラス	0.0	28	オギ群集	0.0	29	ヒルムシロクラス	0.0	30	外来水草群落	0.0	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	10,758.2	35	クロマツ植林	0.0	36	その他植林	0.0	38	竹林	0.0
			凡例番号	群落名	StA(m ²)																																																																																																																										
		今回調査																																																																																																																													
a	畑雑草群落	1,887.3																																																																																																																													
b	水田雑草群落	0.0																																																																																																																													
c	放棄畑雑草群落	0.0																																																																																																																													
d	放棄水田雑草群落	0.0																																																																																																																													
e	果樹園	0.0																																																																																																																													
f	路傍・空地雑草群落	225.5																																																																																																																													
g	牧草地	0.0																																																																																																																													
h	ゴルフ場・芝地	0.0																																																																																																																													
i	緑の多い住宅地	0.0																																																																																																																													
k	市街地	2,939.5																																																																																																																													
L	工場地帯	0.0																																																																																																																													
m	造成地	0.0																																																																																																																													
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	0.0																																																																																																																													
s	残存・植栽樹群地	0.0																																																																																																																													
w	開放水域	0.0																																																																																																																													
凡例番号	群落名	StA(m ²)																																																																																																																													
		今回調査																																																																																																																													
1	ヤブコウジ-スダジイ群落	0.0																																																																																																																													
5	ムクノキ-エノキ群集	65,108.4																																																																																																																													
6	ハンノキ群落	0.0																																																																																																																													
8	ヤナギ低木群落	0.0																																																																																																																													
13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0																																																																																																																													
17	クヌギ-コナラ群落	56,504.0																																																																																																																													
18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0																																																																																																																													
19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0																																																																																																																													
20	タケ・ササ群落	0.0																																																																																																																													
21	メダケ群落	0.0																																																																																																																													
22	アズマネザサ群落	0.0																																																																																																																													
23	ススキ群団	0.0																																																																																																																													
25	チガヤ-ススキ群集	0.0																																																																																																																													
26	伐採跡地群落	2,380.9																																																																																																																													
27	ヨシクラス	0.0																																																																																																																													
28	オギ群集	0.0																																																																																																																													
29	ヒルムシロクラス	0.0																																																																																																																													
30	外来水草群落	0.0																																																																																																																													
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	10,758.2																																																																																																																													
35	クロマツ植林	0.0																																																																																																																													
36	その他植林	0.0																																																																																																																													
38	竹林	0.0																																																																																																																													
		<p>藤原 3 丁目、4 丁目周辺は、今回から補足調査地域とした地域である。いちかわ市民キャンプ場に接している北側の藤原 4 丁目の緑地は、クヌギ-コナラ群落を主体とした落葉樹林であり、一部にスギ・ヒノキ・サワラ植林が分布している。管理されているため林床の植生がまばらな箇所があるが、落葉広葉樹林に生育する植物の重要種が確認されていることから、管理によりそれらの生育に適した状態が保たれていると考えられる。南側の藤原 3 丁目の緑地は、周囲を市街地に囲まれたムクノキ-エノキ群集及びスギ・ヒノキ・サワラ植林を主体とする落葉樹林であるが、藤原 4 丁目の緑地とは異なり林床の管理は行われておらず、ササ類が繁茂している箇所も確認された。藤原 3 丁目の緑地の南に位置する畑地周辺の市街地では、路傍雑草などが確認された。</p>																																																																																																																													

表 2-30(2) 調査地域概要 (St. A)

番号	St.A	調査地域名				藤原 3 丁目、4 丁目周辺				専門調査による生き物個体写真等	
		主な調査の種類		専門補足調査						専門調査による生き物個体写真	
種	種	【植物】	242 種	【哺乳類】	2 種	【鳥類】	12 種	【両生類】	0 種	 	
		【爬虫類】	1 種	【昆虫類】	142 種	【魚類】	0 種	【底生動物】	0 種		
	種	【植物】	1 種	【哺乳類】	0 種	【鳥類】	4 種	【両生類】	0 種	 	
		非公開種を 1 種確認。				オオタカ、ホトトギス、カケスなど					
	種	【爬虫類】	1 種	【昆虫類】	5 種	【魚類】	0 種	【底生動物】	0 種	<p>チョウゲンボウ</p>	<p>コクワガタ</p>
種	【春】	0 種	【夏】	13 種	【秋】	1 種	【冬】	0 種	<p>ヤブヤンマ</p> <p>カブトムシ</p>		
種	76 種	アメリカオニアザミ、ヒメジョオン、ヒノキ、ナンキンハゼ、トウネズミモチ、セイタカアワダチソウ、ブタクサハムシ等		ヤマユリ、ススキ、コゲラ、オオカマキリ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ヒグラシ、ノコギリクワガタ、ヤマトタマムシ、ナガサキアゲハ、アカボシゴマダラなど		シジウカラ					
種	【特定外来生物】	アカボシゴマダラ						<p>前回調査との比較</p>			
察	<p><重要種> 樹林に営巣するオオタカといった猛禽類、樹林性の昆虫であるコシロシタバやモンズズメバチが確認されており、住宅地に囲まれた樹林環境として、多くの生物種の生息地を提供していることが示唆される。</p> <p><指標種> 指標種は夏季調査時に 13 種確認されている。ヤマユリ、ヤマトタマムシ、セミ類、コゲラ等、樹林環境に見られる指標種が多く確認されている。</p> <p><外来種> アカボシゴマダラが特定外来生物として確認されている。</p>								の	<p>前回調査は実施していない。</p>	
	察									の	<p>環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象地域に面している市川市側の緑地のビオトープで保全活動が行われている。 ・調査は夏季に実施した。

2.5.4 市民調査地域の概況

各市民調査地域の概要と植生の変化を表 2-31～表 2-38 に示す。

表 2-31(1) 調査地域概要 (St.1)


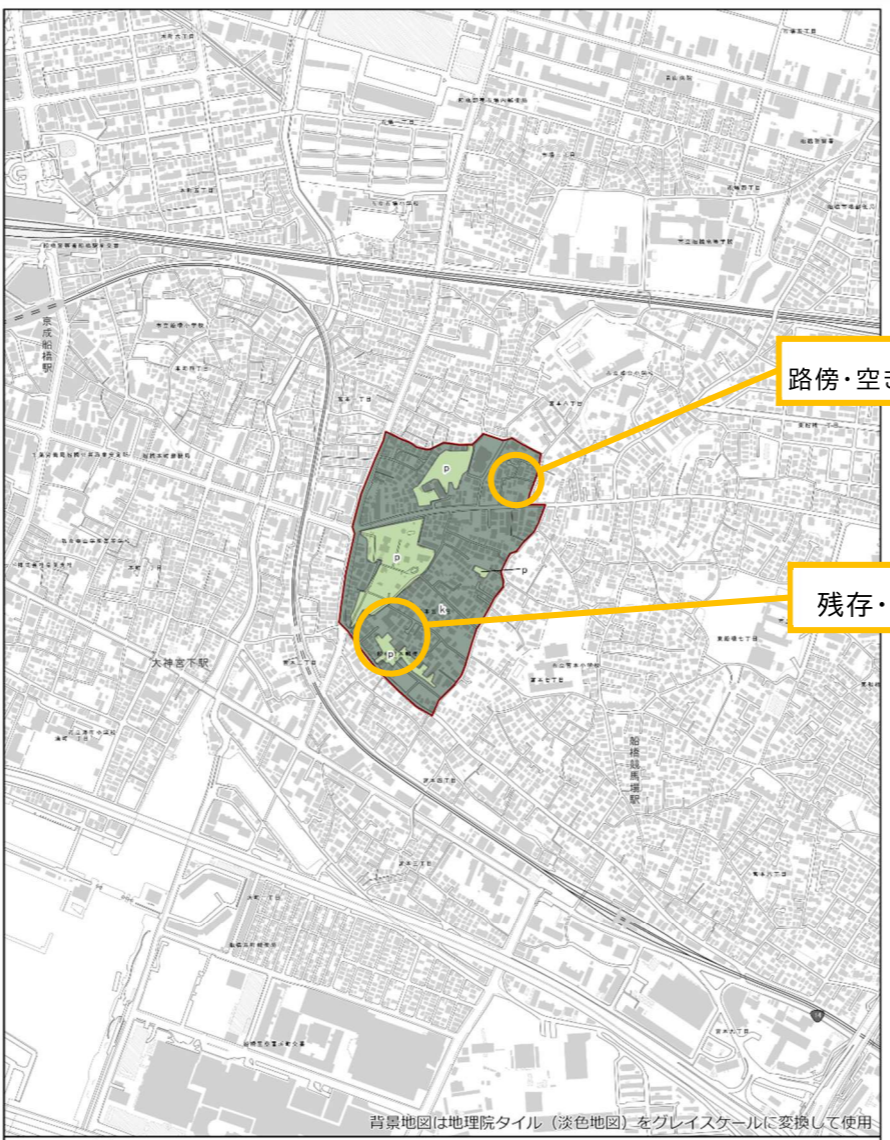
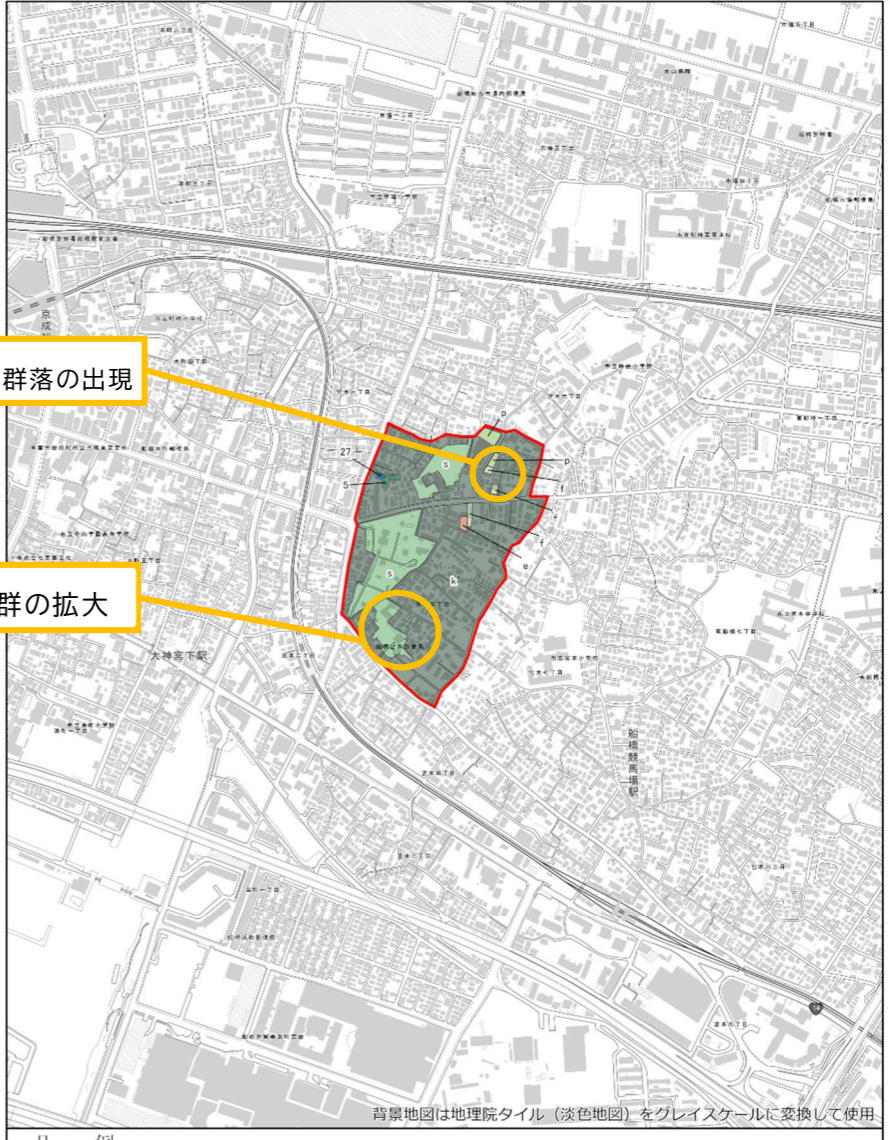
番号	St.1	調査地域名	船橋大神宮周辺		植生図																																																																																																																																																																																																									
		主な調査の種類	市民調査																																																																																																																																																																																																											
概	St.1			<p>市街地の中にある神社を中心とした調査地域。神社にはスギ、ヒノキ植林、スダジイを主体とした常緑広葉樹林が存在する。本殿の裏手にコイが生息する小規模な池がある。</p>																																																																																																																																																																																																										
		<p>市街地の中にある神社を中心とした調査地域。神社にはスギ、ヒノキ植林、スダジイを主体とした常緑広葉樹林が存在する。本殿の裏手にコイが生息する小規模な池がある。</p>																																																																																																																																																																																																												
種 の 変	St.1	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="2">St.1(m²)</th> <th rowspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>0.0</td><td>404.9</td><td>▲増加</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>0.0</td><td>878.7</td><td>▲増加</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>109,134.1</td><td>104,579.5</td><td>▼減少</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>25,742.0</td><td>1,320.9</td><td>▼減少</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td><td>27,085.6</td><td>▲増加</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.1(m ²)		増減	前回調査	今回調査	a	畑雑草群落	0.0	0.0	-	b	水田雑草群落	0.0	0.0	-	c	放棄畑雑草群落	0.0	0.0	-	d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-	e	果樹園	0.0	404.9	▲増加	f	路傍・空地雑草群落	0.0	878.7	▲増加	g	牧草地	0.0	0.0	-	h	ゴルフ場・芝地	0.0	0.0	-	i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-	k	市街地	109,134.1	104,579.5	▼減少	L	工場地帯	0.0	0.0	-	m	造成地	0.0	0.0	-	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	25,742.0	1,320.9	▼減少	s	残存・植栽樹群地	0.0	27,085.6	▲増加	w	開放水域	0.0	0.0	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="2">St.1(m²)</th> <th rowspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジ-スダジイ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ-エノキ群集</td><td>0.0</td><td>454.1</td><td>▲増加</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ-シラカシ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>17</td><td>クヌギ-コナラ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ-アカメガシワ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ-エノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ-ススキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>0.0</td><td>179.8</td><td>▲増加</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.1(m ²)		増減	前回調査	今回調査	1	ヤブコウジ-スダジイ群落	0.0	0.0	-	5	ムクノキ-エノキ群集	0.0	454.1	▲増加	6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-	8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-	13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0	0.0	-	17	クヌギ-コナラ群落	0.0	0.0	-	18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	0.0	-	19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-	20	タケ・ササ群落	0.0	0.0	-	21	メダケ群落	0.0	0.0	-	22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-	23	ススキ群団	0.0	0.0	-	25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-	26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-	27	ヨシクラス	0.0	179.8	▲増加	28	オギ群集	0.0	0.0	-	29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-	30	外来水草群落	0.0	0.0	-	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	0.0	-	35	クロマツ植林	0.0	0.0	-	36	その他植林	0.0	0.0	-	38	竹林	0.0	0.0	-	<p>前回調査時(平成 26 年度)</p>  <p>路傍・空き地雑草群落の出現</p> <p>残存・植栽樹群の拡大</p> <p>背景地図は地理院タイル(淡色地図)をグレイスケールに変換して使用</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 過年度調査範囲 過年度植生図 k,市街地 p,残存・植栽樹群をもった公園、墓地等 <p>1:10,000</p> <p>[st01]</p>	<p>今回調査時(令和 7 年度)</p>  <p>路傍・空き地雑草群落の出現</p> <p>残存・植栽樹群の拡大</p> <p>背景地図は地理院タイル(淡色地図)をグレイスケールに変換して使用</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査範囲 5.ムクノキ-エノキ群集 27.ヨシクラス f.路傍・空地雑草群落 k,市街地 p,残存・植栽樹群をもった公園、墓地 e.果樹園 s.残存・植栽樹群地 <p>1:10,000</p> <p>[1 船橋大神宮周辺]</p>
		凡例番号	群落名			St.1(m ²)			増減																																																																																																																																																																																																					
前回調査	今回調査																																																																																																																																																																																																													
a	畑雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
b	水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
c	放棄畑雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
e	果樹園	0.0	404.9	▲増加																																																																																																																																																																																																										
f	路傍・空地雑草群落	0.0	878.7	▲増加																																																																																																																																																																																																										
g	牧草地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
h	ゴルフ場・芝地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
k	市街地	109,134.1	104,579.5	▼減少																																																																																																																																																																																																										
L	工場地帯	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
m	造成地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	25,742.0	1,320.9	▼減少																																																																																																																																																																																																										
s	残存・植栽樹群地	0.0	27,085.6	▲増加																																																																																																																																																																																																										
w	開放水域	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
凡例番号	群落名	St.1(m ²)		増減																																																																																																																																																																																																										
		前回調査	今回調査																																																																																																																																																																																																											
1	ヤブコウジ-スダジイ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
5	ムクノキ-エノキ群集	0.0	454.1	▲増加																																																																																																																																																																																																										
6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
17	クヌギ-コナラ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
20	タケ・ササ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
21	メダケ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
23	ススキ群団	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
27	ヨシクラス	0.0	179.8	▲増加																																																																																																																																																																																																										
28	オギ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
30	外来水草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
35	クロマツ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
36	その他植林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
38	竹林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
<p>船橋大神宮周辺では、前回調査時と比較して今回の調査では残存・植栽樹群やムクノキ-エノキ群集やヨシクラスなど植生の面積が増加していた。残存・植栽樹群やムクノキ-エノキ群集の面積増加については、前回調査より10年が経過しており、遷移や樹木群の樹冠が発達したことによりまとまった植生として判別できるようになったことが要因の一つとして考えられる。路傍・空き地雑草群落の増加については、小面積の植生がパッチ状に分布していることから、開発に伴う造成地の出現によるものと考えられ、一時的な植生の増加と推察される。果樹園やヨシクラスの植生面積の増加については、前回調査時より判読精度が向上しているためであると考えられた。</p>																																																																																																																																																																																																														

表 2-31(2) 調査地域概要(St.1)

番号	St.1	調査地域名	船橋大神宮周辺				市民調査による生きもの個体写真		
		主な調査の種類	市民調査						
種	種	【植物】 292種 【爬虫類】 0種	【哺乳類】 0種 【昆虫類】 65種	【鳥類】 18種 【魚類】 1種	【両生類】 0種 【底生動物】 0種				
	種	【植物】 7種 ハマオモト、コバノヒノキシダなど	【哺乳類】 0種	【鳥類】 0種	【両生類】 0種				
	種	【爬虫類】 2種 ニホンヤモリ、ニホンカナヘビ	【昆虫類】 1種 ホソミイトトンボ	【魚類】 0種	【底生動物】 0種				
	種	【春】 8種 ヤマユリ、ススキ、ホトケノザ、シジウカラ、ツバメ、コゲラ、モズ、アカボシゴマダラ	【夏】 9種 オオカマキリ、ミンミンゼミ、シジウカラ、コゲラ、モズ、ヤマトタマムシ、ナガサキアゲハ、ニイニイゼミ、アブラゼミ	【秋】 2種 シジウカラ、ニホンカナヘビ	【冬】 2種 ススキ、シジウカラ			シジウカラ 投稿者:ダッキー95	セミ類 投稿者:きざみ海苔
	種	ホウライシダ、シュロ、ヤハズエンドウ、オランダミミナグサ、ヨウシュヤマゴボウ、セイヨウタンポポ、キマダラカメムシなど							
種	【特定外来生物】	アカボシゴマダラ			ミンミンゼミ 投稿者:レモンざめ				
凡例		緑字…船橋大神宮生態調査プロジェクトで確認された種				前回調査と比較して確認されなかった種			
察	St.1 は船橋市の中でも市街地に位置しながら、シジウカラやセミ類といった生態系ネットワークの指標や、樹林の指標となる種が確認されるなど、生物にとって樹林環境を提供する重要な場所であると考えられる。また、令和5年から令和6年に実施された船橋大神宮生態調査プロジェクトの調査結果からも多くの昆虫類、鳥類、植物が確認されており、中にはホソミイトトンボをはじめとした千葉県レッドデータブックにも記載されている種の記録もあった。神社であり多くの人が訪れるため草刈等の二次的な自然環境の維持に資する活動も行われており、自然共生サイトに登録されたことから今後も定期的な管理が行われると考えられる。					重要種	アズマヒキガエル、ヨコヅナツチカメムシ、クズハキリバチなど		
						指標種	なし		
						特定外来生物	なし		
備	環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など ・Biome アプリでは調査推奨地域に指定していない。・船橋大神宮の敷地は令和7年9月16日に自然共生サイトに登録されている。 ・令和5～6年度にかけて東邦大学「生命圏フューチャー・センター」により「船橋大神宮生態調査プロジェクト」の調査が実施されている。								

表 2-32(1) 調査地域概要 (St. 2)


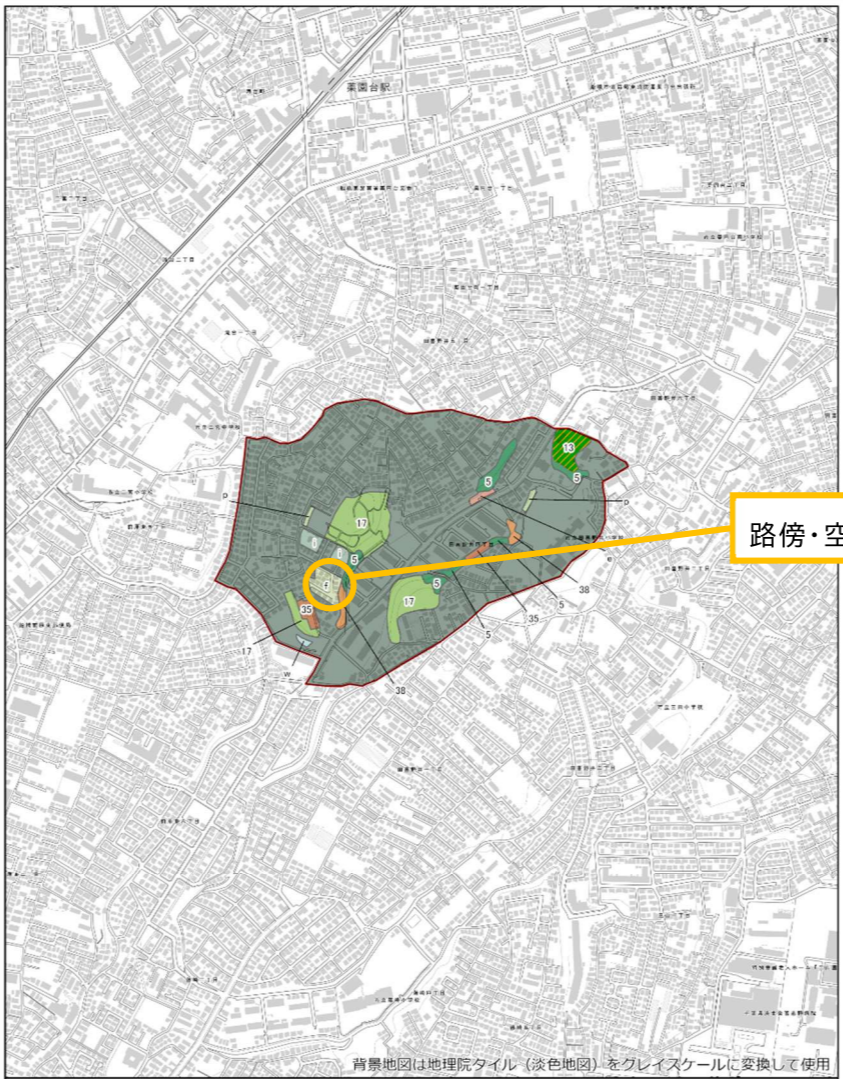
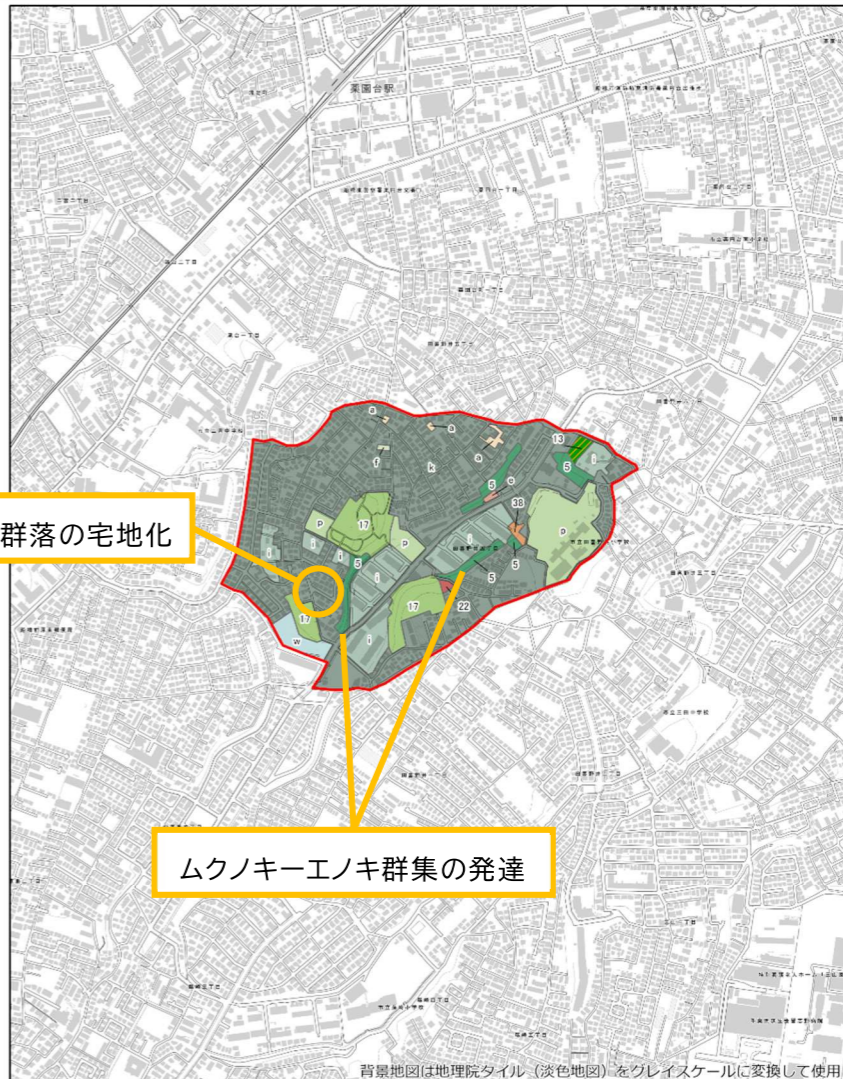
番号	St.2	調査地域名	田喜野井周辺	植生図																																																																																																																																																																																																							
		主な調査の種類	市民調査																																																																																																																																																																																																								
概				<p>住宅地の中にある田喜野井公園を中心とした調査地域。公園内の林床は管理が行き届いており、落枝落葉が少ない。公園の南部には 1ha 程度のコナラを主体とした落葉広葉樹林がある。調査地域南部に調整池がある。</p>	<p>前回調査時(平成 26 年度)</p> 	<p>今回調査時(令和 7 年度)</p> 																																																																																																																																																																																																					
		<p>種 の 変</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.2(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>0.0</td><td>1,291.1</td><td>↗増加</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>709.7</td><td>399.5</td><td>↘減少</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>3,404.4</td><td>278.6</td><td>↘減少</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>2,342.5</td><td>38,781.0</td><td>↗増加</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>261,461.8</td><td>196,390.3</td><td>↘減少</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>865.8</td><td>25,747.7</td><td>↗増加</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>347.9</td><td>4,610.2</td><td>↗増加</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.2(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジスダジイ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ-エノキ群集</td><td>7,589.2</td><td>11,775.5</td><td>↗増加</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ-シラカシ群落</td><td>4,356.7</td><td>1,403.3</td><td>↘減少</td></tr> <tr><td>17</td><td>クスギ-コナラ群落</td><td>21,693.5</td><td>25,249.2</td><td>↗増加</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ-アカメガシワ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ-エノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td><td>458.3</td><td>↗増加</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ-ススキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>2,326.0</td><td>0.0</td><td>↘減少</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>2,083.6</td><td>861.6</td><td>↘減少</td></tr> </tbody> </table>	凡例番号	群落名	St.2(m ²)			前回調査	今回調査	増減	a	畑雑草群落	0.0	1,291.1	↗増加	b	水田雑草群落	0.0	0.0	-	c	放棄畑雑草群落	0.0	0.0	-	d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-	e	果樹園	709.7	399.5	↘減少	f	路傍・空地雑草群落	3,404.4	278.6	↘減少	g	牧草地	0.0	0.0	-	h	ゴルフ場・芝地	0.0	0.0	-	i	緑の多い住宅地	2,342.5	38,781.0	↗増加	k	市街地	261,461.8	196,390.3	↘減少	L	工場地帯	0.0	0.0	-	m	造成地	0.0	0.0	-	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	865.8	25,747.7	↗増加	s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-	w	開放水域	347.9	4,610.2	↗増加	凡例番号	群落名	St.2(m ²)			前回調査	今回調査	増減	1	ヤブコウジスダジイ群落	0.0	0.0	-	5	ムクノキ-エノキ群集	7,589.2	11,775.5	↗増加	6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-	8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-	13	ケヤキ-シラカシ群落	4,356.7	1,403.3	↘減少	17	クスギ-コナラ群落	21,693.5	25,249.2	↗増加	18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	0.0	-	19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-	20	タケ・ササ群落	0.0	0.0	-	21	メダケ群落	0.0	0.0	-	22	アズマネザサ群落	0.0	458.3	↗増加	23	ススキ群団	0.0	0.0	-	25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-	26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-	27	ヨシクラス	0.0	0.0	-	28	オギ群集	0.0	0.0	-	29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-	30	外来水草群落	0.0	0.0	-	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	0.0	-	35	クロマツ植林	2,326.0	0.0	↘減少	36	その他植林	0.0	0.0	-	38	竹林	2,083.6	861.6
凡例番号	群落名	St.2(m ²)																																																																																																																																																																																																									
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																																																																																																							
a	畑雑草群落	0.0	1,291.1	↗増加																																																																																																																																																																																																							
b	水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
c	放棄畑雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
e	果樹園	709.7	399.5	↘減少																																																																																																																																																																																																							
f	路傍・空地雑草群落	3,404.4	278.6	↘減少																																																																																																																																																																																																							
g	牧草地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
h	ゴルフ場・芝地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
i	緑の多い住宅地	2,342.5	38,781.0	↗増加																																																																																																																																																																																																							
k	市街地	261,461.8	196,390.3	↘減少																																																																																																																																																																																																							
L	工場地帯	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
m	造成地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	865.8	25,747.7	↗増加																																																																																																																																																																																																							
s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
w	開放水域	347.9	4,610.2	↗増加																																																																																																																																																																																																							
凡例番号	群落名	St.2(m ²)																																																																																																																																																																																																									
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																																																																																																							
1	ヤブコウジスダジイ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
5	ムクノキ-エノキ群集	7,589.2	11,775.5	↗増加																																																																																																																																																																																																							
6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
13	ケヤキ-シラカシ群落	4,356.7	1,403.3	↘減少																																																																																																																																																																																																							
17	クスギ-コナラ群落	21,693.5	25,249.2	↗増加																																																																																																																																																																																																							
18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
20	タケ・ササ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
21	メダケ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
22	アズマネザサ群落	0.0	458.3	↗増加																																																																																																																																																																																																							
23	ススキ群団	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
27	ヨシクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
28	オギ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
30	外来水草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
35	クロマツ植林	2,326.0	0.0	↘減少																																																																																																																																																																																																							
36	その他植林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																							
38	竹林	2,083.6	861.6	↘減少																																																																																																																																																																																																							
<p>田喜野井周辺では、前回調査時と比較して今回の調査ではムクノキ-エノキ群集や緑の多い住宅地等の面積が増加していた。ムクノキ-エノキ群集の面積増加は、団地周囲の緑地が遷移により発達し、植生面積が拡大したためと考えられる。一方で、クロマツ植林、竹林面積は減少しており、これらはムクノキ-エノキ群集に置き換わった可能性が高い。路傍・空き地雑草群落の面積減少については、宅地化によるものであると考えられた。緑の多い住宅地、残存・植栽樹群地、畑雑草群落の面積の増加については、前回調査時より判読精度が向上しているためであると推察される。</p>																																																																																																																																																																																																											

表 2-32(2) 調査地域概要(St. 2)

番号	St.2	調査地域名				田喜野井周辺				市民調査による生きものの個体写真	
		主な調査の種類		市民調査							
種	種	【植物】	86種	【哺乳類】	1種	【鳥類】	3種	【両生類】	1種	 オオキンケイギク 投稿者:トンボ 1016	 シジュウカラ 投稿者:geminimasa
		【爬虫類】	0種	【昆虫類】	21種	【魚類】	0種	【底生動物】	0種		
	種	【植物】	1種	【哺乳類】	0種	【鳥類】	0種	【両生類】	0種		
		非公開種 1種を確認。									
	【爬虫類】	0種	【昆虫類】	0種	【魚類】	0種	【底生動物】	0種			
種	【春】	2種	【夏】	3種	【秋】	7種	【冬】	2種			
種	オオキンケイギクなど		ミンミンゼミ、ニイニゼミ、アブラゼミ		ススキ、シジュウカラ、オオカマキリ、アブラゼミ、アカネ、アカボシゴマダラなど		シジュウカラ、オオカマキリ				
種	ホウライシダ、ムラサキオオツユクサ、シュロガヤツリ、セイバンモロコシ、モミジバフウ、ウバメガシ、セندان、アメリカヤマボウシ、ツルニチニチソウ、セイタカアワダチソウ、チュウゴクアミガサハゴロモなど										
	【特定外来生物】	オオキンケイギク、アカボシゴマダラ									
凡例	赤字…今回調査で初確認された種									前回調査と比較して確認されなかった種	
察	St.2 は船橋市の中でも南東部に位置し、他の調査地域とは離れた場所に位置しつつもまとまった面積の樹林環境も多く、シジュウカラも確認されていることから市街地における生態系ネットワークの中継地として利用されていることが示唆される。									重要種	カワヂシャ、ツミ、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビなど
										指標種	ホトケノザ、ヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビ、コゲラ、ツバメ、ツマグロヒョウモン
観	環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など ・6/30 にエコカレッジ生向け現地調査イベントを実施。 ・9/27 に市民向け現地調査イベントを実施。									特定外来生物	なし

表 2-33(1) 調査地域概要 (St. 5)


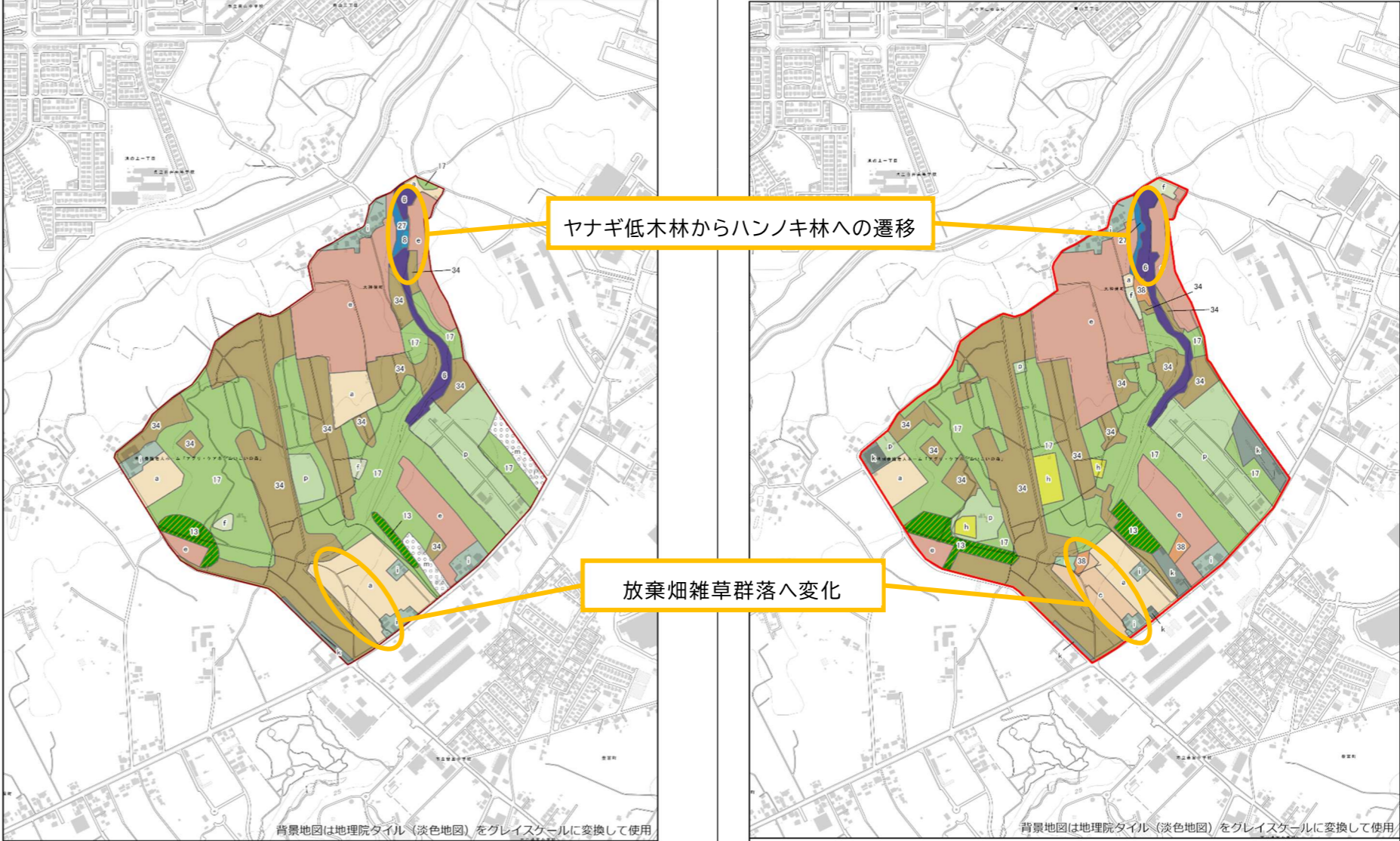
番号	St.5	調査地域名	県民の森周辺	植生図																																																																																																																																																																																																										
		主な調査の種類	市民調査	前回調査時(平成 26 年度)	今回調査時(令和 7 年度)																																																																																																																																																																																																									
概	St.5																																																																																																																																																																																																													
		<p>県民の森を中心とする調査地域。県民の森では自然散策に加え BBQ やキャンプ利用ができる。樹林はスギ・ヒノキ植林、落葉広葉樹林で構成され、林内はやや暗い。調査地域の北東部に湿地と小川が存在する。県民の森の周囲には果樹園や畑地が分布する。</p>		<p>ヤナギ低木林からハンノキ林への遷移</p> <p>放棄畑雑草群落へ変化</p>																																																																																																																																																																																																										
積	の	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.5(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>67,118.7</td><td>32,742.9</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>0.0</td><td>17,323.0</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>118,234.8</td><td>132,796.9</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>3,306.2</td><td>4,438.5</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td><td>11,410.1</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>22,428.5</td><td>16,650.5</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>3,372.2</td><td>21,798.6</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>14,099.9</td><td>0.0</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>54,348.8</td><td>62,106.9</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td><td>1,426.3</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.5(m ²)			前回調査	今回調査	増減	a	畑雑草群落	67,118.7	32,742.9	△減少	b	水田雑草群落	0.0	0.0	-	c	放棄畑雑草群落	0.0	17,323.0	△増加	d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-	e	果樹園	118,234.8	132,796.9	△増加	f	路傍・空地雑草群落	3,306.2	4,438.5	△増加	g	牧草地	0.0	0.0	-	h	ゴルフ場・芝地	0.0	11,410.1	△増加	i	緑の多い住宅地	22,428.5	16,650.5	△減少	k	市街地	3,372.2	21,798.6	△増加	L	工場地帯	0.0	0.0	-	m	造成地	14,099.9	0.0	△減少	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	54,348.8	62,106.9	△増加	s	残存・植栽樹群地	0.0	1,426.3	△増加	w	開放水域	0.0	0.0	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.5(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジスタジイ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ・エノキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>16,585.8</td><td>18,188.3</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>790.4</td><td>0.0</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ・シラカシ群落</td><td>12,220.8</td><td>21,542.8</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>17</td><td>クヌギ・コナラ群落</td><td>212,226.5</td><td>179,871.5</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ・アカメガシワ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ・エノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ・ススキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>2,697.8</td><td>2,349.9</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>185,502.4</td><td>184,518.9</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマン植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>0.0</td><td>5,931.4</td><td>△増加</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.5(m ²)			前回調査	今回調査	増減	1	ヤブコウジスタジイ群落	0.0	0.0	-	5	ムクノキ・エノキ群集	0.0	0.0	-	6	ハンノキ群落	16,585.8	18,188.3	△増加	8	ヤナギ低木群落	790.4	0.0	△減少	13	ケヤキ・シラカシ群落	12,220.8	21,542.8	△増加	17	クヌギ・コナラ群落	212,226.5	179,871.5	△減少	18	クサギ・アカメガシワ群落	0.0	0.0	-	19	アカメガシワ・エノキ群落	0.0	0.0	-	20	タケ・ササ群落	0.0	0.0	-	21	メダケ群落	0.0	0.0	-	22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-	23	ススキ群団	0.0	0.0	-	25	チガヤ・ススキ群集	0.0	0.0	-	26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-	27	ヨシクラス	2,697.8	2,349.9	△減少	28	オギ群集	0.0	0.0	-	29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-	30	外来水草群落	0.0	0.0	-	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	185,502.4	184,518.9	△減少	35	クロマン植林	0.0	0.0	-	36	その他植林	0.0	0.0	-	38	竹林	0.0	5,931.4	△増加
		凡例番号	群落名			St.5(m ²)																																																																																																																																																																																																								
前回調査	今回調査			増減																																																																																																																																																																																																										
a	畑雑草群落	67,118.7	32,742.9	△減少																																																																																																																																																																																																										
b	水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
c	放棄畑雑草群落	0.0	17,323.0	△増加																																																																																																																																																																																																										
d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
e	果樹園	118,234.8	132,796.9	△増加																																																																																																																																																																																																										
f	路傍・空地雑草群落	3,306.2	4,438.5	△増加																																																																																																																																																																																																										
g	牧草地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
h	ゴルフ場・芝地	0.0	11,410.1	△増加																																																																																																																																																																																																										
i	緑の多い住宅地	22,428.5	16,650.5	△減少																																																																																																																																																																																																										
k	市街地	3,372.2	21,798.6	△増加																																																																																																																																																																																																										
L	工場地帯	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
m	造成地	14,099.9	0.0	△減少																																																																																																																																																																																																										
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	54,348.8	62,106.9	△増加																																																																																																																																																																																																										
s	残存・植栽樹群地	0.0	1,426.3	△増加																																																																																																																																																																																																										
w	開放水域	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
凡例番号	群落名	St.5(m ²)																																																																																																																																																																																																												
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																																																																																																										
1	ヤブコウジスタジイ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
5	ムクノキ・エノキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
6	ハンノキ群落	16,585.8	18,188.3	△増加																																																																																																																																																																																																										
8	ヤナギ低木群落	790.4	0.0	△減少																																																																																																																																																																																																										
13	ケヤキ・シラカシ群落	12,220.8	21,542.8	△増加																																																																																																																																																																																																										
17	クヌギ・コナラ群落	212,226.5	179,871.5	△減少																																																																																																																																																																																																										
18	クサギ・アカメガシワ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
19	アカメガシワ・エノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
20	タケ・ササ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
21	メダケ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
23	ススキ群団	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
25	チガヤ・ススキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
27	ヨシクラス	2,697.8	2,349.9	△減少																																																																																																																																																																																																										
28	オギ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
30	外来水草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	185,502.4	184,518.9	△減少																																																																																																																																																																																																										
35	クロマン植林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
36	その他植林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
38	竹林	0.0	5,931.4	△増加																																																																																																																																																																																																										
		<p>県民の森周辺では、前回調査時と比較して今回の調査ではハンノキ群落やケヤキ・シラカシ群落の増加や、ヤナギ低木林、クヌギ・コナラ群落の減少などが見られた。前回ヤナギ低木林であった箇所が、今回はハンノキ群落に変化しており、遷移の進行によるものと考えられた。また、前回畑雑草群落だった箇所は、放棄畑雑草群落に変化していることから、10年で耕作放棄が進行したと考えられる。県民の森敷地内では現在ナラ枯れの被害が確認されており、今後はクヌギ・コナラ群落の植生変化にも注意が必要である。</p>																																																																																																																																																																																																												

表 2-33(2) 調査地域概要 (St. 5)

番号	St.5	調査地域名				市民調査				市民調査による生きもの個体写真	
		県民の森周辺				市民調査					
種	種	【植物】	271種	【哺乳類】	2種	【鳥類】	8種	【両生類】	0種	 ヤマトタマムシ 投稿者:ふなっじー	 ノコギリクワガタ 投稿者:hisashi takashima
		【爬虫類】	1種	【昆虫類】	63種	【魚類】	4種	【底生動物】	0種		
	種	【植物】	7種	【哺乳類】	0種	【鳥類】	1種	【両生類】	0種		
		ミツバツツジなど				非公開種 1種を確認					
		【爬虫類】	1種	【昆虫類】	3種	【魚類】	2種	【底生動物】	0種		
		ニホンカナヘビ		ハイケボタル、ミスジチョウ、ヤマトシリアゲ		非公開種 2種を確認					
種	【春】	6種	【夏】	13種	【秋】	7種	【冬】	3種	 ホトケノザ 投稿者:michikusataro	 ヤマトシリアゲ 市民撮影	
	ホトケノザ、ヤマユリ、コゲラ、シジユウカラなど	ヤマユリ、シジユウカラ、ツバメ、ツクツクボウシ、ニイゼミ、ヒグラシ、ナガサキアゲハ、ノコギリクワガタ、ハイケボタル、ヤマトタマムシ、ニホンカナヘビなど	ヤマユリ、モズ、シジユウカラ、オオカマキリ、アブラゼミ、ツクツクボウシなど	ホトケノザ、コゲラ、オオカマキリ							
種	ベニカタバミ、コマツヨイグサ、アレチギシギシ、トウネズミモチ、タチイヌノフグリ、オオブタクサ、アメリカオニアザミ、セイタカアワダチソウ、シュロ、ウラジロチチコグサ、セイヨウタンポポ、アオマツムシなど										
	【特定外来生物】	なし									
凡例	赤字…今回調査で初確認された種										
察	St.5 は Biome と紙報告によるデータを受領したほか、春季、夏季に環境 DNA 調査を行い魚類 4 種を検出した。なお、環境 DNA 調査では県民の森に存在する湧水地点においても採水を実施したが、前回調査時に確認されていた湧水依存性の重要種は確認されていない。St.5は船橋市の中でも比較的的自然環境が豊かな北部に位置し、今回調査だけでも合計で 14 種の重要種が確認されている。県民の森周辺では草地の面積が前回調査時から減少しているためか、ヒバリやヒガシニホントカゲといった指標種が確認されていないものの、ハイケボタルやナガサキアゲハといった谷津田、樹林の指標種が市民調査のみで新たに確認されるなど、樹林面積の増加の影響が示唆されている。そのほか、県民の森周辺は樹林の規模が大きく、多種多様な生物が樹林環境に生息するだけでなく、生態系ネットワークの指標種として選定したシジユウカラ、コゲラも確認されていることから、船橋市北部の生態系ネットワークの拠点の一つとして利用されていることが示唆される。										
	重要種	アカシデ、ホトトギス、オオタカ、ノスリ、アオゲラ、カケス、ヒバリ、ミソサザイ、トラツグミ、キビタキ、オオルリ、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、ジムグリ、アオダイショウ、アズマヒキガエル、ニホンアカガエル、コオイムシ、スゲハムシ、ミドリシジミ、マイコアカネ、ゴマダラチョウなど									
	指標種	ススキ、ヒバリ、ニホンアカガエル、アキアカネ、ツマグロヒョウモン、ヒガシニホントカゲ、ヒメタニシ									
種	環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など										
	<ul style="list-style-type: none"> ・1/18、4/19 に市民向け現地調査イベントを実施。 ・10/3 にエココレッジ修了生向け現地調査イベントを実施。 ・魚類の確認種 4 種は環境DNA調査で検出。 ・環境省の生物多様性上重要な里地里山、千葉県鳥獣保護区に指定されている。・市民団体の活動有り。 										
	特定外来生物	なし									
前回調査と比較して確認されなかった種											

表 2-34(1) 調査地域概要 (St. 11)




番号	St.11	調査地域名	丸山の森緑地		植生図																																																																																																																																																																																																									
		主な調査の種類	市民調査																																																																																																																																																																																																											
概			住宅街に残された、斜面林を有する 1ha 程度の緑地。コナラ-イヌシデ群落を中心で林床はアオキ等の低木類が多い。散策路が整備されている。市民団体により管理されている。																																																																																																																																																																																																											
	種 の 変	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.11(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>11,039.6</td><td>11,734.9</td><td>△増加</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.11(m ²)			前回調査	今回調査	増減	a	畑雑草群落	0.0	0.0	-	b	水田雑草群落	0.0	0.0	-	c	放棄畑雑草群落	0.0	0.0	-	d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-	e	果樹園	0.0	0.0	-	f	路傍・空地雑草群落	0.0	0.0	-	g	牧草地	0.0	0.0	-	h	ゴルフ場・芝地	0.0	0.0	-	i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-	k	市街地	11,039.6	11,734.9	△増加	L	工場地帯	0.0	0.0	-	m	造成地	0.0	0.0	-	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	0.0	0.0	-	s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-	w	開放水域	0.0	0.0	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.11(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジ-スタジイ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ-エノキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ-シラカシ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>17</td><td>クヌギ-コナラ群落</td><td>21,577.8</td><td>20,889.0</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ-アカメガシワ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ-エノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ-ススキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>			凡例番号	群落名	St.11(m ²)			前回調査	今回調査	増減	1	ヤブコウジ-スタジイ群落	0.0	0.0	-	5	ムクノキ-エノキ群集	0.0	0.0	-	6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-	8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-	13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0	0.0	-	17	クヌギ-コナラ群落	21,577.8	20,889.0	△減少	18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	0.0	-	19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-	20	タケ・ササ群落	0.0	0.0	-	21	メダケ群落	0.0	0.0	-	22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-	23	ススキ群団	0.0	0.0	-	25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-	26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-	27	ヨシクラス	0.0	0.0	-	28	オギ群集	0.0	0.0	-	29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-	30	外来水草群落	0.0	0.0	-	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	0.0	-	35	クロマツ植林	0.0	0.0	-	36	その他植林	0.0	0.0	-	38	竹林	0.0	0.0
凡例番号		群落名	St.11(m ²)																																																																																																																																																																																																											
	前回調査		今回調査	増減																																																																																																																																																																																																										
a	畑雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
b	水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
c	放棄畑雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
e	果樹園	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
f	路傍・空地雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
g	牧草地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
h	ゴルフ場・芝地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
k	市街地	11,039.6	11,734.9	△増加																																																																																																																																																																																																										
L	工場地帯	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
m	造成地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
w	開放水域	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
凡例番号	群落名	St.11(m ²)																																																																																																																																																																																																												
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																																																																																																										
1	ヤブコウジ-スタジイ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
5	ムクノキ-エノキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
17	クヌギ-コナラ群落	21,577.8	20,889.0	△減少																																																																																																																																																																																																										
18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
20	タケ・ササ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
21	メダケ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
23	ススキ群団	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
27	ヨシクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
28	オギ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
30	外来水草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
35	クロマツ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
36	その他植林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
38	竹林	0.0	0.0	-																																																																																																																																																																																																										
		<p>前回調査時(平成 26 年度)</p>  <p>背景地図は地理院タイル(淡色地図)をグレイスケールに変換して使用</p> <p>凡例 過年度調査範囲 17.クヌギ-コナラ群落 k.市街地</p> <p>1:10,000 0 125 250 500 m</p> <p>[st11]</p>		<p>今回調査時(令和 7 年度)</p>  <p>背景地図は地理院タイル(淡色地図)をグレイスケールに変換して使用</p> <p>凡例 調査範囲 17.クヌギ-コナラ群落 k.市街地</p> <p>1:10,000 0 125 250 500 m</p> <p>[11 丸山の森緑地]</p>																																																																																																																																																																																																										
		<p>丸山の森緑地では、前回調査時と比較して今回の調査ではわずかではあるが市街地が増加し、クヌギ-コナラ群落が減少しているが、前回と比較して宅地化が進行しているような状況は確認できないことから、前回調査時より植生図の判読精度が向上しているためであると推察される。</p>																																																																																																																																																																																																												

表 2-34(2) 調査地域概要 (St. 11)





番号	St.11	調査地域名	丸山の森緑地				市民調査による生きものの個体写真				
		主な調査の種類	市民調査								
種	【植物】	177種	【哺乳類】	0種	【鳥類】	5種	【両生類】	0種			
	【爬虫類】	0種	【昆虫類】	13種	【魚類】	0種	【底生動物】	0種			
	種	【植物】	8種	【哺乳類】	0種	【鳥類】	0種	【両生類】	0種		
		フジバカマなど									
	【爬虫類】	0種	【昆虫類】	0種	【魚類】	0種	【底生動物】	0種	ヤマユリ 投稿者:vicky273	シジュウカラ 投稿者:しばいぬはともだち	
	種	【春】	7種	【夏】	6種	【秋】	3種	【冬】	5種	セミの抜け殻 投稿者:vicky273	アカボシゴマダラ 投稿者:vicky273
	ホトケノザ、カントウタンポポ、ヤマユリ、シジュウカラ、コゲラなど		ヤマユリ、シジュウカラ、アブラゼミ、ニイニゼミ、ノコギリクワガタ、アカボシゴマダラ		ヤマトタムシ、アブラゼミ、ニイニゼミ		ホトケノザ、ススキ、シジュウカラ、オオカマキリなど				
種	オオバイケイソウ、ハナカンナ、コバンソウ、イヌムギ、コマツヨイグサ、アレチギシギシ、オランダミミナグサ、コハコベ、セイタカアワダチソウ、セイヨウミツパチなど										
	【特定外来生物】	アカボシゴマダラ									
凡例	赤字…今回調査で初確認された種								前回調査と比較して確認されなかった種		
察	St.11は船橋市の中でも住宅地の中に位置しているが、今回調査では8種の重要種が確認されている。また、ヤマユリ、ノコギリクワガタといった樹林性の指標種が確認されており、そのほか生態系ネットワークの指標種であるシジュウカラ、コゲラも確認されていることから、St.12と同じく住宅地の中の樹林環境として生息地を提供していることが示唆される。そのほか、定期的な樹林管理によって、樹林性の種や草地性の種をはじめとした多様な植物が生育している場所である。		重要種		アカシデ、キビタキ、ニホンカナヘビ、ゴマダラチョウなど						
			指標種		ツバメ、アキアカネ、ナガサキアゲハ、ツマグロヒョウモン、ニホンカナヘビ						
観	環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など								特定外来生物		
	<ul style="list-style-type: none"> ・9/27に市民向け現地調査イベントを実施。 ・市民団体の活動有り。 								なし		

表 2-35(1) 調査地域概要 (St. 12)

番号	St.12	調査地域名	藤原市民の森緑地	植生図																																																																																																																							
		主な調査の種類	市民調査																																																																																																																								
概				<p>前回調査時(平成 26 年度)</p> 	<p>今回調査時(令和 7 年度)</p> 																																																																																																																						
		<p>住宅地に囲まれた 3~4ha のコナラを主体とした平地林。林床は管理がされており見通しがよい。散策路が整備されており、散策路沿いにはラン科の植栽がされている。</p>		<p>背景地図は地理院タイル(淡色地図)をグレイスケールに変換して使用</p>																																																																																																																							
積	の	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.12(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>12,479.4</td><td>13,520.4</td><td>▲増加</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>704.0</td><td>1,460.0</td><td>▲増加</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.12(m ²)			前回調査	今回調査	増減	a	畑雑草群落	0.0	0.0	-	b	水田雑草群落	0.0	0.0	-	c	放棄畑雑草群落	0.0	0.0	-	d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-	e	果樹園	0.0	0.0	-	f	路傍・空地雑草群落	0.0	0.0	-	g	牧草地	0.0	0.0	-	h	ゴルフ場・芝地	0.0	0.0	-	i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-	k	市街地	12,479.4	13,520.4	▲増加	L	工場地帯	0.0	0.0	-	m	造成地	0.0	0.0	-	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	704.0	1,460.0	▲増加	s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-	w	開放水域	0.0	0.0	-	<p>【st12】</p> <p>1:10,000</p> 																																				
		凡例番号	群落名			St.12(m ²)																																																																																																																					
前回調査	今回調査			増減																																																																																																																							
a	畑雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
b	水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
c	放棄畑雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
e	果樹園	0.0	0.0	-																																																																																																																							
f	路傍・空地雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
g	牧草地	0.0	0.0	-																																																																																																																							
h	ゴルフ場・芝地	0.0	0.0	-																																																																																																																							
i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-																																																																																																																							
k	市街地	12,479.4	13,520.4	▲増加																																																																																																																							
L	工場地帯	0.0	0.0	-																																																																																																																							
m	造成地	0.0	0.0	-																																																																																																																							
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	704.0	1,460.0	▲増加																																																																																																																							
s	残存・植栽樹群地	0.0	0.0	-																																																																																																																							
w	開放水域	0.0	0.0	-																																																																																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.12(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジ-スタジイ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ-エノキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ-シラカシ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>17</td><td>クヌギ-コナラ群落</td><td>22,955.0</td><td>21,165.5</td><td>△減少</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ-アカメガシワ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ-エノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ-ススキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>546.3</td><td>546.4</td><td>▲増加</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.12(m ²)			前回調査	今回調査	増減	1	ヤブコウジ-スタジイ群落	0.0	0.0	-	5	ムクノキ-エノキ群集	0.0	0.0	-	6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-	8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-	13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0	0.0	-	17	クヌギ-コナラ群落	22,955.0	21,165.5	△減少	18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	0.0	-	19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-	20	タケ・ササ群落	0.0	0.0	-	21	メダケ群落	0.0	0.0	-	22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-	23	ススキ群団	0.0	0.0	-	25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-	26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-	27	ヨシクラス	0.0	0.0	-	28	オギ群集	0.0	0.0	-	29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-	30	外来水草群落	0.0	0.0	-	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	546.3	546.4	▲増加	35	クロマツ植林	0.0	0.0	-	36	その他植林	0.0	0.0	-	38	竹林	0.0	0.0	-	<p>【12 藤原市民の森緑地】</p> <p>1:10,000</p> 	
凡例番号	群落名	St.12(m ²)																																																																																																																									
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																							
1	ヤブコウジ-スタジイ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
5	ムクノキ-エノキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																							
6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
8	ヤナギ低木群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
13	ケヤキ-シラカシ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
17	クヌギ-コナラ群落	22,955.0	21,165.5	△減少																																																																																																																							
18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
20	タケ・ササ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
21	メダケ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
23	ススキ群団	0.0	0.0	-																																																																																																																							
25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																							
26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
27	ヨシクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																							
28	オギ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																							
29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																							
30	外来水草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																							
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	546.3	546.4	▲増加																																																																																																																							
35	クロマツ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																							
36	その他植林	0.0	0.0	-																																																																																																																							
38	竹林	0.0	0.0	-																																																																																																																							
		<p>藤原市民の森緑地では、前回調査時と比較して今回の調査では残存・植栽樹群地、クヌギ-コナラ群落などのわずかな増減があるが、前回調査時より植生図の判読精度が向上しているためであると推察される。植生に大きな変化は認められない。</p>																																																																																																																									

表 2-35(2) 調査地域概要 (St. 12)

番号	St.12	調査地域名	藤原市民の森緑地				市民調査による生きものの個体写真				
		主な調査の種類	市民調査								
種	種	【植物】	96種	【哺乳類】	1種	【鳥類】	4種	【両生類】	0種	 コゲラ 投稿者:candidia	 ニイニゼミ 投稿者:マツマキリ
		【爬虫類】	1種	【昆虫類】	5種	【魚類】	0種	【底生動物】	0種		
	種	【植物】	3種	【哺乳類】	0種	【鳥類】	0種	【両生類】	0種		
		アカシデなど									
	種	【爬虫類】	1種	【昆虫類】	0種	【魚類】	0種	【底生動物】	0種		
		ニホンカナヘビ									
種	【春】	5種	【夏】	1種	【秋】	0種	【冬】	4種			
		カントウタンポポ、シジュウカラ、ニホンカナヘビ、オオカマキリなど		ニイニゼミ			コゲラ、シジュウカラ、オオカマキリなど				
種	コバンソウ、ネズミムギ、ヤハズエンドウ、イモカタバミ、レンギョウ、トウネズミモチ、ヒメオドリコソウ、セイタカアワダチソウ、オニノゲシ、モンシロチョウなど										
	【特定外来生物】	なし									
凡例	赤字…今回調査で初確認された種										
察	St.12 は St.11 と同様に船橋市の中でも住宅地の中に位置しており、今回調査では植物では3種の重要種が確認されている。また、樹林性の指標種も確認されており、そのほか生態系ネットワークの指標種であるシジュウカラも確認されていることから、丸山の森緑地と同じく住宅地の中の樹林環境として生息地を提供していることが示唆される。そのほか、St.11 と同様に定期的な樹林管理によって、重要種をはじめとした多様な植物が生育している場所である。										
	重要種	オニグルミ、キセキレイ、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、ヒメマダラナガカメムシ、コシロシタバ、ゴマダラチョウなど									
	指標種	ススキ、ホトケノザ、ヤマユリ、ツバメ、モズ、アキアカネ、ヤマトタムシ、ナガサキアゲハ、ヒガシニホントカゲ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシなど									
種	環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など										
	・4/19に市民向け現地調査イベントを実施。 ・市民団体の活動有り。										
	特定外来生物	なし									

表 2-36(1) 調査地域概要 (St. 13)


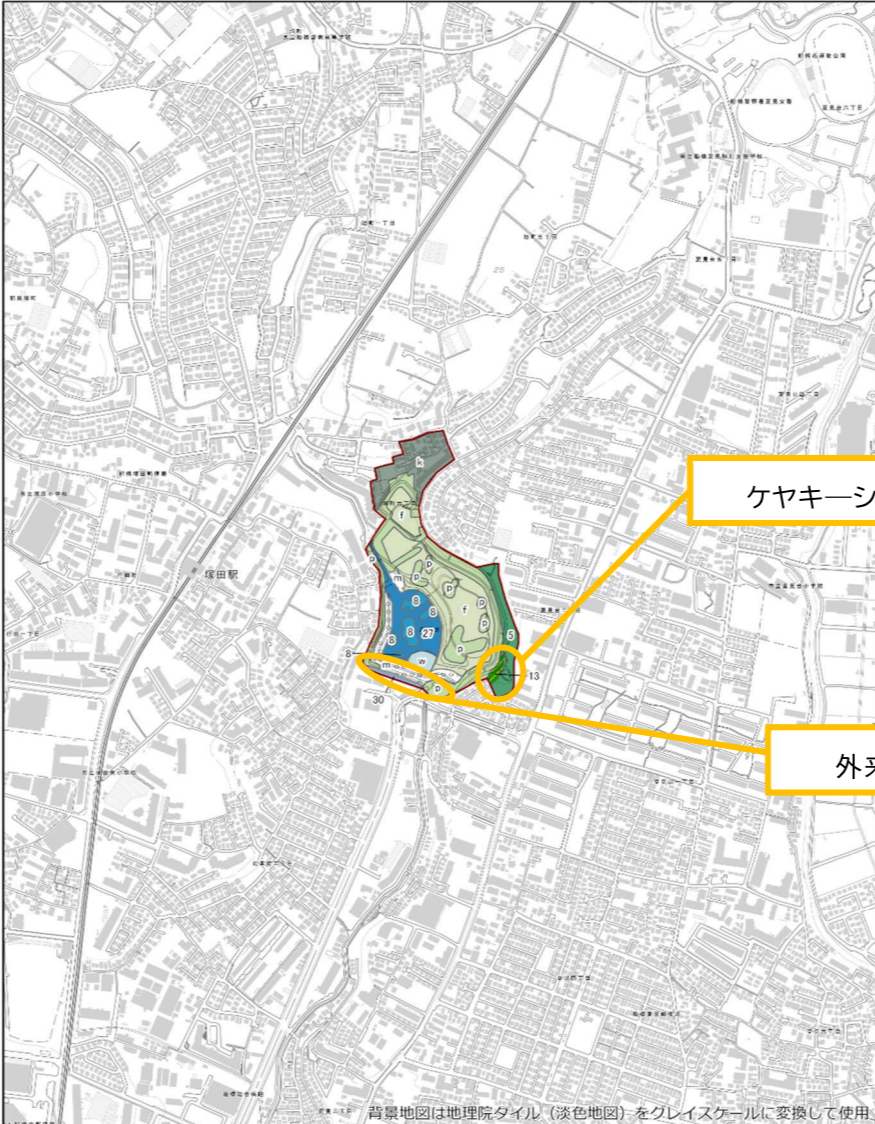
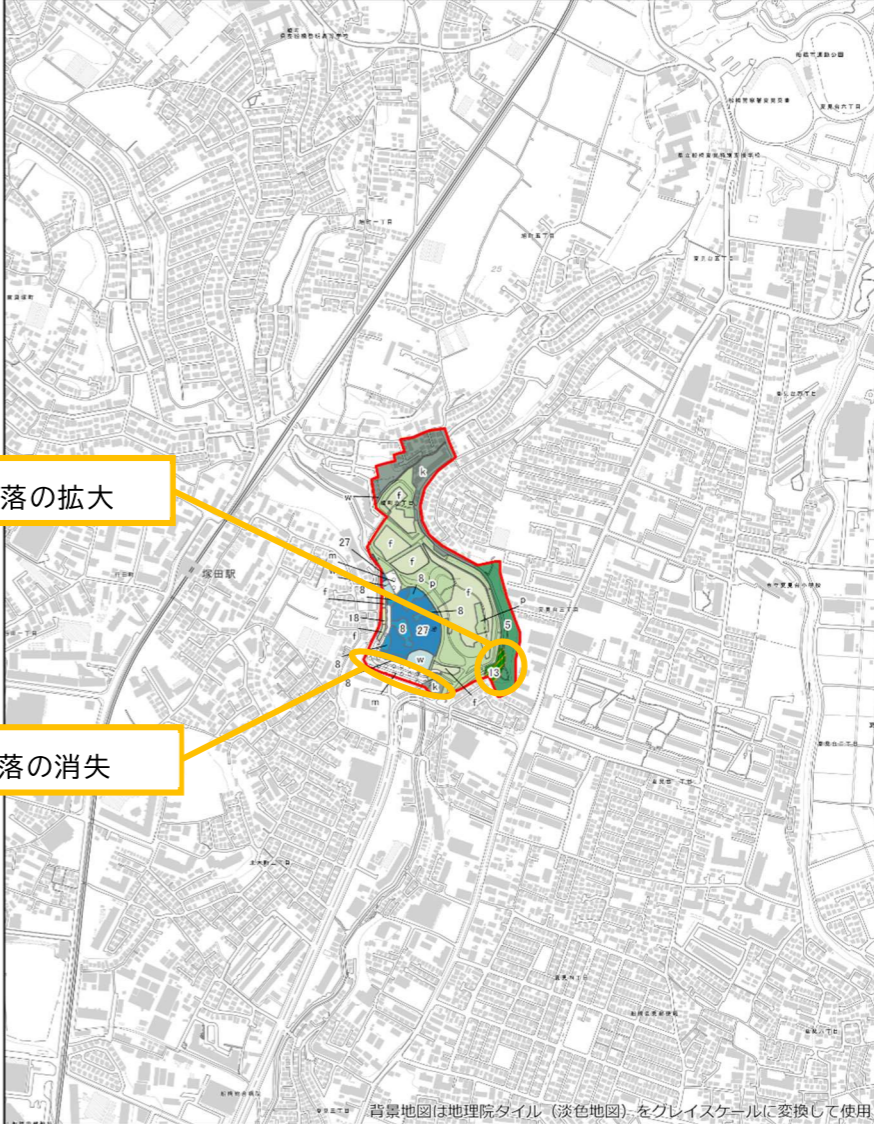
番号	St.13	調査地域名	長津川調節池・長津川緑地	植生図																																																																																																																						
		主な調査の種類	市民調査																																																																																																																							
概																																																																																																																										
	<p>周囲を住宅に囲まれた、調節池を中心とした調査地域。20m 四方の池とそこに流れ込む小川(幅 3m、両岸は矢板)があり、池の周りは 1ha 程度の湿地(ヨシ、ヤナギ)が見られる。湿地を囲むように北～東部にコナラを主体とした落葉広葉樹林の斜面林があり、丈の低い管理された草地在存在する。利用者が非常に多い。</p>																																																																																																																									
種	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.13(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>23,321.2</td><td>18,534.2</td><td>減少</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>10,692.1</td><td>13,151.4</td><td>増加</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>6,285.4</td><td>5,990.7</td><td>減少</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>24,189.3</td><td>25,446.6</td><td>増加</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>1,730.3</td><td>2,574.3</td><td>増加</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.13(m ²)			前回調査	今回調査	増減	a	畑雑草群落	0.0	0.0	-	b	水田雑草群落	0.0	0.0	-	c	放棄畑雑草群落	0.0	0.0	-	d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-	e	果樹園	0.0	0.0	-	f	路傍・空地雑草群落	23,321.2	18,534.2	減少	g	牧草地	0.0	0.0	-	h	ゴルフ場・芝地	0.0	0.0	-	i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-	k	市街地	10,692.1	13,151.4	増加	L	工場地帯	0.0	0.0	-	m	造成地	6,285.4	5,990.7	減少	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	24,189.3	25,446.6	増加	s	残存・植栽樹群落	0.0	0.0	-	w	開放水域	1,730.3	2,574.3	増加																																					
	凡例番号	群落名			St.13(m ²)																																																																																																																					
前回調査			今回調査	増減																																																																																																																						
a	畑雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
b	水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
c	放棄畑雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
d	放棄水田雑草群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
e	果樹園	0.0	0.0	-																																																																																																																						
f	路傍・空地雑草群落	23,321.2	18,534.2	減少																																																																																																																						
g	牧草地	0.0	0.0	-																																																																																																																						
h	ゴルフ場・芝地	0.0	0.0	-																																																																																																																						
i	緑の多い住宅地	0.0	0.0	-																																																																																																																						
k	市街地	10,692.1	13,151.4	増加																																																																																																																						
L	工場地帯	0.0	0.0	-																																																																																																																						
m	造成地	6,285.4	5,990.7	減少																																																																																																																						
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	24,189.3	25,446.6	増加																																																																																																																						
s	残存・植栽樹群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
w	開放水域	1,730.3	2,574.3	増加																																																																																																																						
の	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">凡例番号</th> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="3">St.13(m²)</th> </tr> <tr> <th>前回調査</th> <th>今回調査</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジ-スダジイ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ-エノキ群集</td><td>6,540.7</td><td>7,708.7</td><td>増加</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>3,497.3</td><td>3,456.0</td><td>減少</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ-シラカシ群落</td><td>933.3</td><td>1,490.1</td><td>増加</td></tr> <tr><td>17</td><td>クヌギ-コナラ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ-アカメガシワ群落</td><td>0.0</td><td>232.7</td><td>増加</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ-エノキ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ-ススキ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>9,038.2</td><td>8,615.7</td><td>減少</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>30</td><td>外来水草群落</td><td>954.2</td><td>0.0</td><td>減少</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サワラ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマツ植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>		凡例番号	群落名	St.13(m ²)			前回調査	今回調査	増減	1	ヤブコウジ-スダジイ群落	0.0	0.0	-	5	ムクノキ-エノキ群集	6,540.7	7,708.7	増加	6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-	8	ヤナギ低木群落	3,497.3	3,456.0	減少	13	ケヤキ-シラカシ群落	933.3	1,490.1	増加	17	クヌギ-コナラ群落	0.0	0.0	-	18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	232.7	増加	19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-	20	タケ・ササ群落	0.0	0.0	-	21	メダケ群落	0.0	0.0	-	22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-	23	ススキ群団	0.0	0.0	-	25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-	26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-	27	ヨシクラス	9,038.2	8,615.7	減少	28	オギ群集	0.0	0.0	-	29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-	30	外来水草群落	954.2	0.0	減少	34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	0.0	-	35	クロマツ植林	0.0	0.0	-	36	その他植林	0.0	0.0	-	38	竹林	0.0	0.0	-	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>前回調査時(平成 26 年度)</p>  <p>ケヤキ-シラカシ群落の拡大</p> <p>外来水草群落の消失</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>今回調査時(令和 7 年度)</p>  <p>ケヤキ-シラカシ群落の拡大</p> <p>外来水草群落の消失</p> </div> </div>	
凡例番号	群落名	St.13(m ²)																																																																																																																								
		前回調査	今回調査	増減																																																																																																																						
1	ヤブコウジ-スダジイ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
5	ムクノキ-エノキ群集	6,540.7	7,708.7	増加																																																																																																																						
6	ハンノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
8	ヤナギ低木群落	3,497.3	3,456.0	減少																																																																																																																						
13	ケヤキ-シラカシ群落	933.3	1,490.1	増加																																																																																																																						
17	クヌギ-コナラ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
18	クサギ-アカメガシワ群落	0.0	232.7	増加																																																																																																																						
19	アカメガシワ-エノキ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
20	タケ・ササ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
21	メダケ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
22	アズマネザサ群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
23	ススキ群団	0.0	0.0	-																																																																																																																						
25	チガヤ-ススキ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																						
26	伐採跡地群落	0.0	0.0	-																																																																																																																						
27	ヨシクラス	9,038.2	8,615.7	減少																																																																																																																						
28	オギ群集	0.0	0.0	-																																																																																																																						
29	ヒルムシロクラス	0.0	0.0	-																																																																																																																						
30	外来水草群落	954.2	0.0	減少																																																																																																																						
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																						
35	クロマツ植林	0.0	0.0	-																																																																																																																						
36	その他植林	0.0	0.0	-																																																																																																																						
38	竹林	0.0	0.0	-																																																																																																																						
変			<p>前回調査時と比較して今回の調査ではケヤキ-シラカシ群落の増加、外来水草群落の消失などが見られた。管理されている調節池及び緑地であるため大きな植生の変化は認められないが、東側の斜面林においてケヤキ-シラカシ群落がわずかに拡大している傾向が確認された。前回調査時に確認された外来水草群落は今回調査では確認されなかったことから、オオフサモ等の大群落を形成する外来水草類が緑地等の管理によって定期的に駆除されている可能性があると考えられる。</p>																																																																																																																							

表 2-36(2) 調査地域概要 (St. 13)

番号	St.13	調査地域名	長津川調節池・長津川緑地				市民調査による生きもの個体写真	
		主な調査の種類	市民調査					
種	種	【植物】 176種	【哺乳類】 0種	【鳥類】 30種	【両生類】 2種			
		【爬虫類】 1種	【昆虫類】 37種	【魚類】 20種	【底生動物】 1種			
	種	【植物】 1種 非公開種を1種確認	【哺乳類】 0種	【鳥類】 8種 ホトトギス、カワセミ、コサギ、クイナ、バン、ダイサギなど	【両生類】 1種 アズマヒキガエル			
		【爬虫類】 0種	【昆虫類】 3種 コムラサキ、ゴマダラチョウ、ウチワヤンマ	【魚類】 2種 ニホンウナギなど	【底生動物】 0種			
	種	【春】 10種 オオキンケイギク、カントウタンポポ、ホトケノザ、カワセミ、コサギ、モズ、シジュウカラ、コゲラ、アカミミガメ、オオカマキリ	【夏】 11種 オオキンケイギク、ナガエツルノゲイトウ、カワセミ、シジュウカラ、ツバメ、ツマグロヒョウモン、アカボシゴマダラ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、オオカマキリなど	【秋】 11種 ススキ、ナガエツルノゲイトウ、モズ、カワセミ、シジュウカラ、コゲラ、アカミミガメ、アカボシゴマダラ、ナガサキアゲハ、アキアカネ、ツマグロヒョウモン	【冬】 7種 オオキンケイギク、ホトケノザ、モズ、コサギ、カワセミ、シジュウカラ、アカミミガメ			
	種	コバンソウ、イヌムギ、カモガヤ、ナンキンハゼ、アメリカセンダングサ、オオアレチノギク、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ、チュウゴクアミガサハゴロモなど						
	【特定外来生物】	オオキンケイギク、アカボシゴマダラ、アカミミガメ、ナガエツルノゲイトウ、アメリカザリガニ、ウシガエル、カダヤシ				カワセミ 投稿者: 森の中	スミウキゴリ 市民撮影	
凡例	赤字…今回調査で初確認された種		前回調査と比較して確認されなかった種					
察	St.13はBiomeと紙報告によるデータを受領したほか、春季、夏季に環境DNA調査を行い魚類20種を確認した。環境DNA調査では公園内調節池にて採水を実施しており、前回調査時に確認されていたモツゴ等の重要種は確認されなかった。St.13は船橋市の中でも住宅地や都市部から近くに位置しているものの、今回調査だけで15種の重要種が確認されている。St.13は前回調査時から樹林の面積が拡大しており、新たに樹林周辺を利用するモズやホトトギスといった鳥類が確認されていることから、敷地内の植生の一部が草地から樹林への遷移が進んでいることが示唆される。そのほか、草地や樹林が敷地内の土地利用に占める面積の割合が大きく、生態系ネットワークの指標種として選定したシジュウカラ、コゲラも確認されていることから、周辺地域の生態系ネットワークの拠点の一つとして利用されていることが示唆される。					重要種	カワヂシャ、ニホンヤモリ、ニホンカナヘビ、ムスジイトトンボ、ヒメジウジナガカメムシ、キヒゲアシブトハナアブ、モツゴ、スジエビ、モクズガニ	
		指標種	ヤマトタマムシ、ニホンカナヘビ、ニイニイゼミ					
種	環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など ・4/8にエコカレッジ生向け現地調査イベントを実施。 ・7/23に市民向け現地調査イベントを実施。 ・魚類の確認種20種は環境DNA調査で検出。(紙報告ではコイ、カダヤシ、スミウキゴリが報告されたが、どれも環境DNAでも確認されている)					特定外来生物	オオフサモ	

表 2-37(1) 調査地域概要 (St. 17)

番号	St.17	調査地域名	西船 4 丁目緑地・印内春日神社	植生図																																																																																																																										
		主な調査の種類	市民調査	前回調査時(平成 26 年度)	今回調査時(令和 7 年度)																																																																																																																									
観	 <p>前は調査地域ではなかったが、生物多様性の観点から緑の現状や現行施策の効果を評価していくために西船橋駅前の調査拠点として、都市緑地である「西船 4 丁目緑地」及び指定樹林である「印内春日神社」を追加した。調査地域の樹林は常緑広葉樹・落葉広葉樹・アカマツを主体とした社寺林となっている。</p>		<p>前回調査対象外のため植生図なし</p>		 <p>背景地図は地理院タイル(淡色地図)をグレイスケールに変換して使用</p> <p>凡例 調査範囲 34.スギ・ヒノキ・サウラ植林 p.残存・植栽樹群をもった公園、墓地 f.路傍・空地雑草群落 s.残存・植栽樹群地 k.市街地</p> <p>1:10,000 </p> <p>[17 西船4丁目・印内春日神社]</p>																																																																																																																									
	種	の				変	<table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例番号</th> <th>群落名</th> <th>St.17(m²)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>今回調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>畑雑草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>b</td><td>水田雑草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>c</td><td>放棄畑雑草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>d</td><td>放棄水田雑草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>e</td><td>果樹園</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>f</td><td>路傍・空地雑草群落</td><td>1,850.0</td></tr> <tr><td>g</td><td>牧草地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>h</td><td>ゴルフ場・芝地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>i</td><td>緑の多い住宅地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>k</td><td>市街地</td><td>16,332.6</td></tr> <tr><td>L</td><td>工場地帯</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>m</td><td>造成地</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>p</td><td>残存・植栽樹群をもった公園、墓地</td><td>721.6</td></tr> <tr><td>s</td><td>残存・植栽樹群地</td><td>5,861.0</td></tr> <tr><td>w</td><td>開放水域</td><td>0.0</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例番号</th> <th>群落名</th> <th>St.17(m²)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>今回調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ヤブコウジ・スダジイ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>5</td><td>ムクノキ・エノキ群集</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハンノキ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヤナギ低木群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>13</td><td>ケヤキ・シラカシ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>17</td><td>クスギ・コナラ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>18</td><td>クサギ・アカメガシワ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>19</td><td>アカメガシワ・エノキ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>20</td><td>タケ・ササ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>21</td><td>メダケ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>22</td><td>アズマネザサ群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>23</td><td>ススキ群団</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>25</td><td>チガヤ・ススキ群集</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>26</td><td>伐採跡地群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>27</td><td>ヨシクラス</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>28</td><td>オギ群集</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>29</td><td>ヒルムシロクラス</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>30</td><td>外來水草群落</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>34</td><td>スギ・ヒノキ・サウラ植林</td><td>1,155.7</td></tr> <tr><td>35</td><td>クロマン植林</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>36</td><td>その他植林</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>38</td><td>竹林</td><td>0.0</td></tr> </tbody> </table>	凡例番号	群落名	St.17(m ²)			今回調査	a	畑雑草群落	0.0	b	水田雑草群落	0.0	c	放棄畑雑草群落	0.0	d	放棄水田雑草群落	0.0	e	果樹園	0.0	f	路傍・空地雑草群落	1,850.0	g	牧草地	0.0	h	ゴルフ場・芝地	0.0	i	緑の多い住宅地	0.0	k	市街地	16,332.6	L	工場地帯	0.0	m	造成地	0.0	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	721.6	s	残存・植栽樹群地	5,861.0	w	開放水域	0.0	凡例番号	群落名	St.17(m ²)			今回調査	1	ヤブコウジ・スダジイ群落	0.0	5	ムクノキ・エノキ群集	0.0	6	ハンノキ群落	0.0	8	ヤナギ低木群落	0.0	13	ケヤキ・シラカシ群落	0.0	17	クスギ・コナラ群落	0.0	18	クサギ・アカメガシワ群落	0.0	19	アカメガシワ・エノキ群落	0.0	20	タケ・ササ群落	0.0	21	メダケ群落	0.0	22	アズマネザサ群落	0.0	23	ススキ群団	0.0	25	チガヤ・ススキ群集	0.0	26	伐採跡地群落	0.0	27	ヨシクラス	0.0	28	オギ群集	0.0	29	ヒルムシロクラス	0.0	30	外來水草群落	0.0	34	スギ・ヒノキ・サウラ植林	1,155.7	35	クロマン植林	0.0	36	その他植林
凡例番号	群落名	St.17(m ²)																																																																																																																												
		今回調査																																																																																																																												
a	畑雑草群落	0.0																																																																																																																												
b	水田雑草群落	0.0																																																																																																																												
c	放棄畑雑草群落	0.0																																																																																																																												
d	放棄水田雑草群落	0.0																																																																																																																												
e	果樹園	0.0																																																																																																																												
f	路傍・空地雑草群落	1,850.0																																																																																																																												
g	牧草地	0.0																																																																																																																												
h	ゴルフ場・芝地	0.0																																																																																																																												
i	緑の多い住宅地	0.0																																																																																																																												
k	市街地	16,332.6																																																																																																																												
L	工場地帯	0.0																																																																																																																												
m	造成地	0.0																																																																																																																												
p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地	721.6																																																																																																																												
s	残存・植栽樹群地	5,861.0																																																																																																																												
w	開放水域	0.0																																																																																																																												
凡例番号	群落名	St.17(m ²)																																																																																																																												
		今回調査																																																																																																																												
1	ヤブコウジ・スダジイ群落	0.0																																																																																																																												
5	ムクノキ・エノキ群集	0.0																																																																																																																												
6	ハンノキ群落	0.0																																																																																																																												
8	ヤナギ低木群落	0.0																																																																																																																												
13	ケヤキ・シラカシ群落	0.0																																																																																																																												
17	クスギ・コナラ群落	0.0																																																																																																																												
18	クサギ・アカメガシワ群落	0.0																																																																																																																												
19	アカメガシワ・エノキ群落	0.0																																																																																																																												
20	タケ・ササ群落	0.0																																																																																																																												
21	メダケ群落	0.0																																																																																																																												
22	アズマネザサ群落	0.0																																																																																																																												
23	ススキ群団	0.0																																																																																																																												
25	チガヤ・ススキ群集	0.0																																																																																																																												
26	伐採跡地群落	0.0																																																																																																																												
27	ヨシクラス	0.0																																																																																																																												
28	オギ群集	0.0																																																																																																																												
29	ヒルムシロクラス	0.0																																																																																																																												
30	外來水草群落	0.0																																																																																																																												
34	スギ・ヒノキ・サウラ植林	1,155.7																																																																																																																												
35	クロマン植林	0.0																																																																																																																												
36	その他植林	0.0																																																																																																																												
38	竹林	0.0																																																																																																																												
<p>西船 4 丁目緑地・印内春日神社は、西船橋駅近傍の市街地の中の比較的まとまった緑地である。前回調査は調査地域ではなかったため比較ができないが、公園と神社の敷地であるため、緑地は良好に保たれていると推察される。</p>																																																																																																																														

表 2-37(2) 調査地域概要 (St. 17)

番号	St.17	調査地域名	西船 4 丁目緑地・印内春日神社				市民調査による生きものの個体写真				
		主な調査の種類	市民調査								
種	種	【植物】	41 種	【哺乳類】	0 種	【鳥類】	8 種	【両生類】	0 種		
		【爬虫類】	0 種	【昆虫類】	6 種	【魚類】	0 種	【底生動物】	0 種		
	種	【植物】	0 種	【哺乳類】	0 種	【鳥類】	0 種	【両生類】	0 種		
		【爬虫類】	0 種	【昆虫類】	1 種 チョウトンボ	【魚類】	0 種	【底生動物】	0 種		
	種	【春】	4 種	【夏】	5 種	【秋】	0 種	【冬】	2 種		<p>ススキ 投稿者: Ikitoshiikerumono</p> <p>コゲラ 投稿者: Wren</p>
		カントウタンポポ、ホトケノザ、シジュウカラ、ツマグロヒョウモン		ススキ、コゲラ、チョウトンボ、アブラゼミ、ミンミンゼミ		ホトケノザ、シジュウカラ					
種	ソシンロウバイ、ハラン、シュロ、アカバナマンサク、ハナズオウ、ムクゲ、トウネズミモチ、ハルジオン、サンゴジュなど										
	【特定外来生物】	なし									
凡例		赤字…今回調査で初確認された種									
察	St.17 は船橋市の中でも南西部の他の調査地域とは離れた場所に位置している。土地利用における住宅地、商業施設等の非植生部分が多い西船橋駅近郊のエリアの中でもまとまった樹林環境として植物、鳥類をはじめとした生物の生息場を提供していることが示唆されており、水域は存在しないが、重要種であるチョウトンボの飛翔が確認されている。また、コゲラ及びシジュウカラも確認されていることから市街地における生態系ネットワークの中継地として利用されていることも示唆される。								<p>重要種</p> <p>前回調査は実施していない</p>		
									<p>その他在来種</p> <p>前回調査は実施していない。</p>		
	環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など ・4/12 に市民向け現地調査イベントを実施。								<p>外来種</p> <p>前回調査は実施していない。</p>		

表 2-38 調査地域概要 (St. 18)

番号	St.18	調査地域名	三番瀬				調査地域の概要		
		主な調査の種類	市民調査						
種	種	【植物】 29種 【爬虫類】 3種	【哺乳類】 一種 【昆虫類】 21種	【鳥類】 118種 【魚類】 73種	【両生類】 一種 【底生動物】 177種		<p>船橋市の南西部に位置する東京湾に面した干潟、浅海域。ふなばし三番瀬海浜公園内であり、一般開放されている。日常的にワークショップやイベントが開催されており、公園内に BBQ 広場がある。水際から内陸側の少し高くなった箇所にはクロマツを主体とする樹林帯が見られ、砂浜の定常的に海水が来ない箇所にはイネ科植物を主体とする草場が広がっている。</p>		
	種	【植物】 2種 オニグルミなど	【哺乳類】 一種	【鳥類】 54種 オカヨシガモ、スズガモ、ピロードキンクロ、ウミアイサ、オオバン、カンムリカイツブリ、ミヤコドリ、シロチドリ、ダイシャクシギ、ミユビシギ、ハマシギ、ミサゴ、ホオジロ、ダイゼン、ダイサギ、コウノトリなど	【両生類】 一種				
	種	【爬虫類】 1種 ニホンカナヘビ	【昆虫類】 2種 ハマベゾウムシ、ヒョウタンゴミムシ	【魚類】 7種 ニホンウナギ、モツゴ、ビリンゴ、エドハゼなど	【底生動物】 21種 アカテガニ、クロベンケイガニ、アシハラガニ、オオノガイ、イソシジミ、サクラガイ、オキシジミ、ゴマフダマ、カワグチツボ、ウミゴマツボなど				
	種	【春】 8種 カントウタンポポ、ホトケノザ、ミヤコドリ、ダイゼン、アカボシゴマダラ、コサギ、ツバメ、シジウカラ	【夏】 7種 ミヤコドリ、アブラゼミ、ヒバリ、コサギ、ダイゼン、シジウカラ、ツバメ	【秋】 10種 アカミミガメ、ニホンカナヘビ、ススキ、アカアカネ、ミヤコドリ、ダイゼン、コサギ、モズ、シジウカラ、ヒバリ	【冬】 6種 ホトケノザ、ミヤコドリ、モズ、ダイゼン、コサギ、シジウカラ			市民調査による生きものの個体写真	
	種	アレチハナガサ、トウネズミモチ、シャリンバイ、オオシマザクラ、ウバメガシ、マサキ、サキグロタマツメタ、ムラサキガイ、ホンビノスガイなど							
	種	【特定外来生物】	アカボシゴマダラ、アカミミガメ、ガビチョウ						
凡例	緑字…千葉県委託調査、環境学習館調査で確認された種				前回調査(千葉県委託調査)と比較して確認されなかった種				
察	St.18 では Biome、紙報告データを取りまとめるだけでなく、環境 DNA 調査及び文献調査を行った。St.18 では干潟の鳥類を中心に 88 種の重要種が調査で確認された。特に鳥類についてはミヤコドリやダイゼンをはじめミサゴといった海鳥が多く確認されており、船橋市の中でも貴重な干潟環境が維持されていると考えられる。				重要種	ムラクモキジヒキガイ、クサシギ			
	三番瀬は、他調査地域と比較して海域特有の種が数多く確認されている。例えば植物ではハマナスやシャリンバイといった海浜植物が確認されており、昆虫類ではハマベゾウムシ、ハマベエンマムシ等が確認されている。三番瀬は市内でも干潟、海域の生態系を考慮するうえで重要な地域となっている。中でも今回調査では国の天然記念物に指定されているコウノトリの飛来が市民からの報告により寄せられており、コウノトリをはじめとした貴重な鳥類も飛来していることが確認された。				指標種	なし			
	環境保全活動の状況、環境保全に関する地域計画等の策定状況など				特定外来生物	なし			
観	<ul style="list-style-type: none"> ・4/12 に市民向け現地調査イベントを実施。・市民団体の活動有り。 ・環境学習館の令和 6 年度、7 年度の調査結果の他、千葉県で実施している鳥類、魚類、底生生物の調査結果を引用している。 								

3. 船橋市で確認された生物リスト

船橋市内で今回調査を通して確認された生物種について以下に記載した。なお、底生動物については海域～陸域で分類群が多様に分かれることから、船橋市内の主に陸域、河川等で確認された種(4.8.1)と三番瀬の主に干潟、浅海域で確認された種(4.8.2)にリストを区分した。

3.1 植物

調査の結果、計 160 科 1097 種の植物が確認された。

表 3-1(1) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準			
						①	②	③	④	①	②	③	④
1	イワヒバ	カタヒバ	●						C				
2		イヌカタヒバ	●	●			(VI)				●	植・逸	
3	ミズニラ	ミズニラ	●				NT	B					
4	トクサ	スギナ											
5		トクサ		●								植・逸	
6		イヌスギナ											
7		イヌドクサ											
8	ハナヤスリ	オオハナワラビ											
9		フユノハナワラビ											
10	ゼンマイ	ゼンマイ											
11	カニクサ	カニクサ											
12	コバノイシカグマ	フモトシダ											
13		ワラビ											
14	イノモトソウ	ホウライシダ			●						●	植・逸	
15		ヒメミズワラビ											
16		イワガネソウ											
17		オオバノイノモトソウ											
18		イノモトソウ											
19	チャセンシダ	コバノヒノキシダ	●					D					
20		トラノオシダ											
21	ヒメシダ	ヒメワラビ											
22		ミドリヒメワラビ											
23		コゲジゲジシダ											
24		ホシダ											
25		イヌケホシダ											
26		ハシゴシダ											
27		ハリガネワラビ											
28		ヤワラシダ											
29		ヒメシダ											
30			ミゾシダ										
31	コウヤワラビ	コウヤワラビ											
32		クサソテツ											
33	メシダ	イヌワラビ											
34		ホソバイヌワラビ											
35		ホソバシケシダ											
36		セイタカシケシダ											
37		シケシダ											
38	オシダ	リュウメンシダ											
39		ナガバヤブソテツ											
40		オニヤブソテツ											
41		ヤブソテツ											
42		テリハヤブソテツ											
-			Cyrtomium属の一種										
43			ヤマイタチシダ										
44			ベニシダ										
45			オオイトチシダ										
46			クマワラビ										
47			トウゴクシダ										
48			オクマワラビ										
49			アスカイノデ										
50		アイアスカイノデ											
51		イノデ											
52	タマシダ	タマシダ			●							植・逸	
53	ウラボシ	マメツタ											
54		ノキシノブ											
55	ソテツ	ソテツ			●							植・逸	
56	イチョウ	イチョウ			●							植・逸	
57	マツ	モミ											
58		ヒマラヤスギ			●							植・逸	
59		ドイツトウヒ			●							植・逸	
60		アカマツ											
61		ダイオウマツ			●							植・逸	
62		ゴヨウマツ	●					A					
63		クロマツ			●							植・逸	
64		ツガ											

表 3-1(2) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準			
						①	②	③	④	①	②	③	④
65	マキ	イヌマキ			●								植・逸
66	コウヤマキ	コウヤマキ			●								植・逸
67	ヒノキ	ヒノキ			●								植・逸
68		サワラ			●								植・逸
69		スギ			●								植・逸
70		カイヅカイブキ			●								植・逸
71		イブキ	●		●			(C)					植・逸
72		メタセコイア			●								植・逸
73		コノテガシワ			●								植・逸
74		ニオイヒバ			●								植・逸
75		イトヒバ			●								植・逸
76		クロベ			●								植・逸
77		アスナロ			●								植・逸
-		ヒノキ科の一種			●								植・逸
78	イチイ	イヌガヤ											
79		イチイ											
80		キャラボク			●								植・逸
81		カヤ											
82	スイレン	園芸スイレン			●					外総重	●		植・逸
83	マツブサ	シキミ											
84		サネカズラ											
85	ドクダミ	ドクダミ											
86		ハンゲショウ											
87	ウマノスズクサ	ウマノスズクサ											
-		Asarum属の一種											
88	モクレン	ユリノキ			●								植・逸
89		ハクモクレン			●								植・逸
90		カラタネオガタマ			●								植・逸
91		タイサンボク			●								植・逸
92		コブシ											
93		シモクレン			●								植・逸
94		ホオノキ											
95		シデコブシ	●		●			(NT)					植・逸
96	バンレイシ	ポポー			●							●	植・逸
97	ロウバイ	ロウバイ			●								植・逸
98		ソシンロウバイ			●								植・逸
99	クスノキ	クスノキ			●								植・逸
100		ニッケイ	●		●			(NT)					植・逸
101		ヤブニッケイ											
102		ゲッケイジュ			●								植・逸
103		ヤマコウバシ											
104		タブノキ											
105		シロダモ											
106	センリョウ	ヒトリシズカ											
107		フタリシズカ											
108		センリョウ	●		●			(D)					植・逸
109	ショウブ	ショウブ											
110		セキショウ											
111	サトイモ	マムシグサ											
112		ムサシアブミ	●		●			(A)					植・逸
113		ウラシマソウ											
114		アオウキクサ											
115		ミズバショウ			●								植・逸
116		カラスビシャク											
117		ウキクサ											
118	オモダカ	ヘラオモダカ											
119		ウリカワ											
120		オモダカ											
121	トチカガミ	オオカナダモ			●					外総重	●		植・逸
122		コカナダモ			●					外総重	●		植・逸
123	ヒルムシロ	ヤナギモ	●					D					
124	ヤマノイモ	ヤマノイモ											
125		ナガイモ			●								植・逸
126		オニドコロ											
127	シュロソウ	オオバイケイソウ			●								植・逸
128	イヌサフラン	ホウチャクソウ											
129		チゴユリ											
130	サルトリイバラ	サルトリイバラ											
131		タチシオデ											
132		シオデ											

表 3-1(3) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準				
						①	②	③	④	①	②	③	④	
133	ユリ	カタクリ	●						C					
134		バイモ			●							●	植・逸	
135		ヤマユリ			●									
136		タカサゴユリ			●						外総他	●	植・逸	
137		オニユリ			●								植・逸	
138		シンテッポウユリ			●						外総他	●	植・逸	
-			Lilium属の一種											
139			タイワンホトトギス	●		●			(VU)				●	植・逸
-			Trieyrtis属の一種											
140			アマナ	●						D				
-		ユリ科の一種												
141	ラン	シラン	●		●			(NT)	(D)				植・逸	
142		エビネ	●	●				NT	D					
143		ギンラン	●						D					
144		キンラン	●	●				NT	D					
145		ササバギンラン	●						D					
146		シュンラン												
147		マヤラン	●						VU	C				
148		サガミラン	●						NT	C				
149		コ克蘭												
150			オオバノ トンボソウ											
151		ネジバナ												
152	アヤメ	ヒメヒオウギ			●								植・逸	
153		ヒメヒオウギズイセン			●						外総他	●	植・逸	
154		ジャーマン・アイリス			●								植・逸	
155		シャガ			●								植・逸	
156		キショウブ			●						外総重	●	植・逸	
157		アヤメ	●							B				
158		ヤリズイセン			●									植・逸
159		オオニワゼキショウ			●							●		
160		ニワゼキショウ			●						●			
161	ワスレグサ	ゼンテイカ			●								植・逸	
162		ヤブカンゾウ												
-		Hemerocallis属の一種												
163	ヒガンバナ	ノビル												
164		ミツカドネギ												
165		ニラ			●									植・逸
166		ハマオモト	●							B				
167		アフリカハマユウ			●									植・逸
168		Habranthus属の一種			●								●	
169		アマリリス			●									植・逸
170		ハナニラ			●						外総他	●		植・逸
171		スノーフレーク			●									植・逸
172		ヒガンバナ			●									植・逸
173		キツネノカミソリ			●									
174		ナツズイセン			●								●	植・逸
-			Lycoris属の一種											
175		ラッパズイセン			●								●	植・逸
176	スイセン			●								●	植・逸	
177	ハタケニラ			●								●	植・逸	
178	タマスダレ			●								●	植・逸	
179		キバナサフランモドキ			●								植・逸	
180	クサスギカズラ	ハラン			●								植・逸	
181		ツルボ												
182		ドイツスズラン			●								●	植・逸
183		スズラン			●									植・逸
184		ホシオモト			●									植・逸
185		オオバギボウシ	●							D				
186		コバギボウシ												
187			Hyacinthoides属の一種											
188			ヒメヤブラン											
189			ヤブラン											
190			ムスカリ			●								植・逸
191			ノシラン			●								植・逸
192			ジャノヒゲ											
193			ナガバジャノヒゲ											
194			オオバジャノヒゲ											
195			オオアマナ			●							●	植・逸
196			ナルコユリ											
197			ミヤマナルコユリ											

表 3-1(4) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準				
						①	②	③	④	①	②	③	④	
198	クサスギカズラ	アマドコロ												
199		キチジョウソウ												
200		オモト												
201		アツバキミガヨラン			●					外総重	●	植・逸		
202		キミガヨラン		●							植・逸			
203	ヤシ	シュロ		●					内総他	●	植・逸			
204		トウジュロ		●					内総他		植・逸			
205	ツユクサ	マルバツユクサ												
206		ツユクサ												
207		ケツユクサ												
208		ヒメトキワツユクサ			●							植・逸		
209		イボクサ												
210		ヤブミョウガ												
211		ノハカタカラクサ			●					外総重	●	植・逸		
212		ミドリハカタカラクサ												
213		ムラサキツユクサ			●						●	植・逸		
214			ムラサキオオツユクサ		●							植・逸		
215		ミズアオイ	ホテイアオイ		●					外総重	●	植・逸		
216	ミズアオイ		●			NT	D							
217	コナギ													
218		ナガバミズアオイ		●						●				
219	バショウ	バショウ		●						●	植・逸			
220	カンナ	ハナカンナ		●						●	植・逸			
221	ショウガ	ハナシュクシヤ		●					内総他		植・逸			
222		ミョウガ		●							植・逸			
223		ショウガ		●	●							植・逸		
224	ガマ	ミクリ	●			NT	D							
225		ヒメガマ												
226		ガマ												
227		コガマ												
228	イグサ	ハナビゼキショウ												
229		イグサ												
230		アオコウガイゼキショウ												
231		コゴメイ			●					外総重	●			
232		コウガイゼキショウ												
233		クサイ												
234		スズメノヤリ												
235	カヤツリグサ	ウキヤガラ												
236		コウキヤガラ												
237		マツバスゲ												
238		メアオスゲ												
239		オニスゲ												
240		カサスゲ												
241		ケスゲ												
242		マスクサ												
243		カワラスゲ												
244		ヒゴクサ												
245		コウボウムギ												
246		ヒカゲスゲ												
247		ナキリスゲ												
248		アオスゲ												
249		コジュズスゲ												
250		ノグスカスゲ												
251		カンスゲ												
252		シバスゲ												
253		ミコシガヤ												
254		ヤブスゲ	●				C							
-			Carex属の一種											
255			シュロガヤツリ		●					外総重	●			
256			チャガヤツリ											
257			ヒメクグ											
258			ユメノシマガヤツリ		●						●			
259			タマガヤツリ											
260		ホソミキンガヤツリ		●						●				
261		メリケンガヤツリ		●					外総重	●				
262		ショクヨウガヤツリ		●						●				
263		ヒナガヤツリ												
264		アゼガヤツリ												
265		ヌマガヤツリ												
266		コアゼガヤツリ												

表 3-1(5) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準			
						①	②	③	④	①	②	③	④
267	カヤツリグサ	コゴメガヤツリ											
268		カヤツリグサ											
269		ハマスゲ											
270		カワラスガナ											
271		マツバイ											
272		クログワイ											
273		ヒメヒラテンツキ											
274		テンツキ											
275		ヒデリコ											
276		メアゼテンツキ											
277		ヒンジガヤツリ											
278		イヌホタルイ											
279		サンカクイ											
280		アブラガヤ											
281	イネ	ヌカボ											
282		ハナヌカススキ			●							●	
283		スズメノテッポウ											
284		メリケンカルカヤ			●					外総他		●	
285		コブナグサ											
286		トダシバ											
287		カズノコグサ											
288		ヤマカモジグサ											
289		コバンソウ			●								●
290		ヒメコバンソウ			●								●
291		イヌムギ			●								●
292		ヒゲナガスズメノチャヒキ			●								●
293		スズメノチャヒキ			●								●
294		キツネガヤ											
295		ノガリヤス											
296		ジュズダマ			●								● 植・逸
297		シロガネヨシ			●					外総他		●	植・逸
298		ギョウギシバ			●								●
299		カモガヤ			●					外産管		●	植・逸
300		メヒシバ											
301		コメヒシバ											
302		アキメヒシバ											
303		アブラススキ											
304		イヌビエ											
305		タイヌビエ											
306		オヒシバ											
307		アオカモジグサ											
308		カモジグサ											
309		シナダレスズメガヤ			●					外総重		●	植・逸
310		カゼクサ											
311		コスズメガヤ			●								●
312		ニワホコリ											
313		ナルコビエ											
314		トボシガラ											
315		オオウシノケグサ											
316		ムギクサ			●								●
317		ケナシチガヤ											
318		チガヤ											
319		チゴザサ											
320		アシカキ											
321	エゾノサヤヌカグサ												
322	サヤヌカグサ												
323	ササガヤ												
324	アゼガヤ												
325	ネズミムギ			●					外産管		●	植・逸	
326	ネズミホソムギ			●					外産管		●	植・逸	
327	アシボソ												
328	オギ												
329	ススキ			●									
330	タカノハススキ			●								植・逸	
331	ネズミガヤ												
332	コチヂミザサ												
333	ケチヂミザサ												
334	イネ			●								植・逸	
335	ヌカキビ												
336	オオクサキビ			●					外総他		●		

表 3-1(6) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準				
						①	②	③	④	①	②	③	④	
337	イネ	シマスズメノヒエ			●					外総他	●			
338		キシウズズメノヒエ			●					外総他	●			
339		チクゴズズメノヒエ			●					外総重	●			
340		アメリカズズメノヒエ			●					外産管	●			
341		ズズメノヒエ												
342		タチズズメノヒエ			●					外総他	●			
343		チカラシバ												
344		クサヨシ												
345		ヨシ												
346		モウソウチク			●					外産管	●	植・逸		
347		ハチク			●					外産管	●	植・逸		
348		クロチク			●					外産管	●	植・逸		
349		マダケ			●					外産管	●	植・逸		
350		アズマネザサ												
351		メダケ												
352		ミゾイチゴツナギ												
353		ズズメノカタビラ												
354		ツルスズメノカタビラ			●							●		
355		ナガハグサ			●							●	植・逸	
356		イチゴツナギ												
357		オオズズメノカタビラ			●							●		
358		ヒエガエリ												
359		ヤダケ			●								植・逸	
360		ヌメリグサ												
361		クマザサ			●								植・逸	
362		オニウシノケグサ			●					外産管	●	植・逸		
363		ウシクサ												
364		アキノエノコログサ												
365		コツブキンエノコロ												
366		キンエノコロ												
367		エノコログサ												
368		オオエノコロ												
369		オカメザサ			●								植・逸	
370		セイバンモロコシ			●					外総他	●	植・逸		
371		ネズミノオ												
372		マコモ												
373		シバ												
-		イネ科の一種												
374	ケン	クサノオウ												
375		ジロボウエンゴサク												
376		キケマン												
377		ムラサキケマン												
378		シラユキゲシ			●							●	植・逸	
379		タケニグサ												
380	ナガミヒナゲシ			●							●	植・逸		
381	アケビ	アケビ												
382		ミツバアケビ												
383		ゴヨウアケビ												
384		ムベ			●								植・逸	
385	ツツラフジ	アオツツラフジ												
386	メギ	ホソバヒイラギナンテン			●						●	植・逸		
387		ヒイラギナンテン			●					外総他	●	植・逸		
388		ナンテン			●							植・逸		
389	キンボウゲ	ハナトリカブト			●							植・逸		
-		Aconitum属の一種												
390		ニリンソウ												
391		シュウメイギク			●						●	植・逸		
392		オダマキ			●						●	植・逸		
393		サラシナショウマ												
394		ボタンヅル												
395		コボタンヅル												
396		カザグルマ	●				NT	B						
397		センニンソウ												
398		キクザキリュウキンカ			●						●	植・逸		
399		クリスマスローズ			●						●	植・逸		
400		ケキツネノボタン												
401		ウマノアシガタ												
402		トゲミノキツネノボタン			●						●			
403		タガラシ												
404		キツネノボタン												

表 3-1(7) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準			
						①	②	③	④	①	②	③	④
405	キンボウゲ	ヒメウス											
406		アキカラマツ											
407	スズカケノキ	モミジバズカケノキ			●								植・逸
408	ツゲ	ツゲ											
409	フウ	モミジバフウ			●								植・逸
410	マンサク	ヒュウガミズキ			●								植・逸
411		トサミズキ	●				(NT)						植・逸
412		アカバナマンサク			●								植・逸
413	カツラ	カツラ	●		●			(B)					植・逸
414	ユズリハ	ユズリハ											
415		ヒメユズリハ											
416	スグリ	ヤブサンザシ	●					B					
417	ユキノシタ	チダケサシ											
418		ヒマラヤユキノシタ			●								植・逸
419		ユキノシタ			●								植・逸
420	ベンケイソウ	エゾノキリンソウ			●								植・逸
421		コモチマンネングサ											
422		オカタイトゴメ			●							●	植・逸
423		ツルマンネングサ			●							●	
424		ヨコハママンネングサ			●							●	
-		Sedum属の一種											
425	アリノトウグサ	オオフサモ			●				特外	外総緊	●		植・逸
426	ブドウ	ノブドウ											
427		ヤブカラシ											
428		ツタ											
429		エビヅル											
430	マメ	ギンヨウアカシア			●								植・逸
431		フサアカシア			●							●	植・逸
432		クサネム											
433		ネムノキ											
434		イタチハギ			●					外総重	●		植・逸
435		ヤブマメ											
436		アメリカホド			●								植・逸
437		ハナズオウ			●								植・逸
438		アレチヌスビトハギ			●					外総他	●		
439		ノササゲ											
440		サイカチ	●					D					
441		ツルマメ											
442		フジカンゾウ											
443		ケヤブハギ											
444		ヌスビトハギ											
445		ヤブハギ											
446		マルバヤハズソウ											
447		ヤハズソウ											
448		ヤマハギ											
449		メドハギ											
450		ネコハギ											
451		ミヤギノハギ			●							●	植・逸
452		シラハギ			●								植・逸
-		Lespedeza属の一種											
453		コメツブウマゴヤシ			●							●	
454		シナガワハギ			●							●	植・逸
455		クズ											
456		オオバタンキリマメ											
457		タンキリマメ											
458		ハリエンジュ			●					外産管	●		植・逸
459		エビスグサ			●							●	植・逸
460		エンジュ			●							●	植・逸
461		コメツブツメクサ			●							●	
462		ムラサキツメクサ			●							●	
463		シロツメクサ			●							●	植・逸
464		スズメノエンドウ											
465		ヤハズエンドウ			●							●	
466		カスマグサ											
467		ナンテンハギ											
468		ヤブツルアズキ											
469		フジ											

表 3-1(8) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準				
						①	②	③	④	①	②	③	④	
470	バラ	ヒメキンミズヒキ												
471		キンミズヒキ												
472		ジューンベリー			●									植・逸
473		カンヒザクラ			●							●		植・逸
474		エドヒガン	●						A					
475		イトザクラ			●									植・逸
476		ヤマザクラ												
477		コバザクラ			●									植・逸
478		サトザクラ			●									植・逸
479		御衣黄			●									植・逸
480		ヤエベニシダレ			●									植・逸
481		オオシマザクラ			●									植・逸
482		ジュウガツザクラ			●									植・逸
483		カワヅザクラ			●									植・逸
484		コヒガンザクラ			●									植・逸
485		ソメイヨシノ			●									植・逸
-			Cerasus属の一種											
486		クサボケ												
487		ボケ			●									植・逸
488		Cotoneaster属の一種												
489		ビワ			●						外産管	●		植・逸
490		ダイコンソウ												
491		ヤマブキ												
492		ヤエヤマブキ			●									植・逸
493		ハナカイドウ			●									植・逸
494		イヌリンゴ			●									植・逸
495		イヌザクラ												
496		ウワミズザクラ												
497		カナメモチ			●									植・逸
498		レッドロビン			●									植・逸
499		オヘビイチゴ												
500		キジムシロ												
501		ミツバツチグリ												
502		ヘビイチゴ												
503		ヤブヘビイチゴ												
504		オキジムシロ			●								●	
505		カマツカ												
506		ミロバランズモモ			●									植・逸
507		カンザン			●									植・逸
508		ウメ			●									植・逸
509		モモ			●									植・逸
510		ユスラウメ			●									植・逸
511		カリン			●									植・逸
512		タチバナモドキ			●						外総他	●		植・逸
513		トキワサンザシ			●						外総他	●		植・逸
514		カザンデマリ			●						外総他	●		植・逸
-			Pyracantha属の一種		●						外総他	●		植・逸
515		ナシ			●									植・逸
516	シャリンバイ			●									植・逸	
517	シロヤマブキ	●		●			(EN)						植・逸	
518	モッコウバラ			●									植・逸	
519	テリハノイバラ													
520	ノイバラ													
521	ハマナス	●		●			(D)						植・逸	
522	フユイチゴ													
523	クサイチゴ													
524	ニガイチゴ													
525	モミジイチゴ													
526	ナワシロイチゴ													
527	カジイチゴ			●									植・逸	
528	ワレモコウ													
529	コデマリ			●									植・逸	
530	シモツケ			●									植・逸	
531	ユキヤナギ			●									植・逸	
532	グミ	ツルグミ												
533		トウグミ			●									植・逸
534		ナツグミ												
535		ナワシログミ												
536		アキグミ												
-		Elaeagnus属の一種												

表 3-1(9) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準			
						①	②	③	④	①	②	③	④
537	クロウメモドキ	クマヤナギ											
538		ケンボナシ											
539	ニレ	ナツメ			●							●	植・逸
540		アキニレ			●								植・逸
541	アサ	ケヤキ											
542		ムクノキ											
543		エノキ											
544	クワ	カナムグラ											
545		ヒメコウゾ											
546		カジノキ			●								植・逸
547		クワクサ											
548		イチジク			●								植・逸
549		イヌビワ											
550		マグワ			●								植・逸
551		-	ヤマグワ										
-	イラクサ	Morus属の一種											
552		シマナガバヤブマオ	●					B					
553		ヤブマオ											
554		カラムシ											
555		ナンバンカラムシ			●							●	
556		ナガバヤブマオ											
557		トキホコリ	●					NT	B				
558		ミズ											
559	アオミズ												
560	ブナ	クリ											
561		スダジイ											
562		マテバシイ			●								植・逸
563		シリブカガシ			●								植・逸
564		アカガシ											
565		クスギ											
566		ミズナラ											
567		アラカシ											
568		シラカシ											
569		ウバメガシ	●		●				(B)				植・逸
570		ウラジロガシ											
571		コナラ											
572		アベマキ											
573	ヤマモモ	ヤマモモ			●								植・逸
574	クルミ	オニグルミ	●					D					
575		カシグルミ			●								植・逸
576		ノグルミ			●								植・逸
577		シナサワグルミ			●							●	植・逸
578	カバノキ	ハンノキ											
579		クマシデ											
580		アカシデ	●						D				
581		イヌシデ											
582	ウリ	アマチャヅル											
583		ニガウリ			●								植・逸
584		アレチウリ			●				特外	外総緊	●		
585		カラスウリ											
586		キカラスウリ											
587	スズメウリ												
588	シュウカイドウ	シュウカイドウ			●							●	植・逸
-	-	Begonia属の一種			●								植・逸
589	ニシキギ	ツルウメモドキ											
590		ニシキギ											
591		コマユミ											
592		ツルマサキ											
593		マサキ			●								植・逸
594		ツリバナ											
595		マユミ											
596	カタバミ	イモカタバミ			●							●	植・逸
597		ベニカタバミ			●							●	植・逸
598		カタバミ											
599		アカカタバミ											
600		ムラサキカタバミ			●							●	植・逸
601		オッタチカタバミ			●							●	
602		オオキバナカタバミ			●					外総他	●		植・逸
603		インカンカタバミ			●								植・逸
-	-	Oxalis属の一種											

表 3-1(10) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準				
						①	②	③	④	①	②	③	④	
604	ホルトノキ	ホルトノキ			●									植・逸
605	オトギリソウ	コケオトギリ												
606		ビヨウヤナギ			●							●		植・逸
607		キンシバイ			●							●		植・逸
608	ミゾハコベ	ミゾハコベ												
609	スマレ	タチツボスマレ												
610		ヒメスマレ												
611		スマレ												
612		アメリカスマレサイシン			●							●		植・逸
613		ツボスマレ												
614		ノジスマレ												
615	ヤナギ	アメリカヤマナラシ			●									植・逸
616		シダレヤナギ			●									植・逸
617		マルバヤナギ												
618		ジャヤナギ												
619		イヌコリヤナギ												
620		カワヤナギ												
621		タチヤナギ												
622	トウダイグサ	エノキグサ												
623		オオバベニガシワ			●									植・逸
624		トウダイグサ												
625		ニシキソウ												
626		コニシキソウ			●							●		
627		ハツユキソウ			●									植・逸
628		オオニシキソウ			●							●		
629		ハイニシキソウ			●							●		
630		アレチニシキソウ			●							●		
631		アカメガシワ												
632		ヤマアイ												
633		ナンキンハゼ			●						外総他	●		植・逸
634	コミカンソウ	ヒトツバハギ												
635		コミカンソウ												
636		ナガエコミカンソウ			●							●		
637		ヒメミカンソウ												
638	フウロソウ	アメリカフウロ			●							●		
639		ゲンノショウコ												
640	ミソハギ	ホソバヒメミソハギ			●							●		
641		ヒメミソハギ												
642		サルスベリ			●									植・逸
643		ミソハギ												
644		ザクロ			●									植・逸
645		アメリカカキシグサ			●							●		
646	アカバナ	ミズタマソウ												
647		ムクゲアカバナ	●						B					
648		アカバナ												
649		ヒレタゴボウ			●							●		
650		チョウジタデ												
651		ウスゲチョウジタデ	●					NT						
652		メマツヨイグサ			●							●		
653		コマツヨイグサ			●						外総重	●		
654		ユウゲショウ			●							●		
655		ヒルガキツキミソウ			●							●		植・逸
656		マツヨイグサ			●							●		
-		Oenothera属の一種												
657	フトモモ	フェイジョア			●									植・逸
658	ミツバウツギ	ゴンズイ												
659		ミツバウツギ												
660	キブシ	キブシ												
661	ウルシ	ヌルデ												
662		ハゼノキ			●									植・逸
663		ヤマハゼ												
664		ヤマウルシ												
665	ムクロジ	ヤマモミジ			●									植・逸
666		トウカエデ			●							●		植・逸
667		イロハモミジ												
668		イタヤカエデ												
669		ウラゲエンコウカエデ												
670		ハナノキ	●		●			(VU)						植・逸
-		Acer属の一種												
671		トチノキ												

表 3-1(11) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準				
						①	②	③	④	①	②	③	④	
672	ムクロジ	フウセンカズラ			●							●	植・逸	
673		モクゲンジ			●								植・逸	
674		ムクロジ				●							植・逸	
675	ミカン	ユズ			●								植・逸	
676		カラタチ			●								植・逸	
677		カラスザンショウ												
678		サンショウ												
679		イヌザンショウ												
680	ニガキ	ニワウルシ			●						外総重	●	植・逸	
681		ニガキ												
682	センダン	センダン			●								植・逸	
683	アオイ	イチビ			●							●	植・逸	
684		タチアオイ				●						●	植・逸	
685		カラスノゴマ												
686		アオギリ												
687		ハマボウ		●					B					
688		フヨウ				●						外総他	●	植・逸
689		ムクゲ				●							●	植・逸
690		ゼニアオイ				●							●	植・逸
691		ゼニバアオイ				●							●	植・逸
692		ウサギアオイ				●							●	植・逸
693		ヤノネボンテンカ				●								植・逸
694		アメリカキンゴジカ				●							●	
695	ジンチョウゲ	ジンチョウゲ			●								植・逸	
696	アブラナ	シロイヌナズナ			●							●		
697		カラシナ				●					外総他	●	植・逸	
698		セイヨウアブラナ				●						●	植・逸	
-			Brassica属の一種											
699		ナズナ												
700		ミチタネツケバナ				●							●	
701		タネツケバナ												
702		オオバタネツケバナ												
703		カラクサナズナ				●							●	
704		マメグンバイナズナ				●							●	
705		オランダガラシ				●						外総重	●	植・逸
706		ショカツサイ				●							●	
707		ハマダイコン												
708		イヌガラシ												
709		スカシタゴボウ												
710		キレハイヌガラシ				●							●	
711		カキネガラシ				●							●	
712		イヌカキネガラシ				●							●	
713	イソマツ	ルリマツリ			●								植・逸	
714	タデ	シャクチリソバ			●						外総他	●	植・逸	
715		ソバ				●								植・逸
716		イタドリ												
717		ツルドクダミ				●					外総他	●	植・逸	
718		ワイヤーブラント				●								植・逸
719		ヒメツルソバ				●					外総他	●	植・逸	
720		ミズヒキ												
721		ヤナギタデ												
722		シロバナサクラタデ												
723		サナエタデ												
724		オオイヌタデ												
725		イヌタデ												
726		ヤノネグサ												
727		シンミズヒキ												
728		オオケタデ				●							●	植・逸
729		イシミカワ												
730		ハナタデ												
731		ボントクタデ												
732		アキノウナギツカミ												
733	ママコノシリヌグイ													
734	ミゾソバ													
735	ミチヤナギ													
736	スイバ													
737	ヒメスイバ				●					外総他	●			
738	アレチギシギシ				●							●		
739	ナガバギシギシ				●					外総他	●			
740	ギシギシ													
741	エゾノギシギシ				●					外総他	●			

表 3-1 (12) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準			
						①	②	③	④	①	②	③	④
742	ナデシコ	ノミノツツリ											
743		ミミナグサ											
744		オランダミミナグサ			●							●	
745		ノハラナデシコ			●							●	
746		イヌコモチナデシコ			●							●	
747		ツメクサ											
748		ムシトリナデシコ			●					外総他	●		植・逸
749		シレネ・ピンクパンサー			●							●	植・逸
750		ウシハコベ											
751		コハコベ			●							●	
752		ミドリハコベ											
753		ノミノフスマ											
754		ヒユ	イノコヅチ										
755			ヒナタイノコヅチ										
756	ナガエツルノゲイトウ			●	●					特外	外総緊	●	
757	イヌビユ												
758	ホソアオゲイトウ				●							●	
759	アオゲイトウ				●							●	
760	ホナガイヌビユ				●							●	
761	ノゲイトウ				●							●	植・逸
762	ケイトウ				●								植・逸
763	シロザ												
764	アカザ				●							●	
765	コアカザ				●							●	
766	アリタソウ				●							●	
767	ゴウシュウアリタソウ				●							●	
768	ハマミズナ	マツバギク			●							植・逸	
769	ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ			●						●		
770	オシロイバナ	オシロイバナ			●						●	植・逸	
771	ザクロソウ	クルマバザクロソウ			●						●		
772		ザクロソウ											
773	ハゼラン	ハゼラン			●						●	植・逸	
774	スベリヒユ	スベリヒユ											
775	サボテン	ウチワサボテン			●				外総重	●		植・逸	
776	ヌマミズキ	ハンカチノキ			●							植・逸	
777	アジサイ	ウツギ											
778		ヒメウツギ											
779		マルバウツギ											
780		タマアジサイ											
781		アジサイ			●								植・逸
782		ガクアジサイ											
783	ヤハズアジサイ			●								植・逸	
784	ミズキ	ミズキ											
785		アメリカヤマボウシ			●								植・逸
786		ヤマボウシ											
787		クマノミズキ											
788		サンシュユ			●								植・逸
789	ツリフネソウ	ホウセンカ			●							植・逸	
790	サカキ	サカキ			●								植・逸
791		ハマヒサカキ			●								植・逸
792		ヒサカキ											
793		モッコク			●								植・逸
794		カキノキ	カキノキ			●						●	植・逸
795	サクラソウ	マンリョウ											
796		カラタチバナ											
797		ヤブコウジ											
798		ヌマトラノオ											
799		ヨナスビ											
800			タイミンタチバナ										
801	ツバキ	ヤブツバキ											
802		サザンカ			●								植・逸
803		カンツバキ			●								植・逸
804		チャノキ			●								植・逸
805		ツバキ(園芸品種)			●								植・逸
806		ヒメシャラ			●								植・逸
807			ナツツバキ			●							植・逸
808	ハイノキ	サワフタギ											
809	エゴノキ	エゴノキ											
810		ハクウンボク			●								植・逸

表 3-1(13) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準			
						①	②	③	④	①	②	③	④
811	マタタビ	サルナシ											
812		オニマタタビ			●						外産管	●	植・逸
813	リョウブ	リョウブ	●						D				
814	ツツジ	ドウダンツツジ			●								植・逸
815		アセビ											
816		イチヤクソウ											
817		アズマシャクナゲ			●								植・逸
818		ミツバツツジ	●						D				
819		サツキ			●								植・逸
820		ヤマツツジ											
821		モチツツジ			●								植・逸
-		Rhododendron属の一種											
822	アオキ	アオキ											
823	アカネ	シラホシムグラ			●							●	
824		ヒメヨツバムグラ											
825		ヤエムグラ											
826		ヨツバムグラ											
827		クチナシ			●								植・逸
828		ハシカグサ											
829		フタバムグラ											
830		ヘクソカズラ											
831		アカネ											
832		ハクチョウゲ	●		●			(VU)					植・逸
833	キョウチクトウ	ニチニチソウ			●								植・逸
834		キジョラン											
835		ガガイモ											
836		キョウチクトウ			●							●	植・逸
837		テイカカズラ											
838		ツルニチニチソウ			●						外総重	●	植・逸
839	ムラサキ	ハナイバナ											
840		ヒレハリソウ			●							●	植・逸
841		コンフリー			●							●	植・逸
842		キュウリグサ											
843	ヒルガオ	コヒルガオ											
844		ヒルガオ											
845		ハマヒルガオ											
846		アオイゴケ	●						B				
847		マルバルコウ			●						外総重	●	植・逸
848		アメリカアサガオ			●						外総重	●	植・逸
849		マメアサガオ			●						外総重	●	
850		アサガオ			●						外総重	●	植・逸
851		マルバアサガオ			●						外総重	●	植・逸
852		ルコウソウ			●						外総重	●	植・逸
853		アメリカソライロアサガオ			●						外総重	●	植・逸
854		ホシアサガオ			●						外総重	●	
855	ナス	キダチチョウセンアサガオ			●						外総他	●	植・逸
856		クコ											
857		ホオズキ			●								植・逸
858		ワルナスビ			●							●	
859		ヒヨドリジョウゴ											
860		オオイヌホオズキ			●							●	
861		イヌホオズキ											
862		タマサンゴ			●							●	植・逸
863		アメリカイヌホオズキ			●							●	
864		ハダカホオズキ											
865	モクセイ	ヒトツバタゴ	●		●			(VU)					植・逸
866		アメリカヒトツバタゴ			●							●	植・逸
867		レンギョウ			●							●	植・逸
868		シナレンギョウ			●								植・逸
-		Forsythia属の一種			●								植・逸
869		シマトネリコ			●								植・逸
870		マルバアオダモ											
871		オウバイモドキ			●								植・逸
872		ネズミモチ											
873		トウネズミモチ			●						外総重	●	植・逸
874		イボタノキ											
875		オオバイボタ											
876		キンモクセイ			●								植・逸
877		ヒイラギ											
878		ヒイラギモクセイ			●								植・逸
879		ムラサキハシドイ			●								植・逸

表 3-1(14) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準			
						①	②	③	④	①	②	③	④
880	オオバコ	ツタバウンラン			●							●	植・逸
881		キクモ											
882		マツバウンラン			●							●	植・逸
883		オオバコ											
884		ヘラオオバコ			●							●	
885		ツボミオオバコ											
886		オオカワヂシャ			●				特外	外総緊		●	
887		タチイヌノフグリ			●							●	
888		フラサバソウ			●							●	
889		ヤマクワガタ			●								植・逸
890		ムシクサ											
891		オオイヌノフグリ			●							●	
892		カワヂシャ	●				NT						
-		Veronica属の一種											
-	ゴマノハグサ	Buddleja属の一種											
893		ビロードモウズイカ			●							●	
894	アゼナ	アメリカアゼナ			●							●	
895		アゼナ											
896		ウリクサ											
897	キツネノマゴ	キツネノマゴ											
898		ヤナギバルイラソウ			●					外総他		●	植・逸
899	ノウゼンカズラ	ノウゼンカズラ			●								植・逸
900		アメリカノウゼンカズラ			●								植・逸
901	クマツツラ	シチヘンゲ			●					外総重		●	植・逸
902		ヒメイワダレソウ			●					外総重		●	植・逸
903		ヤナギハナガサ			●					外総他		●	植・逸
904		アレチハナガサ			●					外総他		●	
905		クマツツラ											
906		ダキバアレチハナガサ			●					外総他		●	
907	シソ	キランソウ											
908		ジュウニヒトエ											
909		セイヨウジュウニヒトエ			●							●	植・逸
910		Ajuga属の一種											
911		コムラサキ	●		●		(C)						植・逸
912		ムラサキシキブ											
913		ヤブムラサキ											
914		ボタンクサギ			●								植・逸
915		クサギ											
916		トウバナ											
917		イヌトウバナ											
918		キランジソ			●								植・逸
919		カキドオシ											
920		ヤマハッカ											
921		シモバシラ											
922		ホトケノザ		●									
923		ヒメオドリコソウ			●							●	
924		コシロネ											
925		ハッカ											
926		オランダハッカ			●							●	植・逸
927		マルバハッカ			●							●	植・逸
928		ヒメジソ											
929		イヌコウジュ											
930		シソ			●								植・逸
931		アカジソ			●								植・逸
932		エゴマ			●								植・逸
933		アオジソ			●								植・逸
934		ハナトラノオ			●								植・逸
935		ガラニチカセージ			●								植・逸
936		アキノタムラソウ											
937		アメジストセージ			●								植・逸
938		キバナアキギリ											
939		マンネンロウ			●								植・逸
-		Salvia属の一種											
940		オカタツナミソウ											
941		タツナミソウ											
942		コバノタツナミ											
943		ニガクサ											
944		ツルニガクサ											
945		セイヨウニンジンボク			●								植・逸

表 3-1(15) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準			
						①	②	③	④	①	②	③	④
946	サギゴケ	ムラサキサギゴケ											
947		トキワハゼ											
948	ハエドクソウ	ハエドクソウ											
949		ナガバハエドクソウ											
950	キリ	キリ			●								植・逸
951	ハマウツボ	コシオガマ											
952	ハナйкаダ	ハナйкаダ											
953	モチノキ	イヌツゲ											
954		モチノキ											
955		タラヨウ			●								植・逸
956		アオハダ											
957		ソヨゴ			●								植・逸
958		クロガネモチ			●								植・逸
959		ウメモドキ	●						C				
960	キキョウ	ツリガネニンジン											
961		ヒメギキョウ											
962		ヤマホタルブクロ											
963		ホタルブクロ											
964		ミゾカクシ											
965		キキョウソウ			●							●	
966		ヒナギキョウ	●						B				
967	キク	ヌマダイコン	●						D				
968		キッコウハグマ											
969		ブタクサ			●							●	
970		オオブタクサ			●					外総重		●	
971		ヨモギ											
972		ユウガギク											
973		シロヨメナ											
974		ノコンギク											
975		ミヤマヨメナ			●								植・逸
976		シラヤマギク											
977		カントウヨメナ											
978		ヨメナ											
979		センダングサ	●						D				
980		アメリカセンダングサ			●					外総他		●	
981		コセンダングサ			●							●	
982		タウコギ											
-		Bidens属の一種											
983		ヤブタバコ											
984		コヤブタバコ											
985		ガンクビソウ											
986		サジガンクビソウ											
987		トキンソウ											
988		リュウノウギク											
989		キク			●					外総他		●	植・逸
990		トネアザミ											
991		ノハラアザミ											
992		タカアザミ	●						D				
993		ナンブアザミ											
994		アメリカオニアザミ			●					外総他		●	
995		オオキンケイギク		●	●				特外	外総緊		●	植・逸
996		コスモス			●							●	植・逸
997		キバナコスモス			●							●	植・逸
998		マメカミツレ			●							●	植・逸
999		ベニバナボロギク			●							●	
1000		ヤクシソウ											
1001		ヤグルマギク			●							●	植・逸
1002		アメリカタカサブロウ			●							●	
1003		ダンドボロギク			●							●	
1004		ヒメジョオン			●					外総他		●	
1005		アレチノギク			●							●	
1006		ヒメムカシヨモギ			●							●	
1007		ペラペラヨメナ			●					外総他		●	
1008		ハルジオン			●							●	
1009		オオアレチノギク			●							●	
1010		フジバカマ	●				NT	B					
1011		ヒヨドリバナ											
1012		オオヒヨドリバナ											
1013		ツワブキ			●								植・逸
1014		ハキダメギク			●							●	

表 3-1(16) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準			
						①	②	③	④	①	②	③	④
1015	キク	ホソバノチチコグサモドキ											
1016		タチチチコグサ			●							●	
1017		ウラジロチチコグサ			●							●	
1018		チチコグサモドキ			●							●	
1019		クンショウギク			●								植・逸
1020		チチコグサ											
1021		ヒマワリ			●							●	植・逸
1022		キクイモ			●							●	植・逸
1023		キツネアザミ											
1024		ブタナ			●							●	
1025		ニガナ											
1026		オオジシバリ											
1027		イワニガナ											
1028		アキノノゲシ											
1029		コオニタビラコ											
1030		ヤブタビラコ											
1031		カミツレ			●							●	植・逸
1032		ムラサキニガナ											
1033		カシワバハグマ											
1034		コウヤボウキ											
1035		フキ											
1036		コウゾリナ											
1037		ハハコグサ											
1038		セイタカハハコグサ			●							●	
1039		ノボロギク			●							●	
1040		セイタカアワダチソウ			●					外総重		●	
1041		メリケントキンソウ			●							●	
1042		オニノゲシ			●							●	
1043		アイノゲシ											
1044		ノゲシ											
1045		ヒロハホウキギク			●							●	
1046		Tagetes属の一種			●								植・逸
1047		シロバナタンポポ											
1048		カンサイタンポポ											
1049		アカミタンポポ			●					外総重		●	
1050		セイヨウタンポポ			●					外総重		●	
1051	アイノコセイヨウタンポポ			●					外総重		●		
1052	カントウタンポポ		●										
1053	オオオナモミ			●					外総他		●		
1054	オニタビラコ												
1055	アカオニタビラコ												
1056	アオオニタビラコ												
1057	ガマズミ	ソクズ											
1058		ニワトコ											
1059		ガマズミ											
1060		トキワガマズミ	●		●		(VU)					植・逸	
1061		サンゴジュ			●							植・逸	
1062		ヤブデマリ											
1063	スイカズラ	ハナヅノツクバネウツギ			●							植・逸	
1064		ウグイスカグラ											
1065		ヤマウグイスカグラ											
1066		スイカズラ											
1067		オトコエシ											
1068		ツルカノコソウ											
1069		ノヂシャ			●							●	植・逸
1070		ハコネウツギ											
1071		ニシキウツギ											
1072		トベラ			●								植・逸
1073	ウコギ	ウド											
1074		タラノキ											
1075		カクレミノ											
1076		ヒメウコギ											
1077		オカウコギ											
1078		ヤマウコギ											
1079		ヤツデ											
1080		セイヨウキツタ			●								植・逸
1081		キツタ											
1082		ノチドメ											
1083		オオチドメ											
1084		ブラジルチドメグサ			●					特外	外総緊	●	植・逸

表 3-1(17) 植物確認種一覧

No.	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種等選定基準			
						①	②	③	④	①	②	③	④
1085	ウコギ	チドメグサ											
1086		ウチワゼニクサ			●					外総重	●	植・逸	
1087		ヒメチドメ											
1088		ハリギリ											
1089		カミヤツデ			●					外総他	●	植・逸	
1090	セリ	ノダケ											
1091		ツボクサ											
1092		ミツバ											
1093		セリ											
1094		ヤブニンジン											
1095		ウマノミツバ											
1096		ヤブジラミ											
1097		オヤブジラミ											
計		160科	1097種	58種	8種	479種	0種	0種	23種	46種	6種	96種	264種

注1. 種名、科の配列は、山ノ内崇志・首藤光太郎・大澤剛士・米倉浩司・加藤 将・志賀 隆 (2019)「維管束植物和名チェックリストver. 1.10」に主に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。なお、植栽・逸出種と思われる種については、選定基準記号に () をつけて重要種としてカウントしない。

① 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内: 国内希少野生動植物種 国内(特一): 特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二): 特定第二種国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種

③ 「第5次レッドリスト(植物・菌類)の公表について(お知らせ)」(2025年、環境省)

EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

()カテゴリー: 植栽・逸出種と判断されたため、重要種としては扱わないこととした

④ 「千葉県レッドデータブック 植物・菌類編2023年版」(2025年、千葉県環境生活部自然保護課)

X: 消息不明・絶滅生物、A: 最重要保護生物、B: 重要保護生物、C: 要保護生物、D: 一般保護生物

()カテゴリー: 植栽・逸出種と判断されたため、重要種としては扱わないこととした

注3. 外来種等の選定基準は以下のとおりである。

① 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)

特外: 特定外来生物、条特外: 条件付特定外来生物

② 「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)

外: 国外外来種、内: 国内外来種

定: 定着予防外来種、総: 総合対策外来種、産管: 産業管理外来種

緊: 緊急対策外来種、重: 重点対策外来種、他: その他の外来種

③ 外来種

●: 「日本の外来種全種リスト - 侵入生物データベース」における定着している種に主に従った。

④ 植栽・逸出種

植・逸: スギ等の植林された種もしくは植栽されたものが逸出した種

3.2 哺乳類

調査の結果、計 5 目 9 科 12 種の哺乳類が確認された。

表 3-2 哺乳類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準		
							①	②	③	④	①	②	
1	モグラ	トガリネズミ	ジネズミ	●						D			
2		モグラ	アズマモグラ										
-			Mogera属の一種										
3	ネコ	イヌ	タヌキ										
4		イタチ	ニホンイタチ										
5		アライグマ	アライグマ		●	●					特外	外総緊	
6		ジャコウネコ	ハクビシン			●						外総重	
7	ウシ	シカ	キョン			●					特外	外総緊	
8	ネズミ	ネズミ	カヤネズミ	●	●					D			
9			アカネズミ										
10			Rattus属の一種										
11			ハツカネズミ				●						外総重
12	ウサギ	ウサギ	ノウサギ										
計	5目	9科	12種	2種	2種	4種	0種	0種	0種	2種	2種	4種	

注 1. 種名、科の配列等は、主に「種の多様性調査(専門家調査)対象種一覧」(1997年、環境省)に従った。

注 2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内: 国内希少野生動植物種 国内(特一): 特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二): 特定第二種国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 I 類、CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編 2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X: 消息不明・絶滅生物、A: 最重要保護生物、B: 重要保護生物、C: 要保護生物、D: 一般保護生物

注 3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

① 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)

特外: 特定外来生物、条特外: 条件付特定外来生物

② 「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)

外: 国外外来種、内: 国内外来種

定: 定着予防外来種、総: 総合対策外来種、産管: 産業管理外来種

緊: 緊急対策外来種、重: 重点対策外来種、他: その他の外来種

3.3 鳥類

調査の結果、計 17 目 42 科 144 種の鳥類が確認された。

表 3-3(1) 鳥類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準		備考	
							①	②	③	④	①	②		
1	カモ	カモ	ツクシガモ	●					VU				水鳥	
2			トモエガモ	●						VU	B			水鳥
3			ハシビロガモ											水鳥
4			オカヨシガモ	●							C			水鳥
5			ヒドリガモ											水鳥
6			カルガモ											水鳥
7			マガモ											水鳥
8			オナガガモ											水鳥
9			コガモ											水鳥
10			ホシハジロ											水鳥
11			キンクロハジロ											水鳥
12			スズガモ	●							D			水鳥
13			コスズガモ											水鳥
14			ビロードキンクロ	●							B			水鳥
15			ホオジロガモ	●							B			水鳥
16			ウミアイサ	●							D			水鳥
17	キジ	キジ	キジ										陸鳥	
18			コジュケイ											陸鳥
19	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	●						C			陸鳥	
20	ハト	ハト	カワラバト(ドバト)										陸鳥	
21			キジバト											陸鳥
-			ハト科の一種											陸鳥
22	ツル	クイナ	クイナ	●						X			水鳥	
23			バン	●						B			水鳥	
24			オオバン	●							C			水鳥
25			ヒクイナ	●						NT	A			水鳥
26	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	●						C			水鳥	
27			アカエリカイツブリ											水鳥
28			カンムリカイツブリ	●							D			水鳥
29			ミミカイツブリ											水鳥
30			ハジロカイツブリ											水鳥
31	チドリ	ミヤコドリ	●	●						A			水鳥	
32		チドリ	タゲリ	●							D			水鳥
33			ムナグロ	●							B			水鳥
34			ダイゼン	●	●						A			水鳥
35			ハジロコチドリ											水鳥
36			コチドリ	●							B			水鳥
37			シロチドリ	●							VU	A		水鳥
38			オオメダイチドリ											水鳥
39			メダイチドリ	●							C			水鳥
40			シギ	チュウシャクシギ	●							C		
41	ホウロクシギ	●								VU	A		水鳥	
42	ダイシャクシギ	●								A			水鳥	
43	オオソリハシシギ	●								VU	C		水鳥	
44	オグロシギ	●								C			水鳥	
45	キョウジョシギ	●								C			水鳥	
46	オバシギ	●								C			水鳥	
47	コオバシギ												水鳥	
48	エリマキシギ												水鳥	
49	キリアイ	●									B		水鳥	
50	ウズラシギ	●									B		水鳥	
51	サルハマシギ												水鳥	
52	トウネン	●									D		水鳥	
53	ミユビシギ	●									D		水鳥	
54	ハマシギ	●								NT	B		水鳥	
55	ヨーロッパトウネン												水鳥	
56	ヒメハマシギ											水鳥		
57	タシギ											水鳥		
58	ソリハシシギ	●								C		水鳥		
59	アカエリヒレアシシギ											水鳥		
60			イソシギ	●						A			水鳥	

表 3-3(2) 鳥類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準		備考		
							①	②	③	④	①	②			
61	チドリ	シギ	キアシシギ	●						C			水鳥		
62			アカアシシギ	●						VU	B			水鳥	
63		アオアシシギ	●							B			水鳥		
64		カモメ	カモメ	ユリカモメ										水鳥	
65				ズグロカモメ	●						VU	A			水鳥
66				ウミネコ											水鳥
67				カモメ											水鳥
68				シロカモメ											水鳥
69				アイスランドカモメ											水鳥
70				セグロカモメ											水鳥
71				オオセグロカモメ	●							NT			水鳥
72				ニシセグロカモメ											水鳥
73				コアジサシ	●							VU	A		水鳥
74		アジサシ											水鳥		
75		クロハラアジサシ											水鳥		
76		ハジロクロハラアジサシ											水鳥		
77		トウゾクカモメ		クロトウゾクカモメ									水鳥		
78	ミズナギドリ	ウミツバメ	オーストンウミツバメ	●						NT		水鳥			
79	ミズナギドリ	ミズナギドリ	オオミズナギドリ										水鳥		
80			ハイロミズナギドリ										水鳥		
81			ハシボソミズナギドリ										水鳥		
82	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	●			特天	国内	CR	X		水鳥			
83	カツオドリ	ウ	ウミウ	●							B		水鳥		
84			カワウ											水鳥	
85	ペリカン	サギ	ゴイサギ										水鳥		
86			ササゴイ											水鳥	
87			アオサギ											水鳥	
88			ダイサギ	●								D		水鳥	
89			チュウサギ	●							NT	B		水鳥	
90			コサギ	●	●							B		水鳥	
91					カラシラサギ	●					NT	A		水鳥	
92	タカ	ミサゴ	ミサゴ	●					NT	B		陸鳥			
93	タカ	タカ	ツミ	●							D		陸鳥		
94			ハイタカ	●						NT	B			陸鳥	
95			オオタカ	●						NT	C			陸鳥	
96			トビ											陸鳥	
97			サシバ	●	●						VU	A		陸鳥	
98			ノスリ	●								C		陸鳥	
99	フクロウ	フクロウ	フクロウ	●						B		陸鳥			
100	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	●	●					C		陸鳥			
101	キツツキ	キツツキ	アリスイ										陸鳥		
102			コゲラ		●									陸鳥	
103	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ										陸鳥		
104			ハヤブサ	●					国内	VU	A			陸鳥	
105	スズメ	モズ	モズ		●								陸鳥		
106		カラス	カラス	カケス	●						D			陸鳥	
107				オナガ											陸鳥
108				ハシボソガラス											陸鳥
109				ハシブトガラス											陸鳥
110				シジュウカラ	シジュウカラ	ヤマガラ									
111		シジュウカラ				●									陸鳥
112		ヒバリ	ヒバリ			●	●						D		陸鳥
113		ヒヨドリ	ヒヨドリ											陸鳥	
114		ツバメ	ツバメ	ショウドウツバメ										陸鳥	
115				ツバメ		●									陸鳥
116		ウグイス	ウグイス											陸鳥	
117		エナガ	エナガ											陸鳥	
118		ヨシキリ	オオヨシキリ	●							D			陸鳥	
119		セッカ	セッカ	●							D			陸鳥	
120		メジロ	メジロ											陸鳥	
121		ソウシチョウ	ガビチョウ				●					特外	外総重	陸鳥	
122	ムクドリ	ムクドリ											陸鳥		
123			コムクドリ										陸鳥		

表 3-3(3) 鳥類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準		備考	
							①	②	③	④	①	②		
124	スズメ	ツグミ	シロハラ										陸鳥	
125			アカハラ											陸鳥
126			ツグミ											陸鳥
127		ヒタキ	エゾビタキ											陸鳥
128			キビタキ	●						A				陸鳥
129			ジョウビタキ											陸鳥
130			イソヒヨドリ											陸鳥
131		スズメ	スズメ											陸鳥
132		セキレイ	キセキレイ	●							B			陸鳥
133			ハクセキレイ											陸鳥
134			セグロセキレイ											陸鳥
135			ビンズイ											陸鳥
136			タヒバリ											陸鳥
137		アトリ	シメ											陸鳥
138			ベニマシコ											陸鳥
139			カワラヒワ											陸鳥
140		ホオジロ	ホオジロ	●							C			陸鳥
141			カシラダカ											陸鳥
142			アオジ											陸鳥
143			オオジュリン	●								D		陸鳥
144		ムクドリモドキ											陸鳥	
計	17目	42科	144種	65種	10種	1種	1種	2種	20種	62種	1種	1種	-	

注 1. 種名、科の配列等は、主に「日本鳥類目録 改訂第 8 版」(2024 年、日本鳥学会)に従った。

注 2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950 年、法律第 214 号)

特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992 年、法律第 75 号)

国内: 国内希少野生動植物種 国内(特一): 特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二): 特定第二種国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト 2020 の公表について」(2020 年、環境省)

EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 I 類、CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編 2019 年改訂版」(2019 年、千葉県環境生活部自然保護課)

X: 消息不明・絶滅生物、A: 最重要保護生物、B: 重要保護生物、C: 要保護生物、D: 一般保護生物

注 3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

① 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022 年、法律第 42 号)

特外: 特定外来生物、条特外: 条件付特定外来生物

② 「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015 年、環境省)

外: 国外外来種、内: 国内外来種

定: 定着予防外来種、総: 総合対策外来種、産管: 産業管理外来種

緊: 緊急対策外来種、重: 重点対策外来種、他: その他の外来種

3.4 両生類

調査の結果、計 1 目 5 科 7 種の両生類が確認された。

表 3-4 両生類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準		
							①	②	③	④	①	②	
1	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	●						C			
2			アマガエル	ヒガシニホンアマガエル									
3			アカガエル	ニホンアカガエル	●	●					A		
4				ウシガエル			●					特外	外総重
5				トウキョウダルマガエル		●				NT	B		
6			ヌマガエル	ヌマガエル			●						内総重
7			アオガエル	シュレーゲルアオガエル	●						D		
	1目	5科	7種	4種	2種	2種	0種	0種	1種	4種	1種	2種	

注 1. 種名、科の配列等は、主に「日本産爬虫両生類標準和名リスト」(2025 年 10 月 16 日、日本爬虫両棲類学会)に従った。

注 2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950 年、法律第 214 号)

特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992 年、法律第 75 号)

国内: 国内希少野生動植物種 国内(特一): 特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二): 特定第二種国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト 2020 の公表について」(2020 年、環境省)

EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 I 類、CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編 2019 年改訂版」(2019 年、千葉県環境生活部自然保護課)

X: 消息不明・絶滅生物、A: 最重要保護生物、B: 重要保護生物、C: 要保護生物、D: 一般保護生物

注 3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

① 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022 年、法律第 42 号)

特外: 特定外来生物、条特外: 条件付特定外来生物

② 「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015 年、環境省)

外: 国外外来種、内: 国内外来種

定: 定着予防外来種、総: 総合対策外来種、産管: 産業管理外来種

緊: 緊急対策外来種、重: 重点対策外来種、他: その他の外来種

3.5 爬虫類

調査の結果、計 2 目 7 科 11 種の爬虫類が確認された。

表 3-5 爬虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準	
							①	②	③	④	①	②
1	カメ	イシガメ	クサガメ									
2		ヌマガメ	アカミミガメ		●	●					条特外	外総緊
3		スッポン	ニホンスッポン	●					DD	情報不足		
4	有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ	●						D		
5		トカゲ	ヒガシニホントカゲ	●	●					B		
6		カナヘビ	ニホンカナヘビ	●	●					D		
7		ナミヘビ	ジムグリ	●						B		
8			アオダイショウ	●						D		
9			シマヘビ	●						C		
10			ヒバカリ	●						D		
11			ヤマカガシ	●						D		
	2目	7科	11種	9種	3種	1種	0種	0種	2種	9種	1種	1種

注 1. 種名、科の配列等は、主に「日本産爬虫両生類標準和名リスト」(2025 年 10 月 16 日、日本爬虫両棲類学会)に従った。

注 2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

- ① 「文化財保護法」(1950 年、法律第 214 号)
特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992 年、法律第 75 号)
国内: 国内希少野生動植物種 国内(特一): 特定第一種国内希少野生動植物種
国内(特二): 特定第二種国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種
- ③ 「環境省レッドリスト 2020 の公表について」(2020 年、環境省)
EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 I 類、CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、
NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群
- ④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編 2019 年改訂版」(2019 年、千葉県環境生活部自然保護課)
X: 消息不明・絶滅生物、A: 最重要保護生物、B: 重要保護生物、C: 要保護生物、D: 一般保護生物

注 3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

- ① 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022 年、法律第 42 号)
特外: 特定外来生物、条特外: 条件付特定外来生物
- ② 「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015 年、環境省)
外: 国外外来種、内: 国内外来種
定: 定着予防外来種、総: 総合対策外来種、産管: 産業管理外来種
緊: 緊急対策外来種、重: 重点対策外来種、他: その他の外来種

表 3-6(2) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準							
							①	②	③	④	①	②	③	④				
66	バッタ	ノミバッタ	ノミバッタ															
67			トゲヒシバッタ															
68		ヒシバッタ	ニセハネナガヒシバッタ	ニセハネナガヒシバッタ														
69				ハネナガヒシバッタ														
70				ハラヒシバッタ														
71				ヤセヒシバッタ														
72				オンブバッタ	オンブバッタ													
73				バッタ	ツチイナゴ	ツチイナゴ												
74		ハネナガイナゴ																
75		コバネイナゴ																
76		ショウリョウバッタ																
77		ショウリョウバッタモドキ																
78		ヒナバッタ																
79		クルマバッタ																
80		トノサマバッタ																
81		クルマバッタモドキ																
82		イボバッタ																
83		ナナフシ	ナナフシモドキ	ナナフシモドキ														
84				トビナナフシ	エダナナフシ													
85		ハサミムシ	ハサミムシ	ハサミムシ														
86				ヒゲジロハサミムシ														
87				ハマバハサミムシ														
88	コバネハサミムシ																	
89	クロハサミムシ		チビハサミムシ															
90	オオハサミムシ		オオハサミムシ															
91	クギヌキハサミムシ		アルマンコブハサミムシ															
92			スジハサミムシモドキ				●									●		
93	チャタテムシ		チャタテ	スジチャタテ														
94	カメムシ		ウンカ	テラウチウンカ														
95		コブウンカ																
96		ヒメトビウンカ																
97		トビイロウンカ																
98		ゴマフウンカ																
99		セジロウンカ																
100		セスジウンカ																
101		ハネナガウンカ		アカハネナガウンカ														
102		ゲンバイウンカ		タテスジゲンバイウンカ														
103				ミドリゲンバイウンカ														
104			ヒラタゲンバイウンカ															
105		アオバハゴロモ	アオバハゴロモ															
106		ハゴロモ	スケバハゴロモ															
107			ベッコウハゴロモ															
108			アミガサハゴロモ															
109			チュウゴクアミガサハゴロモ				●									●		
110	セミ	クマゼミ	クマゼミ		●													
111			アブラゼミ		●													
112			ツクツクボウシ		●													
113			ミンミンゼミ		●													
114			ニイニイゼミ		●													
115			ヒグラシ		●													
-		セミ科の一種			●													
116	トゲアワフキムシ	ムネアカアワフキ																
117	アワフキムシ	ハマバアワフキ																
118	ツノゼミ	トビイロツノゼミ																
119	ヨコバイ	ヤノズキンヨコバイ	ヤノズキンヨコバイ															
120			ズキンヨコバイ															
121			クロヒラタヨコバイ															
122			ツマグロオオヨコバイ															
123			オオヨコバイ															
124			カンキツヒメヨコバイ															
125			クズヒメヨコバイ															
126			サジヨコバイ															
127			イネマダラヨコバイ															
128			ツマグロヨコバイ															
129	キジラミ	エノキカイガラキジラミ		●						NT								
-	アブラムシ	アブラムシ科の一種																
130	カタカイガラムシ	ヒモワタカイガラムシ																
131	クビナガカメムシ	ヒメクビナガカメムシ																
132	イトアメンボ	ヒメイトアメンボ																
133	アメンボ	アメンボ																
134		ヒメアメンボ																
135		コセアカアメンボ																

表 3-6(3) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準					
							①	②	③	④	①	②	③	④		
136	カメムシ	ミズギワカメムシ	ミズギワカメムシ													
137		メミズムシ	メミズムシ													
138		ミズムシ	エサキコミズムシ													
139		マツモムシ	コマツモムシ													
140		カスミカメムシ	クスベニヒラタカスミカメ													
141			ズアカシダカスミカメ													
142			ナカグロカスミカメ													
143			コアオカスミカメ													
144			ツマグロアオカスミカメ													
145			ヒメセダカカスミカメ													
146			メンガタカスミカメ													
147			ナガミドリカスミカメ													
148			フタトゲムギカスミカメ													
149			アカスジカスミカメ													
150		ウスモンミドリカスミカメ														
151	イネホソミドリカスミカメ															
152	オオクロトビカスミカメ															
153	コブヒゲカスミカメ															
154	マキバサシガメ	ミナミマキバサシガメ														
155	ハナカメムシ	クロハナカメムシ														
156	グンバイムシ	ウチワグンバイ														
157		ヤブガラシグンバイ														
158		コアカソグンバイ														
159		トサカグンバイ														
160		アワダチソウグンバイ														
161	サシガメ	ヨコヅナサシガメ				●							●			
162		アカサシガメ				●							●			
163		トゲサシガメ														
164		シマサシガメ														
165		ヤニサシガメ														
166		トビイロサシガメ														
167		モモブトトビイロサシガメ														
168		ミナミホソサシガメ														
169		マダラカモドキサシガメ														
170		クロモンサシガメ														
171	ヒラタカメムシ	トビイロオヒラタカメムシ														
172	ナガカメムシ	ヒメジュウジナガカメムシ	●							D						
173		ヒメナガカメムシ														
174		ツマベニヒメナガカメムシ					●							●		
175		コバナナガカメムシ														
176		ホソコバナナガカメムシ														
177		コガシラコバナナガカメムシ														
178		ヒメオオメカメムシ														
179		オオメカメムシ														
180		ヒゲナガカメムシ														
181		クロスジヒゲナガカメムシ														
182		ヤスマツチピナガカメムシ														
183		サビヒョウタンナガカメムシ														
184		オオモンシロナガカメムシ														
185		オオチャイロナガカメムシ														
186	シロヘリナガカメムシ															
187	ヨツボシヒョウタンナガカメムシ															
188	キベリヒョウタンナガカメムシ															
189	ミナミホソナガカメムシ															
190	イチゴチピナガカメムシ															
191	コバナヒョウタンナガカメムシ															
192	メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ														
193	ホシカメムシ	クロホシカメムシ														
194	オオホシカメムシ	ヒメホシカメムシ														
195		オオホシカメムシ														
196	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ														
197		ホソヘリカメムシ														
198	ヘリカメムシ	ホオズキカメムシ														
199		オオクモヘリカメムシ														
200		ホソハリカメムシ														
201		ハリカメムシ														
202		アズキヘリカメムシ	●								C					
203		ホシハラビロヘリカメムシ														
204	ツマキヘリカメムシ															
205	ミナミトゲヘリカメムシ															
206	ヒメヘリカメムシ	スカシヒメヘリカメムシ														
207		アカヒメヘリカメムシ														
208		ブチヒメヘリカメムシ														
209	マルカメムシ	タデマルカメムシ														
210		マルカメムシ														

表 3-6(4) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準						
							①	②	③	④	①	②	③	④			
211	カメムシ	ツチカメムシ	マルツチカメムシ														
212			ヨツチカメムシ														
213			ツチカメムシ														
214			ミツボシツチカメムシ														
215			シロヘリツチカメムシ			●					NT						
216			キンカメムシ	アカスジキンカメムシ													
217				ノコギリカメムシ	ノコギリカメムシ												
218			カメムシ	イネクロカメムシ	イネクロカメムシ												
219				ヒメクロカメムシ	ヒメクロカメムシ												
220				ウズラカメムシ	ウズラカメムシ												
221				ウシカメムシ	ウシカメムシ												
222				ブチヒゲカメムシ	ブチヒゲカメムシ												
223				キマダラカメムシ	キマダラカメムシ			●								●	
224				ナガメ	ナガメ												
225				ムラサキシラホシカメムシ	ムラサキシラホシカメムシ												
226		シラホシカメムシ		シラホシカメムシ													
227		ツヤアオカメムシ		ツヤアオカメムシ													
228		クサギカメムシ		クサギカメムシ													
229		ミヤマカメムシ		ミヤマカメムシ													
230		アオクサカメムシ		アオクサカメムシ													
231		イチモンジカメムシ		イチモンジカメムシ													
232		チャバネアオカメムシ		チャバネアオカメムシ													
233		シロヘリクチフトカメムシ	シロヘリクチフトカメムシ														
234		チャイロクチフトカメムシ	チャイロクチフトカメムシ														
235		エビイロカメムシ	エビイロカメムシ														
236			ツノカメムシ	ツノカメムシ													
237		ツノカメムシ	ヒメハサミツノカメムシ														
238			オオツノカメムシ	オオツノカメムシ	●						D						
239			エサキモンキツノカメムシ	エサキモンキツノカメムシ													
240			アミメカゲロウ	センブリ	トウホククロセンブリ												
241		アミメカゲロウ	ヒロバカゲロウ	ヒロバカゲロウ													
242			ヒメカゲロウ	ヒメカゲロウ													
243		クサカゲロウ	ホソバヒメカゲロウ	ホソバヒメカゲロウ													
244			ヨツボシクサカゲロウ	ヨツボシクサカゲロウ													
245			ヤマトクサカゲロウ	ヤマトクサカゲロウ													
246			カオマダラクサカゲロウ	カオマダラクサカゲロウ													
247			クラカタウクサカゲロウ	クラカタウクサカゲロウ													
248			イツホシアカマダラクサカゲロウ	イツホシアカマダラクサカゲロウ													
249			フタモンクサカゲロウ	フタモンクサカゲロウ													
250			クロヒゲフタモンクサカゲロウ	クロヒゲフタモンクサカゲロウ													
251	ウスバカゲロウ	ウスバカゲロウ	ウスバカゲロウ														
-			ウスバカゲロウ科の一種														
252	コウチュウ	ナガヒラタムシ	ナガヒラタムシ														
253		ハンミョウ	エリザハンミョウ														
254	ハンミョウ	トウキョウヒメハンミョウ	トウキョウヒメハンミョウ			●								●			
255		コハンミョウ	コハンミョウ	●						C							
256	オサムシ	カントウアオオサムシ	カントウアオオサムシ	●													
257		クロナガオサムシ	クロナガオサムシ														
258		ヒメマイマイカブリ	ヒメマイマイカブリ	●							D						
259		ホソヒョウタンゴミムシ	ホソヒョウタンゴミムシ														
260		ナガヒョウタンゴミムシ	ナガヒョウタンゴミムシ														
261		アトモンミズギワゴミムシ	アトモンミズギワゴミムシ														
262		ウスモンミズギワゴミムシ	ウスモンミズギワゴミムシ														
263		ヨツモンミズギワゴミムシ	ヨツモンミズギワゴミムシ														
264		キアシヌレチゴミムシ	キアシヌレチゴミムシ														
265		オオゴミムシ	オオゴミムシ														
266		トックリナガゴミムシ	トックリナガゴミムシ														
267		コガシラナガゴミムシ	コガシラナガゴミムシ														
268		キンナガゴミムシ	キンナガゴミムシ														
269		オオクロナガゴミムシ	オオクロナガゴミムシ														
270		ヒメホソナガゴミムシ	ヒメホソナガゴミムシ														
271		アシミゾナガゴミムシ	アシミゾナガゴミムシ														
272		セズジヒラタゴミムシ	セズジヒラタゴミムシ														
273		ヒメセボシヒラタゴミムシ	ヒメセボシヒラタゴミムシ														
274		セアカヒラタゴミムシ	セアカヒラタゴミムシ														
275		オオヒラタゴミムシ	オオヒラタゴミムシ														
276		マルガタツヤヒラタゴミムシ	マルガタツヤヒラタゴミムシ														
277		キアシツヤヒラタゴミムシ	キアシツヤヒラタゴミムシ														
278		クロツヤヒラタゴミムシ	クロツヤヒラタゴミムシ														
279		ヒメツヤヒラタゴミムシ	ヒメツヤヒラタゴミムシ														
280		オオクロツヤヒラタゴミムシ	オオクロツヤヒラタゴミムシ														
281		ニセマルガタゴミムシ	ニセマルガタゴミムシ														
282		オオマルガタゴミムシ	オオマルガタゴミムシ														

表 3-6(5) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準					
							①	②	③	④	①	②	③	④		
283	コウチュウ	オサムシ	ナガマルガタゴミムシ													
284			コマルガタゴミムシ													
285			ニセコマルガタゴミムシ													
286			タナカツヤハネゴミムシ		●					DD	C					
287			ホシボシゴミムシ													
288			オオホシボシゴミムシ													
289			ゴミムシ													
290			マルガタゴモクムシ													
291			トゲアシゴモクムシ													
292			ツヤアオゴモクムシ													
293			ハコダテゴモクムシ													
294			ケウスゴモクムシ													
295			ヒメケゴモクムシ													
296			クロゴモクムシ													
297			ウスアカクロゴモクムシ													
298			アカアシマルガタゴモクムシ													
299			コゴモクムシ													
300			クビナガゴモクムシ													
301			カラカネゴモクムシ													
302			キイロチビゴモクムシ													
303			ミドリマメゴモクムシ													
304			ツヤマメゴモクムシ													
305			ムネアカマメゴモクムシ													
306			クロズカタキバゴミムシ													
307			ヨツモンカタキバゴミムシ													
308			クロケブカゴミムシ													
309			コキベリアオゴミムシ													
310			キベリアオゴミムシ													
311			ニセコガシラアオゴミムシ													
312			オオアトボシアオゴミムシ													
313			アオゴミムシ													
314			キボシアオゴミムシ													
315	ムナビロアオゴミムシ															
316	コガシラアオゴミムシ															
317	アトワアオゴミムシ															
318	ニセトックリゴミムシ															
319	チャバナキビナガゴミムシ															
320	トゲアトキリゴミムシ															
321	コヨツボシアトキリゴミムシ															
322	ヨルリアトキリゴミムシ															
323	ヒョウタンゴミムシ			●						D			●			
324	ホソクビゴミムシ		ヒメホソクビゴミムシ													
325			ミイデラゴミムシ													
326	ゲンゴロウ		チビゲンゴロウ													
327			ヒメゲンゴロウ													
328			ハイイロゲンゴロウ													
329	ガムシ		キイロヒラタガムシ													
330			ヒメガムシ													
331			ヤマトゴマフガムシ													
332	エンマムシ		キノコアカマルエンマムシ													
333			ツヤマルエンマムシ													
334			コエンマムシ													
335			エンマムシ													
336			ハスジチビヒラタエンマムシ													
337			ハマベエンマムシ													
338			ルリエンマムシ													
339	シテムシ		ベッコウヒラタシテムシ	●						D						
340			オオヒラタシテムシ													
341	ハネカクシ		セマルハバヒロハネカクシ													
342			アカイクビハネカクシ													
343			コバナアシベセスジハネカクシ													
344			クロヒメカワベハネカクシ													
345			クロズトガリハネカクシ													
346			アオバアリガタハネカクシ													
347			キバナナガハネカクシ													
348			クロヒゲオレハネカクシ													
349			クロサビイロマルズオオハネカクシ													
350			アカバトガリオオズハネカクシ													
-			ハネカクシ科の一種													
351	デオキノコムシ		ヤマトデオキノコムシ													
352	マルハナノミダマシ		ツヤマアカマルハナノミダマシ													
353	マルハナノミ		キイロチビマルハナノミ													
354			キムネマルハナノミ													

表 3-6(6) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準						
							①	②	③	④	①	②	③	④			
355	コウチュウ	クワガタムシ	コクワガタ														
356			ノコギリクワガタ		●												
357			センチコガネ	センチコガネ													
358			コガネムシ	コブマルエンマコガネ													
359				コケシマグソコガネ													
360				オオクロコガネ													
361				コクロコガネ													
362				オオコフキコガネ													
363				コフキコガネ													
364				ピロウドコガネ													
365				ヒメピロウドコガネ													
366				アオドウガネ													
367				セマダラコガネ													
368				マメコガネ													
369				ヒラタハナムグリ													
370				クロハナムグリ													
371				シラホシハナムグリ													
372				シロテンハナムグリ													
373				カナブン													
374				クロカナブン													
375				カブトムシ													
376				ナガハナノミ	ヒゲナガハナノミ												
377				タマムシ	ウバタマムシ			●									
378					ヤマトタマムシ			●									
379					ヒシモンナガタマムシ												
380					ムネアカナガタマムシ												
381					ケヤキナガタマムシ												
382					ルイスヒラタチビタマムシ												
383					クズノチビタマムシ												
384					コウゾチビタマムシ												
385				サシゲチビタマムシ													
386				ヤノナミガタチビタマムシ													
387			コメツクムシ	マダラチビコメツク													
388				サビキコリ													
389				ホソサビキコリ													
390				ヒメサビキコリ													
391				オオクシヒゲコメツク													
392	オオシモフリコメツク																
393	タテスジカネコメツク																
394	アカヒゲヒラタコメツク																
395	トラフコメツク																
396	ヒメクロコメツク																
397	キバネホソコメツク																
398	オオナガコメツク																
399	マルクビクシコメツク																
400	ヨツモンミズギワコメツク																
401		アカアシハナコメツク															
-		コメツクムシ科の一種															
402	ベニボタル	クロハナボタル															
403	ボタル	ヘイケボタル		●	●					C							
404		オバボタル															
405		ノハラボタル				●								●			
406	ジョウカイボン	ニセヒメジョウカイ															
407		オカベセボシジョウカイ															
408		クロヒメクビボソジョウカイ															
409	コクヌスト	ハロルドヒメコクヌスト															
410	ジョウカイモドキ	ケシジョウカイモドキ															
411		ヒロオビジョウカイモドキ															
412		キアシオビジョウカイモドキ															
413		ツマキアオジョウカイモドキ															
414	ケシキスイ	キイロチビハナケシキスイ															
415		クロチビハナケシキスイ															
416		クロハナケシキスイ															
417		クリイロデオキスイ													●		
418		ハラグロデオキスイ															
419		カタベニデオキスイ															
420		ホソコゲチャセマルケシキスイ															
421		チビムクゲケシキスイ															
422		マメヒラタケシキスイ															
423		モンチビヒラタケシキスイ															
424			ニセアカマダラケシキスイ														
425		アカマダラケシキスイ															

表 3-6(7) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準					
							①	②	③	④	①	②	③	④		
426	コウチュウ	ゲシキスイ	ヒメアカマダラゲシキスイ													
427			マルキマダラゲシキスイ													
428			キベリチビゲシキスイ													
429			ヨツボシゲシキスイ													
-			ゲシキスイ科の一種													
430		ネスイムシ	トビイロデオネスイ				●								●	
431		ヒメハナムシ	キイロアシナガヒメハナムシ													
432		ホソヒラタムシ	マルムネホソヒラタムシ													
433			ホホビロホソヒラタムシ													
434			ミツカドホソヒラタムシ													
435		キシイムシ	クロモンキスイ													
436			ナガマルキスイ													
437			マルガタキスイ													
438		コメツキモドキ	ゲシコメツキモドキ													
439		オオキノコムシ	ルリオオキノコ													
440			フタホシチビオオキノコ													
441			セモンホソオオキノコ													
442		ムクゲキノコムシ	ムクゲキノコムシ科の一種													
443		テントウムシダマシ	ヨツボシテントウダマシ													
444		テントウムシ	クロツヤテントウ													
445			フタホシテントウ													
446	セズジヒメテントウ															
447	シヨクフタホシヒメテントウ															
448	ハレヤヒメテントウ															
449	クロヘリヒメテントウ															
450	ツマアカヒメテントウ															
451	ヨクロヒメテントウ															
452	ニセツマアカヒメテントウ															
453	ミスジキイロテントウ						●								●	
454	ヒメアカホシテントウ															
455	アカホシテントウ															
456	ヨツボシテントウ															
457	モンクチビルテントウ															
458	ムーアシロホシテントウ															
459	ナナホシテントウ															
460	ナミテントウ															
461	ジュウサンホシテントウ															
462	キイロテントウ															
463	ダンダラテントウ															
464	ヒメカメノコテントウ															
465	クモガタテントウ						●								●	
466	ムネアカオオクロテントウ						●								●	
467	トホシテントウ															
468	ニジュウヤホシテントウ															
-			テントウムシ科の一種													
469	ヒメマキムシ		ニセクロオビゲシマキムシ													
470		クロオビゲシマキムシ														
471		ノコヒメマキムシ														
472	コキノコムシ	チャイロコキノコムシ				●								●		
473	カミキリモドキ	アオグロカミキリモドキ														
474		モモブトカミキリモドキ														
475	アカハネムシ	ミヅアカハネムシ														
476		ムナビロアカハネムシ														
477		アカハネムシ														
478	アリモドキ	キアシクビボソムシ														
479		ケオビアリモドキ														
480		アトグロホソアリモドキ					●							●		
481		ホソクビアリモドキ														
482		ヨツボシホソアリモドキ														
483	ハナノミダマシ	クロフナガタハナノミ														
484	ハムシダマシ	ヒゲブトゴミムシダマシ														
485	クチキムシ	ホンドトビイロクチキムシ														
486		ナミクチキムシ														
487		ホンドクロオオクチキムシ														
488	ゴミムシダマシ	ヤマトスナゴミムシダマシ														
489		コスナゴミムシダマシ														
490		ムネビロスナゴミムシダマシ														
491		アオツヤキノゴミムシダマシ														
492		ベニモンキノゴミムシダマシ														
493		ルリゴミムシダマシ														
494		サトユミアシゴミムシダマシ														
495		ニホンキマワリ本土亜種														
496		セズジナガキマワリ														
497		スジコガシラゴミムシダマシ														
498		ハマヒョウタンゴミムシダマシ														
499		ヒメホソハマベゴミムシダマシ														
-		ゴミムシダマシ科の一種														

表 3-6(8) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準				
							①	②	③	④	①	②	③	④	
502	コウチュウ	カミキリムシ	キマダラミヤマカミキリ												
503			ミヤマカミキリ												
504			スギカミキリ												
505			タケトラカミキリ												
506			ヨツスジトラカミキリ												
507			トゲヒゲトラカミキリ												
508			ヒメクロトラカミキリ												
509			クビアカトラカミキリ												
510			ベニカミキリ												
511			カタシロゴマフカミキリ												
512			ナガゴマフカミキリ												
513			シナノクロフカミキリ												
514			トガリシロオビサビカミキリ												
515			ゴマダラカミキリ												
516			ヒメヒゲナガカミキリ												
517			シロスジカミキリ												
518			ケシカミキリ												
519			ラミーカミキリ					●						●	
520			キクスイカミキリ												
521			スゲハムシ			●					C				
522			キベリクビボソハムシ												
523			キバラルリクビボソハムシ												
524			トゲアシクビボソハムシ												
525			トホシクビボソハムシ												
526			アカクビボソハムシ												
527			クズクビボソハムシ					●						●	
528			セアカクビボソハムシ												
529			キイロクビナガハムシ												
530			アラクビボソハムシ												
531			ヨツモンクロツツハムシ												
532			カシワツツハムシ												
533			ムシクソハムシ												
534			アオバナサルハムシ												
535			ニホンケブカサルハムシ												
536			ムネアカキバナサルハムシ												
537			ツヤキバナサルハムシ												
538			マルキバナサルハムシ												
539			ドウガネサルハムシ												
540			ハッカハムシ												
541			ヨガタルリハムシ												
542			ヤツボシハムシ												
543			フジハムシ												
544			ルリハムシ												
545			ヤナギルリハムシ												
546			ウリハムシ												
547			クロウリハムシ												
548			イチゴハムシ												
549			フタスジヒメハムシ												
550			ブタクサハムシ					●						●	
551			サンゴジュハムシ												
552			ニレハムシ												
553			アオバノコヒゲハムシ												
554	カミナリハムシ														
555	アカバナトビハムシ														
556	ツブノミハムシ														
557	サメハダツブノミハムシ														
558	テントウノミハムシ														
559	ヒメテントウノミハムシ														
560	ヒメドウガネトビハムシ														
561	メリケントビハムシ					●						●			
562	クロボシトビハムシ														
563	イヌノフグリトビハムシ														
564	ヨクロアシナガトビハムシ														
565	オオバコトビハムシ														
566	ルリマルノミハムシ														
567	ヒメトビハムシ														
568	キスジノミハムシ														
569	アサトビハムシ														
570	ナトビハムシ														
571	ダイコンナガネトビハムシ														
572	ツマキタマノミハムシ														
573	クロトゲハムシ														

表 3-6(9) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準						
							①	②	③	④	①	②	③	④			
574	コウチュウ	ハムシ	ジンガサハムシ														
575			カメノコハムシ														
576			イチモンジカメノコハムシ														
577		ヒゲナガゾウムシ	スネアカヒゲナガゾウムシ														
578			オトシブミ	ヒメクロオトシブミ													
579		オトシブミ	カシルリオトシブミ														
580			グミチョッキリ														
581			カシルリチョッキリ														
582			コナライクピチョッキリ														
583			ホソクチゾウムシ	コゲチャホソクチゾウムシ													
584				マメホソクチゾウムシ													
585				ケブカホソクチゾウムシ													
586		ゾウムシ		ヒラスネヒゲボソゾウムシ													
587			メナガクチプトゾウムシ														
588			コカシワクチプトゾウムシ														
589			ケブカクチプトゾウムシ														
590			カシワクチプトゾウムシ														
591			チビヒョウタンゾウムシ														
592			ヒレルクチプトゾウムシ														
593			ホソグチビツチゾウムシ														
594			スグリゾウムシ														
595			サビヒョウタンゾウムシ														
596			コフキゾウムシ														
597			チビコフキゾウムシ														
598			アルファルファタコゾウムシ					●							●		
599			オジロアシナガゾウムシ														
600			イネゾウムシ														
601			フタホシカギアシゾウムシ														
602			イネミズゾウムシ					●							●		
603			オオミズゾウムシ														
604			クワササラゾウムシ														
605			ダイコンサルゾウムシ														
606			ミドリサルゾウムシ														
607			カナムグラサルゾウムシ														
608			ムネミゾサルゾウムシ														
609		ヒサゴクチカクシゾウムシ															
610		ハマバゾウムシ								A							
611		ナガキクイムシ	カシノナガキクイムシ														
612		ハチ	ミフシハバチ	チュウレンジバチ													
613			ルリチュウレンジ														
614			コンボウハバチ	ホシアシプトハバチ		●						DD					
615			ハバチ	スギナハバチ													
616				カタアカスギナハバチ													
617				ハグロハバチ													
618				セグロカブラハバチ													
619				カブラハバチ													
620				クロムネハバチ													
621				ツマジロクロハバチ													
622				オオクロハバチ													
623				マルクロハバチ													
624				クロハバチ													
625			ヒメバチ	ミノオキイロヒラタヒメバチ													
626				シコクホシアメバチ													
627				コンボウケンヒメバチ													
628				タマヌキケンヒメバチ													
629				シロスジヒメバチ													
630			イヨヒメバチ														
631			カギバラバチ	キスジセアカカギバラバチ													
632			アシプトコバチ	キアシプトコバチ													
633			カタビロコバチ	モウソウタマコバチ													
634			コツチバチ	ニカコツチバチ													
635	ツチバチ		コモンツチバチ														
636			キオビツチバチ														
637			オオモンツチバチ														
638			ヒメハラナガツチバチ														
639	キンケハラナガツチバチ																
640	アリ		オオハリアリ														
641			ワタセカギバラアリ														
642			ハリプトシリアゲアリ														
643			テラニシシリアゲアリ														
644			キイロシリアゲアリ														
645			ムネボソアリ														

表 3-6(10) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準							
							①	②	③	④	①	②	③	④				
646	ハチ	アリ	クロナガアリ															
647			ヒメアリ															
648			キイロヒメアリ															
649			カドフシアリ															
650			ハラクシケアリ 隠蔽種群															
651			アズマオオズアリ															
652			アミメアリ															
653			ヒラタウロコアリ															
654			ウロコアリ															
655			トビロシワアリ															
656			ヒラフシアリ															
657			クロオオアリ															
658			イトウオオアリ															
659			ウメマツオオアリ															
660			ヨツボシオオアリ															
661			ハヤシクロヤマアリ															
662			クロヤマアリ 隠蔽種群															
663			アメイロケアリ															
664			クロクサアリ 隠蔽種群															
665			ヒラアシクサアリ															
666			ハヤシケアリ															
667			トビイロケアリ															
668			アメイロアリ															
669			サクラアリ															
-					アリ科の一種													
670			クモバチ		シラキトゲアシクモバチ													
671					コトゲアシクモバチ													
672					オオモンクロクモバチ													
673					キオビクモバチ													
674			ドロバチ		アトボシキタドロバチ													
675					オオフタオビドロバチ													
676					ミカドトックリバチ													
677					キアシトックリバチ													
678					ムモントックリバチ													
679					オオカバフドロバチ													
680					スズバチ													
681					カタグロチビドロバチ													
682			スズメバチ		ムモンホソアシナガバチ													
683					フタモンアシナガバチ													
684					セグロアシナガバチ													
685					キボシアシナガバチ													
686					キアシナガバチ													
687					ヨアシナガバチ													
688					コガタスズメバチ													
689					モンズズメバチ			●				DD						
690					オオスズメバチ													
691					キイロスズメバチ													
692					クロスズメバチ													
-					スズメバチ科の一種													
693			アナバチ		ルリジガバチ													
694					ニッポンモンキジガバチ													
695					クロナバチ本土亜種													
696					キンモウアナバチ													
697					サトジガバチ													
698			ヒメコシボソバチ		オオエンモンバチ													
699			ギングチバチ		オオハヤバチ													
700					クロユビギングチ													
701			コハナバチ		アカガネコハナバチ													
702					ホクダイコハナバチ													
703					ニセキオビコハナバチ													
704					シロスジカタコハナバチ													
705			ヒメハナバチ		ワタセヒメハナバチ													
706					マメヒメハナバチ													
707			ハキリバチ		ヤノトガリハナバチ													
708			ミツバチ		ギンランキマダラハナバチ													
709					シロスジヒゲナガハナバチ													
710					ニッポンヒゲナガハナバチ													
711					クマバチ													
712					ニホンミツバチ													
713	セイヨウミツバチ						●								●			
714	シリアゲムシ	シリアゲムシ	ヤマトシリアゲ	●					D									
715	ハエ	ヒメガガンボ	カスリヒメガガンボ															
716			ミスジガガンボ															

表 3-6(11) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準						
							①	②	③	④	①	②	③	④			
717	ハエ	ガガンボ	ホリカワクシヒゲガガンボ														
718			キイロホソガガンボ														
719			キリウジガガンボ														
-				ガガンボ科の一種													
720		ヨシボソガガンボ		オビヨシボソガガンボ													
721		カ		ヒトスジシマカ													
722				オオクロヤブカ													
723				アカイエカ													
-					カ科の一種												
724		ユスリカ		フタスジツヤユスリカ													
725				オオユスリカ													
726				セスジユスリカ													
727				オオミドリクロユスリカ													
-					ユスリカ科の一種												
728		ケバエ		クロアシボソケバエ													
729				メスアカケバエ													
730				ハグロケバエ													
731		トゲナシケバエ		ヒメセアカケバエ													
732		タマバエ		ヨモギワタタマバエ													
733				シロダモタマバエ													
734		ミズアブ		キアシホソルリミズアブ													
735				エゾホソルリミズアブ													
736				Allognosta flavofemorialis													
737				ハラキンミズアブ													
738				ヨウカアブ													
739				ルリミズアブ													
740				ミズアブ													
741				アメリカミズアブ				●								●	
742			ツリアブ		ヒロウドツリアブ												
743					ヨウヤツリアブ												
744				クロバネツリアブ													
745		ムシヒキアブ		アオメアブ													
746				シオヤアブ													
747				ナミマガリケムシヒキ													
-					ムシヒキアブ科の一種												
748		アシナガバエ		マダラホソアシナガバエ													
749				アシナガキンバエ													
-					アシナガバエ科の一種												
750		ハナアブ		ヨコジマオオヒラタアブ													
751				アイノオビヒラタアブ													
752				ホソヒラタアブ													
753				ナミホシヒラタアブ													
754				ミナミヒメヒラタアブ													
755				ヤマトヒラタアブ													
756				ツヤヒラタアブ													
757				ホシツヤヒラタアブ													
758				キアシマメヒラタアブ													
759				シママメヒラタアブ													
760				ニッポンクロハナアブ													
761				マドヒラタアブ													
762				スイセンハナアブ				●								●	
763				ハチモドキハナアブ													
764				キゴシハナアブ													
765				ホシメハナアブ													
766				シマハナアブ													
767				ナミハナアブ													
768				アシブトハナアブ													
769				タカサゴハラブトハナアブ													
770				オオハナアブ													
771			ルリハナアブ														
772		ツルギアブ		ツルギアブ科の一種													
773		メバエ		ムネグロメバエ													
774		ナガズヤセバエ		ホシアシナガヤセバエ													
775		フトモモソバエ		クロフトモモソバエ													
776		ミバエ		ミスジミバエ													
777				ツマモンハススジハマダラミバエ													
778				イヌビロハマダラミバエ													
779				ハルササハマダラミバエ													
780			ヒロクチバエ		ニセムネアカヒメヒロクチバエ												
781		ヤチバエ		ヒゲナガヤチバエ													
782				ヒガシヒゲナガヤチバエ													
783		ツヤホソバエ		ヒトテンツヤホソバエ													
784		シマバエ		ヤブクロシマバエ													

表 3-6(12) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準						
							①	②	③	④	①	②	③	④			
785	ハエ	ミギワバエ	ミナミカマバエ														
786			ホソハマダラミギワバエ														
787		ショウジョウバエ	ヒョウモンショウジョウバエ														
788			キイロショウジョウバエ			●							●				
789			オウトウショウジョウバエ														
790			クロショウジョウバエ														
-			ショウジョウバエ科の一種														
791		フンバエ	ヒメフンバエ														
792		イエバエ	オオイエバエ														
793			カガハナゲバエ														
794			ロシアキハナレメイエバエ														
795			クロバエ	ケブカクロバエ													
796		オオクロバエ															
797		ミヤマキンバエ															
798		コガネキンバエ															
799		キンバエ															
800		ミドリキンバエ															
801		イトウロクロバエ															
802		ムナギンクロバエ															
803		ツマグロキンバエ															
-		クロバエ科の一種															
804		ニクバエ		センチニクバエ													
805			シリグロニクバエ														
806			ナミニクバエ														
-		ニクバエ科の一種															
807		ヤドリバエ	ヨコジマハリバエ														
808			<i>Euthera tuckeri</i>														
809			マルボシヒラタヤドリバエ														
810		トビケラ	ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ													
811		チョウ	ハマキガ	チャハマキ													
812				バラシロヒメハマキ													
813			ヒロズコガ	マダラマルハヒロズコガ													
814			コナガ	コナガ													
815			ホソハマキモドキガ	コホソハマキモドキ													
816			スカシバガ	オオモモブトスカシバ													
817			マダラガ	ホタルガ													
818				タケノホソクロバ				●								●	
819			セミヤドリガ	ハゴロモヤドリガ													
820			イラガ	イラガ													
821	アオイラガ																
822	ヒロヘリアオイラガ						●									●	
823	ヒメクロイラガ																
824	メイガ			タイワンウスキノメイガ													
825			Bradina属の一種														
826			アヤナミノメイガ														
827			チビスカシノメイガ														
828			ツゲノメイガ														
829			モンキクロノメイガ														
830			マメノメイガ														
831			ヨスジノメイガ														
832			ヒメシロノメイガ														
833			マエアカスカシノメイガ														
834			ウコンノメイガ														
835			キムジノメイガ														
836			ベニフキノメイガ														
837			シロオビノメイガ														
838		トサカフトメイガ															
839		ナカアオフトメイガ															
840		ウスバニトガリメイガ															
-	メイガ科の一種																
841	セセリチョウ	ダイミョウセセリ															
842		コチャバネセセリ															
843		キマダラセセリ															
844		オオチャバネセセリ				●								B			
845		ミヤマチャバネセセリ				●								C			
846		チャバネセセリ															
847		イチモンジセセリ															
-	セセリチョウ科の一種																
848	アゲハチョウ	ジャコウアゲハ															
849		アオスジアゲハ															
850		カラスアゲハ															

表 3-6(13) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準				
							①	②	③	④	①	②	③	④	
851	チョウ	アゲハチョウ	ナミアゲハ												
852			キアゲハ												
853			モンキアゲハ												
854			クロアゲハ												
855			ナガサキアゲハ			●									
856		シロチョウ	モンキチョウ												
857			キタキチョウ												
858			ツマキチョウ												
859			モンシロチョウ				●							●	
860		シジミチョウ	スジグロシロチョウ												
861			ムラサキシジミ												
862			ムラサキツバメ												
863			ベニシジミ												
864			ウラナミシジミ												
865			ヤマトシジミ												
866			ルリシジミ												
867			ツバメシジミ												
-				シジミチョウ科の一種											
868	ウラギンシジミチョウ		ウラギンシジミ												
869	タテハチョウ	メスグロヒヨウモン													
870		ツマグロヒヨウモン			●										
871		イチモンジチョウ													
872		コムシジ													
873		ミスジチョウ		●						C					
874		キタテハ													
875		ルリタテハ													
876		ヒメアカタテハ													
877		コムラサキ		●							C				
878		ゴマダラチョウ		●							C				
879		アカボシゴマダラ名義タイプ亜種			●	●								●	特外
-			タテハチョウ科の一種												
880	ジャノメチョウ	ヒメウラナミジャノメ													
881		ヒカゲチョウ													
882		サトキマダラヒカゲ													
883		ヒメジャノメ													
884		コジャノメ													
885		クロノマチョウ													
886	カギバガ	アシベニカギバ													
887	ジャクガ	オオシロオビアオジャク													
888		ナミスジオアオジャク													
889		カギバアオジャク													
-			Timandra属の一種												
890		クロクモエダジャク													
891		ヨモギエダジャク													
892		オオトビスジエダジャク													
893		ウスバミスジエダジャク													
894		フチグロトゲエダジャク													
895		クロハグルマエダジャク													
896	カレハガ	タケカレハ													
897	カイコガ	クワコ													
898	ヤママユガ	オオミズアオ													
899		ヤママユ													
900	スズメガ	クロメンガタスズメ													
901		エビガラスズメ													
902		ウンモンズズメ													
903		モモスズメ													
904		オオスカシバ													
905		ベニスズメ													
906		ホシホウジャク													
907		ホウジャク													
908		ホシヒメホウジャク													
909		セスジスズメ													
910	シャチホコガ	ツマキシヤチホコ													
911		モンクロシャチホコ													
912		セダカシャチホコ													
913	ドクガ	リンゴドクガ													
914		チャドクガ													
915	ヒトリガ	マイマイガ													
916		スジモンヒトリ													
917		キハラゴマダラヒトリ													
918	カノコガ	カノコガ													

表 3-6(14) 昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準				
							①	②	③	④	①	②	③	④	
919	チョウ	ヤガ	ナシケンモン												
920			オオタバコガ			●								●	
921			ウスチャヤガ												
922			ニレキリガ												
923			スジキリヨトウ												
924			ハスモンヨトウ												
925			アカマダラヨトウ												
926			フタトガリコヤガ												
927			ヨシロシタバ			●				NT					
928			ゴマシオキシタバ												
929			キシタバ												
930			ナカグロクチバ												
931			カキバトモエ												
932			ヒメエグリバ												
933			トビイロトラガ												
計	16目	203科	933種	31種	16種	33種	0種	0種	7種	26種	1種	1種	24種	9種	

注 1. 種名、科の配列等は、主に日本産野生生物目録 -本邦産野生動植物の種の現状- 無脊椎動物編Ⅱ」（1995、環境庁）に従った。

注 2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950 年、法律第 214 号)

特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992 年、法律第 75 号)

国内: 国内希少野生動植物種 国内(特一): 特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二): 特定第二種国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト 2020 の公表について」(2020 年、環境省)

EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 I 類、CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編 2019 年改訂版」(2019 年、千葉県環境生活部自然保護課)

X: 消息不明・絶滅生物、A: 最重要保護生物、B: 重要保護生物、C: 要保護生物、D: 一般保護生物

注 3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

① 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022 年、法律第 42 号)

特外: 特定外来生物、条特外: 条件付特定外来生物

② 「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015 年、環境省)

外: 国外外来種、内: 国内外来種

定: 定着予防外来種、総: 総合対策外来種、産管: 産業管理外来種

緊: 緊急対策外来種、重: 重点対策外来種、他: その他の外来種

③ 「侵入生物データベース 日本の外来種 全種リスト (暫定版)」(国立研究開発法人 国立環境研究所 HP)

④ その他の外来生物と考えられる種

※1. 「オオカマキリの卵」が指標種に該当しているため、オオカマキリの記録は指標種として扱った。

※2. 「セミ類の抜け殻」が指標種に該当しているため、セミ科の記録はすべて指標種として扱った。

3.7 魚類

調査の結果、計 17 目 41 科 98 種の魚類が確認された。

表 3-7(1) 魚類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準			
							①	②	③	④	①	②	③	
1	メジロザメ目	ドチザメ科	ドチザメ											
2	トビエイ目	アカエイ科	アカエイ											
3		ツバクロエイ科	ツバクロエイ											
4	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	●				EN	C					
5		アナゴ科	マアナゴ											
6	ニシン目	ニシン科	ウルメイワシ											
7			サツバ											
-			Sardinella属											
8			コノシロ											
9		カタクチイワシ科	カタクチイワシ											
10	コイ目	コイ科	コイ(飼育型)			●								●
-			コイ(型不明)			●								●
-			コイ(改良品種型)			●								●
-			Cyprinus属			●								●
11			ゲンゴロウブナ			●								●
12			キンギョ			●								●
13			フナ類											
14			ギンブナ	●					D					
15			ヤリタナゴ	●				NT	B					
16			タイリクバラタナゴ			●						外総重		●
17			オイカワ											
18			Ctenopharyngodon属			●								●
19			マルタ											
20			ウグイ											
21			モツゴ	●					D					
-			Pseudorasbora属											
22			タモロコ											
-			Gnathopogon属											
23			ツチフキ			●								●
-			コイ科											
24		ドジョウ科	ドジョウ	●				NT						
25			ドジョウ(中国大陸系統)			●								●
26			キタドジョウ	●				DD						
27			ドジョウ類※1	●				(NT/DD)						
-			Misgurnus属											
28	ナマズ目	ナマズ科	Silurus属											
29	サケ目	アユ科	アユ											
30	トゲウオ目	ヨウジウオ科	ヨウジウオ											
31			ガンテンイシヨウジ											
32	ボラ目	ボラ科	ボラ											
33			メナダ											
-			ボラ科											
34	トウゴロウイワシ目	トウゴロウイワシ科	トウゴロウイワシ											
35	カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ			●				特外	外総重			●
36	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	●				VU	B					
37			メダカ(飼育品種)			●								●
38		サヨリ科	サヨリ											
39		トビウオ科	トビウオ											
40		ダツ科	ダツ											
41	スズキ目	コチ科	ヨシノゴチ											
42			マゴチ											
-			Platycephalus属											
43			イネゴチ											
-			コチ科											
44		スズキ科	スズキ											
-			Lateolabrax属											
45		サンフィッシュ科	ブルーギル			●				特外	外総緊			●
46			オオクチバス			●				特外	外総緊			●
47		アジ科	マアジ											
48		クロサギ科	クロサギ											
49		イサキ科	コショウダイ											
50		タイ科	クロダイ											
51			キチヌ											
-			Acanthopagrus属											

表 3-7(2) 魚類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準					
							①	②	③	④	①	②	③			
52	スズキ目	ニベ科	シログチ													
-			ニベ科													
53		キス科	シロギス													
54		スズメダイ科	シマスズメダイ													
55			オヤビッチャ													
56		シマイサキ科	コトヒキ													
57			シマイサキ													
58		メジナ科	メジナ													
59		ニシキギンボ科	ギンボ													
60		イソギンボ科	イソギンボ													
61			トサカギンボ													
62			イダテンギンボ													
63			ナベカ													
-			Omobranchus属													
64			ニジギンボ													
65			ネズツボ科	ハタタテヌメリ												
66		ハゼ科	ミミズハゼ													
67			イソミミズハゼ													
-			Luciogobius属													
68			ヒモハゼ		●					NT						
69			マハゼ													
70			アシシロハゼ													
71			アカオビシマハゼ													
72			シモフリシマハゼ													
73			ヌマチチブ		●						D					
74			チチブ													
-			Tridentiger属													
75			ヒナハゼ													
76			トウヨシノボリ類													
-			Rhinogobius属													
77			ウロハゼ													
78			ツマグロスジハゼ													
79			スジハゼ													
-			キララハゼ属の1種													
80			ヒメハゼ													
81			スミウキゴリ													
82			ウキゴリ													
83			ニクハゼ													
84			ピリンゴ		●						D					
85			チクゼンハゼ		●					VU	C					
86			エドハゼ		●					VU	C					
-			Gymnogobius属													
87			アゴハゼ													
88		ドロメ														
-		ハゼ科														
89		アイゴ科	アイゴ													
90		タイワンドジョウ科	カムルチー				●							●		
-			Channa属					●							●	
91		カレイ目	カレイ科	イシガレイ												
92				マコガレイ												
-				Pseudopleuronectes属												
93		フグ目	ギマ科	ギマ												
94				カワハギ												
95			フグ科	ヒガンフグ												
96				ショウサイフグ												
97				クサフグ												
98				トラフグ												
-		Takifugu属														
		17目	41科	98種	13種	0種	16種	0種	0種	9種	9種	3種	4種	16種		

注1. 種名、科の配列等は、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和6年度生物リスト)」(2024年、国土交通省)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、

NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

① 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)

特外:特定外来生物、条特外:条件付特定外来生物

② 「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)

外:国外外来種、内:国内外来種

定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種

緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種

③ 主に明治時代以降に国外から侵入した種、国内に自然分布するが対象地域には人為的に導入されたと考えられる種、および野生化した飼育品種

●:該当種

※1. 出典においてドジョウとキタドジョウを区別していない記録は「ドジョウ類」とした。なお、③の選定基準において「ドジョウ」はNT、「キタドジョウ」はDDに該当する。

3.8 底生動物

3.8.1 底生動物

調査の結果、計6門9綱25目75科153種の底生動物が確認された。

表 3-8(1) 底生動物確認種一覧(陸域)

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準							
									①	②	③	④	①	②						
1	海綿動物門	普通海綿綱	タンスイカイメン目	タンスイカイメン科	タンスイカイメン科															
2	扁形動物門	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	アメリカツノウズムシ															
3	軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	●	●						VU	D						
4						ヒメタニシ		●												
5						カワニナ														
6					チリメンカワニナ															
7					コモチカワツボ						●							外総他		
8					汎有肺目	モノアラガイ科	モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ												
-								モノアラガイ科												
9							サカマキガイ科	サカマキガイ												
10							ヒラマキガイ科	カワコザラガイ属												
11								ヒロマキミズマイマイ												
12					二枚貝綱	イシガイ目	イシガイ科	タテボシガイ	●							D				
13								カラスガイ族												
14						マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ			●							外総他		
-								シジミ属												
15							ドブシジミ科	ドブシジミ												
16	環形動物門	ミズ綱	オヨギミズ目	オヨギミズ科	オヨギミズ科															
17						イトミズ目	ミズミズ科	エラオイミズミズ												
18								エラミズ												
19								ウチワミズ属												
20								ヨゴレミズミズ												
21								テングミズミズ属												
-									ミズミズ科											
22							厚環帯目	フトミズ科	フトミズ科											
23						ヒル綱	ヒルミズ目	ヒルミズ科	アメリカヤドリミズ											
24							吻蛭目	ヒラタビル科	ハバヒロビル											
25									スマビル											
26							吻無蛭目	イシビル科	シマイシビル											
27								ナガレビル科	スマイシビル											
-									ナガレビル科											
28					節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ハマトビムシ科	オカトビムシ				●						外総他	
29		マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ																	
30		キタヨコエビ科	アゴトゲヨコエビ																	
31		ワラジムシ目	ミズムシ科(甲)	ミズムシ(甲)																
32		エビ目	スマエビ科	ミズレスマエビ				●								A				
33								シナスマエビ												
-									カワリスマエビ属											
34								テナガエビ科	テナガエビ	●								D		
35									スジエビ	●								D		
36								アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	●		●							条特外	外総緊
37			サワガニ科	サワガニ				●									C			
38			バンケイガニ科	クロバンケイガニ				●									D			
39				バンケイガニ				●									B			
40				モクスガニ科				モクスガニ	●								D			
41	昆虫綱	カゲロウ目(蜻蛉目)	カゲロウ目(蜻蛉目)	ヒメシロカゲロウ科				ヒメシロカゲロウ属												
42							サホコカゲロウ													
43							コカゲロウ科	フタモンコカゲロウ												
44							Jコカゲロウ													
45							フタバカゲロウ属													
46							ウスイロフトヒゲコカゲロウ													
47							ウデマガリコカゲロウ													
48						トンボ目(蜻蛉目)	アオイトトンボ科	アオイトトンボ												
-										アオイトトンボ属										
49									イトトンボ科	アジイトトンボ										
50								アオモンイトトンボ												
-								アオモンイトトンボ属												
51							カワトンボ科	ハグロトンボ												
-								カワトンボ科												
52							ヤンマ科	クロスジギンヤンマ	●								D			
53					ギンヤンマ															
54					カトリヤンマ	●									B					
55				サナエトンボ科	キイロサナエ	●							NT	B						
56					オナガサナエ	●									B					
57					ホシサナエ	●									B					
58					コオニヤンマ	●														
59				オニヤンマ科	オニヤンマ	●	●													
60				トンボ科	ハラビロトンボ	●								B						
61					シオカラトンボ															
62					シオヤトンボ															
63					オオシオカラトンボ															
64					アキアカネ			●												
65					ノシメトンボ															
-					アカネ属															
66			カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属															
67			カメムシ目(半翅目)	アメンボ科	アメンボ															
68					ヒメアメンボ															
69					シマアメンボ															
70				イトアメンボ科	ヒメイトアメンボ															

表 3-8(2) 底生動物確認種一覧 (陸域)

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準				
									①	②	③	④	①	②			
71	節足動物門	昆虫綱	カメムシ目(半翅目)	ミズカメムシ科	マダラミズカメムシ												
72							カタビロアメンボ科	ケンシカタビロアメンボ									
-								ケンシカタビロアメンボ属									
73								ナガレカタビロアメンボ									
74							ミズギワカメムシ科	コミズギワカメムシ									
75								エゾミズギワカメムシ									
76								ミズギワカメムシ									
77							ミズムシ科(昆)	クロチビミズムシ									
78								エサキコミズムシ									
-								コミズムシ属									
79							コオイムシ科	コオイムシ	●					NT			
80								オオコオイムシ									
-								コオイムシ属									
81							タイコウチ科	タイコウチ									
82								ミズカマキリ									
83							マツモムシ科	コマツモムシ									
84						ヘビトンボ目	センブリ科	センブリ属									
85						トビケラ目(毛翅目)	ムネカクトビケラ科	ムネカクトビケラ属									
86							シマトビケラ科	コガタシマトビケラ									
-								コガタシマトビケラ属									
87								ウルマシマトビケラ									
88								ナカハラシマトビケラ									
-								シマトビケラ属									
89							クダトビケラ科	クダトビケラ属									
90							ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ属									
91							ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ									
92							カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属									
93							ヒゲナガトビケラ科	アオヒゲナガトビケラ属									
94						チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	マダラミズメイガ属									
95						ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	ナミヒメガガンボ属									
96								ヒゲナガガガンボ属									
97							ガガンボ科	ミカドガガンボ									
98								ガガンボ属									
99							チョウバエ科	チョウバエ科									
100							コシボソガガンボ科	コシボソガガンボ属									
101							ユスリカ科	クロユスリカ属									
102								トゲアシユスリカ属									
103								ユスリカ属									
104								ツヤユスリカ属									
105								カマガタユスリカ属									
106								ミズクサユスリカ属									
107								コブナユスリカ属									
108								ボカシヌユスリカ属									
109								ナガサユスリカ属									
110								トゲヤマユスリカ属									
111								モンヌユスリカ属									
112								エリユスリカ属									
113								ニセケバネエリユスリカ属									
114								ハモンユスリカ属									
115								サワユスリカ属									
116								クロバヌマユスリカ属									
117								ナガレツヤユスリカ属									
118								ナガレユスリカ属									
119								アシマダラユスリカ属									
120								カスリモンユスリカ属									
121								ヌカユスリカ属									
122							カ科	カ科									
123							ホソカ科	ニッポンホソカ									
124								キスジクロホソカ									
125							ブユ科	ツノマユブユ属									
126								アシマダラブユ属									
127							ナガレアブ科	サツマモンナガレアブ									
128							ミズアブ科	Odontomyia属									
129								ミズアブ									
-								ミズアブ科									
130							アシナガバエ科	アシナガバエ科									
131							オドリバエ科	オドリバエ科									
132						コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	ホソセシゲンゴロウ									
133								ハイイロゲンゴロウ									
134								マルガタゲンゴロウ	●			国内(特二)	VU	B			
135								コシマゲンゴロウ									
136								チビゲンゴロウ									
137								コマルケシゲンゴロウ	●				NT	B			
138								ヒメゲンゴロウ									
139							コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	●				VU	B			
140								コガシラミズムシ									
141							ガムシ科	ヤマトゴマフガムシ									
142								トゲバゴマフガムシ									
143								セマルガムシ									
144								キバリヒラタガムシ									
145								キイロヒラタガムシ									
146								コガムシ	●				DD	D			
147								マメガムシ									
148								ヒメガムシ									
149							マルハナノミ科	トビイロマルハナノミ属									
150							ナガハナノミ科	ヒゲナガハナノミ属									
151							イネゾウムシ科	イネミズゾウムシ									
152								オオミズゾウムシ									
153				苔虫動物門	被嚙綱	ハネコケムシ目	ハネコケムシ科	ハネコケムシ科									
計				6門	9綱	25目	75科	153種	20種	4種	4種	0種	1種	7種	19種	1種	4種

注 1. 種名、科の配列等は、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和 6 年度生物リスト)」(2024 年、国土交通省)に従った。

注 2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950 年、法律第 214 号)

特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992 年、法律第 75 号)

国内: 国内希少野生動植物種 国内(特一): 特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二): 特定第二種国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト 20 の公表について」(20 年、環境省)

EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 I 類、CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編 29 年改訂版」(29 年、千葉県環境生活部自然保護課)

X: 消息不明・絶滅生物、A: 最重要保護生物、B: 重要保護生物、C: 要保護生物、D: 一般保護生物

注 3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

① 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(22 年、法律第 42 号)

特外: 特定外来生物、条特外: 条件付特定外来生物

② 「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(25 年、環境省)

外: 国外外来種、内: 国内外来種

定: 定着予防外来種、総: 総合対策外来種、産管: 産業管理外来種

緊: 緊急対策外来種、重: 重点対策外来種、他: その他の外来種

3.8.2 底生動物(三番瀬)

調査の結果、計 9 門 18 綱 46 目 114 科 177 種の底生動物が確認された。

表 3-9(1) 底生動物確認種一覧 (海域)

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準								
									①	②	③	④	①	②							
1	環形動物門	ヒル綱 ミミズ綱 多毛綱	フンビル目	ウオビル科	エイビル属																
2						ミミズ綱															
3					イトゴカイ目	タマシキゴカイ科	タマシキゴカイ														
4						イトゴカイ科	Capitella属														
5					イトソメ目	イトソメ科	イトソメ属														
6								Marphysa属													
7								ギボシイトソメ科	カタマカリギボシイトソメ												
8								ギボシイトソメ科	ギボシイトソメ												
9							オフェリアゴカイ目	オフェリアゴカイ科	ツツオオフェリア												
10									Armandia属												
11							チマキゴカイ目	チマキゴカイ科	チマキゴカイ												
12							サンバゴカイ目	チロリ科	チロリ属												
13											Glyceria属										
14											Glycinde属										
15									オトヒメゴカイ科	オトヒメゴカイ科											
16									ゴカイ科	オウケゴカイ											
17										ヤマトカワゴカイまたはヒメヤマトカワゴカイ											
18									カワゴカイ属												
19									オウキゴカイ												
20									ツルヒダゴカイ												
21									コケゴカイ												
22									コカイ科												
23						カギゴカイ科			カシカギゴカイ												
24						シリス科			シリス科												
25						シロガネゴカイ科	Nephtys属														
26						サンバゴカイ科	Eteone属														
27							Phyllodoce属														
28							サシバゴカイ科														
29					ケヤリムシ目	ケヤリムシ科	Chone属														
30						カンザシゴカイ科	エソカサネカンザシゴカイ														
31							ボソトダカンザシゴカイ														
32					スピオ目	ミスヒキゴカイ科	ミスヒキゴカイ														
33									ミスヒキゴカイ属												
34									Tharyx属												
35									ケンサキスピオ												
36									ヨツバナスピオ (A型)												
37									Polydora属												
38									ヤマトスピオ												
39									イトエラスピオ												
40									Prionospio属												
41									トロオニスピオ												
42							オニスピオ属														
43							Rhynchospio属														
44							Scoelepis属														
45					マダカスピオ																
46					エラナスピオ																
47					スピオ科																
48			フサゴカイ目	カザリゴカイ科	Ampharetinae亜科																
49					多毛綱																
50	節足動物門	蛛形綱 軟甲綱	ダニ目	ウシオダニ科	ウシオダニ科																
51					十脚目	クルマエビ科	クルマエビ														
52							フトミノエビ (シンチュウエビ)														
53							ウシエビ														
54							クルマエビ科														
55							コブヨコバサミ														
56						ヤドカリ科	テナガツノヤドカリ														
57							ユビナガホンヤドカリ														
58							ヨモギホンヤドカリ														
59							スナモグリ属														
60							スナモグリ科														
61							キンセンガニ科	キンセンガニ													
62							イソオウギガニ/イソオウギガニ科	イボイウオウギガニ													
63							イワガニ科	イワガニ科													
64							ショウジンガニ科	イボショウジンガニ													
65							ペンケイガニ科	アカテガニ													
66								クロベンケイガニ										D			
67								カクベンケイガニ										D			
68							モクスガニ科	アシハラガニ										D			
69								ヒライソガニ													
70								スネナガイソガニ													
71								ケフサイソガニ													
72								イソガニ													
73								ダカノケフサイソガニ													
74								モクスガニ科													
75								マメコフシガニ										D			
76							Inachoididae科	イッカククモガニ													
77								チゴガニ										D			
78								コメツキガニ										D			
79								オサガニ										D			
80								オホキベシノ										B			
81								スナガニ													
82								カクレガニ科	ウスバシマメガニ												
83								オオシロビシノ													
84								ガサミノワタリガニ科	カウインガサミ												
85						ガサミノワタリガニ															
86						イシガニ															
87						オウギガニ															
88						セジロムラサキエビ															
89						アカシマモエビ															
90						ダルマエビジャコ															
91						エビジャコ属															
92						シラタエビ															
93						ユビナガスジエビ [フトユビスジエビ]															
94						イソスジエビ [オキスジエビ]															
95						スジエビモドキ															
96						スジエビ属															
97						アナジャコ															
98						アナジャコ属															

表 3-9(2) 底生動物確認種一覧 (海域)

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	重要種	指標種	外来種	重要種選定基準				外来種選定基準						
									①	②	③	④	①	②					
86	節足動物門	軟甲綱	端脚目	ワレカラ科	トゲワレカラ														
-					ワレカラ属														
87					エンボソコエビ科	ニッポンドロソコエビ													
88					ヒゲナガコエビ科	ヒゲナガコエビ属													
89					ドロクダムシ科	アリアケドロクダムシ													
-						ドロクダムシ亜科													
90					メリタコエビ科	メリタコエビ属													
91					フトヒゲソコエビ科	フトヒゲソコエビ科													
92					ハマトビムシ科	ハマトビムシ科													
-						端脚目													
93					クーマ目	クーマ科	ミツオビクーマ												
94					等脚目		スナホリムシ科	スナホリムシ科											
95							ウオノエ科	ウオノエ科											
96							フナムシ科	フナムシ科											
-							フナムシ属												
97			アミ目		アミ科	イサザアミ													
98					ニホシイサザアミ														
99		顎脚綱		シフォンストム目	ウオシラミ科	ウオシラミ属													
100				Lenadiformes目	エボシガイ科	エボシガイ													
101				無節目		フジツボ科	タテジマフジツボ			●							外総他		
102						アメリカフジツボ			●									外総他	
103						ヨーロッパフジツボ			●										外総他
104						シロスジフジツボ													
105						イワフジツボ科	イワフジツボ												
106		脊索動物門	ホヤ綱	マボヤ目	フクロボヤ科	フクロボヤ科													
107					シロボヤ/スチエラ科	シロボヤ													
108		刺胞動物門	花虫綱	イソギンチャク目	ウメボシイソギンチャク科	イシワケイソギンチャク													
109	ハナワケイソギンチャク																		
110	タテジマイソギンチャク科				タテジマイソギンチャク														
-					イソギンチャク目														
111	ヒドロ虫綱				Anthoathecata目		キタカミクラゲ科	カミクラゲ											
112			シミコクラゲ科	シミコクラゲ															
113			Lentothecata目	オウクラゲ科			オウクラゲ												
114			クダクラゲ目	カツオノエボシ科			カツオノエボシ												
-					ヒドロ虫綱														
115	鉢虫綱		旗口クラゲ目		オキクラゲ科	アクラゲ													
116					ミズクラゲ科	ウリクラゲ													
117	有櫛動物門		無触手綱	ウリクラゲ目		ウリクラゲ科	ウリクラゲ												
118						カブトクラゲ目	カブトクラゲ科	カブトクラゲ											
119	棘皮動物門		有触手綱	カモヒトデ/蛇尾綱	カモヒトデ目	クモヒトデ科	クモヒトデ												
120		軟体動物門				二枚貝綱	オキナガイ科	オキナガイ		●								C	
121				マテガイ目	マテガイ科	マテガイ													
122				Lucinoidea目	ツキガイ科	ウメノハナガイ													
123				オオノガイ目	オオノガイ科	オオノガイ		●							NF				
124				マルスタレガイ目	シジミ科	タイワシジミ			●						外総他				
125					ブンブクヤドリガイ科	マルヤドリガイ													
126					ケシハマグリ科	ケシハマグリ													
127					バカガイ科	バカガイ													
128						シオフキ													
129						チノノハナガイ													
130						シオサザナミガイ/リュウキュウマスコガイ科	イソシジミ		●							B			
131						アサシガイ科	シズクガイ												
132						ニッコウガイ科	ヒメシラトリ												
133						サクラガイ			●							NF			
-						Nitidotellina属													
134						ニッコウガイ科	オキシジミ		●							C			
135						カガミガイ													
136					ホンビノスガイ										外総他				
137					シナハマグリ										外総他				
-					ハマグリ属														
138					ウスカラシオツガイ														
139					アサリ														
140				フネガイ目	フネガイ科	サルボオ													
141				イガイ目	イガイ科	ホトトギスガイ													
142						ムラサキイガイ			●						外総他				
143						ミドリイガイ			●						外総他				
144						コウロエンカワヒバリガイ			●						外総他				
145				カキ目	イタボガキ科	マガキ													
146	頭足綱		コウイカ目	コウイカ科	カミナリイカ														
147						コウイカ													
148					シリヤケイカ														
149	腹足綱		真後鰓目		カノコキセワタガイ科	ヤミヨキセワタ										VU			
150								クダタマガイ科	カノコキセワタ										B
151								キセワタガイ科	マツシマコメツブ										
152					新生鰓足目		キセワタ科	キセワタ											
153							カワニナ科	カワニナ											
154					汎有鰓目		トウガタガイ科	ヨコイトカケギリ											
155							トウガタガイ科	トウガタガイ科											
156							原始紐舌目	Viviparidae科			●						CR+EN		
157							吸腔目	ウミニナ科	ウミニナ										
158								ウミニナ属	ウミニナ										
159							ウキツボ科	シマハマツボ											
160							カリバガサガイ科	シマメノウウネガイ									外総他		
161							タマキビ科	アラレタマキビ											
162						タマキビ													
163						タマガイ科	タマガイ												
164						ゴマフタマ									CR+EN				
165					カワグチツボ/ワカウラツボ科	カワグチツボ									NF D				
166					ミスゴマツボ科	ウミゴマツボ									NF D				
167					ムシロガイ/オリエレヨフバイ科	アラムシロ													
168						ムシロガイ									NF C				
169						コロモガイ													
170						アッキガイ科	アッキガイ												
171						レイシガイ													
172						イトカケガイ科	クレハガイ												
173						ニシキウス目	ニシキウス/ニシキウスガイ科								NF				
174							イシダタミ												
175							イボキサゴ								NF C				
176	環形動物門	-	-	-	サザエ/リュウテン科	コシカガシラ													
177	環形動物門	-	多岐腸目	-	スガイ														
計	9門	18綱	46目	114科	177種	21種	0種	11種	0種	0種	11種	16種	0種	11種					

注 1. 種名、科の配列等は、主に「BISMaL(Biological Information System for Marine Life)」(2025年11月20日閲覧、国立研究開発法人海洋研究開発機構)に従った。

注 2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内: 国内希少野生動植物種 国内(特一): 特定第一種国内希少野生動植物種

国内(特二): 特定第二種国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト2020の公表について」(20年、環境省)

EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 I 類、CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編 29年改訂版」(29年、千葉県環境生活部自然保護課)

X: 消息不明・絶滅生物、A: 最重要保護生物、B: 重要保護生物、C: 要保護生物、D: 一般保護生物

注 3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

① 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(22年、法律第42号)

特外: 特定外来生物、条特外: 条件付特定外来生物

② 「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(25年、環境省)

外: 国外外来種、内: 国内外来種

定: 定着予防外来種、総: 総合対策外来種、産管: 産業管理外来種

緊: 緊急対策外来種、重: 重点対策外来種、他: その他の外来種

※サキグロタマツメタについては環境省レッドリスト2020にてCR+EN(絶滅危惧 I 類)に指定されているが、三番瀬においては外来種と考えられるため、外来種に区分

4. 資料編

4.1 第5次レッドリストの公表及び基準変更について

令和8年3月17日に、環境省より第5次レッドリスト（鳥類および爬虫類・両生類）が公表された。

同リストでは、鳥類170種が掲載され、そのうち108種が絶滅危惧種（絶滅危惧Ⅱ類以上）と評価されている。また、両生類・爬虫類については計138種が掲載され、うち96種が絶滅危惧種（同上）と評価された。

船橋市が令和6年度から令和7年度にかけて実施した自然環境調査においても、鳥類、両生類で、第5次レッドリストに記載された種が確認されている。

以上の経緯を踏まえ、第5次レッドリストにおける従来の評価基準との比較による変更点を別添資料として記載する。

4.1.1 鳥類

今回の自然環境調査において確認された鳥類の従来の評価基準との比較による変更点は表4-1に示す通りである。

鳥類については、今回の自然環境調査で確認された種のうち32種が第5次レッドリストの掲載種にあたる。うち14種が新規掲載種、9種がカテゴリー変更種、9種が従来の評価基準からカテゴリー未変更種にあたる。また、カラシラサギ、ミサゴは今回のリスト更新にあたり除外となった。

表 4-1 鳥類の基準変更

No.	目名	科名	種名	重要種	指標種	重要種選定基準					
						①	②	③ 基準変更前	③ 基準変更後	④	
1	カモ	カモ	ツクシガモ	●				VU	DD		
2			トモエガモ	●				VU	DD	B	
3			ホシハジロ	●					NT		
4			キンクロハジロ	●					VU		
5			スズガモ	●					NT	D	
6	ツル	クイナ	バン	●				VU	B		
7			ヒクイナ	●				NT	NT	A	
8	チドリ	チドリ	ムナグロ	●				VU	B		
9			シロチドリ	●				VU	VU	A	
10		シギ	ハウロクシギ	●				VU	VU	A	
11			オオソリハシシギ	●				VU	VU	C	
12			キョウジョシギ	●					NT	C	
13			トウネン	●					NT	D	
14			ハマシギ	●					NT	VU	B
15			チドリ	シギ	アカアシシギ	●				VU	CR
16	カモメ	ズグロカモメ		●				VU	VU	A	
17		ウミネコ		●					VU		
18		オオセグロカモメ		●					NT	EN	
19		コアジサシ		●					VU	EN	A
20	ミズナギドリ	ウミツバメ	オーストンウミツバメ	●				NT	EN		
21	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	●		特天	国内	CR	EN	X	
22	ペリカン	サギ	ゴイサギ	●					VU		
23			ササゴイ	●						VU	
24			チュウサギ	●					NT	NT	B
25			コサギ	●	●					VU	B
26			カラシラサギ	●					NT	不掲載	A
27	タカ	ミサゴ	ミサゴ	●				NT	不掲載	B	
28		タカ	ハイタカ	●				NT	NT	B	
29			オオタカ	●					NT	NT	C
30			サシバ	●	●				VU	VU	A
31	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	●			国内	VU	NT	A	
32	スズメ	カラス	オナガ	●					NT		
33		セキレイ	ビンズイ	●					NT		
34		ホオジロ	カシラダカ	●					EN		
計	10目	15科	34種	34種	2種	1種	2種	20種	34種	23種	

注1：種名、科の配列等は、主に「日本鳥類目録 改訂第8版」(2024年、日本鳥学会)に従った。

注2：重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内：国内希少野生動植物種 国内(特一)：特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二)：特定第二種国内希少野生動植物種

緊急：緊急指定種

③基準変更前「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX：絶滅種、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧I類、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、

LP：絶滅のおそれのある地域個体群

③基準変更後「環境省レッドリスト2025の公表について」(2026年、環境省)

EX：絶滅種、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧I類、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、

LP：絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X：消息不明・絶滅生物、A：最重要保護生物、B：重要保護生物、C：要保護生物、D：一般保護生物

注3：黄色→新規掲載種、青色→基準変更種、赤色→基準未変更種、緑色→記載外

4.1.2 両生類

今回の自然環境調査で確認された両生類において、従来の評価基準からの変更点はない。

4.1.3 爬虫類

今回の自然環境調査で確認された爬虫類において、従来の評価基準からの変更点はない。

4.1.4 まとめ

今回の更新に当たり、船橋市では鳥類 14 種が新たに環境省レッドリスト掲載種となった。

新規掲載種およびカテゴリーの変更があった種の多くは、シギ・チドリ類やカモ類などの海鳥であった。三番瀬に関する既往文献調査においても鳥類個体数の減少傾向が指摘されていることから、世界的に進行している干潟や湿地環境の悪化が、今回のリスト更新にも影響した可能性がある。

船橋市は三番瀬をはじめとする東京湾奥部の干潟・浅海域を有し、海鳥にとって重要な生息地に該当することから、今後は海鳥を中心とした保全の重要性が一層高まると考えられる。

また、陸鳥についてもカシラダカやオナガといった従来は普通種とされてきた種が新たに重要種として選定されていることについても今後のモニタリング調査においては留意すべきである。

4.2 用語集

本報告書に掲載した用語に解説を付した。

- ・前々回調査（船橋市内環境調査）

平成 11～13 年度に船橋市が実施した調査。全域調査、特定地域調査、河川・水域調査、文献調査、聞き取り調査、環境保全意識調査を実施している。このうち、特定地域調査では、市内における自然環境が比較的豊かな地域のうち、代表的な地域を 14 地域選定し、植物、鳥類、両生類・爬虫類、昆虫類、哺乳類等について調査を実施した。また、河川・水域調査では、市内を流れる海老川流域、利根川流域を対象に、水域とその周辺に生息する動植物について調査を実施した。なお、湧水地についての調査もあわせて実施した。

- ・前回調査（平成 25・26 年度船橋市自然環境調査）

平成 25、26 年度に船橋市が実施した自然環境調査。市内の自然環境の現状を把握するとともに、平成 11～13 年度に実施された「船橋市内環境調査」との比較を通じて動植物の変遷の把握を目的として整理を行った。調査地域は過年度の特定調査地域を基本に 16 地域を対象とし、三番瀬については調査の対象ではないが千葉県が実施した自然環境調査の結果を整理した。植物（水生植物を含む）、哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、昆虫類、魚類、底生動物の 7 項目に加え環境要素調査を実施した。

- ・外来種

人間の活動により他の地域から入ってきた種。

- ・生物多様性

生き物の豊かな個性とつながりのことで、生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性の 3 つの階層で多様性があるとしている。

- ・多自然川づくり

河川全体の自然の営みをふまえつつ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮しながら、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境および多様な河川景観を保全・創出することを目的として行う河川管理。

- ・遊休農地

農業委員会の調査により、農業上の利用が十分に行われていないと判断された農地のこと。農地法に基づく法令上の用語。農地の有効利用に向けて、遊休農地に関する措置を講ずべき土地とされている。耕作放棄地は農林業センサスにおける統計上の用語であり、根拠や定義が異なる。

- ・ 特定土地区画整理事業

国が施策として位置付けた大都市地域における土地区画整理事業の一つ。

- ・ 生態系ネットワーク（エコロジカルネットワーク）

生物多様性が保たれた国土を実現するため、保全すべき自然環境や優れた自然条件を有する地域を核（コアエリア）として、それらを生態的な回廊（コリドー）により有機的につなぎ、生物の生息・生育空間の連続性を確保する取組。生態系ネットワークの形成により、生物多様性の確保を図り、人と自然とのふれあいの場を提供することで、地域に社会面・経済面においても様々な効果をもたらすことが期待される。

- ・ 指標種

生態学的によく研究され、生息できる環境条件が限られていることが判明している生物を指標生物、もしくは環境指標種という。生息状況や分布の変化を通じて、周囲の自然環境や生態系の状態を把握・評価することができる生物種。

- ・ 社寺林

神社や寺が所有する、人による改変の少ない樹林や林分のこと。いわゆる境内林、鎮守の森といわれる林分。開発などから免れてきたため、都市に残された緑地として、生態系ネットワークの一部を担っていることが多い。

- ・ 指定樹林

船橋市緑の保存と緑化の推進に関する条例第 7 条の規定に基づき昭和 48 年から実施している都市における緑の保存施策の一つであり、市内の健全な民有林を市が指定し、所有者が保全を行い、その保全に要する経費の一部を助成金として支給する制度。

- ・ 谷津田

主に関東地方において見られる、台地や丘陵地が長い時間をかけて浸食されて形成された谷状地形の谷底部に広がる水田。周囲を雑木林や斜面林に囲まれ、湧水や地下水を水源として利用することから、年間を通じて水が安定して供給される。千葉県では「谷津田」と呼ばれるが、関東の他地域では「谷戸田」と呼ばれることが多い。

- ・ 調節池

洪水による河川の氾濫を防ぐため、洪水の一部を一時的に貯めて調節する施設。

- ・残置森林

森林を含む土地開発行為において、事業区域内の森林のうち、伐採や造成を行わず現況のまま保全する森林のこと。

- ・生きものモニタリング

市民参加により市内に生息する生きもの（指標種）を継続的に調べる事で、周辺の環境の変化を知る取組のこと。市民が身近な生きものを探すことを通じて、市内の自然や生きものに触れ、関心を持つことを目的としている。令和4年3月に改定した「生物多様性ふなばし戦略」において、地域の環境の状況をあらわす身近な生きものとして、各季節3種ずつ、外来種3種、合計15種を指標種と定めた。

- ・植栽種

公園、道路、河川敷、緑地、造成地などにおいて、人為的に植えられた植物。外来種だけでなく在来種が植栽として用いられることもある。

- ・逸出種

栽培されていた生物が人の管理をはなれて繁殖し、野生化したもの。

- ・生態系ピラミッド

生態系を構成する生物を栄養段階ごとに整理し、そのつながりと関係をピラミッド型に模式的に表した概念。

- ・生物間相互作用

異なる生物同士が互いに影響を及ぼしあうこと。生物間相互作用の例として被食と捕食、競争、共生、寄生などがある。

- ・生物群集

ある場所に生息する複数種の生物の集まりのこと。生態系と似ているが、生態系は生物群集とそれを取り巻く非生物(環境)をひとまとめにしたシステムのことを指す。

- ・特定外来生物

外来種のうち、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼす種、または及ぼすおそれがある種で、外来生物法によって指定されているもの。

- ・条件付特定外来生物

「特定外来生物」に指定された生物のうち、当面の間適用除外とする生物。一定の条件を守ることを前提として、飼養・保管・運搬などが例外的に認められている。

- ・ヒートアイランド現象

都市部の気温が周囲よりも高くなる現象のことで、気温分布図で表すと高温域（都市）が島状に分布することから呼ばれるようになった。ヒートアイランド現象の要因は、熱の蓄積が多い人工被覆面の影響と、エアコンや自動車などから生じる人工排熱の影響であるといわれている。

- ・生態系

ある場所に生息する生物群集とそれを取り巻く水・大気・光・土壌などの非生物的環境が相互に関係しあうシステムのことを指す。

- ・自然環境保全基礎調査

陸域・陸水域・海域を対象に、国土全体の自然環境の状況を体系的に調査するもので、一般に「緑の国勢調査」と呼ばれている。1973年度（昭和48年度）から継続的に実施され、調査結果は報告書及び地図等にとりまとめられたうえ公表されている。

- ・抽水植物、浮葉植物、沈水植物

抽水植物とは、水底の土壌に根を張り、葉や茎の一部は水面から出る水生植物（例：ヨシ）。浮葉植物とは、水底の土壌に根を張り、葉だけが水面に浮き生育する植物（例：オニビシ）。沈水植物とは葉や茎など植物体のほぼ全体が水中にある状態で生育する植物（例：シャジクモ）。

- ・鳥獣捕獲許可

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に基づき、学術研究や被害防除など特定の目的のために、都道府県知事等が鳥獣の捕獲等を認める許可のこと。

- ・タモ網、サデ網

どちらも袋状の網地の口縁を枠に取り付けた採集用の網で、水底や水際で魚類や小型の水生生物をすくい取るために用いられる。タモ網は柄がついており、サデ網は柄がないため水に入れて使用する。

- ・サーバーネット、Dフレームネット

どちらも小さな底生動物を捕獲するための採集用具で、目合いの小さな網（目合い0.5mm程度）を用いる。サーバーネットは一定面積を区切る枠（方形枠）と細目の網を組み合わせたもの。Dフレームネットは開口部がD字形（半円形）の枠と細目の網を組み合わせたもの。

- ・環形動物

分類学上は環形動物門に属する無脊椎動物の総称。主に土壌、淡水、海水に生息するミズ類やゴカイ類などが該当する。

- ・湧水

地下水が自然に地表に流出した水のこと。ポンプ等の人為的な動力で揚水されたものは含まない。

- ・電気伝導度（EC：Electric Conductivity）

物質の電気の伝わりやすさを表す値で、水の電気を通す性質を数値化した指標。一般に溶存物質が多いほど電気伝導度は高くなる。富栄養化、生活排水の影響、海水混入などの把握に活用される。

- ・甲殻類

分類学上は節足動物門の甲殻亜門に属する動物類で、体が硬い外骨格で覆われ、体節のある足を持つ。エビ、カニ、ザリガニなどが該当する。

- ・環境 DNA

生物が生息する環境中（水・土壌・空気など）に放出された DNA の総称。生物の体表や糞、尿、粘液、死骸などに由来し、環境中に存在する DNA を採取・分析することで、実際に生物を捕獲せずに生息の有無や分布状況を把握できる手法として利用される。

- ・在来種

もともとその生息地に生息していた生物種の個体および集団。人間の活動によらずに、自然に分布、生育・生息している種。

- ・特定第二種国内希少野生動植物種

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」に基づき指定される国内希少野生動植物種の区分の一つ。販売・頒布の目的での捕獲・広告・譲渡が禁止されている。

- ・二次林

伐採や風水害などによって森林が破壊された跡に、自然または人為的に再生した森林のこと。

- ・猛禽類

獲物を捕らえるために特化した形態をもつ鳥類の総称。主にタカ類・ワシ類・ハヤブサ類およびフクロウ類のことを指す。

- ・侵略的外来種

人によって本来の分布域以外に持ち込まれた外来種のうち、地域に定着し、生物多様性に大きな影響を与えるおそれのある外来種のこと。

- ・自然共生サイト

ネイチャーポジティブの実現に向けた取組の一つとして、「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律」に基づき、企業や地方公共団体等が作成する、里地里山の保全、外来生物の防除、希少種の保護といった生物多様性の維持・回復・創出に資する「増進活動実施計画」又は「連携増進活動実施計画」を認定する。認定された計画の実施区域のことを「自然共生サイト」と呼ぶ。

生物多様性国家戦略におけるネイチャーポジティブの実現のため、2030年までに陸と海の30%以上を保全する30by30目標が掲げられており、自然共生サイトの認定を受けた区域のうち、国立公園等の保護地域と重複しない区域は、OECMとして整理・登録され、結果として30by30目標の達成に貢献する区域として位置付けられる。

- ・海浜植生

砂浜や礫浜、砂丘などの海岸の浜辺に成立する植物群落の総称。汀線側から陸域側まで帯状に植生が変化する。

- ・青潮

海域の底層に形成された貧酸素水塊が、強風などをきっかけに表層に浮き上がり、海水が青白色に濁る現象。

- ・海草類・海藻類

海草類は海中に生息する被子植物のことで、根・茎・葉を持ち砂泥に根を張って生育する（例：アマモ）。海藻類は海中に生息する藻類のことで、根を持たず付着期によって岩礁等に付着し生育する（例：コンブ）。

- ・栄養塩

炭素、水素、酸素以外の無機塩類で、磷(リン)、窒素、カリウム、珪素などの主要元素とマンガン等の微量元素を指す。水中では窒素やリンが主な栄養塩。

- ・ヨシクラス

植生の区分の1つ。河川のよどみ、河川沿いの湿地や後背湿地等の水位の増減や流水が少なく、底質が泥や粘土質な立地に生育するヨシ、マコモ等の植物群を包括的にまとめた分類体系のこと。

- ・遷移

ある場所の植物群落が、時間と共に種の交代によって別の群落へと変わっていくこと。

- ・エコトーン

陸域から水域や、森林から草原など生物の生息環境が連続的に変化する場所を指す、「移行帯」と呼ばれる概念。多様な生物の生息場所となっている。

- ・Eco-DRR (Ecosystem-based Disaster Risk Reduction)

生態系など自然の持つ力を活用し、災害の被害を防止・軽減させる取組みのこと。水田や森林の貯水機能が主に活用される。

- ・谷津

主に関東地方において見られる、台地や丘陵地が長い時間をかけて浸食されて形成された谷状地形。周囲を雑木林や斜面林に囲まれており、湧水や地下水が供給されることが多く、谷底部は水田として活用されてきた。谷津を活用した水田は「谷津田」と呼ばれる。千葉県では「谷津」と呼ばれるが、関東の他地域では「谷戸」と呼ばれることが多い。

- ・落葉広葉樹林

冬季に葉を落とす広葉樹を主な構成種とする森林のこと。日本では冷温帯に分布し、関東地方ではコナラ、ケヤキなど、東北・北陸地方ではブナ、ミズナラなどが主な構成種となる。夏は葉が繁茂するが、冬は明るいため、林床にはササ類が生育する。

- ・矢板

掘削工事などにおいて、地盤の崩壊や水の流入を防ぐために地中に打ち込む板状の部材のこと。鋼材、木材、コンクリートなど様々な材料が用いられる。

- ・多自然型護岸

治水だけでなく、自然の働きや生物の生息環境等の生態系の保全に配慮して整備される護岸のこと。自然石や植生を活用したものなどがある。

- ・河岸段丘

河川の浸食によって形成された、平坦な土地と崖からなる階段状の地形のこと。河川の浸食で残された箇所は段丘面、削られてできた崖は段丘崖と呼ばれる。

- ・河岸段丘面、河岸段丘崖

地盤の上昇などによって、河川がもとの河床を浸食して新たな谷をつくり、もとの河床が一段高いところに台地として残ったもの。平坦な面を河岸段丘面、河岸段丘面を侵食してできた崖を河岸段丘崖と呼ぶ。

- ・市街化調整区域

都市計画法で計画的に市街化を図るために、市街化を抑制すべき区域として定められた区域のこと。市街化調整区域は、都市計画法により建築が認められているものを除き、原則として建築物の建築、増改築はできない。

- ・高水敷

河川において、常時水が流れる低水路から一段高い位置にある場所のこと。洪水時には高水敷に水があふれ一時的に冠水する。普段は水が流れていないため草地や砂礫地となり、公園やグラウンドとして利用されることもある。

- ・高茎草本群落、低茎草本群落

オギ・ヨシなど背丈の高い草本を高茎草本、タデ類、スゲ類など背丈の低い草本を低茎草本と呼ぶ。これらの草本が集まる群落のことをそれぞれ、高茎草本群落、低茎草本群落と呼ぶ。

- ・つる植物

自立性が低いため、自らの近くにある植物や構造物を利用して体を支えながら成長する植物の総称。巻き付き型、巻きひげ型、付着型、かぎ型など取りつき方で分類されている。

- ・路傍

道の脇や道のほつりを指す言葉だが、環境や生物分野では道端の砂や土が露出している箇所に成立する環境や植物群落などを指す際に用いられる。

- ・樹冠

樹木の上部において枝と葉が集まっている部分のこと。樹木を横から見た際に冠状になっている場所。英語では canopy という。

- ・パッチ状

植生に用いられる用語で、植生や生物が連続せずに、小規模なまとまりがまだらに分布している状態を表す言葉。

- ・二次的な自然環境

自然に成立した原生的な自然環境ではなく、農業や林業など人の活動によって成立・維持されてきた自然環境。水田や畑、雑木林など里地里山に多く見られる。人の手が入ることにより、遷移の途中段階に保たれており、人の活動に適応した生物の生息環境となっている。

- ・調整池

宅地開発等により失われた森林や土壌の保水機能を補うため、雨水を一時的に貯めて河川への雨水の流出量を調節することにより洪水被害の発生を防止する施設。調節地と似ているが、調節地は河川の氾濫を防ぐため河川管理者が設置する大規模な施設。

- ・多面的機能

農地や森林が有する農産物や木材の供給以外の機能のことで、国土の保全や水源涵養、生物多様性保全などの機能をいう。

4.3 前回調査の調査地域位置図

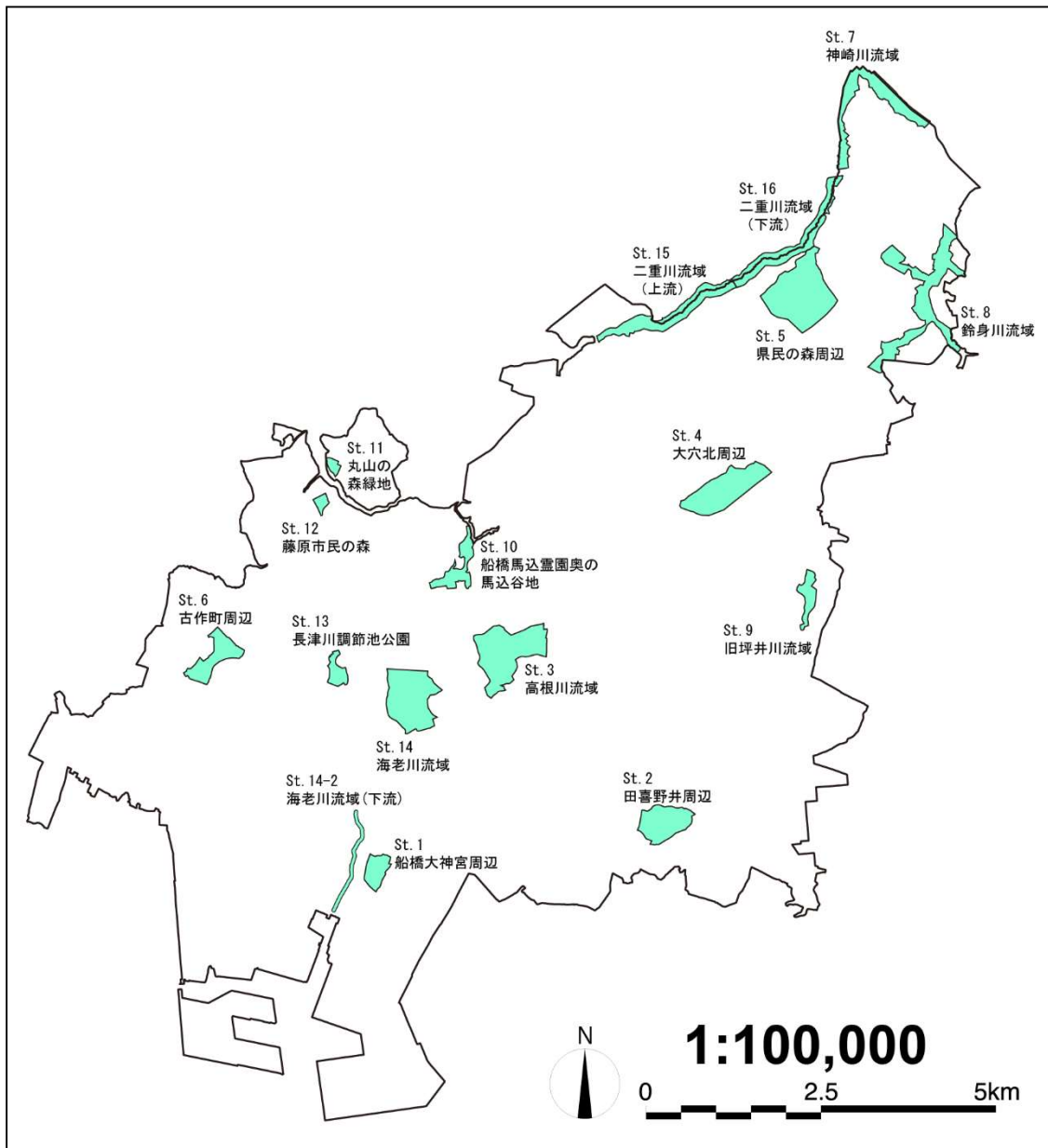


図 4-1 前回調査の調査地域位置図

出典：平成 25・26 年度船橋市自然環境調査報告書(平成 27 年 3 月、船橋市)